

**八幡市第 10 期介護保険事業計画等
策定に係るアンケート調査結果報告書**

令和 8 年 3 月

八幡市

目次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計と回収結果	1
3 報告書の見方	2
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
調査対象者の基本情報	3
問1 ご家族や生活状況について	6
問2 からだを動かすことについて	11
問3 食べることについて	18
問4 毎日の生活について	21
問5 地域での活動や就労について	28
問6 たすけあいについて	44
問7 健康について	48
問8 認知症について	53
問9 今後の介護・高齢者施策について	61
生活機能評価項目別のリスク判定について	76
III 在宅介護実態調査	83
調査対象者の基本情報	83
A票 調査対象者本人による回答	86
B票 介護者による回答	115
IV 介護サービス事業所調査	134
1 サービス事業者の運営形態や状況について	134
2 介護人材の雇用状況について	141
3 人材の確保・育成について	143
4 その他	150
V 介護支援専門員調査	151
1 ケアプラン業務の状況について	151
2 在宅介護の継続について	167
3 専門性向上のための対策について	169
資料編【各調査票】	173
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票	173
2 在宅介護実態調査票	181
3 介護サービス事業所調査票	187
4 介護支援専門員調査票	191

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度を初年度とする八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とすることを目的に、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、市内介護サービス事業所調査、介護支援専門員調査を実施しました。

2 調査の設計と回収結果

(1) 市民を対象とした調査

項目	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査対象者	市内在住の65歳以上の方 (要介護1～5の認定を受けていない方)	在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方
調査期間	令和7年12月15日(月) ～令和8年1月6日(火)	郵送：令和7年12月15日(月) ～令和8年1月6日(火) 訪問：令和7年12月～令和8年3月
回答方法	郵送配布・郵送回収 (LoGoフォームによる WEB回答併用)	郵送配布・郵送回収 (LoGoフォームによる WEB回答併用) 及び認定調査時における訪問聞取
対象数	3,000件	合計：1,075件 内訳：(郵送) 400件 (訪問) 675件
有効回収数	合計：1,987件 内訳(郵送) 1,766件 (WEB) 221件	合計：675件 内訳：(郵送) 180件 (WEB) 16件 (訪問) 479件
有効回収率	66.2%	62.8%

(2) 介護サービス事業所を対象とした調査

項目	介護サービス事業所調査	介護支援専門員調査
調査対象者	市内の介護サービス事業所	市内の居宅介護支援事業所等の介護支援専門員の方
調査期間	令和7年12月1日(月) ～令和7年12月26日(金)	令和7年12月1日(月) ～令和7年12月26日(金)
回答方法	LoGoフォームによる WEB回答	LoGoフォームによる WEB回答
配付数	30件	50件
有効回収数	30件	35件
有効回収率	100.0%	70.0%

3 報告書の見方

- ◇図表中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ◇調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しています。そのため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- ◇複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の調査結果の比率は、選択肢ごとの回答数をその設問の回答者数で割った数を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇報告書の本文中における前回調査は、「八幡市第9期介護保険事業計画等策定に係るアンケート調査結果報告書(令和5年3月)」で実施した調査です。比較については、割合におおむね5ポイント以上の差があるとき、「増加(減少)傾向」と表記しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇設問の回答者数が10件を下回る場合は、分析文を省略しています。

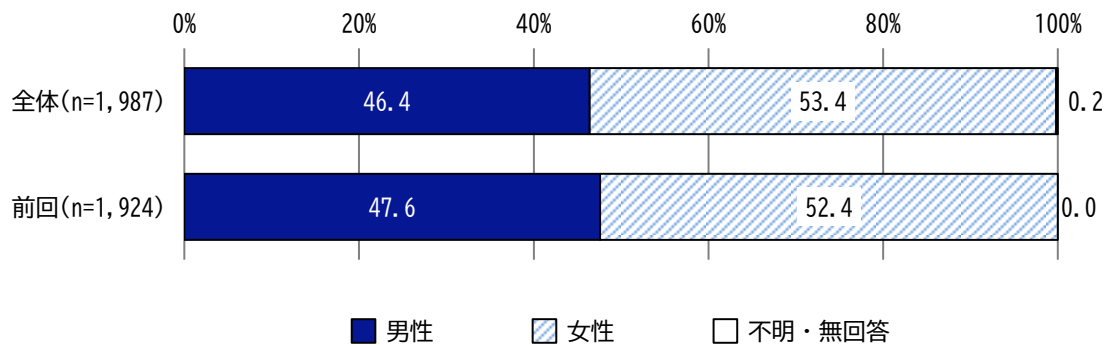
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査対象者の基本情報

○ 性別

(回答者ID突合)

全体では「女性」が53.4%と最も高く、次いで「男性」が46.4%となっています。

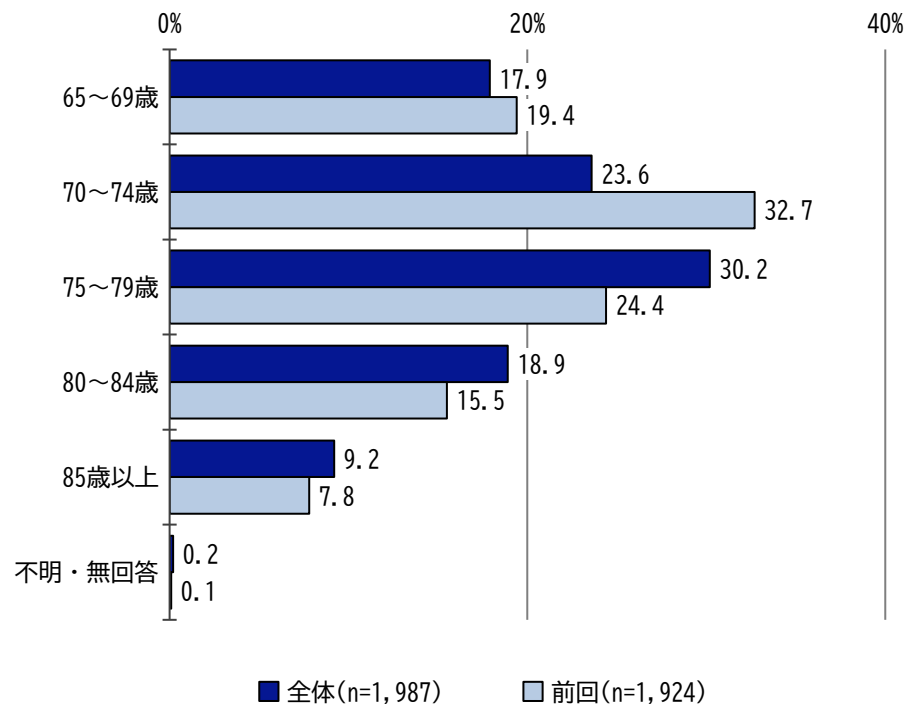


○ 年齢

(回答者ID突合)

全体では「75歳～79歳」が30.2%と最も高く、次いで「70歳～74歳」が23.6%、「80歳～84歳」が18.9%となっています。

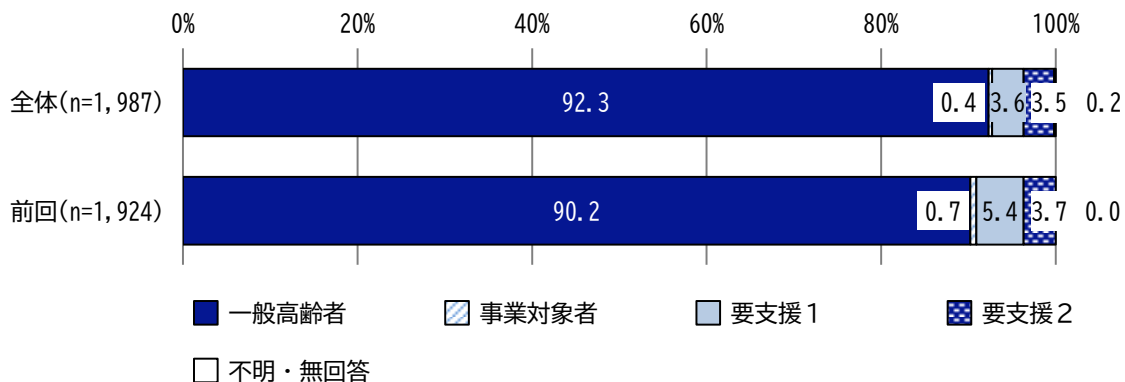
前回調査と比較すると、「70～74歳」で減少傾向がみられます。



○ 認定状況

(回答者ID突合)

全体では「一般高齢者」が92.3%と最も高く、次いで「要支援1」が3.6%、「要支援2」が3.5%となっています。



○ 認定状況 × 年齢

年齢別にみると、<65～84歳>では「一般高齢者」が8割以上、<85歳以上>では6割台と最も高くなっています。<85歳以上>では『要支援』（「要支援1」「要支援2」の計）が約3割となっています。

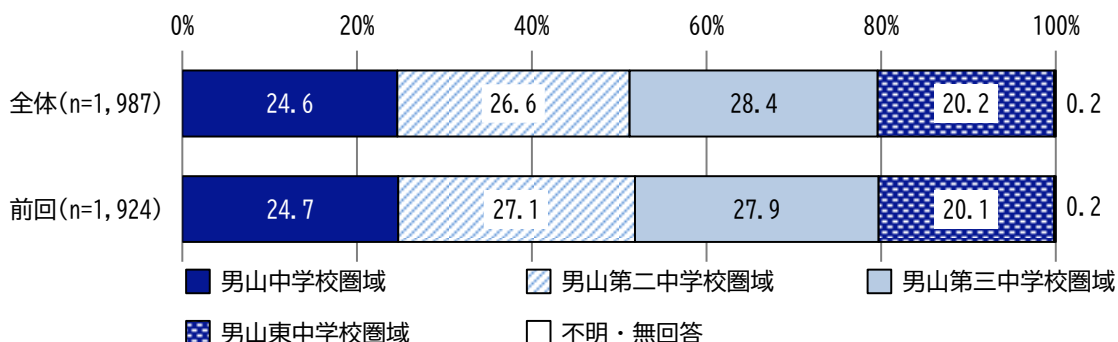
単位：%		一般高齢者	事業対象者	要支援1	要支援2	不明・無回答
全体 (n=1,987)		92.3	0.4	3.6	3.5	0.2
年齢別	65～69歳 (n=355)	98.9	0.0	0.8	0.3	0.0
	70～74歳 (n=469)	98.1	0.2	1.1	0.6	0.0
	75～79歳 (n=601)	95.5	0.3	2.3	1.8	0.0
	80～84歳 (n=376)	86.4	0.5	5.9	7.2	0.0
	85歳以上 (n=182)	68.1	1.6	15.4	14.8	0.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

○ 日常生活圏域

(回答者ID突合)

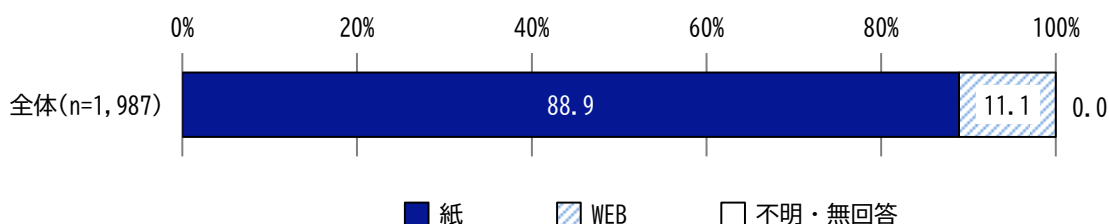
全体では「男山第三中学校圏域」が28.4%と最も高く、次いで「男山第二中学校圏域」が26.6%、「男山中学校圏域」が24.6%となっています。



○ 回答方法

(単数回答)

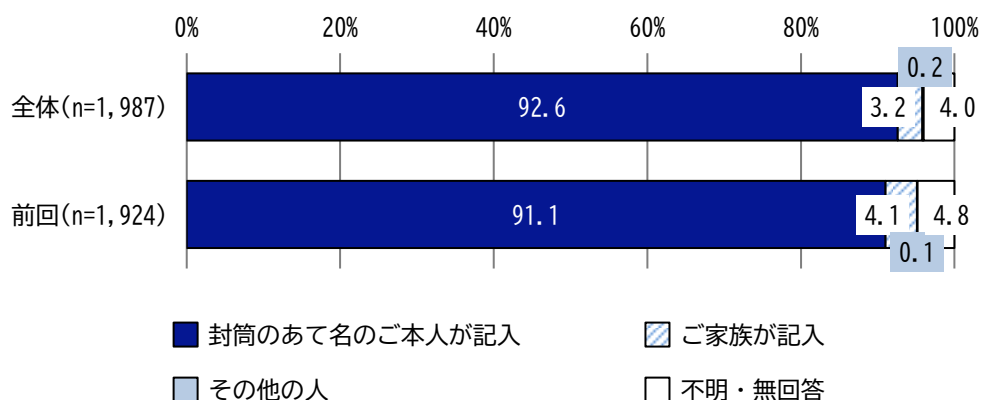
全体では「紙」が88.9%と最も高く、次いで「WEB」が11.1%となっています。



○ この調査票を記入された方は、どなたですか。

(単数回答)

全体では「封筒のあて名のご本人が記入」が92.6%と最も高く、次いで「ご家族が記入」が3.2%、「その他の人」が0.2%となっています。



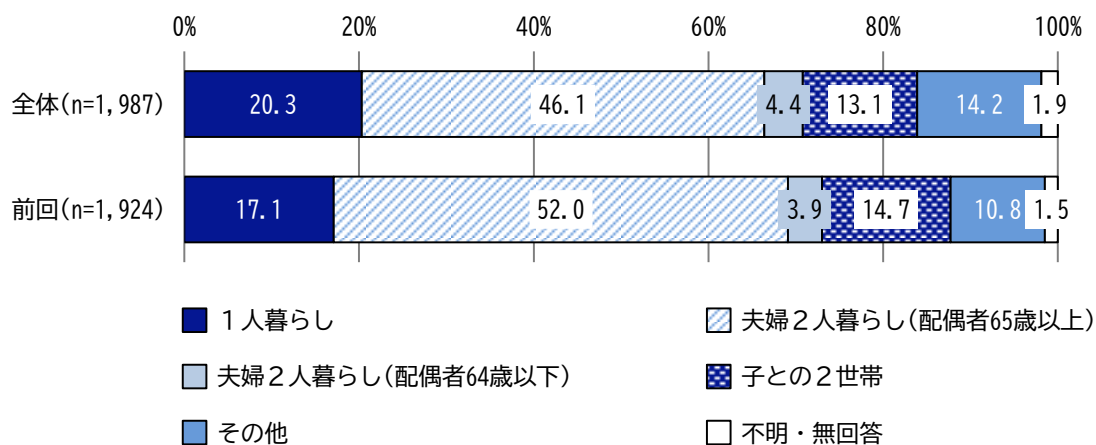
問1 ご家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください。

(単数回答)

全体では「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 46.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」が 20.3%、「その他」が 14.2%となっています。

前回調査と比較すると、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」で減少傾向がみられます。



問1 (1) 家族構成をお教えてください。× 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

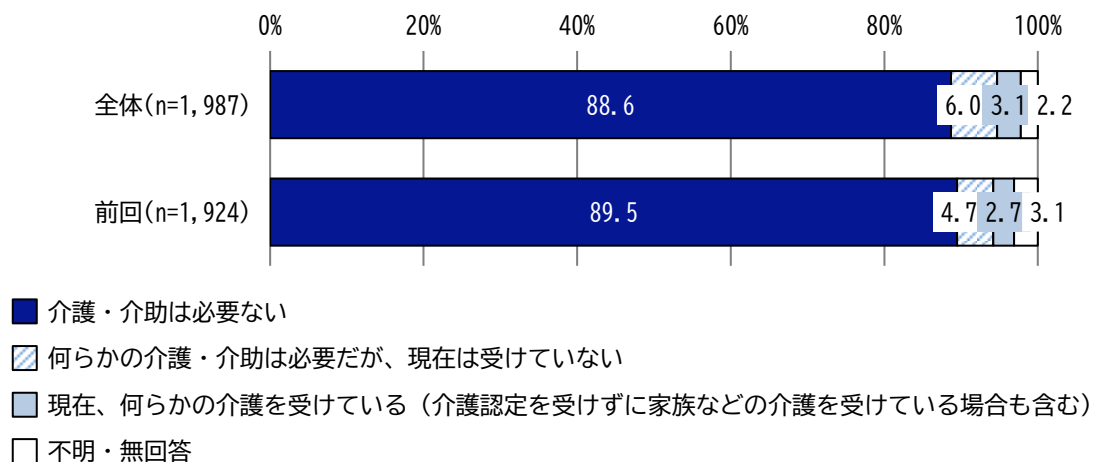
日常生活圏域別にみると、<男山東中学校圏域>では「子との2世帯」が2番目に高くなっています。

単位：%		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	子との2世帯	その他	不明・無回答
全体 (n=1,987)		20.3	46.1	4.4	13.1	14.2	1.9
年齢別	65～69歳 (n=355)	18.0	40.6	12.7	12.7	15.2	0.8
	70～74歳 (n=469)	16.2	48.4	4.1	13.0	16.6	1.7
	75～79歳 (n=601)	19.0	49.9	2.0	12.3	14.6	2.2
	80～84歳 (n=376)	25.3	46.5	1.3	14.6	10.4	1.9
	85歳以上 (n=182)	29.1	37.9	3.3	13.2	13.2	3.3
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	19.2	44.4	4.7	13.7	16.4	1.6
	男山第二中学校圏域 (n=528)	28.6	42.4	3.6	10.4	12.3	2.7
	男山第三中学校圏域 (n=565)	19.8	50.1	5.0	11.0	12.7	1.4
	男山東中学校圏域 (n=401)	11.2	47.6	4.2	18.7	16.5	1.7

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問1（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（単数回答）

全体では「介護・介助は必要ない」が88.6%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が3.1%となっています。



問1（2）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

× 年齢、日常生活圏域

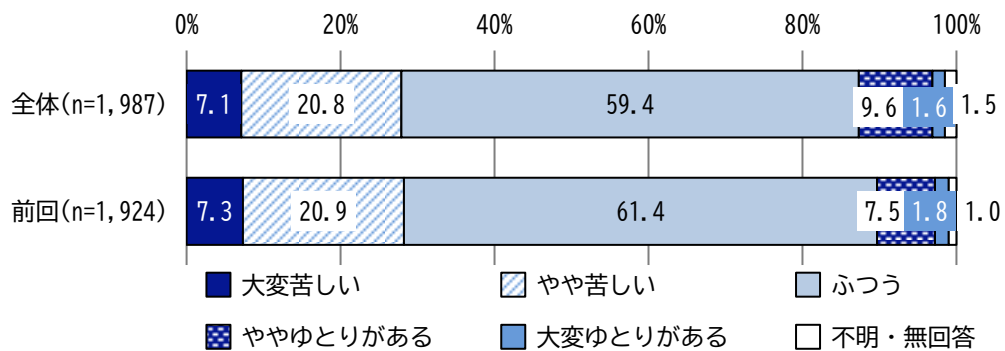
年齢別にみると、<65～79歳>では「介護・介助は必要ない」が9割以上となっています。
日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：%		介護・介助は必要ない	が、何らかの介護を受けていない必要だが、現在は介護を受けていない	現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けていないが家族などの介護を受けている場合も含む）	不明・無回答
全体 (n=1,987)		88.6	6.0	3.1	2.2
年齢別	65～69歳 (n=355)	93.5	2.5	2.5	1.4
	70～74歳 (n=469)	94.5	3.4	0.2	1.9
	75～79歳 (n=601)	90.2	5.2	2.5	2.2
	80～84歳 (n=376)	84.0	10.1	3.5	2.4
	85歳以上 (n=182)	69.2	13.7	12.6	4.4
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	88.3	6.5	3.3	1.8
	男山第二中学校圏域 (n=528)	89.6	4.7	2.5	3.2
	男山第三中学校圏域 (n=565)	88.3	6.7	3.5	1.4
	男山東中学校圏域 (n=401)	88.5	6.0	3.0	2.5

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、第3位に網掛け

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。 (単数回答)

全体では「ふつう」が59.4%と最も高く、次いで「やや苦しい」が20.8%、「ややゆとりがある」が9.6%となっています。

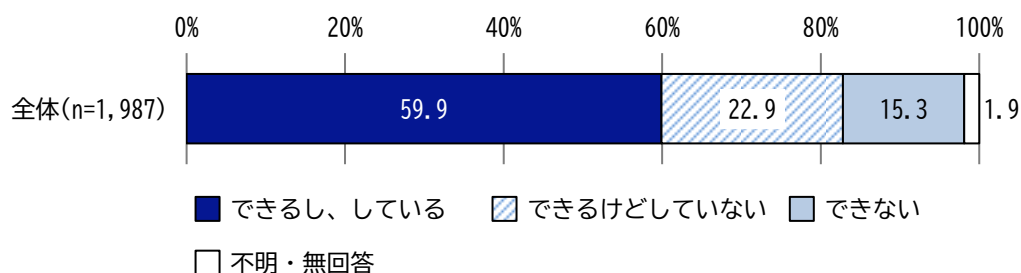


問2 からだを動かすことについて

問2以降の一部の設問を使用して生活機能評価項目別のリスク判定を行っています。76ページ「生活機能評価項目別のリスク判定について」をご覧ください。

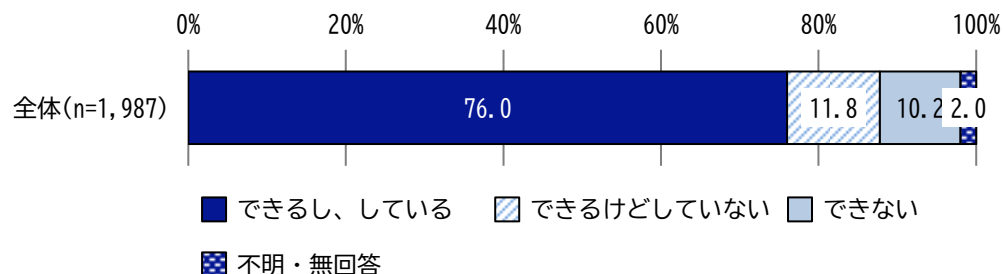
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（単数回答）

全体では「できるし、している」が59.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が22.9%、「できない」が15.3%となっています。



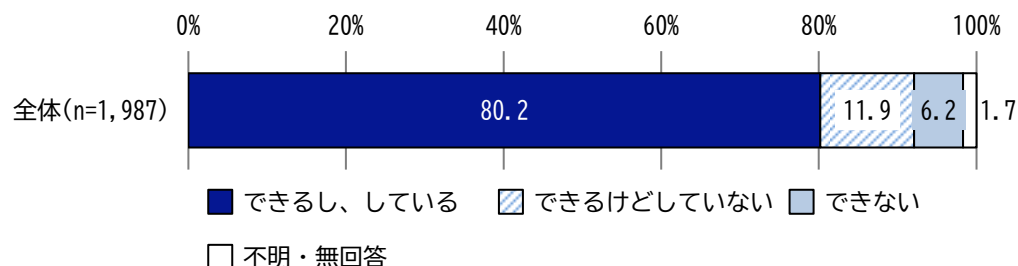
問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（単数回答）

全体では「できるし、している」が76.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が10.2%となっています。



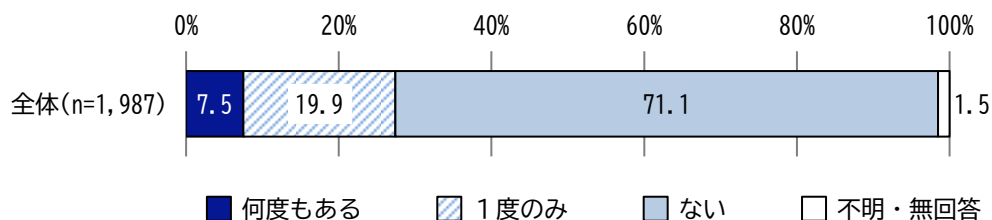
問2（3）15分位続けて歩いていますか。（単数回答）

全体では「できるし、している」が80.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が6.2%となっています。



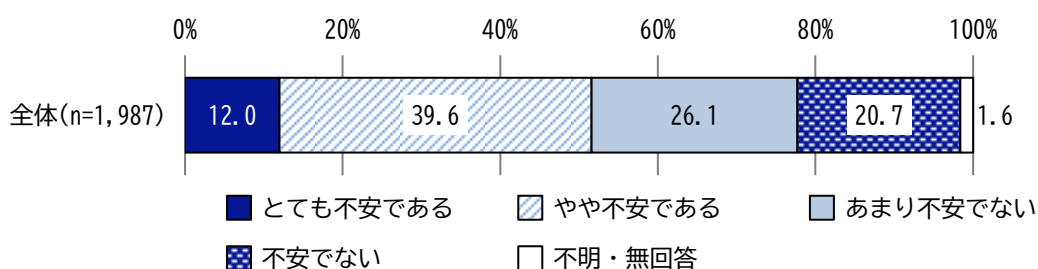
問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。 （単数回答）

全体では「ない」が71.1%と最も高く、次いで「1度のみ」が19.9%、「何度もある」が7.5%となっています。



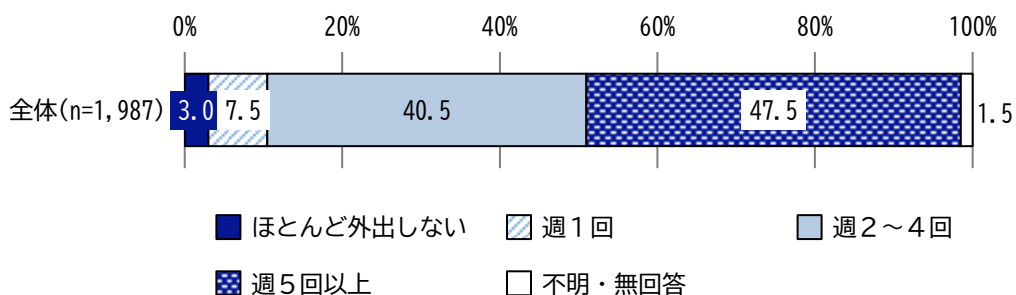
問2（5）転倒に対する不安は大きいですか。 （単数回答）

全体では「やや不安である」が39.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が26.1%、「不安でない」が20.7%となっています。



問2（6）週に何回、外出していますか。 （単数回答）

全体では「週5回以上」が47.5%と最も高く、次いで「週2～4回」が40.5%、「週1回」が7.5%となっています。

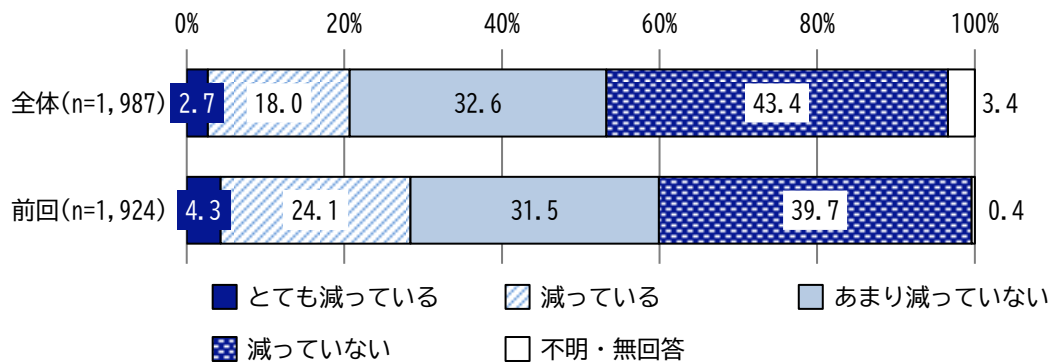


問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

（単数回答）

全体では「減っていない」が43.4%と最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.6%、「減っている」が18.0%となっています。

前回調査と比較すると、「減っている」で減少傾向がみられます。



問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<一般高齢者>では「減っていない」、<事業対象者><要支援1><要支援2>では「減っている」が最も高くなっています。

年齢別にみると、<65～84歳>では「減っていない」が最も高く、特に<65～74歳>では半数を超えています。<85歳以上>では「減っている」が最も高く、約3割となっています。

単位：%		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		2.7	18.0	32.6	43.4	3.4
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	1.9	16.3	33.2	45.5	3.1
	事業対象者 (n=8)	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0
	要支援1 (n=72)	13.9	37.5	33.3	12.5	2.8
	要支援2 (n=69)	11.6	37.7	17.4	21.7	11.6
年齢別	65～69歳 (n=355)	0.8	12.4	29.6	54.6	2.5
	70～74歳 (n=469)	1.5	12.2	29.9	53.7	2.8
	75～79歳 (n=601)	1.8	17.6	37.3	40.4	2.8
	80～84歳 (n=376)	5.1	22.9	32.7	33.5	5.9
	85歳以上 (n=182)	7.1	34.6	30.2	24.7	3.3

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

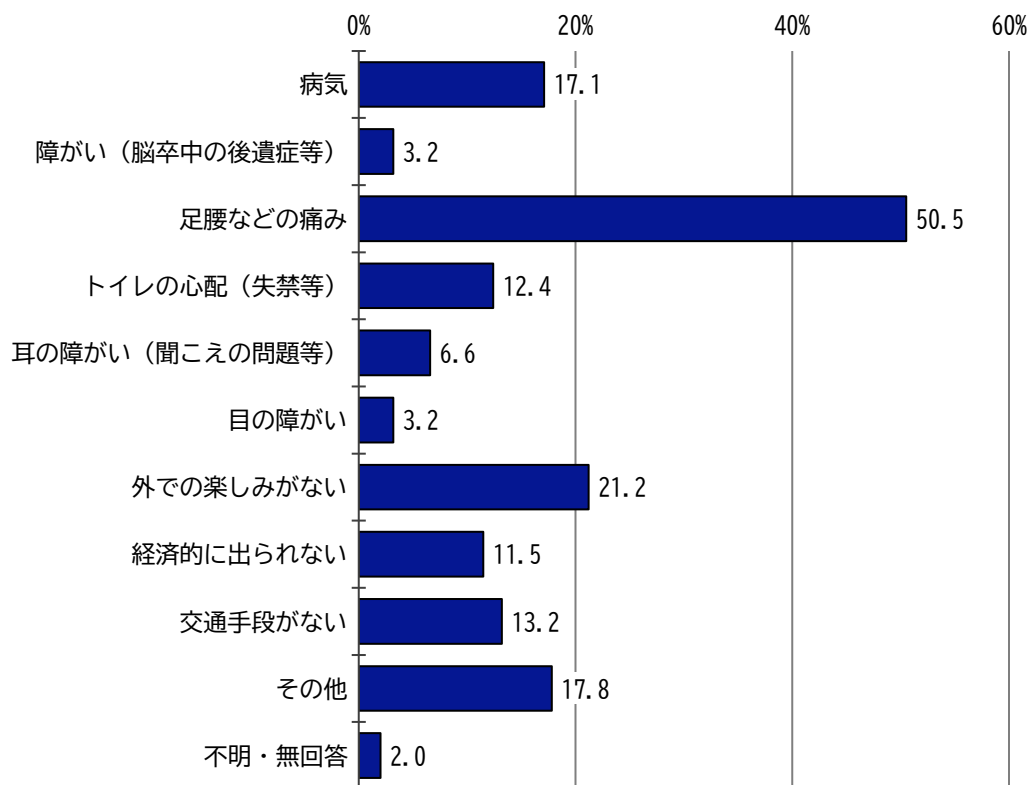
【問2（7）で「1」または「2」（外出が減っている）を選んだ方】

問2（7）-1 外出が減っている理由は、次のうちどれですか。

（複数回答）

全体では「足腰などの痛み」が50.5%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」が21.2%、「その他」が17.8%となっています。

n=410



【問2（7）で「1」または「2」（外出が減っている）を選んだ方】

問2（7）-1 外出が減っている理由は、次のうちどれですか。

× 認定状況、年齢、日常生活圏域

認定状況別にみると、<要支援1><要支援2>では、「病気」が2番目に高くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢層で「足腰などの痛み」が最も高く、特に<85歳以上>では64.5%となっています。次いで、<65～74歳><80～84歳>では「外での楽しみがない」、<75～79歳><85歳以上>では「病気」が高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

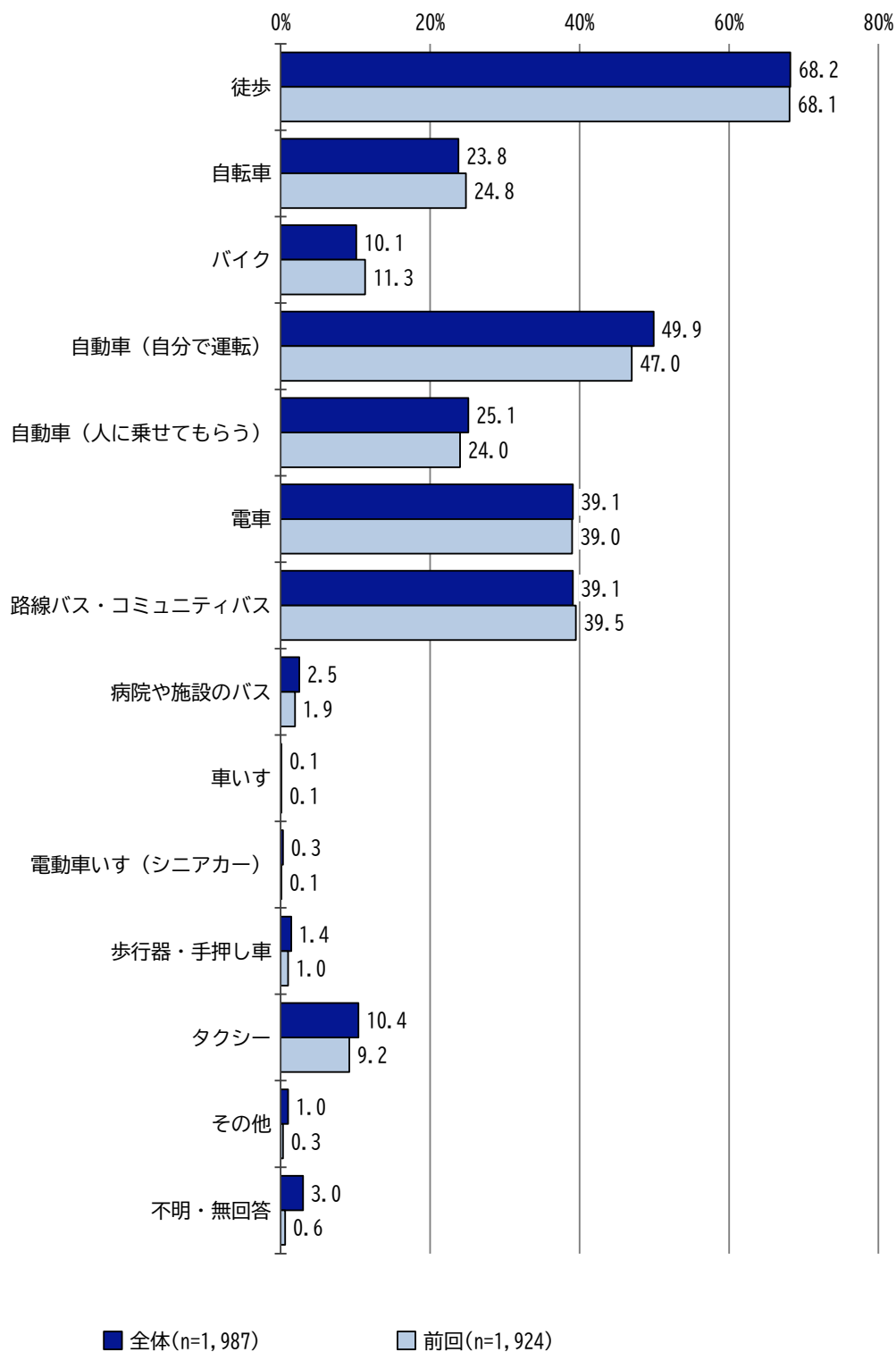
単位：%		病気	障がい (脳卒中の後遺症等)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁等)	(聞こえの問題等) 耳の障がい	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答
全体 (n=410)		17.1	3.2	50.5	12.4	6.6	3.2	21.2	11.5	13.2	17.8	2.0
認定状況別	一般高齢者 (n=334)	14.1	2.4	47.0	12.0	5.7	2.7	23.1	11.7	12.3	19.8	2.4
	事業対象者 (n=4)	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	要支援1 (n=37)	29.7	2.7	54.1	5.4	5.4	2.7	18.9	13.5	18.9	5.4	0.0
	要支援2 (n=34)	32.4	11.8	79.4	23.5	17.6	8.8	5.9	8.8	14.7	11.8	0.0
年齢別	65～69歳 (n=47)	23.4	0.0	36.2	6.4	0.0	0.0	23.4	12.8	2.1	21.3	2.1
	70～74歳 (n=64)	14.1	3.1	45.3	18.8	3.1	4.7	28.1	15.6	7.8	25.0	1.6
	75～79歳 (n=117)	22.2	5.1	48.7	9.4	4.3	1.7	15.4	12.0	10.3	21.4	1.7
	80～84歳 (n=105)	7.6	1.9	51.4	11.4	6.7	3.8	25.7	11.4	21.9	16.2	2.9
	85歳以上 (n=76)	19.7	3.9	64.5	17.1	17.1	5.3	17.1	6.6	15.8	6.6	1.3
圏域別	男山中学校圏域 (n=107)	15.9	3.7	50.5	11.2	4.7	1.9	23.4	14.0	17.8	10.3	0.9
	男山第二中学校圏域 (n=112)	18.8	2.7	50.0	14.3	5.4	3.6	25.0	12.5	12.5	17.9	0.9
	男山第三中学校圏域 (n=105)	16.2	1.9	55.2	14.3	9.5	4.8	19.0	12.4	9.5	20.0	1.9
	男山東中学校圏域 (n=85)	16.5	4.7	44.7	9.4	7.1	2.4	16.5	5.9	11.8	24.7	4.7

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問2（8）外出する際の移動手段は何ですか。

（複数回答）

全体では「徒歩」が68.2%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が49.9%、「電車」「路線バス・コミュニティバス」が39.1%となっています。



問2（8）外出する際の移動手段は何ですか。 × 認定状況、年齢、日常生活圏域

認定状況別にみると、〈一般高齢者〉では「自動車（自分で運転）」、〈要支援1〉では「路線バス・コミュニティバス」、〈要支援2〉では「自動車（人に乗せてもらう）」が2番目に高くなっています。

年齢別にみると、〈65～79歳〉では「自動車（自分で運転）」、〈80歳以上〉では「路線バス・コミュニティバス」が2番目に高くなっています。

日常生活圏域別にみると、〈男山東中学校圏域〉では「自動車（自分で運転）」が最も高く、約6割となっています。その他の圏域では、「徒歩」が最も高く、次いで、〈男山中学校圏域〉〈男山第三中学校圏域〉では「自動車（自分で運転）」、〈男山第二中学校圏域〉では「路線バス・コミュニティバス」が高くなっています。

単位：%		徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス・コミュニティバス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（シニアカー）	歩行器・手押し車	タクシー	その他	不明・無回答
全体（n=1,987）		68.2	23.8	10.1	49.9	25.1	39.1	39.1	2.5	0.1	0.3	1.4	10.4	1.0	3.0
認定状況別	一般高齢者（n=1,834）	69.0	25.0	10.6	52.6	23.9	40.5	38.9	1.6	0.1	0.1	0.4	8.9	0.8	2.9
	事業対象者（n=8）	100.0	25.0	0.0	12.5	50.0	37.5	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	要支援1（n=72）	63.9	11.1	5.6	19.4	36.1	25.0	50.0	11.1	0.0	0.0	12.5	25.0	4.2	1.4
	要支援2（n=69）	47.8	2.9	2.9	14.5	44.9	15.9	29.0	14.5	0.0	4.3	14.5	34.8	2.9	7.2
年齢別	65～69歳（n=355）	69.6	25.6	15.5	67.6	23.9	44.2	30.7	1.7	0.0	0.3	0.0	6.8	0.6	2.3
	70～74歳（n=469）	70.8	24.5	10.0	62.5	25.4	42.9	39.0	1.1	0.0	0.2	0.6	5.8	1.1	2.8
	75～79歳（n=601）	66.1	25.6	10.6	49.6	25.0	38.8	38.3	2.2	0.0	0.2	0.7	7.8	1.2	2.7
	80～84歳（n=376）	70.5	23.9	7.7	31.6	23.4	32.4	44.7	4.0	0.3	0.5	2.1	14.6	1.1	4.8
	85歳以上（n=182）	61.5	11.0	2.7	21.4	31.3	34.1	46.2	5.5	0.5	0.0	6.6	29.7	1.1	2.2
圏域別	男山中学校圏域（n=489）	60.9	32.1	11.0	48.5	24.9	36.8	29.2	2.7	0.0	0.6	1.4	9.2	1.2	3.9
	男山第二中学校圏域（n=528）	72.3	21.4	10.4	44.5	24.1	37.1	49.1	2.7	0.2	0.2	0.9	9.8	0.8	1.7
	男山第三中学校圏域（n=565）	76.6	19.1	11.2	47.1	24.6	45.5	43.9	2.7	0.2	0.2	1.6	13.3	1.2	2.3
	男山東中学校圏域（n=401）	59.9	22.9	7.0	62.6	27.7	35.4	30.9	1.7	0.0	0.0	1.5	8.7	0.7	4.5

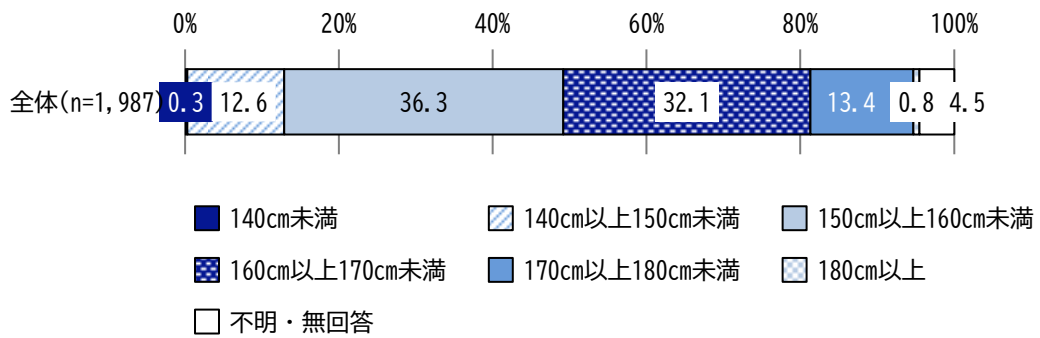
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

問3 食べることについて

問3 (1) 身長をご記入ください。

(数量回答)

全体では「150cm以上160cm未満」が36.3%と最も高く、次いで「160cm以上170cm未満」が32.1%、「170cm以上180cm未満」が13.4%となっています。

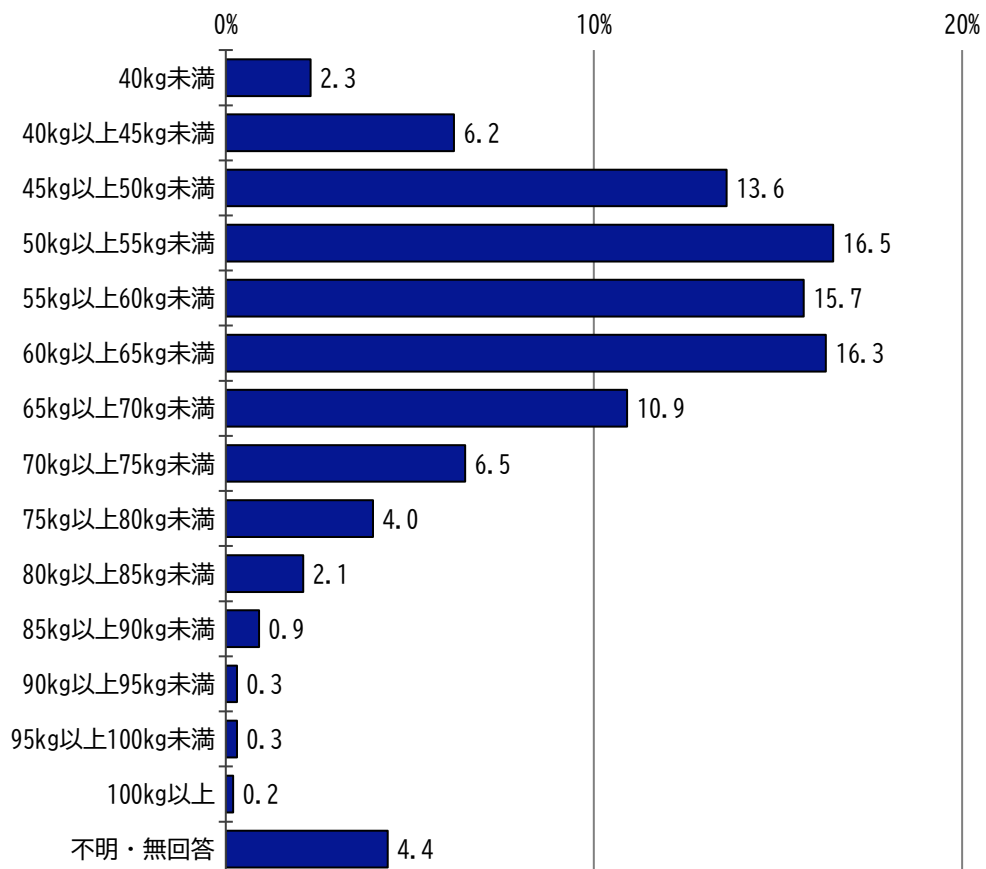


問3 (1) 体重をご記入ください。

(数量回答)

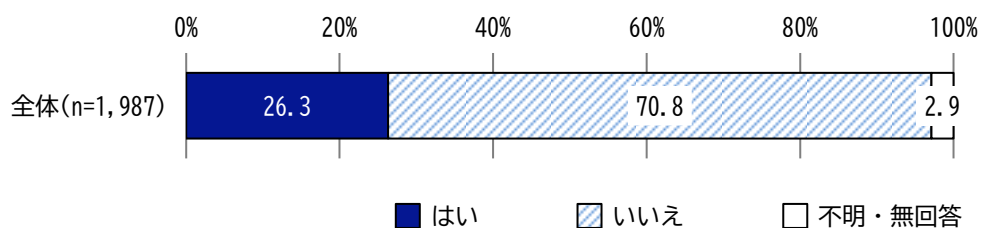
全体では「50kg以上55kg未満」が16.5%と最も高く、次いで「60kg以上65kg未満」が16.3%、「55kg以上60kg未満」が15.7%となっています。

n=1,987



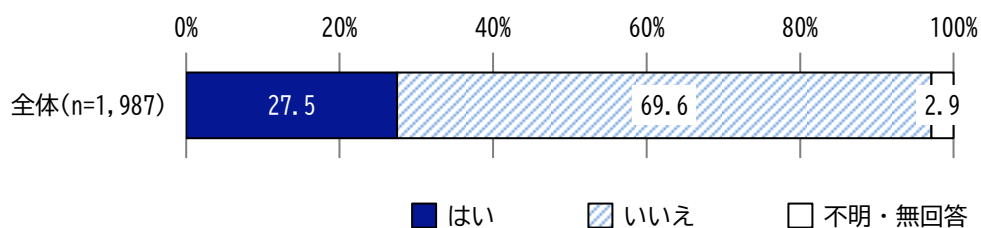
問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（単数回答）

全体では「いいえ」が70.8%と最も高く、次いで「はい」が26.3%となっています。



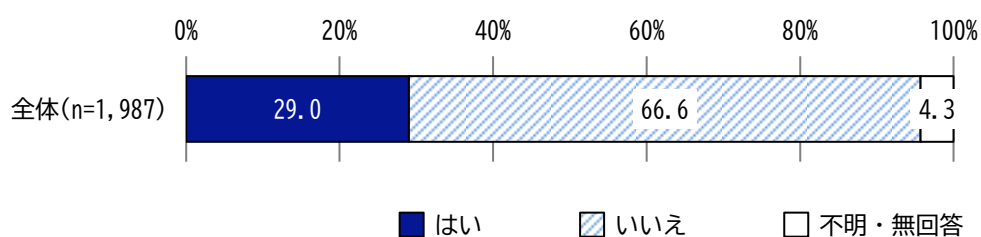
問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか。（単数回答）

全体では「いいえ」が69.6%と最も高く、次いで「はい」が27.5%となっています。



問3（4）口の渇きが気になりますか。（単数回答）

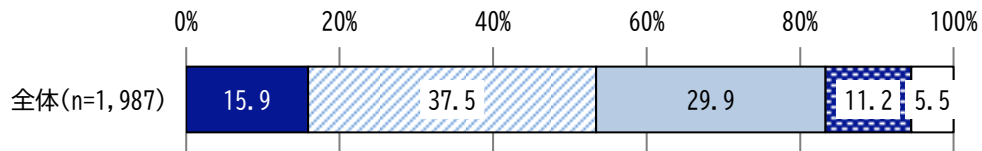
全体では「いいえ」が66.6%と最も高く、次いで「はい」が29.0%となっています。



問3（5）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

（単数回答）

全体では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.5%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.9%となっています。

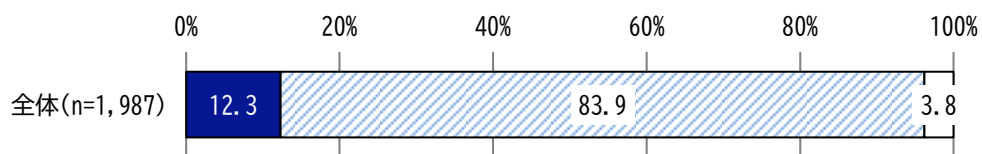


- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 不明・無回答

問3（6）6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

（単数回答）

全体では「いいえ」が83.9%と最も高く、次いで「はい」が12.3%となっています。

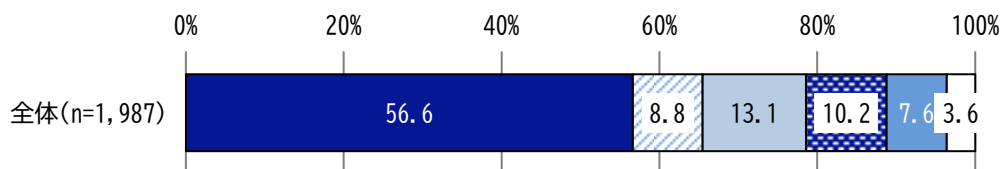


- はい
- ▨ いいえ
- 不明・無回答

問3（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。

（単数回答）

全体では「毎日ある」が56.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が13.1%、「年に何度かある」が10.2%となっています。



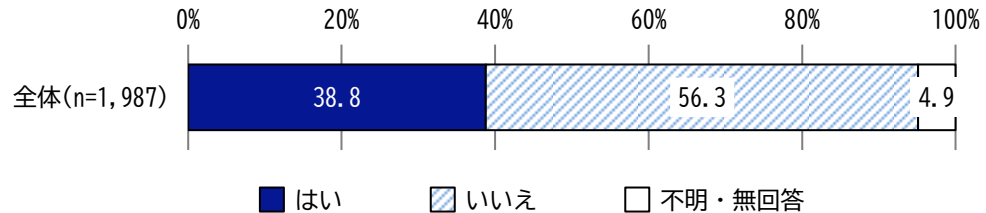
- 毎日ある
- ▨ 週に何度かある
- 月に何度かある
- ▨ 年に何度かある
- ほとんどない
- 不明・無回答

問4 毎日の生活について

問4（1）物忘れが多いと感じますか

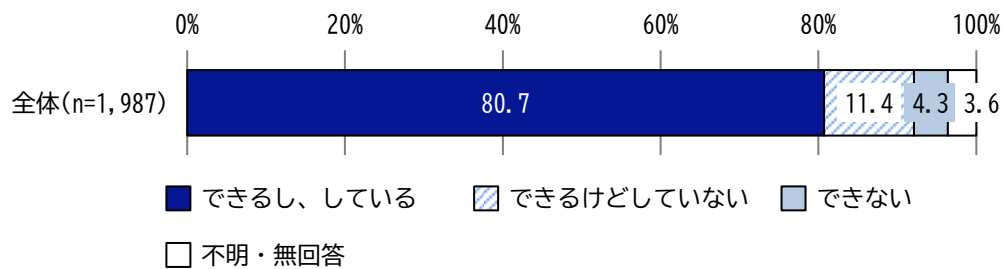
（単数回答）

全体では「いいえ」が56.3%と最も高く、次いで「はい」が38.8%となっています。



問4（2）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（単数回答）

全体では「できるし、している」が80.7%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.4%、「できない」が4.3%となっています。



問4（2）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

× 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、<85歳以上>では「できない」が2番目に高くなっています。
日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

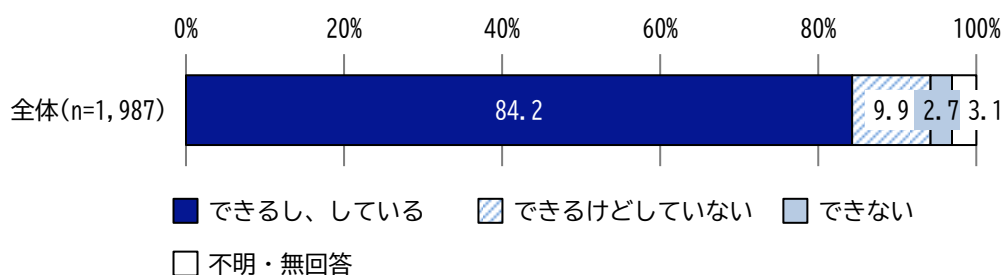
単位：%		できるし、 している	できるけど していない	できない	不明・ 無回答
全体 (n=1,987)		80.7	11.4	4.3	3.6
年齢別	65～69歳 (n=355)	85.9	9.6	2.5	2.0
	70～74歳 (n=469)	86.8	7.9	2.3	3.0
	75～79歳 (n=601)	80.2	13.8	2.8	3.2
	80～84歳 (n=376)	74.2	13.6	6.1	6.1
	85歳以上 (n=182)	69.2	11.5	14.3	4.9
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	75.3	14.7	5.3	4.7
	男山第二中学校圏域 (n=528)	82.6	10.6	4.5	2.3
	男山第三中学校圏域 (n=565)	83.5	10.1	3.4	3.0
	男山東中学校圏域 (n=401)	80.5	10.2	4.2	5.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問4（3）自分で食品・日用品の買物をしていますか

（単数回答）

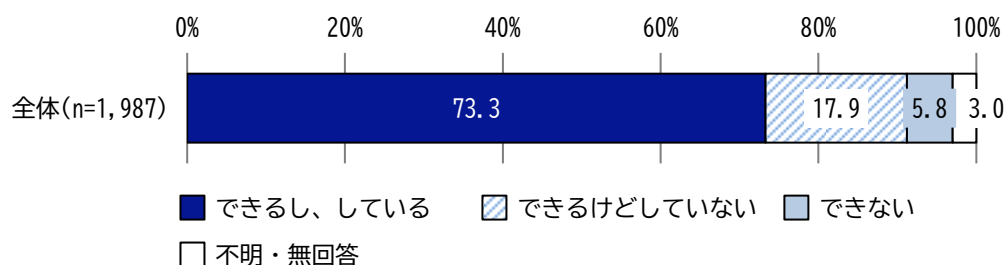
全体では「できるし、している」が84.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が2.7%となっています。



問4（4）自分で食事の用意をしていますか

（単数回答）

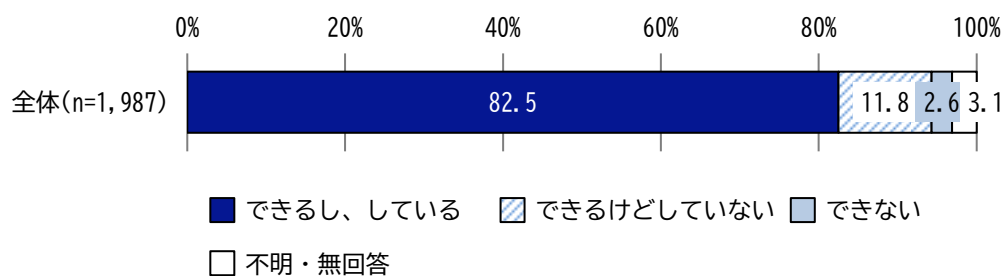
全体では「できるし、している」が73.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.9%、「できない」が5.8%となっています。



問4（5）自分で請求書の支払いをしていますか

（単数回答）

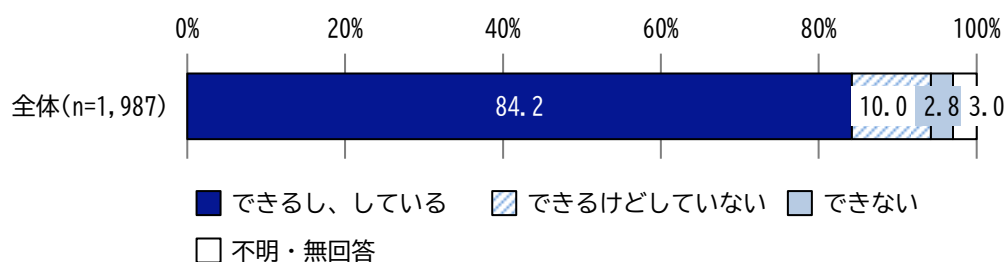
全体では「できるし、している」が82.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が2.6%となっています。



問4（6）自分で預貯金の出し入れをしていますか

（単数回答）

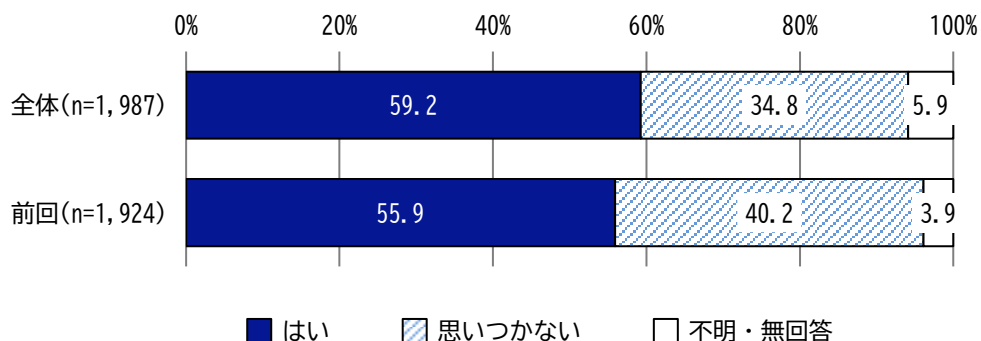
全体では「できるし、している」が84.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.0%、「できない」が2.8%となっています。



問4（7）生きがいがありますか

（単数回答）

全体では「はい」が59.2%と最も高く、次いで「思いつかない」が34.8%となっています。前回調査と比較すると、「思いつかない」で減少傾向がみられます。



問4（7）生きがいがありますか × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<要支援2>では「思いつかない」が最も高くなっています。

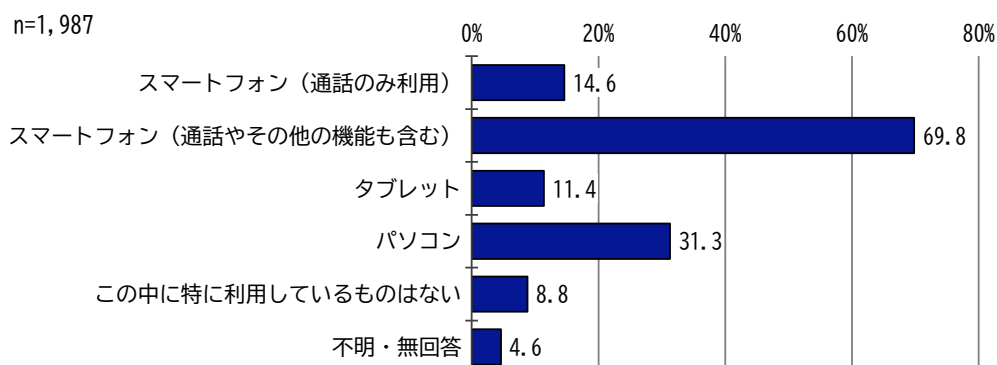
年齢別にみると、<80歳以上>では、「はい」が最も高いものの、「思いつかない」も約4割となっています。

単位：%		はい	思いつかない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		59.2	34.8	5.9
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	60.5	33.9	5.6
	事業対象者 (n=8)	50.0	50.0	0.0
	要支援1 (n=72)	48.6	43.1	8.3
	要支援2 (n=69)	36.2	50.7	13.0
年齢別	65～69歳 (n=355)	65.6	31.5	2.8
	70～74歳 (n=469)	64.2	32.0	3.8
	75～79歳 (n=601)	59.9	34.6	5.5
	80～84歳 (n=376)	50.0	39.6	10.4
	85歳以上 (n=182)	50.0	40.1	9.9

◇回答の高いものを第1位、第2位、第3位に網掛け

問4（8）あなたが、日常的に利用している電子端末について教えてください。（複数回答）

全体では「スマートフォン（通話やその他の機能も含む）」が69.8%と最も高く、次いで「パソコン」が31.3%、「スマートフォン（通話のみ利用）」が14.6%となっています。



問4（8）あなたが、日常的に利用している電子端末について教えてください。× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<一般高齢者>では「パソコン」、<要支援1><要支援2>では「スマートフォン（通話のみ利用）」が2番目に高くなっています。

年齢別にみると、いずれも「スマートフォン（通話やその他の機能も含む）」が最も高く、<65～74歳>では8割台を占め、<80歳以上>では4割～5割程度となっています。次いで<85歳以上>では「この中に特に利用しているものはない」が2番目に高くなっています。

単位：%		スマートフォン（通話のみ利用）	スマートフォン（通話やその他の機能も含む）	タブレット	パソコン	この中に特に利用しているものはない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		14.6	69.8	11.4	31.3	8.8	4.6
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	13.9	71.5	11.8	32.6	8.2	4.3
	事業対象者 (n=8)	37.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5
	要支援1 (n=72)	18.1	55.6	5.6	16.7	16.7	5.6
	要支援2 (n=69)	27.5	42.0	7.2	17.4	15.9	10.1
年齢別	65～69歳 (n=355)	7.6	84.8	21.1	41.1	4.5	2.5
	70～74歳 (n=469)	9.4	82.3	13.4	36.7	3.4	3.2
	75～79歳 (n=601)	16.1	70.9	9.8	29.8	6.8	4.3
	80～84歳 (n=376)	23.4	51.6	4.8	24.2	14.6	6.9
	85歳以上 (n=182)	18.7	41.8	6.0	18.7	25.3	8.2

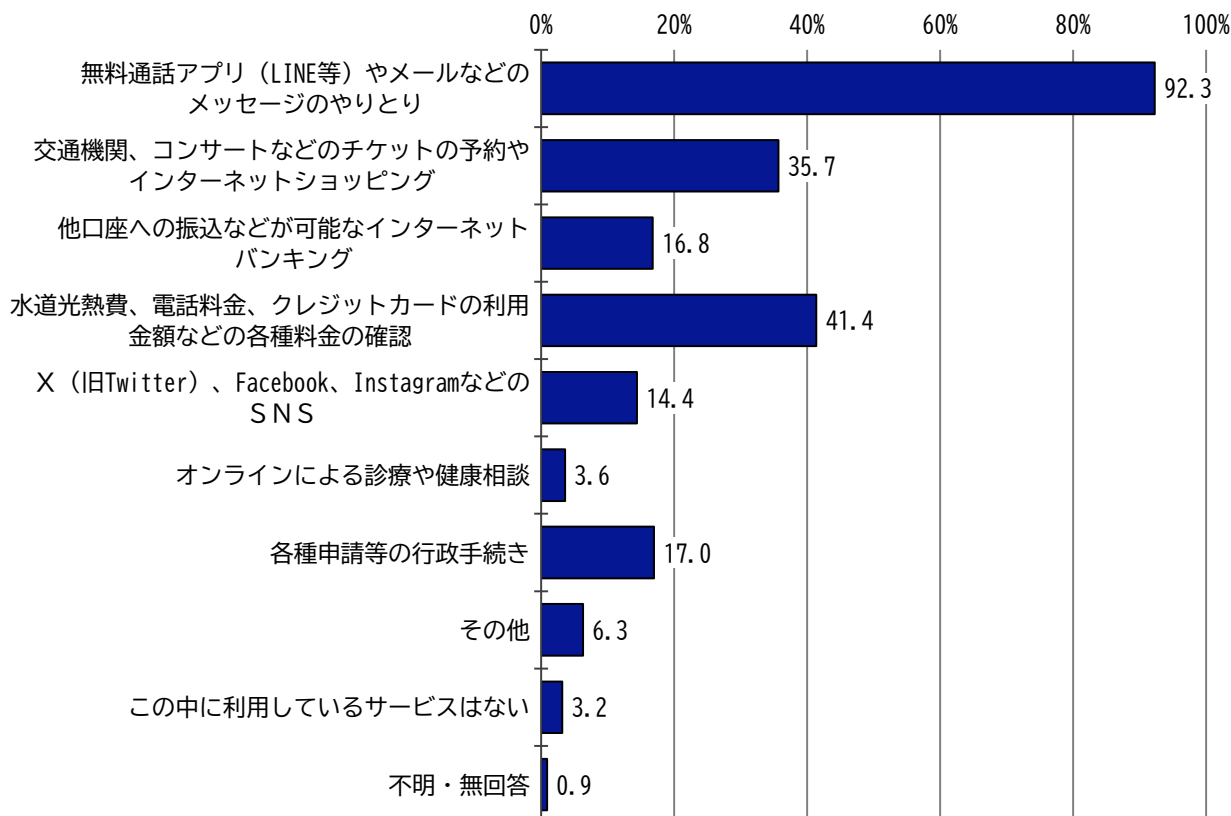
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

【問4（8）で「この中に特に利用しているものはない」以外（電子端末利用中）を選んだ方】

問4（8）-1 どのようなサービスを利用していますか。（複数回答）

全体では「無料通話アプリ（LINE等）やメールなどのメッセージのやりとり」が92.3%と最も高く、次いで「水道光熱費、電話料金、クレジットカードの利用金額などの各種料金の確認」が41.4%、「交通機関、コンサートなどのチケットの予約やインターネットショッピング」が35.7%となっています。

n=1,491



【問4（8）で「この中に特に利用しているものはない」以外（電子端末利用中）を選んだ方】

問4（8）-1 どのようなサービスを利用していますか。 × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別にみると、<65～69歳>では「交通機関、コンサートなどのチケットの予約やインターネットショッピング」が2番目に高くなっています。

単位：%		無料通話アプリ（LINE等）やメールなどのメッセージ	交通機関、コンサートなどのチケットの予約やインターネットショッピング	口座への振込などが可能なインターネットバンキング	金額などの各種料金の確認	水道光熱費、電話料金、クレジットなどの利用	INSAGRAM	Facebook、Twitter、X（旧Twitter）	オンラインによる診療や健康相談	各種申請等の行政手続き	その他	この中に利用しているサービスはない	不明・無回答
全体（n=1,491）		92.3	35.7	16.8	41.4		14.4		3.6	17.0	6.3	3.2	0.9
認定状況別	一般高齢者（n=1,407）	92.3	37.2	17.3	41.8		15.1		3.8	17.6	6.3	3.1	0.9
	事業対象者（n=3）	100.0	33.3	0.0	66.7		0.0		0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	要支援1（n=44）	90.9	9.1	13.6	34.1		4.5		2.3	6.8	9.1	4.5	2.3
	要支援2（n=34）	94.1	14.7	2.9	32.4		2.9		0.0	8.8	5.9	5.9	0.0
年齢別	65～69歳（n=316）	95.9	58.9	31.6	51.9		29.1		6.0	28.8	5.4	1.6	0.0
	70～74歳（n=407）	93.4	42.0	17.7	43.7		16.0		3.9	19.2	5.9	2.9	0.7
	75～79歳（n=456）	92.8	27.6	11.6	38.8		8.8		2.4	11.6	6.6	3.3	1.5
	80～84歳（n=217）	86.6	18.0	10.1	32.7		6.9		3.2	12.0	7.4	5.1	1.4
	85歳以上（n=92）	85.9	12.0	3.3	28.3		3.3		1.1	6.5	7.6	5.4	1.1

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

問5 地域での活動や就労について

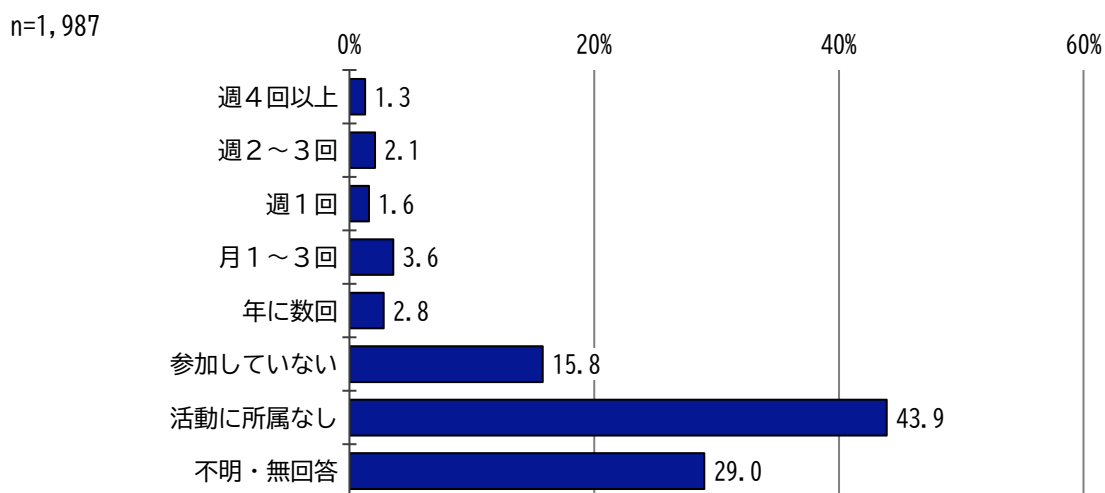
問5（1）以下①～⑧のようなサークル・グループ活動等への所属の有無や頻度について、お答えください。

※「参加していない」はサークル活動等に所属しているが、活動に参加していないこと。
「活動に所属なし」は活動にサークル活動等に所属していないこと。

問5①ボランティアのグループ

（単数回答）

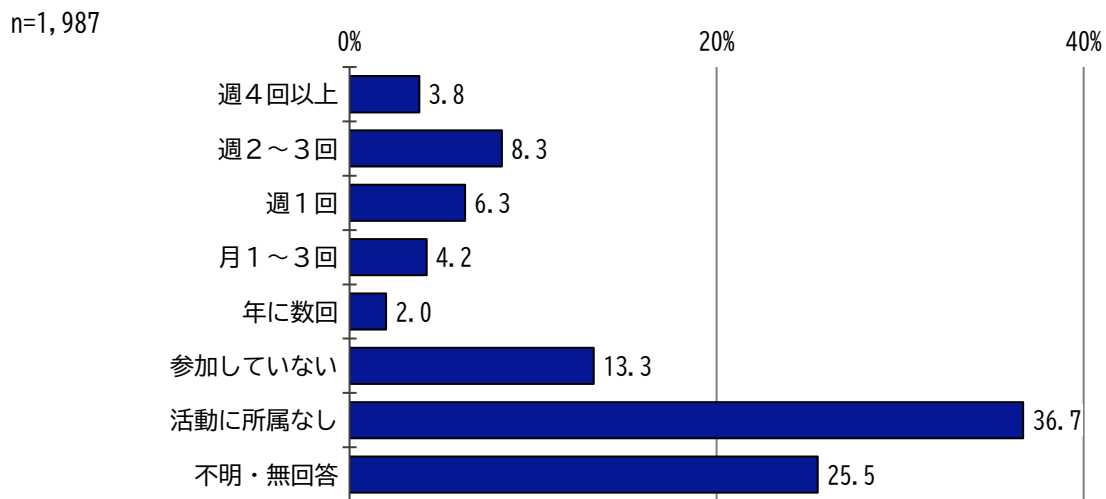
全体では「活動に所属なし」が43.9%と最も高く、次いで「参加していない」が15.8%、「月1～3回」が3.6%となっています。



問5②スポーツ関係のグループやクラブ

(単数回答)

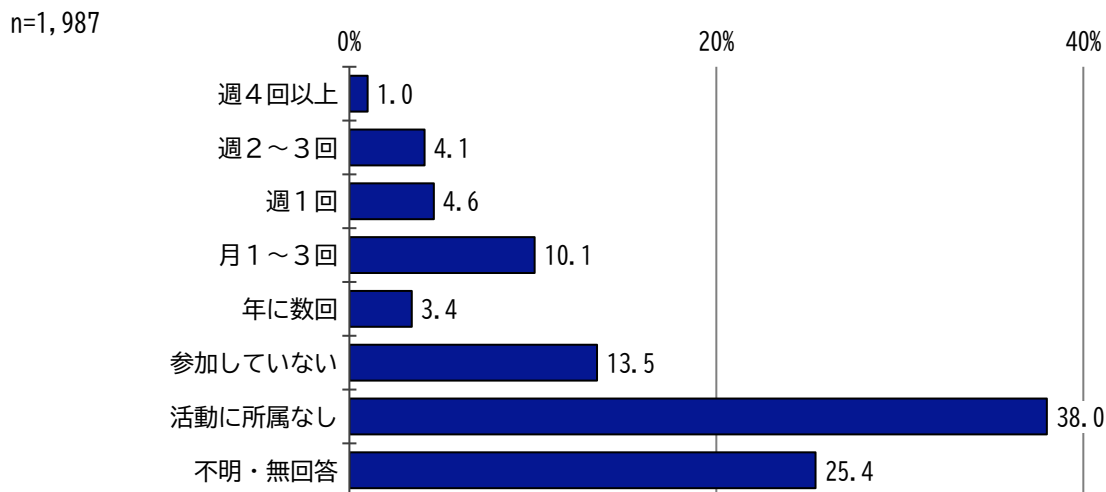
全体では「活動に所属なし」が36.7%と最も高く、次いで「参加していない」が13.3%、「週2～3回」が8.3%となっています。



問5③趣味関係のグループ

(単数回答)

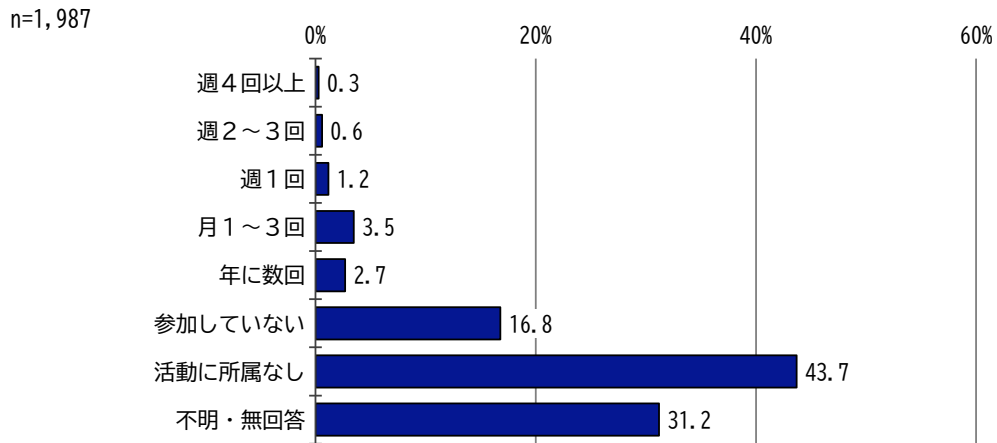
全体では「活動に所属なし」が38.0%と最も高く、次いで「参加していない」が13.5%、「月1～3回」が10.1%となっています。



問5④学習・教養サークル

(単数回答)

全体では「活動に所属なし」が43.7%と最も高く、次いで「参加していない」が16.8%、「月1～3回」が3.5%となっています。

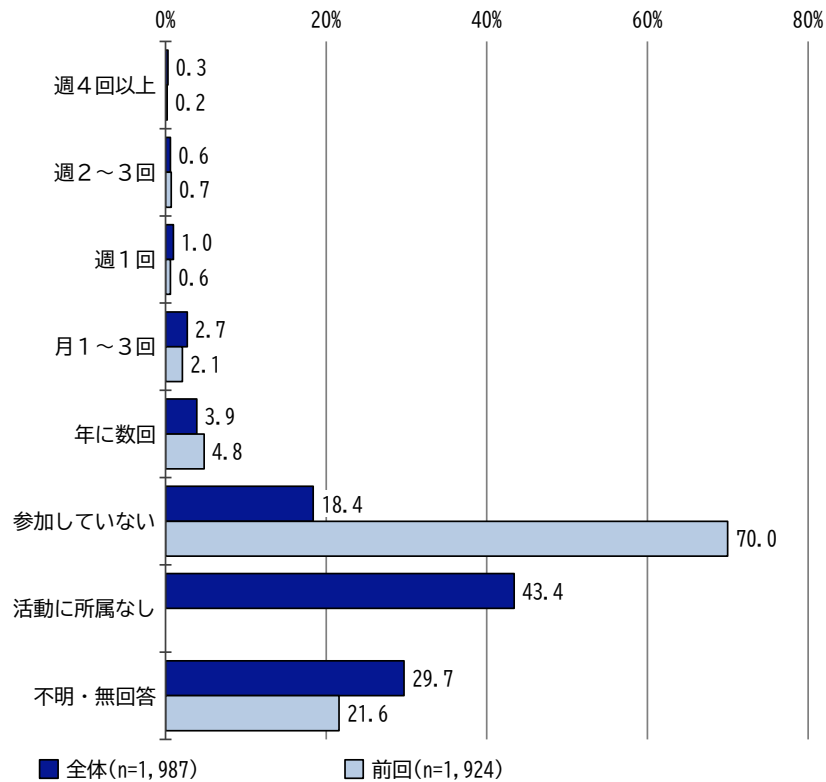


問5⑤老人クラブ

(単数回答)

全体では「活動に所属なし」が43.4%と最も高く、次いで「参加していない」が18.4%、「年に数回」が3.9%となっています。

前回調査と比較すると、『参加あり』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は今回8.5%、前回8.4%と、大きな傾向の変化はみられません。



※「活動に所属なし」は今回のみの選択肢

問5⑤老人クラブ × 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、すべての区分で「活動に所属なし」が最も高く、＜65～74歳＞で半数以上、＜80歳以上＞で2～3割程度となっています。また、＜80歳以上＞で『参加あり』は1割半ばとなっています。

日常生活圏域別にみると、＜男山東中学校圏域＞では『参加あり』が1割台、その他の圏域では1割未満となっています。

単位：%		参加あり					参加していない	活動に所属なし	不明・無回答	(参加あり) 再掲
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体 (n=1,987)		0.3	0.6	1.0	2.7	3.9	18.4	43.4	29.7	8.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	0.0	0.0	0.3	0.0	2.3	22.8	60.3	14.4	2.6
	70～74歳 (n=469)	0.0	0.6	0.4	2.1	3.2	21.1	50.7	21.7	6.3
	75～79歳 (n=601)	0.3	0.3	1.2	2.7	3.3	18.0	40.6	33.6	7.8
	80～84歳 (n=376)	0.3	1.1	2.1	5.1	6.1	14.9	32.7	37.8	14.7
	85歳以上 (n=182)	1.6	1.1	0.5	4.9	6.0	11.5	22.5	51.6	14.1
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	0.2	0.4	1.0	2.2	2.7	16.4	43.8	33.3	6.5
	男山第二中学校圏域 (n=528)	0.4	1.1	0.9	1.3	2.5	20.1	43.8	29.9	6.2
	男山第三中学校圏域 (n=565)	0.2	0.5	1.1	4.4	1.9	18.1	45.1	28.7	8.1
	男山東中学校圏域 (n=401)	0.5	0.0	0.7	2.7	10.0	19.2	39.9	26.9	13.9

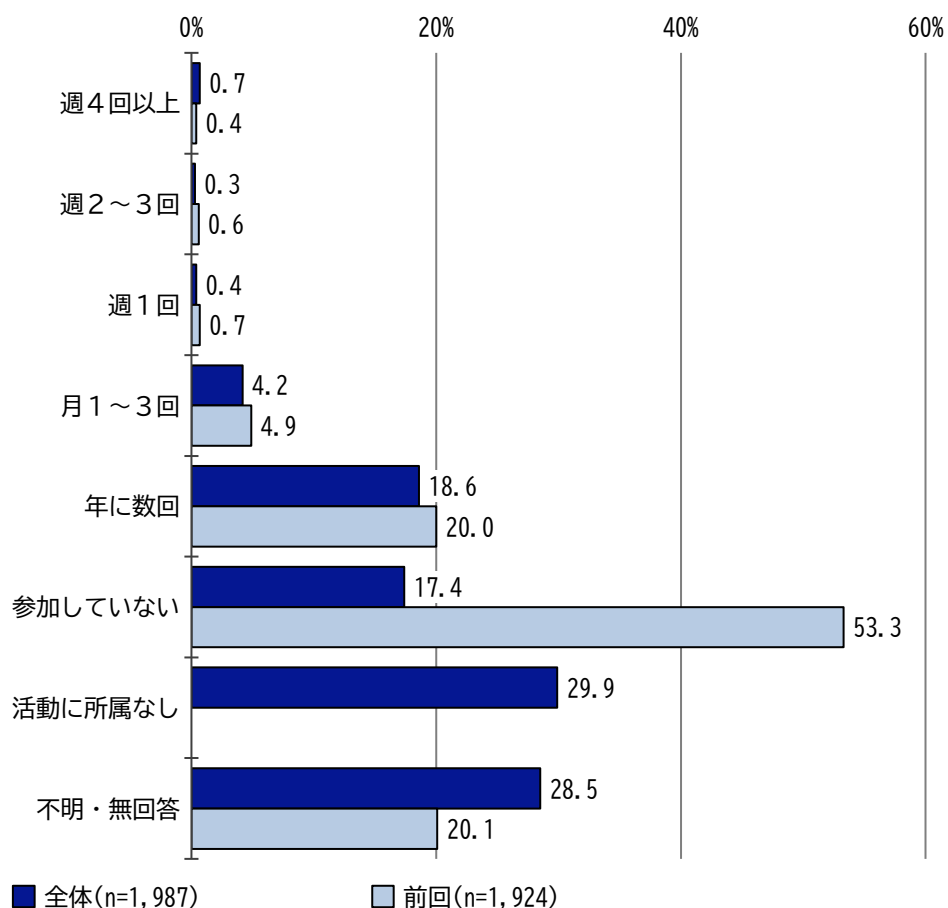
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

問5⑥町内会・自治会

(単数回答)

全体では「活動に所属なし」が29.9%と最も高く、次いで「年に数回」が18.6%、「参加していない」が17.4%となっています。

前回調査と比較すると、『参加あり』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は今回24.2%、前回26.6%と、大きな傾向の変化はみられません。



※「活動に所属なし」は今回のみの選択肢

問5⑥町内会・自治会 × 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、すべての区分で「活動に所属なし」が最も高く、特に<65～74歳>では3割半ばとなっています。『参加あり』は<65～79歳>で2割半ば、<85歳以上>で1割半ばとなっています。

日常生活圏域別にみると、<男山東中学校圏域>では「年に数回」が最も高くなっています。その他の圏域では、「活動に所属なし」が最も高く、特に<男山中学校圏域><男山第二中学校圏域>では3割台となっています。

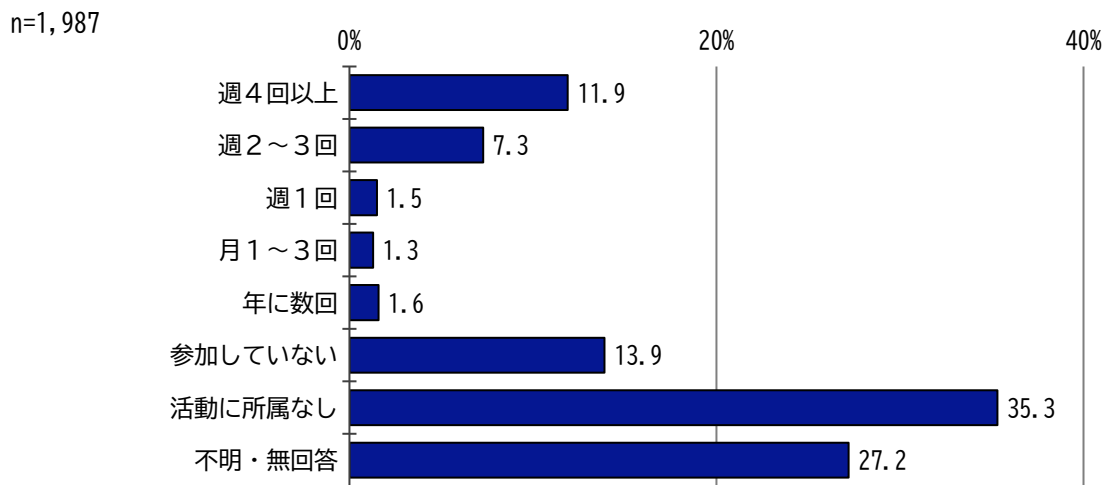
単位：%		参加あり					参加していない	活動に所属なし	不明・無回答	(参加あり再掲)
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体 (n=1,987)		0.7	0.3	0.4	4.2	18.6	17.4	29.9	28.5	24.2
年齢別	65～69歳 (n=355)	0.8	0.0	0.0	4.2	21.1	26.2	35.5	12.1	26.1
	70～74歳 (n=469)	0.2	0.4	0.4	5.3	20.3	17.7	35.6	20.0	26.6
	75～79歳 (n=601)	0.5	0.2	0.3	3.5	19.8	15.6	28.0	32.1	24.3
	80～84歳 (n=376)	1.6	0.8	1.1	3.2	15.4	14.1	25.8	38.0	22.1
	85歳以上 (n=182)	0.0	0.0	0.0	4.9	12.6	12.1	19.2	51.1	17.5
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	0.6	0.0	0.0	0.8	16.6	15.7	32.5	33.7	18.0
	男山第二中学校圏域 (n=528)	0.8	0.8	1.1	4.5	15.0	19.7	32.4	25.8	22.2
	男山第三中学校圏域 (n=565)	0.7	0.0	0.2	4.4	18.6	18.4	29.7	28.0	23.9
	男山東中学校圏域 (n=401)	0.5	0.5	0.2	7.2	26.2	15.0	23.7	26.7	34.6

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問5⑦収入のある仕事

(単数回答)

全体では「活動に所属なし」が35.3%と最も高く、次いで「参加していない」が13.9%、「週4回以上」が11.9%となっています。



問5⑦収入のある仕事 × 年齢

全体では「活動に所属なし」が35.3%と最も高く、次いで「参加していない」が13.9%、「週4回以上」が11.9%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「活動に所属なし」が最も高く、次いで、<65~74歳>では「週4回以上」、<75歳以上>では「参加していない」が高くなっています。

単位：%		参加あり					参加していない	活動に所属なし	不明・無回答	(再掲あり)
		週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回				
全体 (n=1,987)		11.9	7.3	1.5	1.3	1.6	13.9	35.3	27.2	23.6
年齢別	65~69歳 (n=355)	30.1	12.1	2.0	2.0	1.4	9.3	34.1	9.0	47.6
	70~74歳 (n=469)	15.6	10.2	1.5	1.7	1.5	15.1	36.7	17.7	30.5
	75~79歳 (n=601)	6.8	7.2	2.0	1.0	2.7	14.0	36.6	29.8	19.7
	80~84歳 (n=376)	3.5	2.7	0.8	1.1	0.8	15.4	37.0	38.8	8.9
	85歳以上 (n=182)	1.1	1.1	0.0	0.5	0.0	15.9	26.4	54.9	2.7

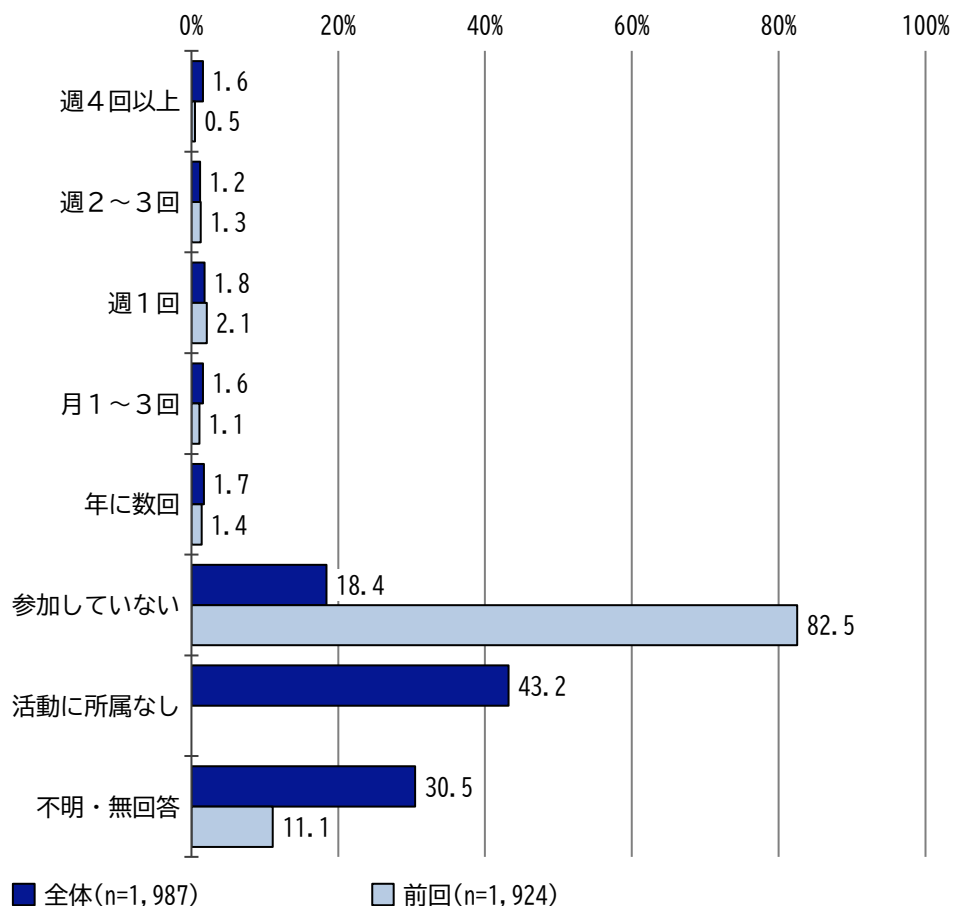
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問5⑧脳にいいトレ、今からはじめる筋トレ講座など

(単数回答)

全体では「活動に所属なし」が43.2%と最も高く、次いで「参加していない」が18.4%、「週1回」が1.8%となっています。

前回調査と比較すると、『参加あり』(「週4回以上」～「年に数回」の計)は今回7.9%、前回6.4%と、大きな傾向の変化はみられません。



※「活動に所属なし」は今回のみの選択肢

問5⑧脳にいいトレ、今からはじめる筋トレ講座など × 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、すべての区分で「活動に所属なし」が最も高く、特に<65～74歳>では半数以上となっています。『参加あり』は<65～74歳>で1割未満、<85歳以上>で1割半ばとなっています。

日常生活圏域別にみると、『参加あり』は<男山第三中学校圏域><男山東中学校圏域>で約1割となっています。

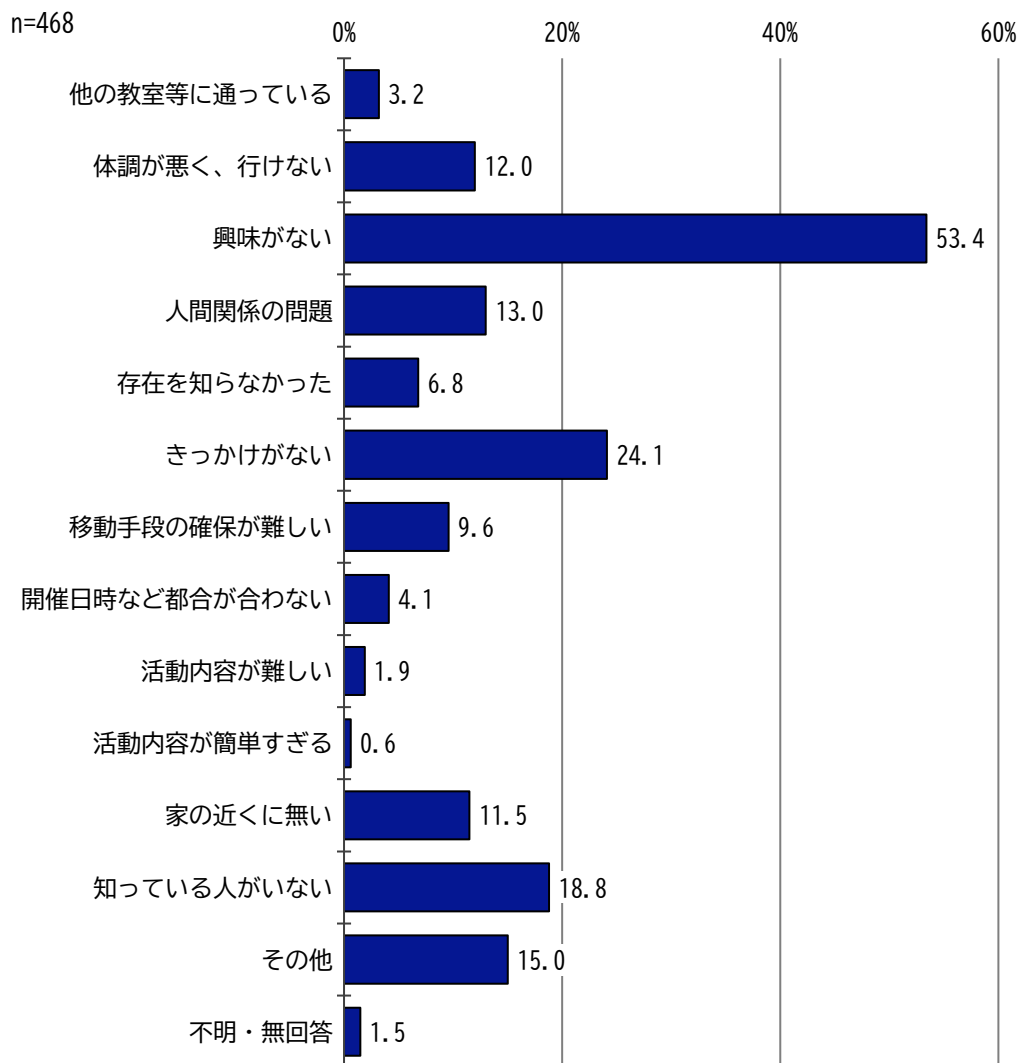
単位：%		参加あり					参加していない	活動に所属なし	不明・無回答	参加あり (再掲)
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回				
全体 (n=1,987)		1.6	1.2	1.8	1.6	1.7	18.4	43.2	30.5	7.9
年齢別	65～69歳 (n=355)	2.3	0.6	0.8	0.0	1.7	22.8	57.7	14.1	5.4
	70～74歳 (n=469)	1.5	1.9	1.1	1.9	1.3	20.3	50.1	22.0	7.7
	75～79歳 (n=601)	1.5	1.3	2.2	1.7	2.2	18.0	40.3	32.9	8.9
	80～84歳 (n=376)	1.3	0.5	2.1	1.9	1.6	15.7	35.1	41.8	7.4
	85歳以上 (n=182)	1.1	1.6	3.3	2.7	1.1	12.1	23.6	54.4	9.8
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	1.2	0.6	1.4	1.0	1.6	16.4	44.2	33.5	5.8
	男山第二中学校圏域 (n=528)	1.9	0.9	2.3	0.8	0.9	18.9	44.5	29.7	6.8
	男山第三中学校圏域 (n=565)	1.6	1.4	1.6	2.3	2.1	17.2	43.4	30.4	9.0
	男山東中学校圏域 (n=401)	1.5	2.0	1.7	2.2	2.0	21.9	40.1	28.4	9.4

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

【問5（2）ですべてに「6」「7」（参加・所属していない）を選んだ方】

問5（2）サークル・グループに1つも参加していない理由は何ですか。（複数回答）

全体では「興味がない」が53.4%と最も高く、次いで「きっかけがない」が24.1%、「知っている人がいない」が18.8%となっています。



【問5（2）ですべてに「6」「7」（参加・所属していない）を選んだ方】

問5（2）サークル・グループに1つも参加していない理由は何ですか。

× 認定状況、年齢、日常生活圏域

認定状況別にみると、<一般高齢者>では「きっかけがない」、<要支援1>では「体調が悪く、行けない」、<要支援2>では「体調が悪く、行けない」「移動手段の確保が難しい」が2番目に高くなっています。

年齢別にみると、<85歳以上>では「移動手段の確保が難しい」「家の近くに無い」が2番目に高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：%		他の教室等に通っている	体調が悪く、行けない	興味がない	人間関係の問題	存在を知らなかった	きっかけがない	移動手段の確保が難しい	開催日時など都合が合わない	活動内容が難しい	活動内容が簡単すぎる	家の近くに無い	知っている人がいない	その他	不明・無回答
全体 (n=468)		3.2	12.0	53.4	13.0	6.8	24.1	9.6	4.1	1.9	0.6	11.5	18.8	15.0	1.5
認定状況別	一般高齢者 (n=432)	3.5	9.7	53.5	13.0	6.7	24.5	7.9	4.4	1.9	0.5	11.1	17.8	15.5	1.4
	事業対象者 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援1 (n=16)	0.0	50.0	62.5	25.0	12.5	18.8	31.3	0.0	6.3	6.3	25.0	37.5	0.0	6.3
	要支援2 (n=19)	0.0	31.6	42.1	5.3	5.3	21.1	31.6	0.0	0.0	0.0	10.5	26.3	15.8	0.0
年齢別	65～69歳 (n=78)	3.8	7.7	44.9	19.2	5.1	26.9	7.7	7.7	2.6	0.0	12.8	19.2	20.5	2.6
	70～74歳 (n=115)	3.5	4.3	60.0	9.6	2.6	22.6	5.2	2.6	0.9	0.0	8.7	20.0	20.0	0.9
	75～79歳 (n=141)	2.8	17.7	61.7	14.9	5.0	27.0	9.9	4.3	2.8	2.1	7.8	17.7	7.8	0.0
	80～84歳 (n=94)	4.3	13.8	48.9	11.7	11.7	20.2	9.6	2.1	2.1	0.0	13.8	17.0	12.8	3.2
	85歳以上 (n=39)	0.0	17.9	30.8	7.7	17.9	23.1	25.6	5.1	0.0	0.0	25.6	23.1	20.5	2.6
圏域別	男山中学校圏域 (n=133)	0.8	12.8	52.6	12.8	3.8	23.3	10.5	3.8	3.8	0.8	13.5	21.1	18.0	0.8
	男山第二中学校圏域 (n=139)	5.0	11.5	51.8	14.4	6.5	24.5	9.4	4.3	2.9	0.0	5.8	18.7	16.5	2.2
	男山第三中学校圏域 (n=130)	3.8	9.2	58.5	10.8	7.7	21.5	6.9	3.8	0.0	0.8	10.8	20.0	13.1	1.5
	男山東中学校圏域 (n=65)	3.1	16.9	47.7	15.4	12.3	30.8	13.8	4.6	0.0	1.5	21.5	12.3	9.2	1.5

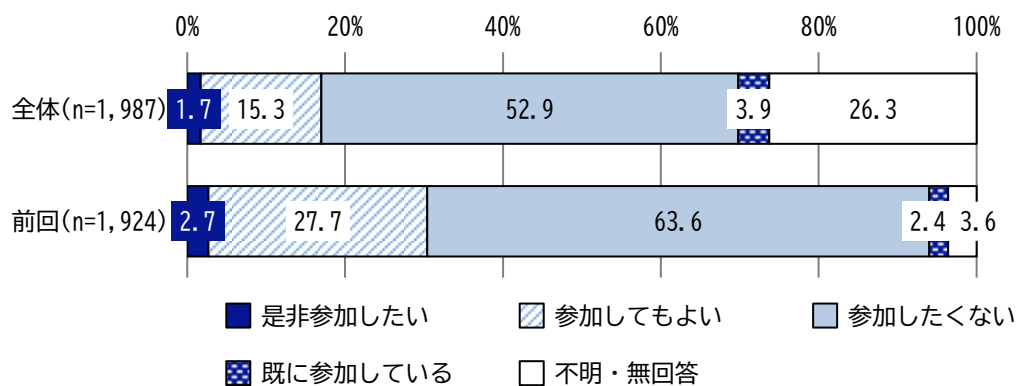
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、参加してみたいと思いますか。

①企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか （単数回答）

全体では「参加したくない」が52.9%と最も高く、次いで「参加してもよい」が15.3%、「既に参加している」が3.9%となっています。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」「参加したくない」で減少傾向がみられます。



問5①企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うか × 日常生活圏域

日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：%		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答
全体 (n=1,987)		1.7	15.3	52.9	3.9	26.3
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	0.8	14.7	53.6	4.9	26.0
	男山第二中学校圏域 (n=528)	1.5	15.3	56.1	2.5	24.6
	男山第三中学校圏域 (n=565)	1.6	14.0	51.9	5.0	27.6
	男山東中学校圏域 (n=401)	3.0	18.0	49.1	3.0	26.9

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

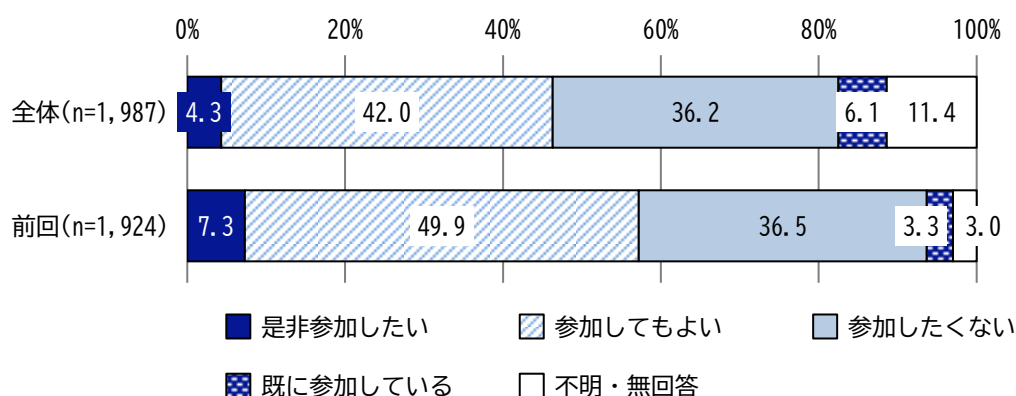
問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、参加してみたいと思いますか。

②参加者として参加してみたいと思うか

（単数回答）

全体では「参加してもよい」が42.0%と最も高く、次いで「参加したくない」が36.2%、「既に参加している」が6.1%となっています。

前回調査と比較すると、「参加してもよい」で減少傾向がみられます。



問5②参加者として参加してみたいと思うか × 日常生活圏域

日常生活圏域別にみると、<男山中学校圏域><男山第三中学校圏域><男山東中学校圏域>では「参加してもよい」が最も高くなっています。<男山第二中学校圏域>では「参加したくない」が最も高くなっています。

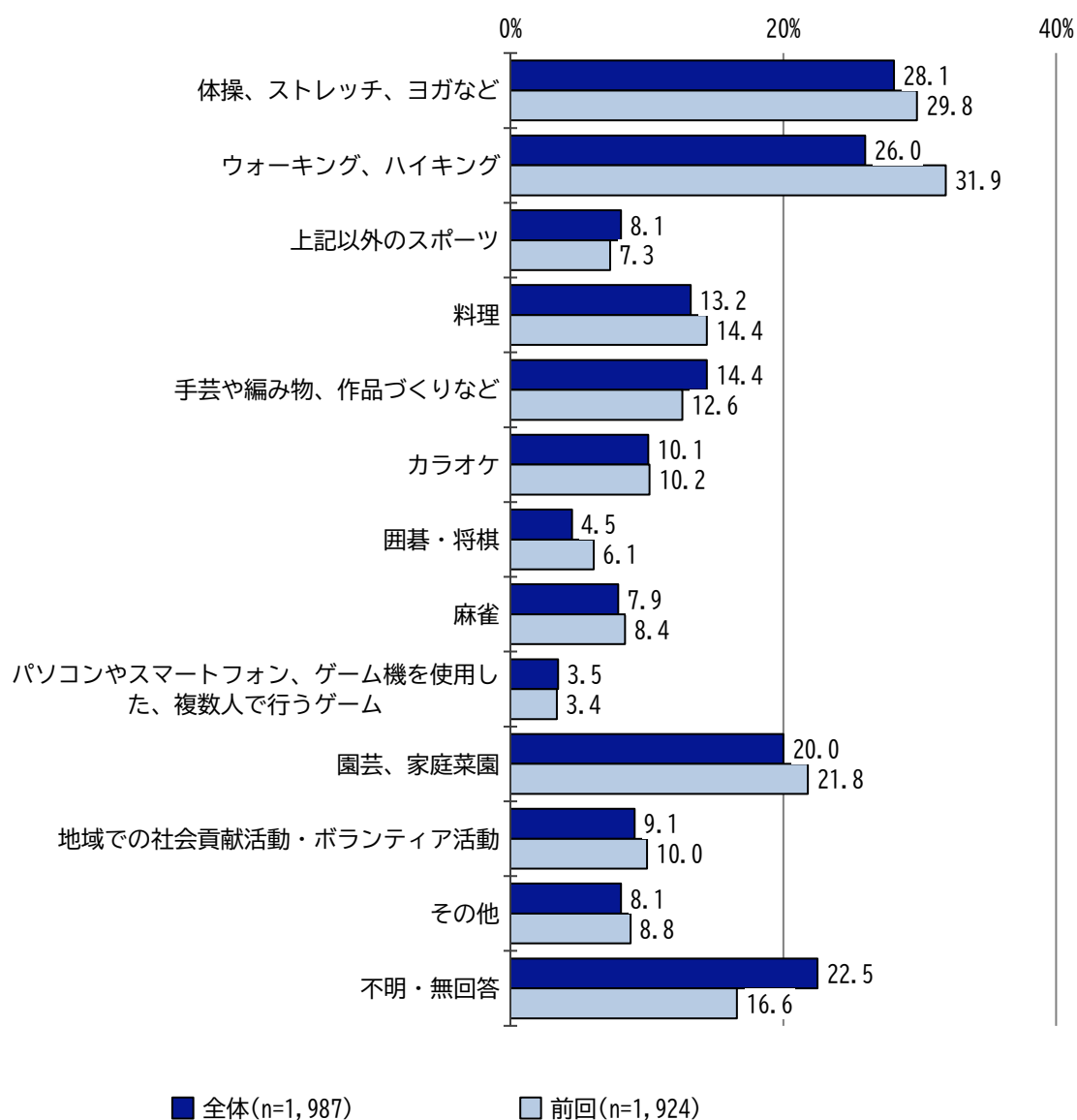
単位：%		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	不明・無回答
全体 (n=1,987)		4.3	42.0	36.2	6.1	11.4
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	3.5	38.7	37.2	6.7	13.9
	男山第二中学校圏域 (n=528)	4.0	39.8	40.2	5.5	10.6
	男山第三中学校圏域 (n=565)	3.9	41.6	36.5	8.1	9.9
	男山東中学校圏域 (n=401)	6.2	49.9	29.2	3.0	11.7

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問5（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、どのような活動に参加してみたいと思いますか。（複数回答）

全体では「体操、ストレッチ、ヨガなど」が28.1%と最も高く、次いで「ウォーキング、ハイキング」が26.0%、「園芸、家庭菜園」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「ウォーキング、ハイキング」で減少傾向がみられます。



問5（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、どのような活動に参加してみたいと思いますか。 × 年齢、日常生活圏域

年齢別にみると、<70～74歳>では「ウォーキング、ハイキング」、その他の区分では、「体操、ストレッチ、ヨガなど」が最も高くなっています。

日常生活圏域別にみると、すべての日常生活圏域で、「ウォーキング、ハイキング」「体操、ストレッチ、ヨガなど」が上位2項目となっています。

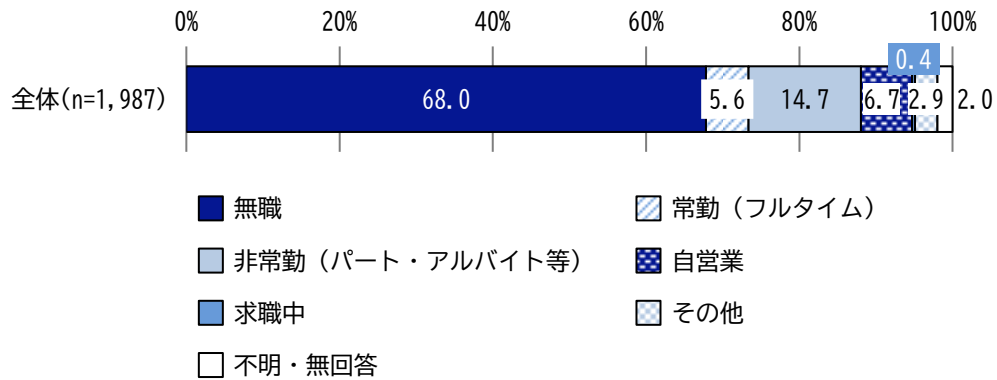
単位：%		体操、ストレッチ、ヨガなど	ウォーキング、ハイキング	体操、ウォーキング等以外のスポーツ	料理	手芸や編み物、作品づくりなど	カラオケ	囲碁・将棋	麻雀	ゲーム機を使用した、複数人で行うゲーム	パソコンやスマートフォン、	園芸、家庭菜園	地域での社会貢献活動・ボランティア活動	その他	不明・無回答
全体 (n=1,987)		28.1	26.0	8.1	13.2	14.4	10.1	4.5	7.9	3.5	20.0	9.1	8.1	22.5	
年齢別	65～69歳 (n=355)	35.2	32.4	10.7	16.9	18.9	5.9	3.1	5.9	3.9	19.7	9.0	10.4	17.5	
	70～74歳 (n=469)	29.4	30.5	8.1	12.8	13.2	8.3	3.0	6.6	5.1	22.4	15.4	9.6	20.0	
	75～79歳 (n=601)	26.0	22.3	8.2	14.5	14.8	11.8	4.0	10.3	3.3	19.3	8.2	6.5	22.5	
	80～84歳 (n=376)	25.0	24.5	7.4	10.4	11.7	12.0	8.0	7.4	2.1	21.0	6.1	7.2	26.6	
	85歳以上 (n=182)	25.3	17.6	3.8	9.3	13.7	13.2	6.0	7.1	1.6	14.8	2.7	6.0	30.8	
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	27.6	23.3	8.2	14.9	14.1	9.6	3.1	6.3	4.3	19.8	5.9	8.4	25.8	
	男山第二中学校圏域 (n=528)	26.9	21.6	8.1	10.4	15.0	10.4	4.9	6.8	2.7	17.6	10.8	8.9	23.1	
	男山第三中学校圏域 (n=565)	29.7	30.8	7.1	12.4	12.4	9.4	6.0	8.8	3.2	20.0	11.2	8.1	19.1	
	男山東中学校圏域 (n=401)	28.4	28.4	9.2	16.2	17.2	11.2	3.7	9.5	4.0	23.4	8.0	6.2	22.7	

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問5（5）現在のあなたの就労状態はどれですか。

（単数回答）

全体では「無職」が68.0%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が14.7%、「自営業」が6.7%となっています。



問5（5）現在のあなたの就労状態はどれですか。 × 年齢

年齢別にみると、すべての認定状況で「無職」が最も高く、特に<80歳以上>では8割台となっています。次いで、<85歳以上>では「自営業」が3.3%となっています。

単位：%		無職	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	不明・無回答
全体（n=1,987）		68.0	5.6	14.7	6.7	0.4	2.9	2.0
年齢別	65～69歳（n=355）	43.7	15.8	29.0	9.0	0.8	2.8	0.8
	70～74歳（n=469）	61.4	7.5	20.5	7.7	0.9	1.7	0.4
	75～79歳（n=601）	71.5	3.2	12.0	7.3	0.2	3.5	2.8
	80～84歳（n=376）	83.0	0.5	5.6	4.3	0.0	3.5	3.2
	85歳以上（n=182）	89.6	0.0	0.5	3.3	0.0	3.3	3.3

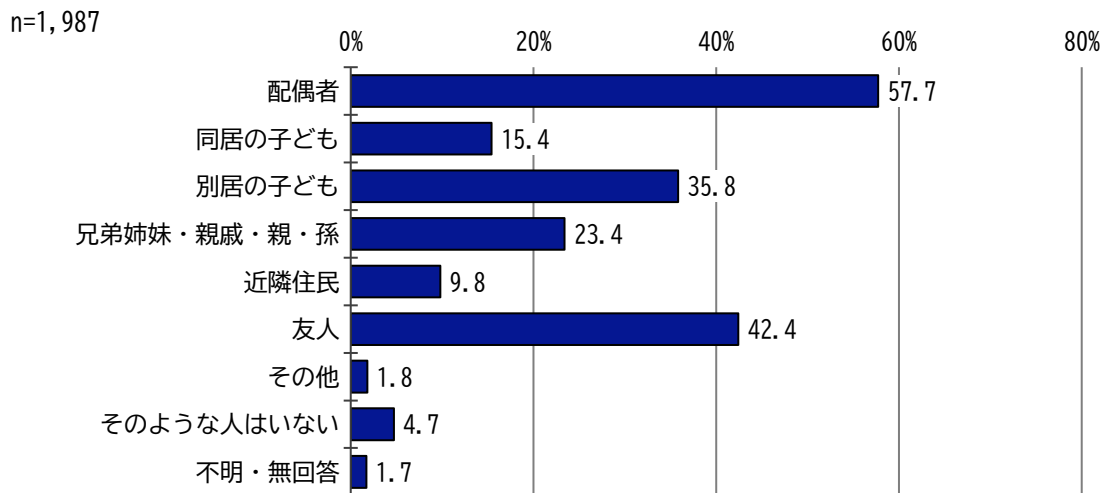
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問6 たすけあいについて

問6（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

（複数回答）

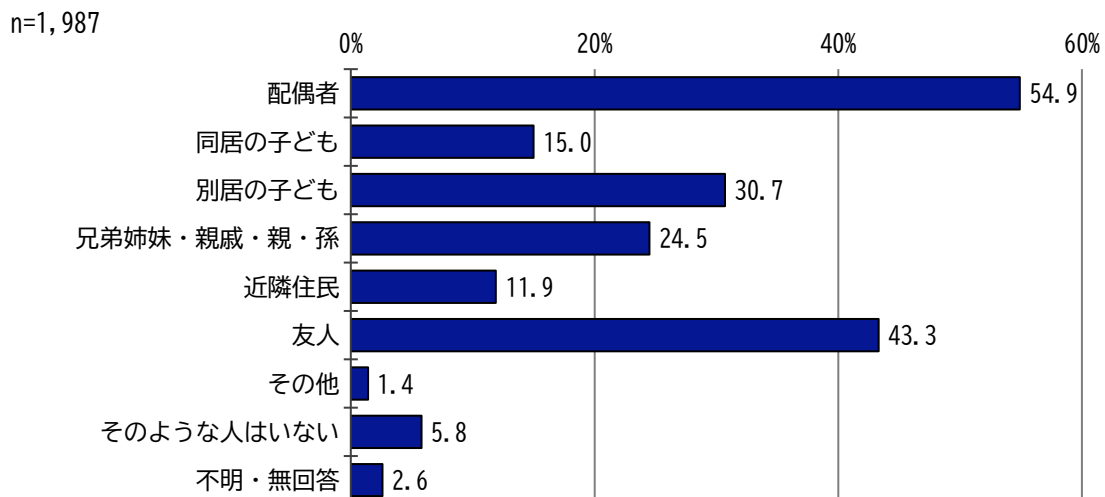
全体では「配偶者」が57.7%と最も高く、次いで「友人」が42.4%、「別居の子ども」が35.8%となっています。



問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

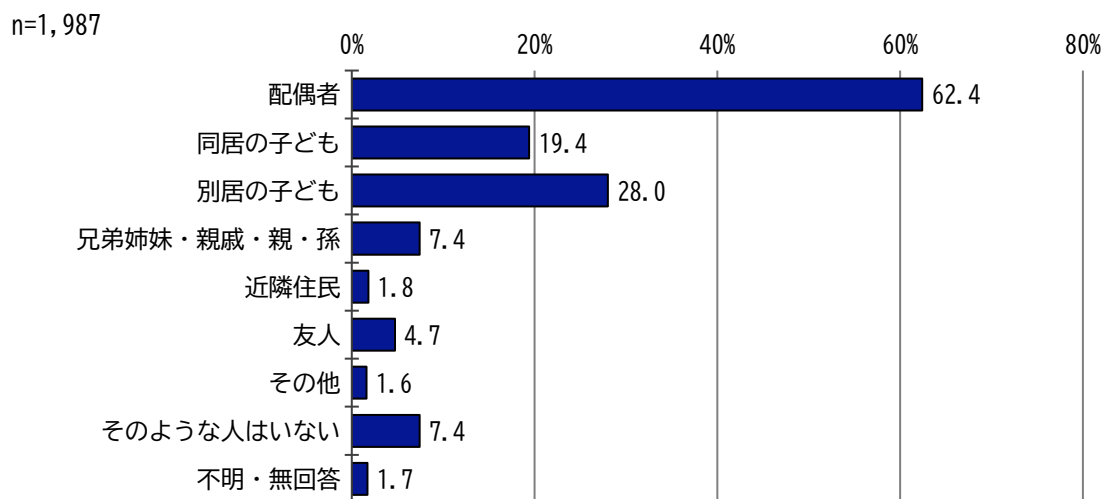
（複数回答）

全体では「配偶者」が54.9%と最も高く、次いで「友人」が43.3%、「別居の子ども」が30.7%となっています。



問6（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

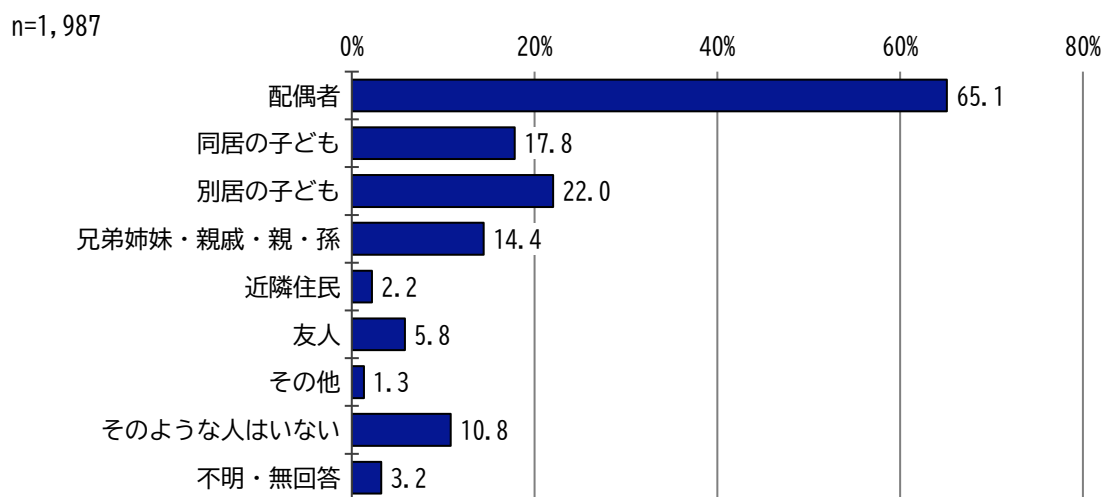
全体では「配偶者」が62.4%と最も高く、次いで「別居の子ども」が28.0%、「同居の子ども」が19.4%となっています。



問6（4）反対に、看病や世話をしあげる人

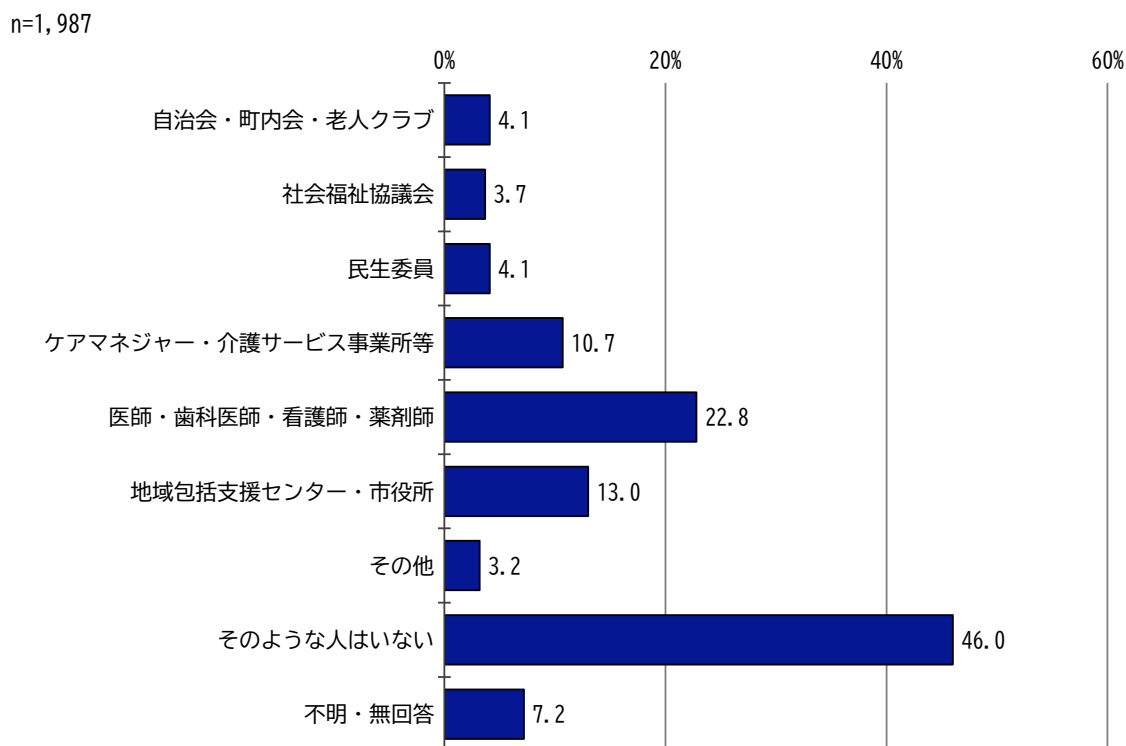
（複数回答）

全体では「配偶者」が65.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」が22.0%、「同居の子ども」が17.8%となっています。



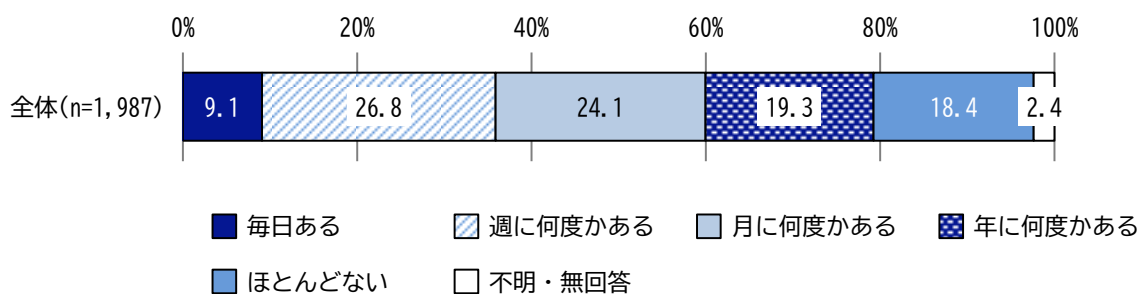
問6（5）家族や友人・知人以外で生活や介護に関して相談する相手 （複数回答）

全体では「そのような人はいない」が46.0%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師・薬剤師」が22.8%、「地域包括支援センター・市役所」が13.0%となっています。



問6（6）友人・知人と会う頻度 （単数回答）

全体では「週に何度かある」が26.8%と最も高く、次いで「月に何度かある」が24.1%、「年に何度かある」が19.3%となっています。



問6（6）友人・知人と会う頻度 × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<要支援1>では「月に何度かある」、<要支援2>では「ほとんどない」が最も高くなっています。また、<要支援1><要支援2>では「ほとんどない」が2割～3割となっています。

年齢別にみると、<65～74歳>では「月に何度かある」、<75～84歳>では「週に何度かある」、<85歳以上>では「ほとんどない」が最も高くなっています。

単位：%		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		9.1	26.8	24.1	19.3	18.4	2.4
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	9.1	26.7	24.1	20.1	17.6	2.3
	事業対象者 (n=8)	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0
	要支援1 (n=72)	6.9	25.0	27.8	11.1	26.4	2.8
	要支援2 (n=69)	5.8	27.5	20.3	10.1	31.9	4.3
年齢別	65～69歳 (n=355)	11.0	21.4	26.2	21.7	17.7	2.0
	70～74歳 (n=469)	9.8	24.7	25.2	20.5	17.5	2.3
	75～79歳 (n=601)	7.7	29.5	23.1	20.3	16.6	2.8
	80～84歳 (n=376)	8.0	31.6	23.4	16.5	18.9	1.6
	85歳以上 (n=182)	8.8	24.2	21.4	14.8	26.9	3.8

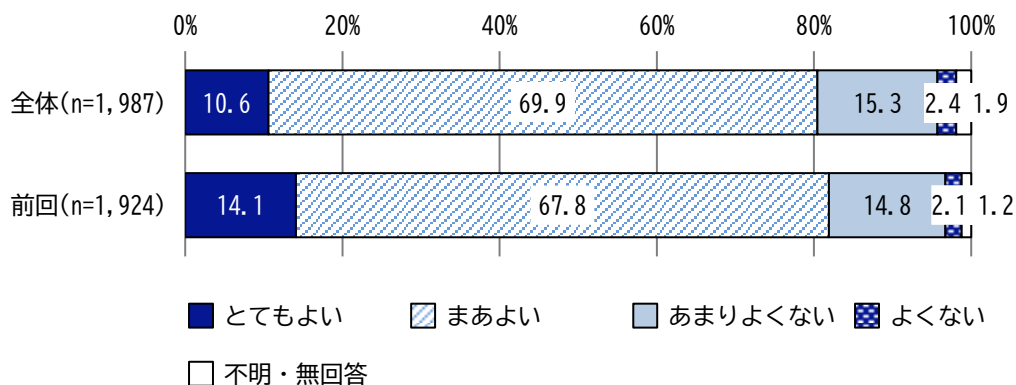
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問7 健康について

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。

（単数回答）

全体では「まあよい」が69.9%と最も高く、次いで「あまりよくない」が15.3%、「とてもよい」が10.6%となっています。



問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか。 × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、〈要支援2〉では「あまりよくない」約4割を占めています。

年齢別にみると、〈65～74歳〉では「とてもよい」、〈75歳以上〉では「あまりよくない」が2番目に高くなっています。

単位：%		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		10.6	69.9	15.3	2.4	1.9
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	11.1	71.8	13.7	1.7	1.8
	事業対象者 (n=8)	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	要支援1 (n=72)	6.9	50.0	31.9	9.7	1.4
	要支援2 (n=69)	1.4	40.6	40.6	13.0	4.3
年齢別	65～69歳 (n=355)	14.6	70.1	13.5	0.8	0.8
	70～74歳 (n=469)	14.1	70.1	13.4	1.1	1.3
	75～79歳 (n=601)	8.8	69.6	16.0	2.7	3.0
	80～84歳 (n=376)	6.9	73.1	15.7	2.7	1.6
	85歳以上 (n=182)	6.6	63.2	20.9	7.1	2.2

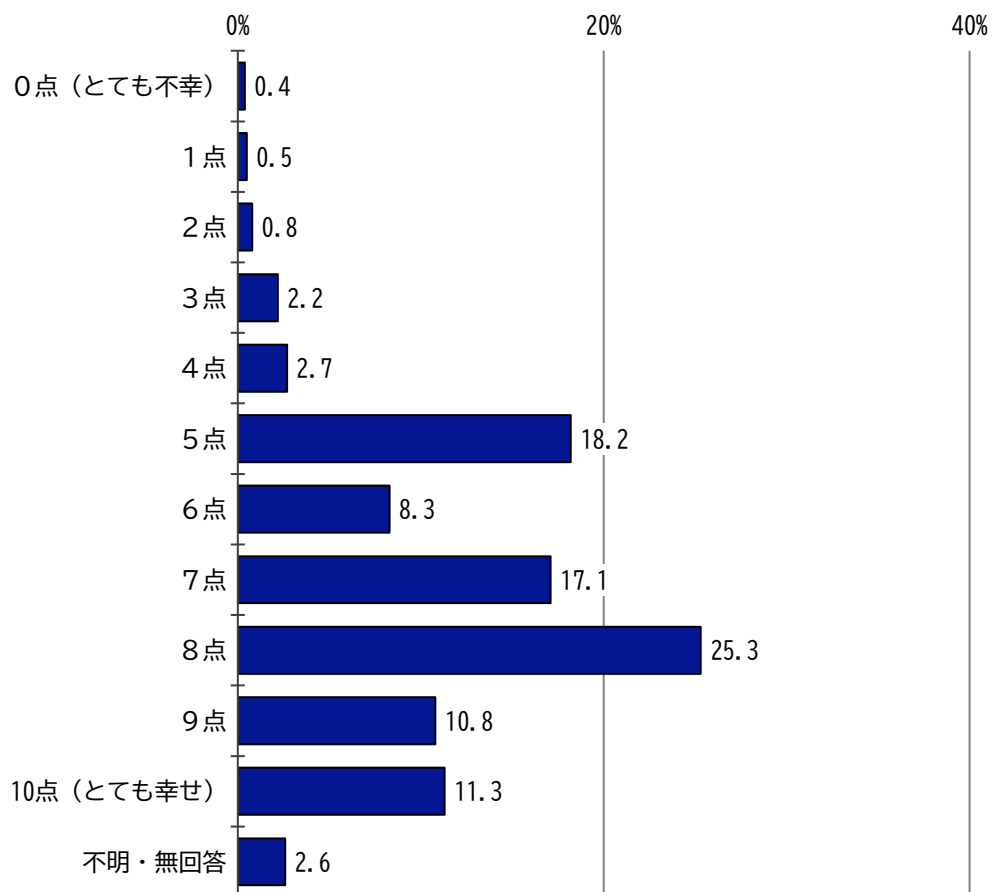
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか。

（単数回答）

全体では「8点」が25.3%と最も高く、次いで「5点」が18.2%、「7点」が17.1%となっています。全体の平均は7.1点となっています。

n=1,987

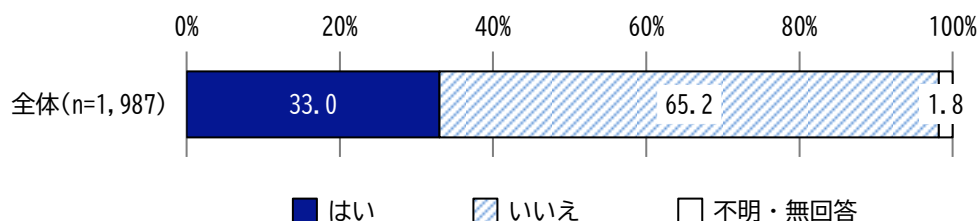


■幸福度平均点（不明・無回答を除いて算出）

認定状況別	全体 (n=1,936)		年齢別	65～69歳 (n=355)	
	割合 (%)	平均点		割合 (%)	平均点
一般高齢者 (n=1,785)	92.1	7.1	70～74歳 (n=461)	13.1	7.2
事業対象者 (n=8)	0.4	7.1	75～79歳 (n=577)	29.2	7.1
要支援1 (n=71)	3.6	6.6	80～84歳 (n=368)	18.6	6.9
要支援2 (n=68)	3.5	6.4	85歳以上 (n=174)	8.8	7.3

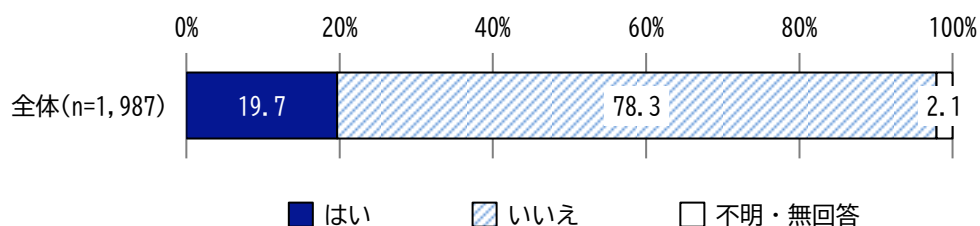
問7（3）この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 （単数回答）

全体では「いいえ」が65.2%と最も高く、次いで「はい」が33.0%となっています。



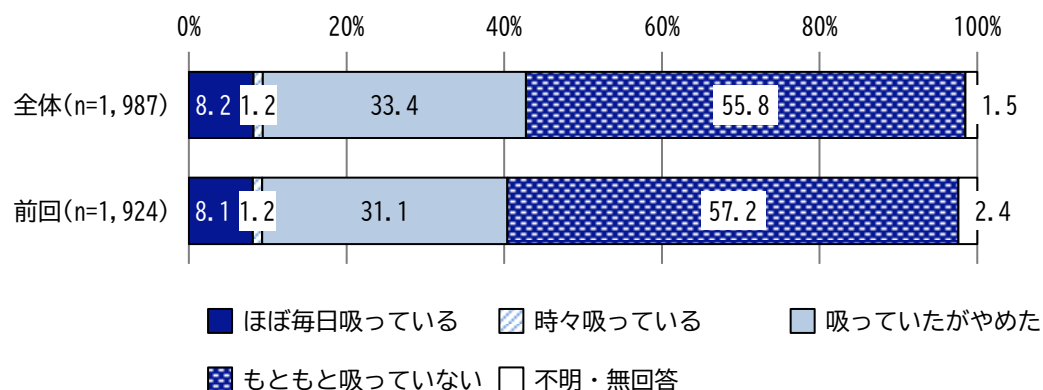
問7（4）この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。 （単数回答）

全体では「いいえ」が78.3%と最も高く、次いで「はい」が19.7%となっています。



問7（5）タバコは吸っていますか。 （単数回答）

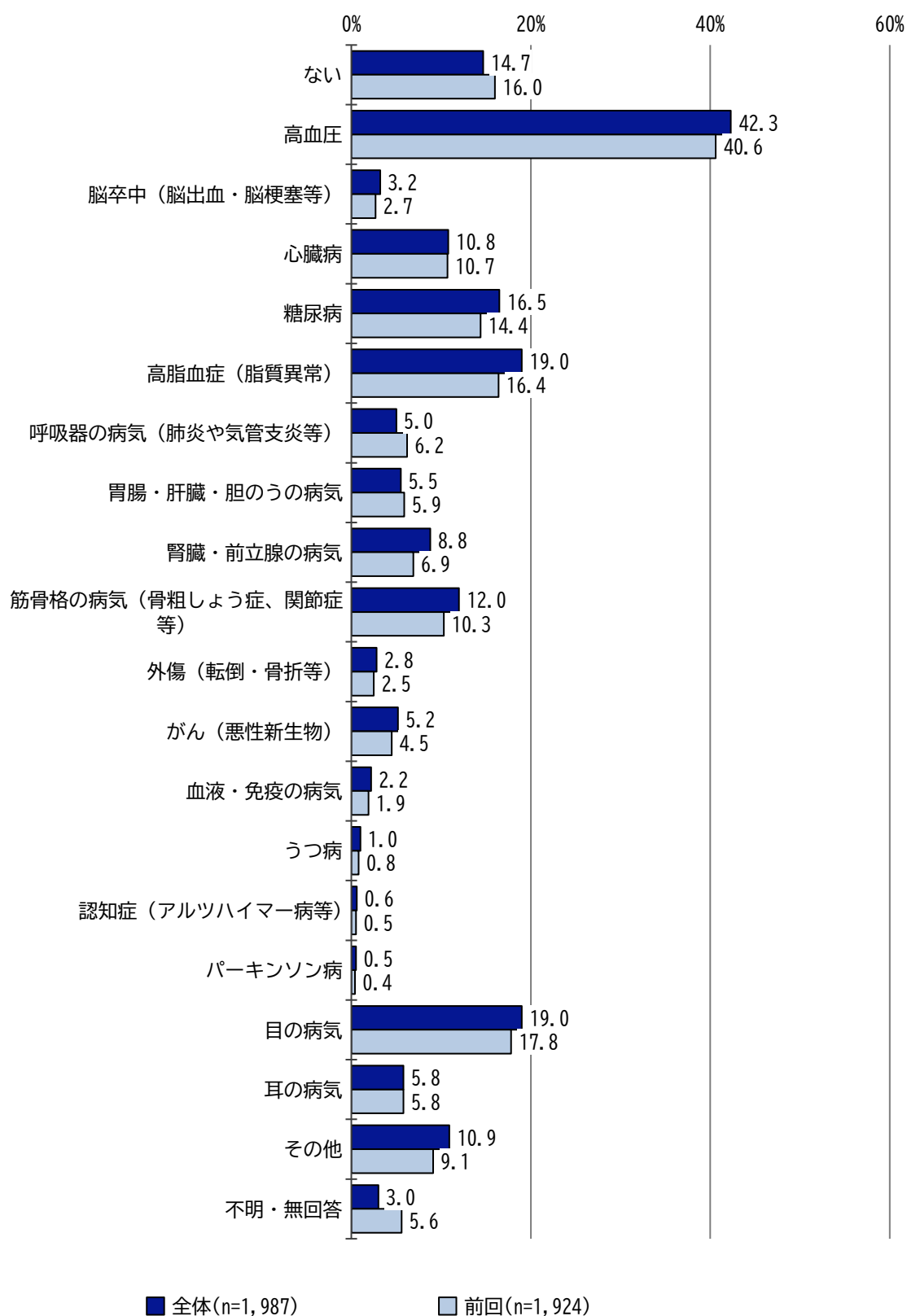
全体では「もともと吸っていない」が55.8%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が33.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.2%となっています。



問7（6）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

（複数回答）

全体では「高血圧」が42.3%と最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」「目の病気」が19.0%となっています。

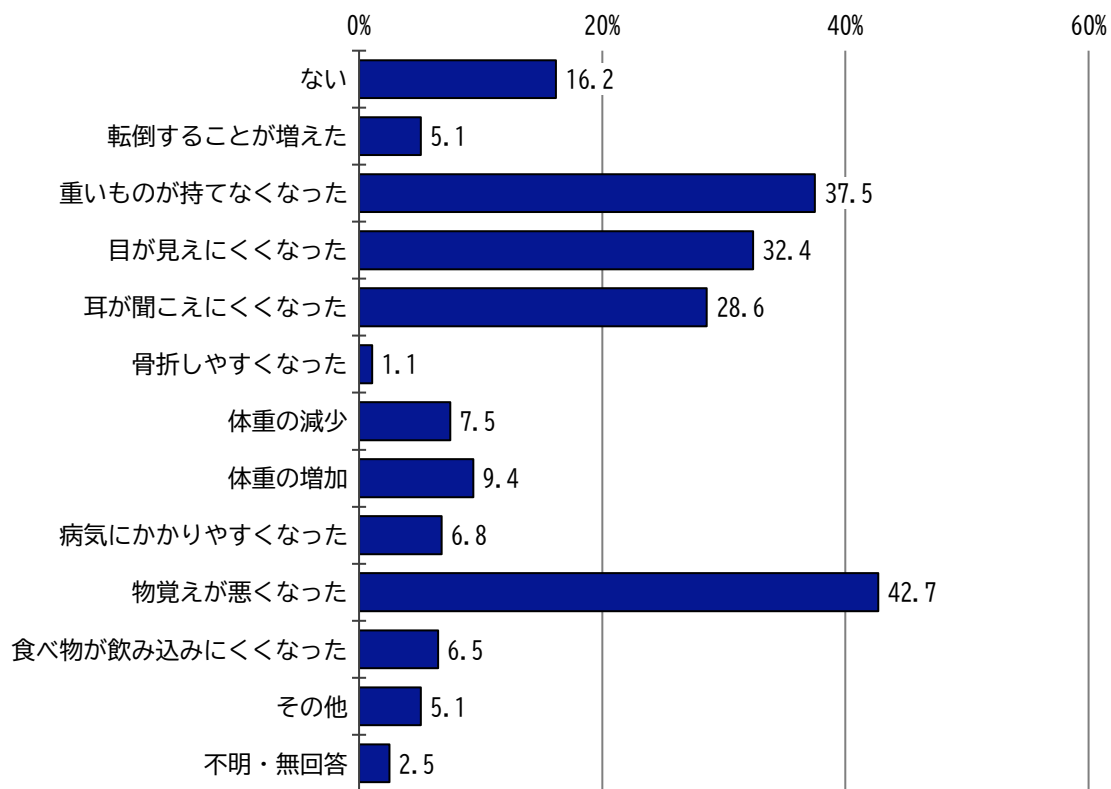


問7（7）加齢に伴い、体調の変化による悩みはありますか。

（複数回答）

全体では「物覚えが悪くなった」が42.7%と最も高く、次いで「重いものが持てなくなった」が37.5%、「目が見えにくくなった」が32.4%となっています。

n=1,987

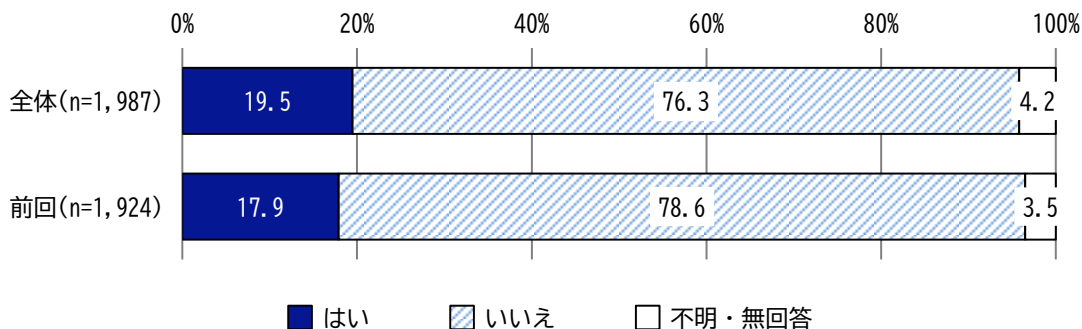


問8 認知症について

問8 (1) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

(単数回答)

全体では「いいえ」が76.3%と最も高く、次いで「はい」が19.5%となっています。



問8 (1) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。 × 認定状況、年齢

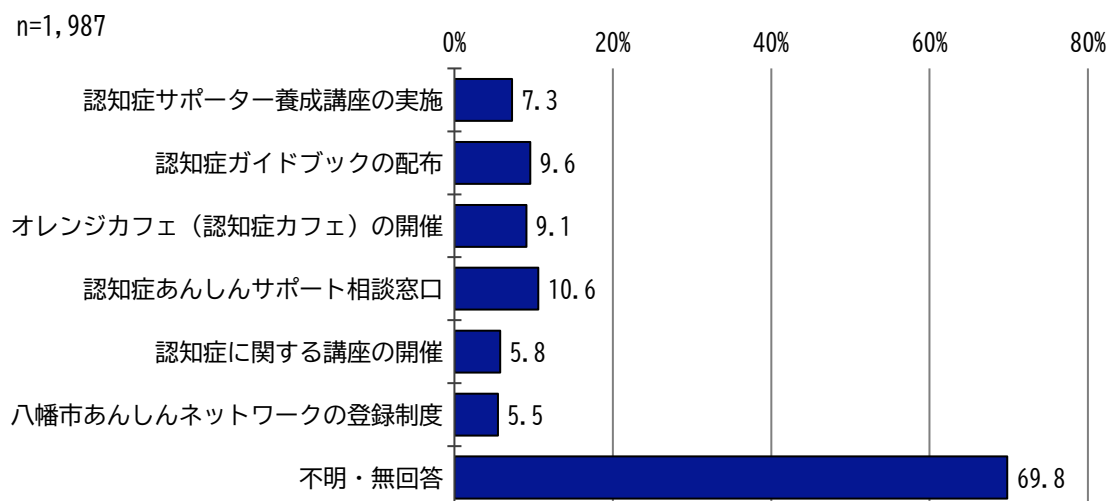
認定状況別にみると、すべての認定状況で「いいえ」が最も高く、約6～7割となっています。年齢別にみると、すべての年齢で「いいえ」が最も高く、7割台となっています。

単位：%		はい	いいえ	不明・無回答
全体 (n=1,987)		19.5	76.3	4.2
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	18.8	77.4	3.9
	事業対象者 (n=8)	25.0	75.0	0.0
	要支援1 (n=72)	31.9	61.1	6.9
	要支援2 (n=69)	24.6	63.8	11.6
年齢別	65～69歳 (n=355)	19.4	78.3	2.3
	70～74歳 (n=469)	22.2	74.8	3.0
	75～79歳 (n=601)	16.6	79.9	3.5
	80～84歳 (n=376)	20.5	72.1	7.4
	85歳以上 (n=182)	19.8	73.1	7.1

◇回答の高いものを第1位、第2位、第3位に網掛け

問8（2）市が行う認知症への取り組みのうち、あなたが知っているものはどれですか。
（複数回答）

全体では「認知症あんしんサポート相談窓口」が10.6%と最も高く、次いで「認知症ガイドブックの配布」が9.6%、「オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催」が9.1%となっています。



ことばの説明

●認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、応援する人を養成する講座。

●オレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症の方やそのご家族、地域住民が気軽に集える場所。市内4カ所で月1回開催。

●認知症あんしんサポート相談窓口

地域事情を踏まえた相談ができる身近な相談窓口。市内1カ所で実施。

●八幡市あんしんネットワーク

認知症の方などが行方不明になられた際に、協力機関へ依頼し、早期発見に役立てるための制度。登録者には、GPSの初期導入費と12カ月分の月額費用の補助等を実施している。

問8（2）市が行う認知症への取り組みのうち、あなたが知っているものはどれですか。

× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、それぞれ最も認知度が高いのは、＜一般高齢者＞で「認知症あんしんサポート相談窓口」、＜要支援1＞で「オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催」、＜要支援2＞で「認知症ガイドブックの配布」がそれぞれ1割となっています。

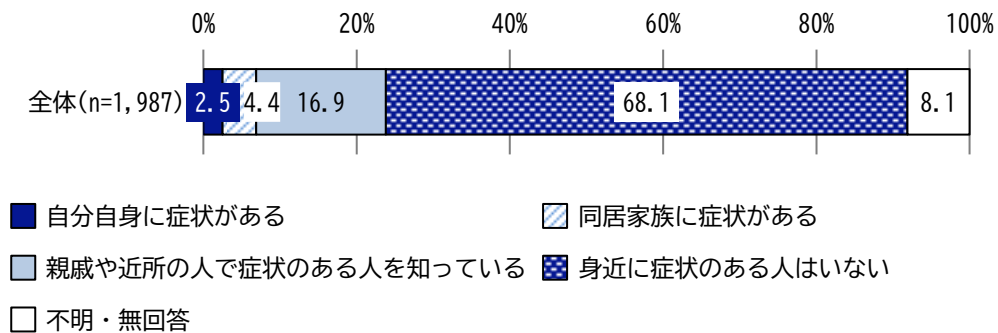
年齢別にみると、＜65～79歳＞では「認知症あんしんサポート相談窓口」、＜80～84歳＞では「オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催」、＜85歳以上＞では「認知症ガイドブックの配布」が最も高く、それぞれ1割前後となっています。

単位：％		認知症サポーター養成講座の実施	認知症ガイドブックの配布	オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催	認知症あんしんサポート相談窓口	認知症に関する講座の開催	八幡市あんしんネットワークの登録制度	不明・無回答
全体 (n=1,987)		7.3	9.6	9.1	10.6	5.8	5.5	69.8
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	7.3	9.5	8.9	11.0	5.7	5.5	69.9
	事業対象者 (n=8)	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	37.5
	要支援1 (n=72)	6.9	6.9	12.5	6.9	5.6	9.7	69.4
	要支援2 (n=69)	8.7	10.1	8.7	5.8	8.7	2.9	72.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	7.9	11.3	10.1	12.1	7.9	5.1	68.7
	70～74歳 (n=469)	9.0	11.3	9.2	14.1	5.3	7.9	66.7
	75～79歳 (n=601)	7.7	7.0	7.7	8.5	4.7	4.5	70.7
	80～84歳 (n=376)	6.1	9.3	10.4	8.8	6.6	3.7	72.6
	85歳以上 (n=182)	3.8	10.4	8.2	9.3	5.5	7.1	71.4

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問8（3）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
（単数回答）

全体では「身近に症状のある人はいない」が68.1%と最も高く、次いで「親戚や近所の人で症状のある人を知っている」が16.9%、「同居家族に症状がある」が4.4%となっています。



問8（3）認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<一般高齢者><要支援1>では「親戚や近所の人で症状のある人を知っている」、<要支援2>では「本人自身に症状がある」が2番目に高くなっています。

年齢別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

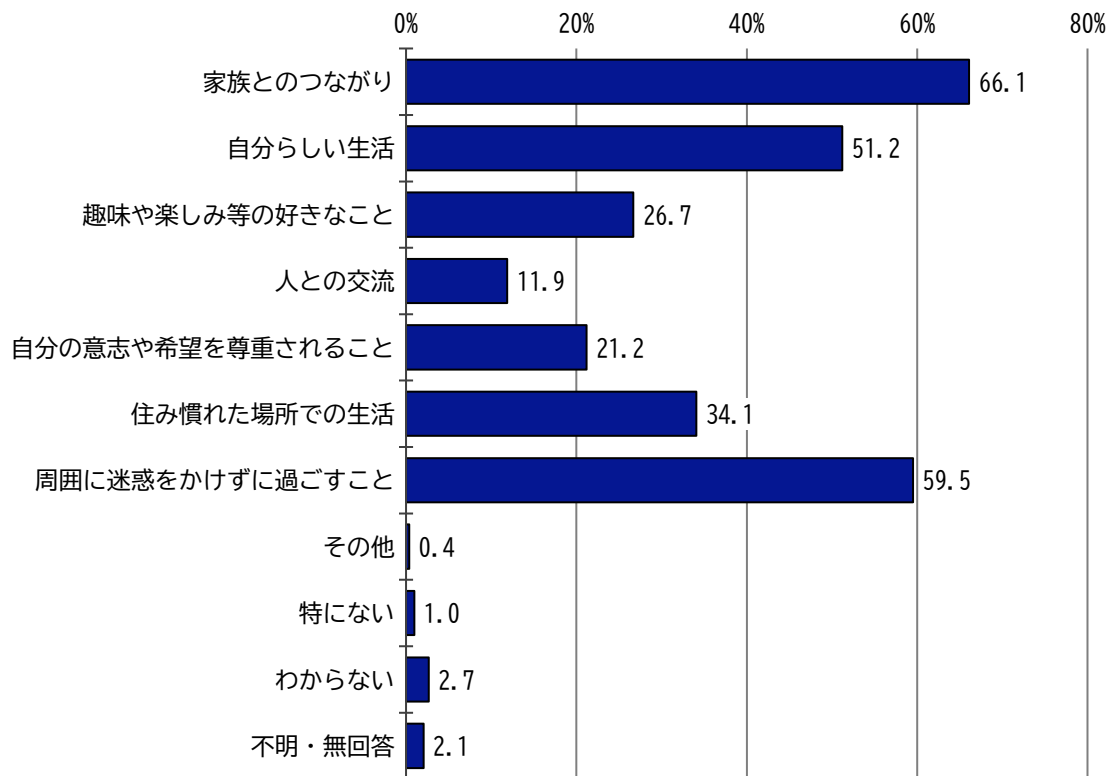
単位：%		本人自身に症状がある	同居家族に症状がある	親戚や近所の人で症状のある人を知っている	身近に症状のある人はいない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		2.5	4.4	16.9	68.1	8.1
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	2.0	4.0	17.4	69.2	7.4
	事業対象者 (n=8)	25.0	0.0	0.0	62.5	12.5
	要支援1 (n=72)	4.2	11.1	13.9	51.4	19.4
	要支援2 (n=69)	10.1	8.7	8.7	58.0	14.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	1.1	4.5	21.7	69.0	3.7
	70～74歳 (n=469)	0.9	3.0	17.1	74.0	5.1
	75～79歳 (n=601)	3.3	3.5	14.0	71.4	7.8
	80～84歳 (n=376)	2.7	6.1	18.6	58.8	13.8
	85歳以上 (n=182)	6.0	7.1	13.2	60.4	13.2

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問8（4）もし、あなたが認知症になったとしても大切にしたいと思うことは何ですか。
（複数回答）

全体では「家族とのつながり」が 66.1%と最も高く、次いで「周囲に迷惑をかけずに過ごすこと」が 59.5%、「自分らしい生活」が 51.2%となっています。

n=1,987



問8（4）もし、あなたが認知症になったとしても大切にしたいと思うことは何ですか。

× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、<要支援2>では、「家族とのつながり」「周囲に迷惑をかけずに過ごすこと」が同率で最も高くなっています。

年齢別にみると、<65～69歳>では「自分らしい生活」、<70歳以上>では、「周囲に迷惑をかけずに過ごすこと」がそれぞれ2番目に高くなっています。

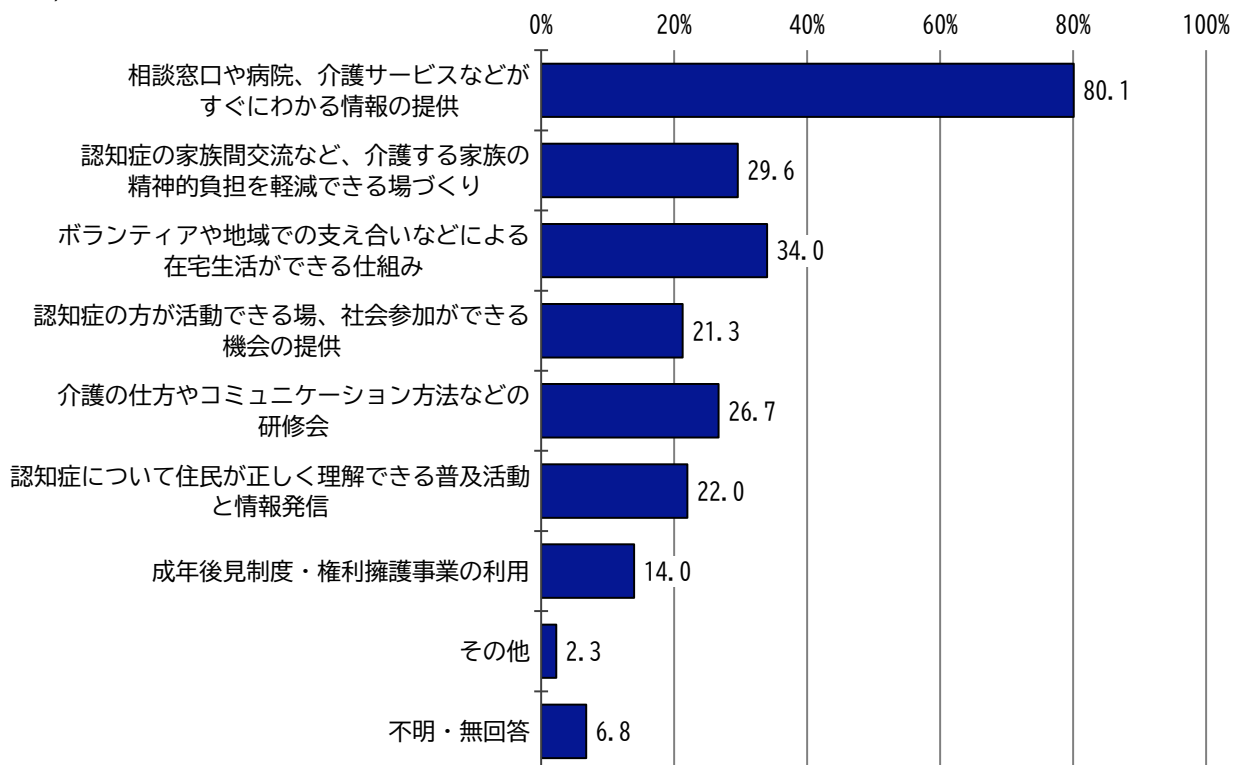
単位：%		家族とのつながり	自分らしい生活	趣味や楽しみ等の好きなこと	人との交流	自分の意志や希望を尊重されること	住み慣れた場所での生活	周囲に迷惑をかけずに過ごすこと	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		66.1	51.2	26.7	11.9	21.2	34.1	59.5	0.4	1.0	2.7	2.1
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	66.4	51.6	26.7	11.6	20.8	33.6	59.7	0.4	1.0	2.8	1.6
	事業対象者 (n=8)	50.0	50.0	25.0	25.0	12.5	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5
	要支援1 (n=72)	63.9	48.6	20.8	12.5	22.2	37.5	55.6	0.0	0.0	1.4	9.7
	要支援2 (n=69)	63.8	43.5	30.4	20.3	33.3	39.1	63.8	0.0	2.9	1.4	4.3
年齢別	65～69歳 (n=355)	63.7	59.2	30.4	13.2	24.8	27.0	53.0	0.6	1.4	2.8	1.1
	70～74歳 (n=469)	66.5	56.7	27.5	10.7	22.8	29.0	60.6	0.6	1.3	1.7	1.9
	75～79歳 (n=601)	66.9	50.7	24.6	11.0	21.5	36.3	58.2	0.3	0.7	3.0	1.5
	80～84歳 (n=376)	66.0	42.8	28.5	12.8	17.3	37.2	63.3	0.3	0.5	2.9	3.2
	85歳以上 (n=182)	67.6	40.1	19.8	14.3	18.1	46.2	66.5	0.0	1.6	3.3	3.8

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問8（5）自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。
（複数回答）

全体では「相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐにわかる情報の提供」が80.1%と最も高く、次いで「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」が34.0%、「認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり」が29.6%となっています。

n=1,987



※成年後見制度…判断能力が不十分な方々の権利や財産を守り、意思決定を支援する仕組みであり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

※権利擁護事業…安心して福祉サービスを利用し、地域で生活できるよう福祉サービスの利用手続きの代行、日常的な金銭管理などを行う事業です。

問8 (5) 自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。

× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

年齢別にみると、<65～69歳>では「認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり」、<70歳以上>では「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」が2番目に高くなっています。

単位：%		相談窓口や病院、介護サービスなどが	認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり	ボランティアや地域での支え合いなど	認知症の方が活動できる場、社会参加	介護の仕方やコミュニケーション方法などの研修会	認知症について住民が正しく理解できる普及活動と情報発信	成年後見制度・権利擁護事業の利用	その他	不明・無回答
全体 (n=1,987)		80.1	29.6	34.0	21.3	26.7	22.0	14.0	2.3	6.8
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	80.9	29.6	34.0	21.2	27.6	21.8	13.9	2.2	6.3
	事業対象者 (n=8)	62.5	62.5	37.5	50.0	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5
	要支援1 (n=72)	72.2	22.2	30.6	22.2	13.9	20.8	13.9	1.4	16.7
	要支援2 (n=69)	71.0	31.9	37.7	18.8	17.4	26.1	15.9	5.8	10.1
年齢別	65～69歳 (n=355)	82.3	34.9	33.0	22.0	28.5	21.7	17.7	2.0	4.2
	70～74歳 (n=469)	82.7	28.8	35.6	22.4	27.1	23.7	16.0	2.8	5.5
	75～79歳 (n=601)	79.5	29.3	34.4	21.0	30.3	21.5	12.8	3.0	6.0
	80～84歳 (n=376)	75.8	25.8	33.5	21.3	22.1	21.3	11.2	1.6	10.9
	85歳以上 (n=182)	80.2	29.7	31.9	18.1	20.3	22.0	11.0	1.1	9.9

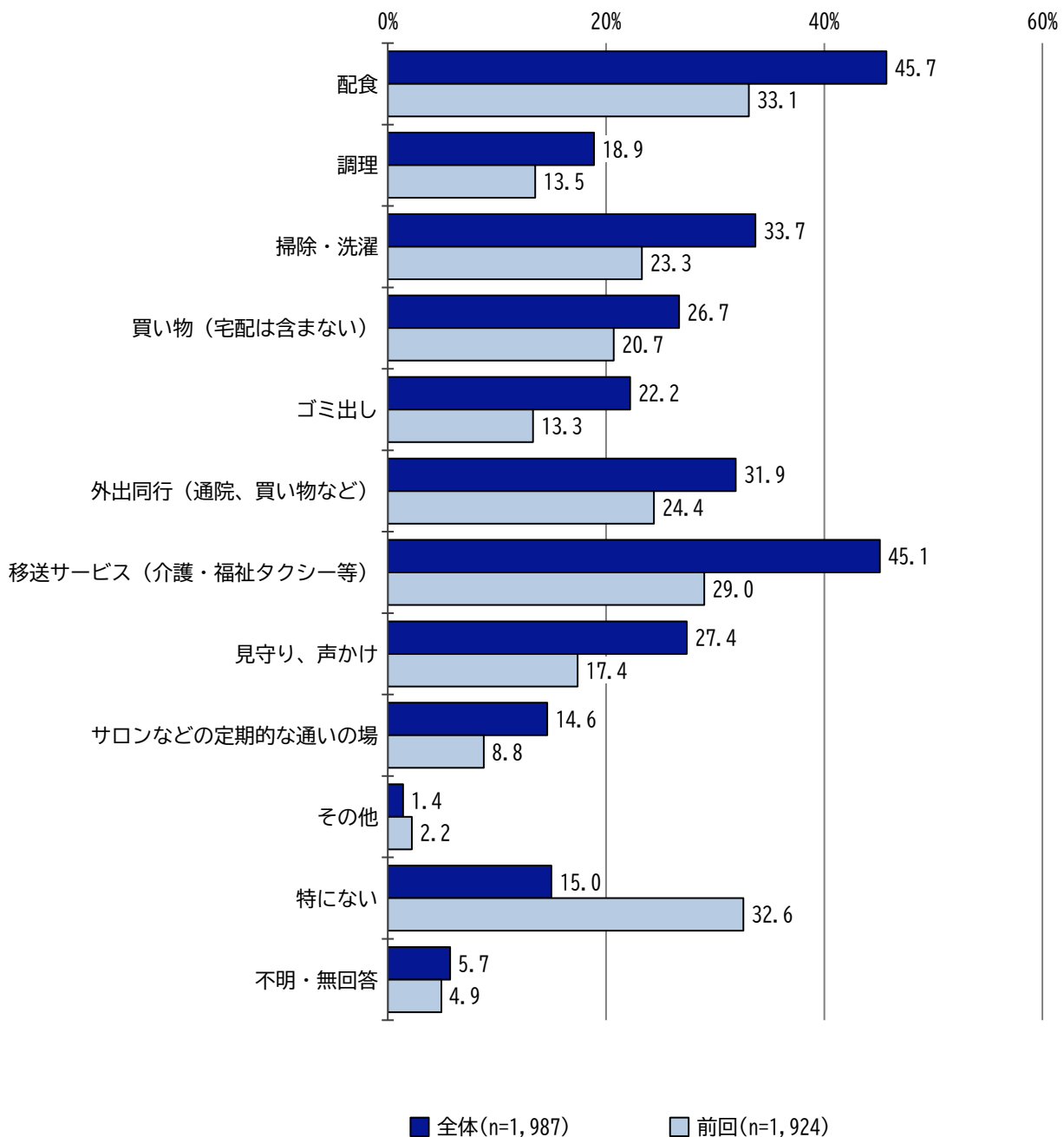
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9 今後の介護・高齢者施策について

問9（1）在宅生活を続けるうえで、どのような生活支援があれば利用したい、または今後利用したいと思いますか。（複数回答）

全体では「配食」が45.7%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が45.1%、「掃除・洗濯」が33.7%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」で減少傾向がみられ、「その他」を除く各項目で増加傾向がみられます。



問9（1）在宅生活を続けるうえで、どのような生活支援があれば利用したい、または今後利用したいと思いますか。 × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、〈要支援1〉〈要支援2〉では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高くなっています。

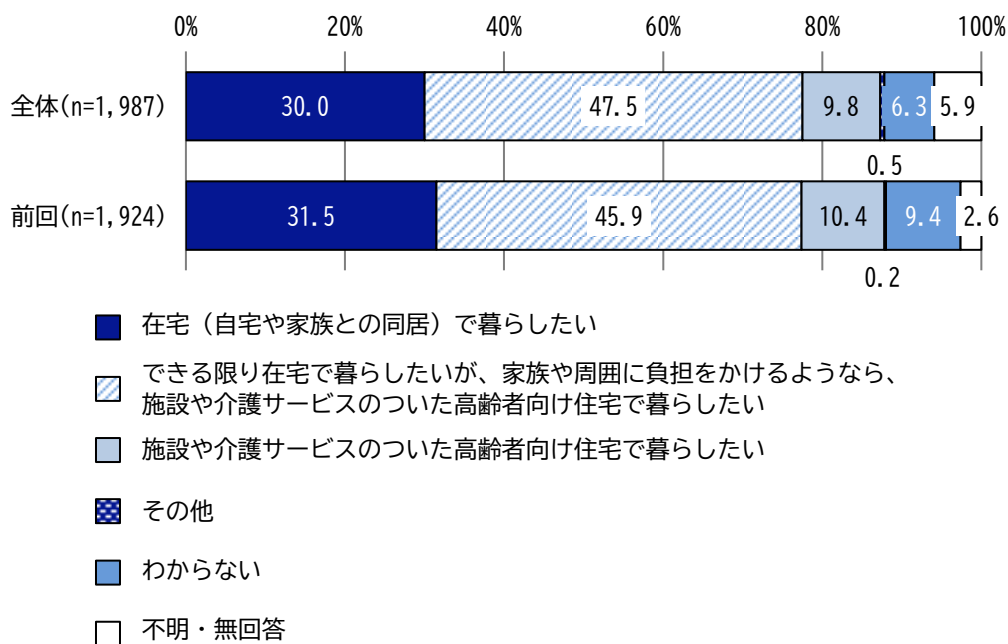
年齢別にみると、いずれの区分も「配食」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が上位2項目となっています。

単位：%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特にない	不明・無回答
全体（n=1,987）		45.7	18.9	33.7	26.7	22.2	31.9	45.1	27.4	14.6	1.4	15.0	5.7
認定状況別	一般高齢者（n=1,834）	46.0	18.8	33.2	27.0	21.5	31.5	44.7	27.6	14.3	1.4	15.5	5.3
	事業対象者（n=8）	50.0	0.0	37.5	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0	50.0	0.0	12.5	12.5
	要支援1（n=72）	41.7	18.1	37.5	20.8	31.9	38.9	47.2	19.4	15.3	0.0	8.3	13.9
	要支援2（n=69）	42.0	24.6	44.9	27.5	31.9	34.8	53.6	34.8	17.4	2.9	10.1	8.7
年齢別	65～69歳（n=355）	47.9	22.3	41.7	30.4	28.5	33.5	46.8	31.8	14.1	0.6	13.0	3.9
	70～74歳（n=469）	44.8	18.8	32.6	29.4	22.2	33.7	48.4	27.3	14.1	1.3	17.1	4.3
	75～79歳（n=601）	48.4	18.6	33.4	26.0	22.0	31.9	42.3	29.0	14.0	2.5	15.5	5.5
	80～84歳（n=376）	40.4	16.8	28.5	23.1	15.7	27.7	44.1	22.6	15.2	0.5	15.4	8.2
	85歳以上（n=182）	46.2	17.6	33.0	22.0	24.7	33.0	44.5	24.2	17.6	1.6	11.5	8.8

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

問9 (2) 将来、介護が必要な状態になったとき、介護を受けて暮らすとしたら、どこで暮らしたいですか。
(単数回答)

全体では「できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」が47.5%と最も高く、次いで「在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい」が30.0%、「施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」が9.8%となっています。



問9 (2) 将来、介護が必要な状態になったとき、介護を受けて暮らすとしたら、どこで暮らしたいですか。× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、いずれの区分も「できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」、次いで「在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい」が上位2項目となっており、特に<一般高齢者><要支援2>は「在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい」が約3割となっています。

年齢別にみると、上位2項目は全体と同様の傾向であり、<85歳以上>では、「施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい」が1割半ばとなっています。

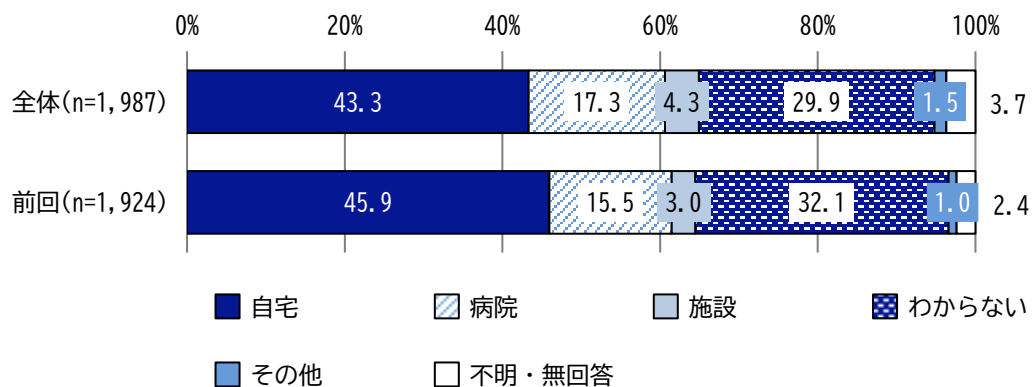
単位：%		在宅（自宅や家族との同居）で暮らしたい	できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい	施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい	その他	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		30.0	47.5	9.8	0.5	6.3	5.9
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	30.6	47.6	9.7	0.4	6.4	5.3
	事業対象者 (n=8)	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0	12.5
	要支援1 (n=72)	18.1	54.2	9.7	0.0	6.9	11.1
	要支援2 (n=69)	31.9	33.3	15.9	1.4	1.4	15.9
年齢別	65～69歳 (n=355)	25.4	53.2	11.5	0.3	5.1	4.5
	70～74歳 (n=469)	28.8	53.1	7.5	0.0	7.0	3.6
	75～79歳 (n=601)	33.6	44.9	9.2	0.3	7.2	4.8
	80～84歳 (n=376)	32.2	41.0	10.1	0.8	5.3	10.6
	85歳以上 (n=182)	26.4	44.0	14.3	1.6	5.5	8.2

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9（3）あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。

（単数回答）

全体では「自宅」が43.3%と最も高く、次いで「わからない」が29.9%、「病院」が17.3%となっています。



問9（3）あなたはどこで最期を迎えたいと思いますか。 × 年齢

全体では「自宅」が43.3%と最も高く、次いで「わからない」が29.9%、「病院」が17.3%となっています。

年齢別にみると、すべての区分で「自宅」が最も高く、特に<80～84歳>では半数を占めています。

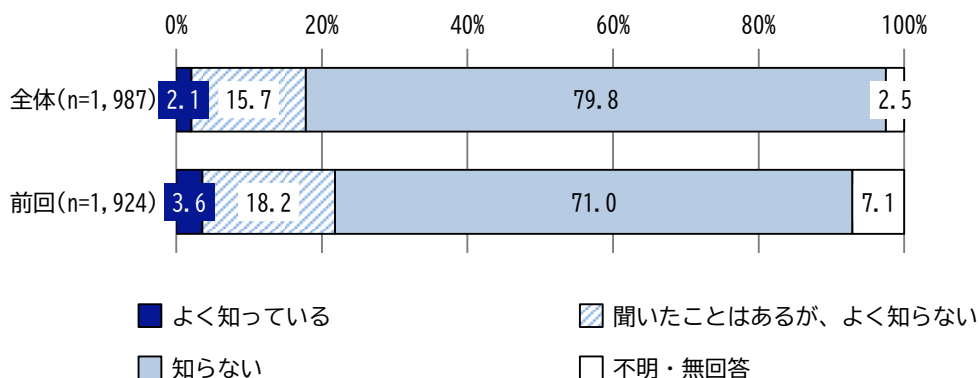
単位：%		自宅	病院	施設	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,987)		43.3	17.3	4.3	29.9	1.5	3.7
年齢別	65～69歳 (n=355)	36.6	15.2	7.6	36.1	1.1	3.4
	70～74歳 (n=469)	43.3	16.0	3.0	32.0	2.8	3.0
	75～79歳 (n=601)	43.3	19.3	3.7	28.8	1.5	3.5
	80～84歳 (n=376)	50.0	16.2	4.5	23.7	0.8	4.8
	85歳以上 (n=182)	42.9	19.2	2.7	29.7	0.5	4.9

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9 (4) ACP (アドバンス・ケア・プランニング)、または人生会議について知っていますか。 (単数回答)

全体では「知らない」が79.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が15.7%、「よく知っている」が2.1%となっています。

前回調査と比較すると、「知らない」で増加傾向がみられます。



※ACP (アドバンス・ケア・プランニング) …万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うことです。

問9 (4) ACP (アドバンス・ケア・プランニング)、または人生会議について知っていますか。 × 年齢

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」が最も高く、特に<65~79歳>では8割台となっています。

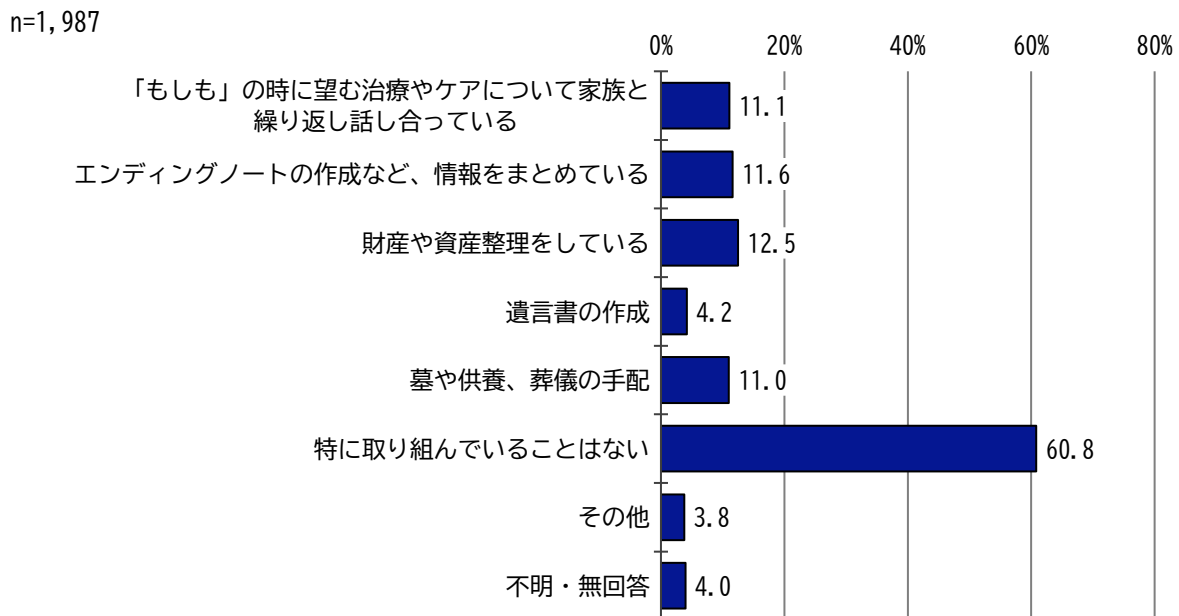
単位：%		よく知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		2.1	15.7	79.8	2.5
年齢別	65~69歳 (n=355)	1.1	16.1	80.3	2.5
	70~74歳 (n=469)	3.8	14.3	80.6	1.3
	75~79歳 (n=601)	1.2	13.1	83.5	2.2
	80~84歳 (n=376)	1.9	18.6	76.3	3.2
	85歳以上 (n=182)	3.3	20.9	70.9	4.9

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9（5）「終活」に関して、取り組んでいることはありますか。

（複数回答）

全体では「特に取り組んでいることはない」が60.8%と最も高く、次いで「財産や資産整理をしている」が12.5%、「エンディングノートの作成など、情報をまとめている」が11.6%となっています。



問9（5）「終活」に関して、取り組んでいることはありますか。 × 年齢

年齢別にみると、特に<65～79歳>では「特に取り組んでいることはない」が6割台となっています。ACP（アドバンス・ケア・プランニング）に相当する「「もしも」の時に望む治療やケアについて家族と繰り返し話し合っている」については、<85歳以上>で18.7%が取り組んでいます。

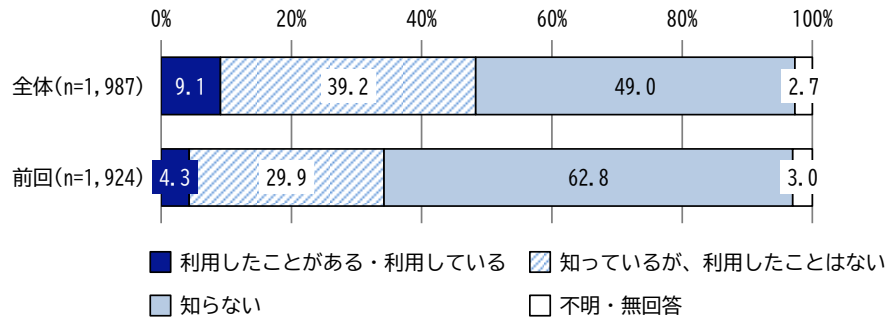
単位：%		話し合っている	エンディングノートの作成	財産や資産整理をしている	遺言書の作成	墓や供養、葬儀の手配	特に取り組んでいることはない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,987)		11.1	11.6	12.5	4.2	11.0	60.8	3.8	4.0
年齢別	65～69歳 (n=355)	7.6	7.6	13.0	3.1	6.2	66.8	5.1	3.1
	70～74歳 (n=469)	9.4	11.3	10.9	2.8	7.2	64.2	3.6	3.4
	75～79歳 (n=601)	10.6	13.1	11.5	4.5	12.6	61.2	3.5	3.8
	80～84歳 (n=376)	13.6	11.4	13.6	6.1	13.3	56.6	4.3	5.1
	85歳以上 (n=182)	18.7	15.4	17.6	4.9	20.3	47.3	1.6	5.5

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9（6）高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。（単数回答）

全体では「知らない」が49.0%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が39.2%、「利用したことがある・利用している」が9.1%となっています。

前回調査と比較すると、認知度（「利用したことがある・利用している」「知っているが、利用したことはない」の計）は、増加傾向がみられます。



問9（6）高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。 × 認定状況、年齢

認定状況別にみると、〈一般高齢者〉では「知らない」、〈要支援1〉〈要支援2〉では「利用したことがある・利用している」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」が5割前後となっています。

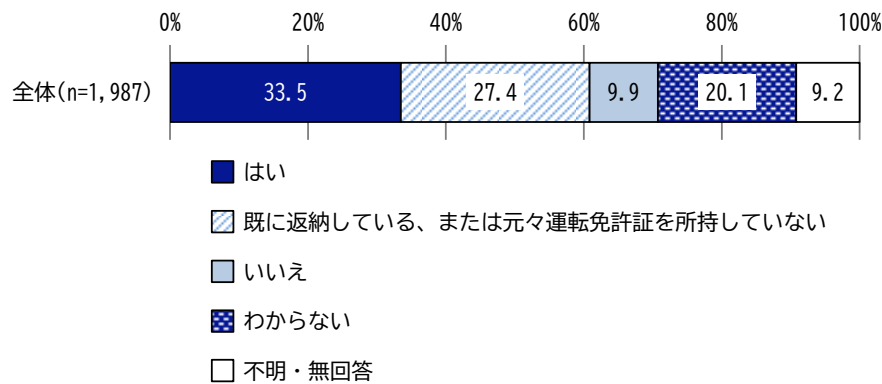
単位：%		利用したことがある・利用している	知っているが、利用したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		9.1	39.2	49.0	2.7
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	7.1	39.9	50.7	2.3
	事業対象者 (n=8)	25.0	62.5	0.0	12.5
	要支援1 (n=72)	34.7	29.2	30.6	5.6
	要支援2 (n=69)	33.3	29.0	29.0	8.7
年齢別	65～69歳 (n=355)	10.7	38.9	48.2	2.3
	70～74歳 (n=469)	9.0	39.9	49.7	1.5
	75～79歳 (n=601)	7.3	39.3	50.7	2.7
	80～84歳 (n=376)	8.5	39.4	48.9	3.2
	85歳以上 (n=182)	13.7	37.4	42.9	6.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9（7）将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか。

（単数回答）

全体では「はい」が33.5%と最も高く、次いで「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」が27.4%、「わからない」が20.1%となっています。



問9（7）将来的に運転免許証を自主返納したいと思いますか。

× 認定状況、年齢、日常生活圏域

認定状況別にみると、〈一般高齢者〉では「はい」、〈要支援1〉〈要支援2〉では「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〈65～79歳〉では「はい」、〈80歳以上〉では「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」が最も高くなっています。

日常生活圏域別にみると、〈男山東中学校圏域〉で「わからない」が2番目に高く、「既に返納している、または元々運転免許証を所持していない」は1割半ば程度となっています。

単位：%		はい	既に返納している、または元々運転免許証を所持していない	いいえ	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		33.5	27.4	9.9	20.1	9.2
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	35.2	25.6	10.2	21.1	8.0
	事業対象者 (n=8)	12.5	62.5	0.0	12.5	12.5
	要支援1 (n=72)	19.4	47.2	1.4	11.1	20.8
	要支援2 (n=69)	8.7	49.3	8.7	4.3	29.0
年齢別	65～69歳 (n=355)	42.3	10.1	11.3	32.1	4.2
	70～74歳 (n=469)	41.8	19.4	10.7	23.5	4.7
	75～79歳 (n=601)	30.6	29.5	11.0	20.0	9.0
	80～84歳 (n=376)	27.9	40.7	6.6	12.0	12.8
	85歳以上 (n=182)	17.0	46.7	7.1	5.5	23.6
圏域別	男山東中学校圏域 (n=489)	29.2	30.1	10.6	21.7	8.4
	男山第二中学校圏域 (n=528)	33.9	29.5	8.7	16.7	11.2
	男山第三中学校圏域 (n=565)	30.4	30.4	8.0	22.1	9.0
	男山東中学校圏域 (n=401)	42.9	16.7	12.7	20.0	7.7

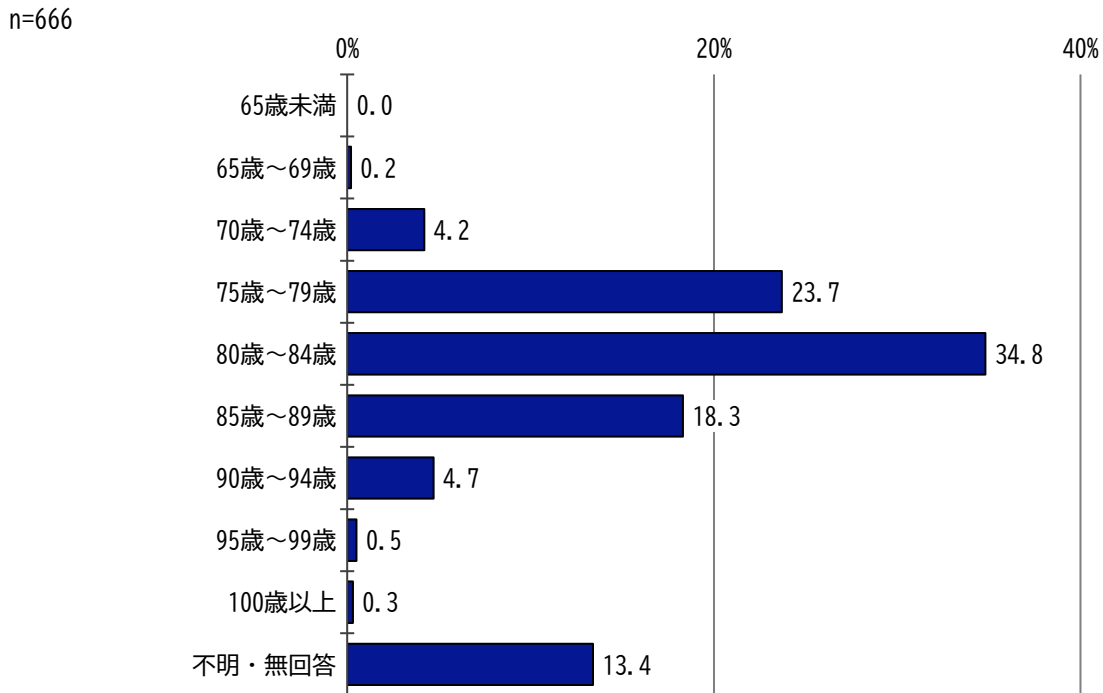
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

【問9（7）において「はい」（自主返納意向あり）を選んだ方】

問9（7） 何歳になったら返納しようと思うか

（単数回答）

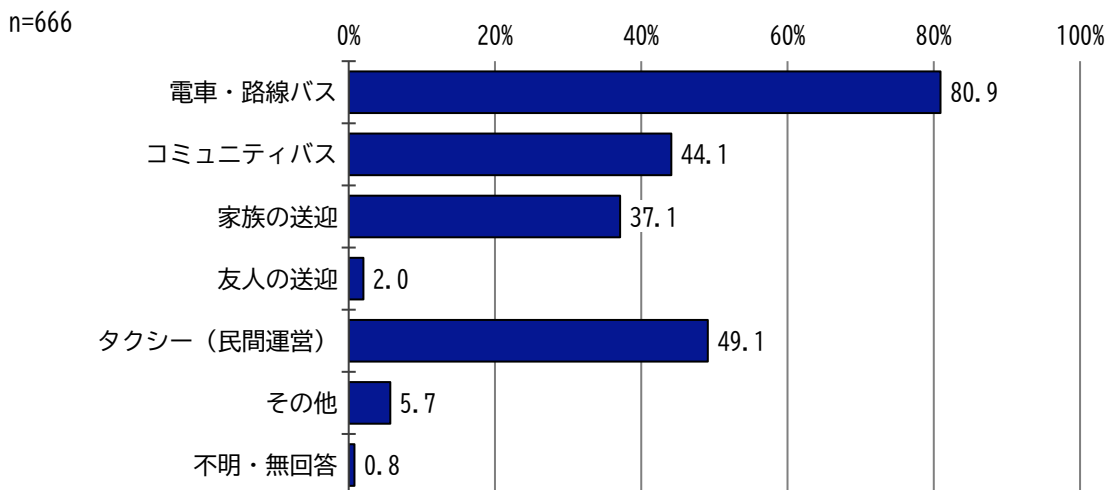
全体では「80歳～84歳」が34.8%と最も高く、次いで「75歳～79歳」が23.7%、「85歳～89歳」が18.3%となっています。



【問9（7）において「はい」（自主返納意向あり）を選んだ方】

問9（7）-1 運転免許証を返納した場合の主な交通手段について教えてください。
（複数回答）

全体では「電車・路線バス」が80.9%と最も高く、次いで「タクシー（民間運営）」が49.1%、「コミュニティバス」が44.1%となっています。



【問9（7）において「はい」（自主返納意向あり）を選んだ方】

問9（7）-1 運転免許証を返納した場合の主な交通手段について教えてください。

× 日常生活圏域

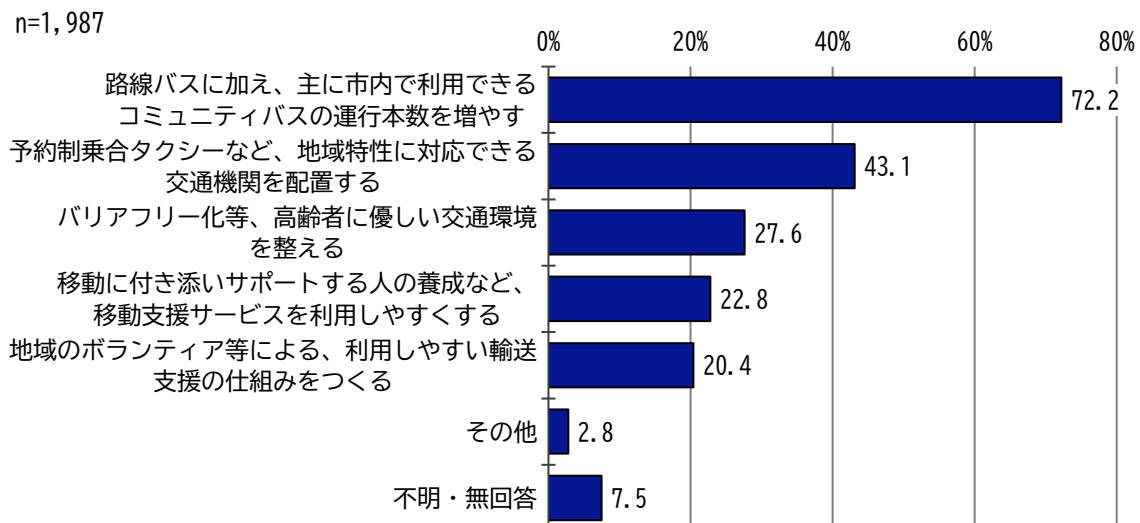
日常生活圏域別にみると、〈男山中学校圏域〉では「コミュニティバス」、〈男山第二中学校圏域〉〈男山第三中学校圏域〉では「タクシー（民間運営）」、〈男山東中学校圏域〉では「家族の送迎」が2番目に高くなっています。

単位：%		電車・路線バス	コミュニティバス	家族の送迎	友人の送迎	タクシー（民間運営）	その他	不明・無回答
全体（n=666）		80.9	44.1	37.1	2.0	49.1	5.7	0.8
圏域別	男山中学校圏域（n=143）	79.0	49.7	37.1	1.4	46.9	6.3	1.4
	男山第二中学校圏域（n=179）	89.4	38.5	27.9	2.8	46.4	5.0	1.1
	男山第三中学校圏域（n=172）	82.6	49.4	30.8	1.7	53.5	5.8	0.6
	男山東中学校圏域（n=172）	72.1	40.1	52.9	1.7	49.4	5.8	0.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9（8）高齢になっても、不便なく交通機関などを利用して移動するために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答）

全体では「路線バスに加え、主に市内で利用できるコミュニティバスの運行本数を増やす」が72.2%と最も高く、次いで「予約制乗合タクシーなど、地域特性に対応できる交通機関を配置する」が43.1%、「バリアフリー化等、高齢者に優しい交通環境を整える」が27.6%となっています。



問9（8）高齢になっても、不便なく交通機関などを利用して移動するために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。× 年齢、日常生活圏域

年齢別、日常生活圏域別にみると、いずれも大きな傾向の変化はみられません。

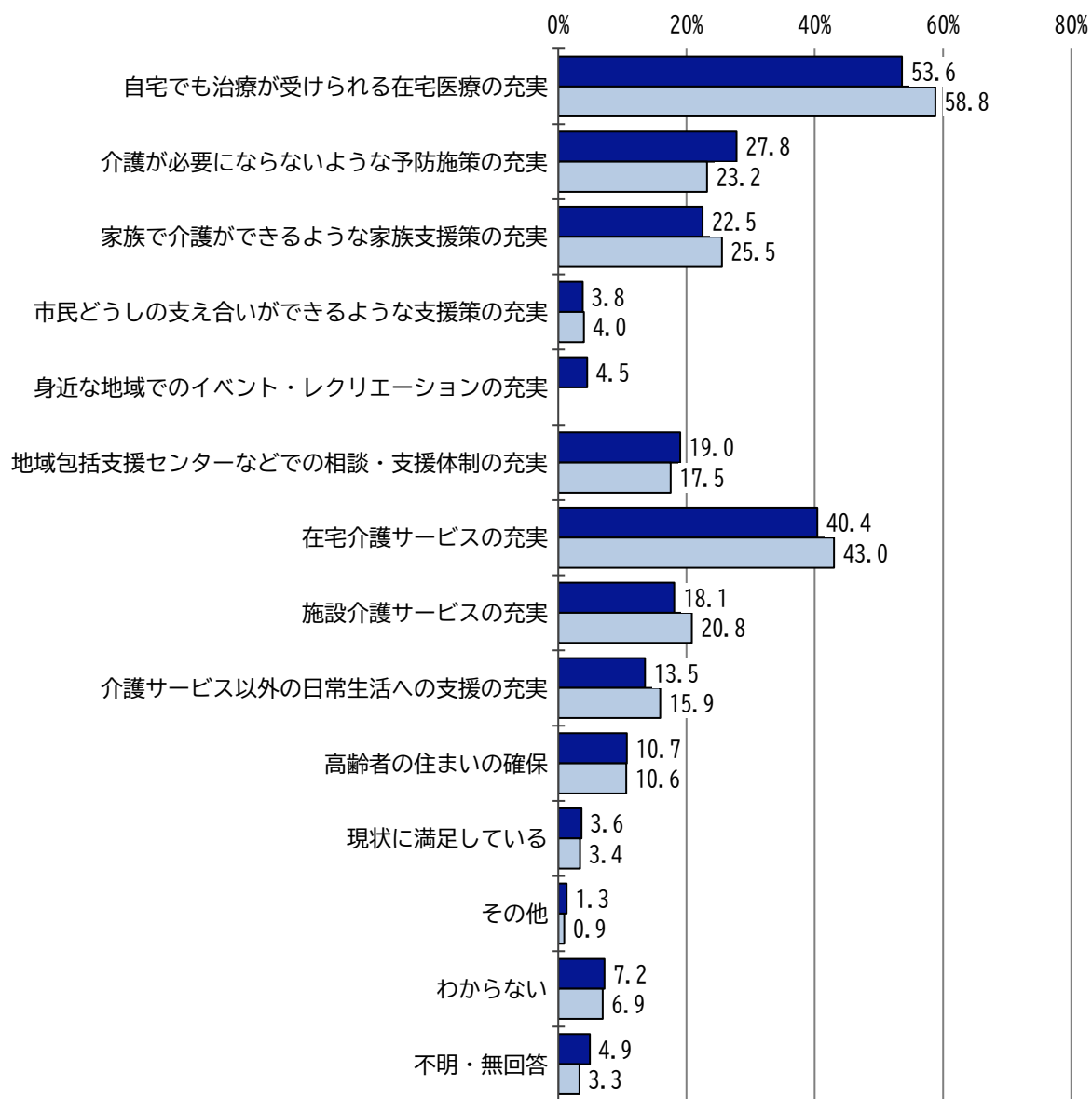
単位：％		の利路を域予優バビ人移仕地 運用線路を配特約しいリアス動組、域 行線バスに置性制いア養にみ、の 本でバスにすするに乗交フ成に利用の 数を加え、タ合タフリな付をのボ を増コミユ、でクタクリーしきしやラン やすニ主、るできるシー、いすい ティに、交シ、サ、イア バス内、通、交、ポ、輸 スで機、機、ト、送 関、関、等、支、支 、の	不明・無回答					
全体 (n=1,987)		72.2	43.1	27.6	22.8	20.4	2.8	7.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	76.9	49.9	28.7	27.9	21.4	1.7	3.4
	70～74歳 (n=469)	72.3	46.3	30.1	23.5	22.2	4.1	5.8
	75～79歳 (n=601)	71.2	41.9	27.6	21.1	20.3	3.5	7.7
	80～84歳 (n=376)	72.9	36.4	24.7	19.9	17.6	0.8	12.5
	85歳以上 (n=182)	64.3	39.6	25.3	23.1	20.3	2.7	9.9
圏域別	男山中学校圏域 (n=489)	68.3	36.6	28.8	22.3	23.1	2.9	10.4
	男山第二中学校圏域 (n=528)	70.6	40.5	28.4	23.1	16.7	1.9	7.8
	男山第三中学校圏域 (n=565)	76.3	46.9	26.5	23.5	20.5	3.2	5.7
	男山東中学校圏域 (n=401)	73.1	49.1	26.7	22.2	21.9	3.0	6.5

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9 (9) 介護保険・高齢者健康福祉施策について、今後特に充実が必要と考える取り組みは何ですか。(複数回答)

全体では「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が53.6%と最も高く、次いで「在宅介護サービスの充実」が40.4%、「介護が必要にならないような予防施策の充実」が27.8%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」で減少傾向がみられます。



■ 全体(n=1,987) □ 前回(n=1,924)

問9 (9) 介護保険・高齢者健康福祉施策について、今後特に充実が必要と考える取り組みは何ですか。× 認定状況、年齢

認定状況別にみると、いずれも大きな傾向の変化はみられません。

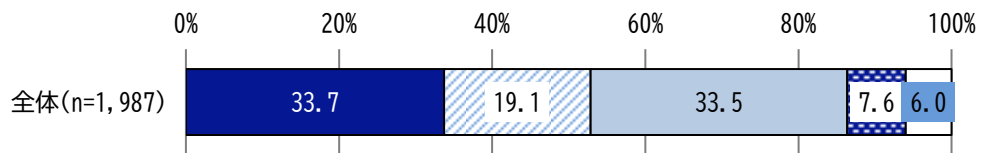
年齢別にみると、いずれも大きな傾向の変化はみられません。

単位：％		自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	身近な地域でのイベント・レクリエーションの充実	地域包括支援センターなどの相談・支援体制の充実	在宅介護サービスの充実	施設介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	高齢者の住まいの確保	現状に満足している	その他	わからない	不明・無回答
全体 (n=1,987)		53.6	27.8	22.5	3.8	4.5	19.0	40.4	18.1	13.5	10.7	3.6	1.3	7.2	4.9
認定状況別	一般高齢者 (n=1,834)	54.0	28.4	22.6	3.8	4.4	18.7	40.3	18.4	13.4	10.9	3.5	1.3	7.3	4.3
	事業対象者 (n=8)	50.0	50.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5
	要支援1 (n=72)	41.7	20.8	22.2	5.6	8.3	22.2	37.5	11.1	8.3	9.7	4.2	1.4	9.7	15.3
	要支援2 (n=69)	56.5	18.8	21.7	1.4	1.4	23.2	49.3	18.8	21.7	7.2	5.8	0.0	1.4	10.1
年齢別	65～69歳 (n=355)	53.0	30.1	22.3	3.4	4.8	20.3	43.1	27.9	13.5	13.0	1.4	0.8	8.5	1.1
	70～74歳 (n=469)	52.5	29.9	20.7	4.3	4.7	20.5	41.6	16.8	12.2	12.4	1.9	1.7	6.8	3.4
	75～79歳 (n=601)	54.1	28.5	23.6	4.0	3.8	16.3	38.6	18.3	16.1	9.3	5.5	1.2	7.7	5.0
	80～84歳 (n=376)	54.8	24.7	20.7	2.9	5.1	19.7	37.5	12.5	11.7	11.4	2.7	0.8	6.4	9.6
	85歳以上 (n=182)	54.4	22.5	27.5	4.4	4.4	20.3	45.1	13.2	11.5	4.4	8.2	2.2	5.5	6.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

問9 (10) 今後、高齢化が進んでいく中でサービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、介護保険料の見直しが必要です。介護サービスとサービスを支える保険料負担について、どう思われますか。 (単数回答)

全体では「介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない」が33.7%と最も高く、次いで「わからない」が33.5%、「介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい」が19.1%となっています。



- 介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない
- 介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい
- わからない
- その他
- 不明・無回答

問9 (10) 今後、高齢化が進んでいく中でサービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、介護保険料の見直しが必要です。介護サービスとサービスを支える保険料負担について、どう思われますか。 × 認定状況

認定状況別にみると、<一般高齢者>では「わからない」、その他の区分では「介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない」が最も高くなっています。

単位：%		るめを介 こに維サ とは持サ も、まー や介たス む護は を保充の ないが 上る利 がた用 量	を介 を減サ 維持ら してシ てほも しい、 介護 保利 険用 料量	わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,987)		33.7	19.1	33.5	7.6	6.0
認 定 別	一般高齢者 (n=1,834)	33.4	19.2	34.2	7.9	5.4
	事業対象者 (n=8)	37.5	37.5	0.0	12.5	12.5
	要支援1 (n=72)	36.1	19.4	25.0	1.4	18.1
	要支援2 (n=69)	42.0	13.0	27.5	7.2	10.1

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

生活機能評価項目別のリスク判定について

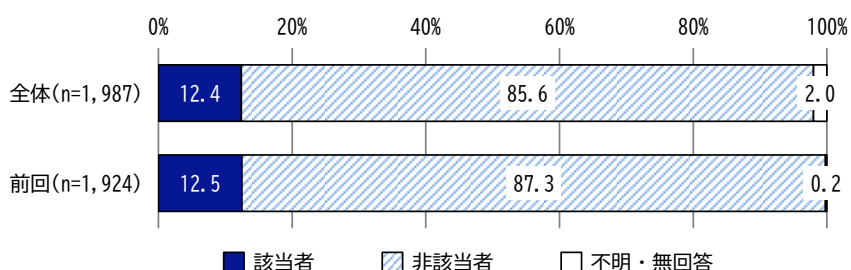
(1) 運動器機能の低下

高齢者の運動器機能に関するリスク判定は、以下の設問5問中3問以上に該当した場合に、運動器機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわず昇れるか	「できない」
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるか	「できない」
問2 (3)	15分位続けて歩けるか	「できない」
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験があるか	「何度もある」「1度のみ」
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいか	「とても不安である」「やや不安である」

運動器機能の低下

全体では「非該当者」が85.6%と最も高く、次いで「該当者」が12.4%となっています。



運動器機能の低下 × 年齢

年齢別にみると、<85歳以上>では「該当者」が30.2%となっています。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		12.4	85.6	2.0
年齢別	65～69歳 (n=355)	3.4	95.2	1.4
	70～74歳 (n=469)	8.3	89.8	1.9
	75～79歳 (n=601)	11.3	86.7	2.0
	80～84歳 (n=376)	18.6	79.3	2.1
	85歳以上 (n=182)	30.2	66.5	3.3

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

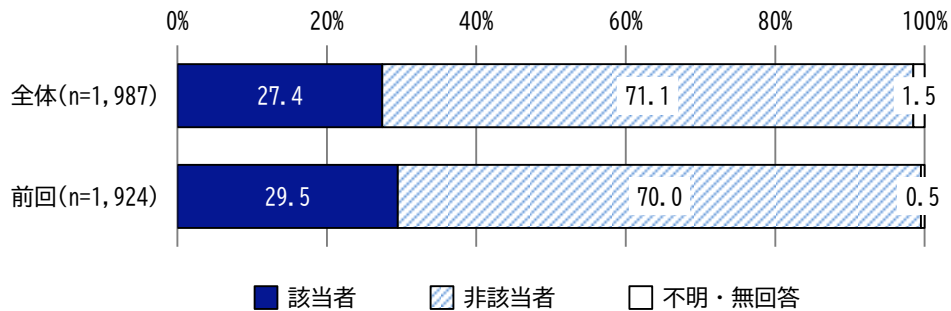
(2) 転倒リスク

転倒に関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、転倒リスクありと判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験があるか	「何度もある」「1度のみ」

転倒リスク

全体では「非該当者」が71.1%と最も高く、次いで「該当者」が27.4%となっています。



転倒リスク × 年齢

年齢別にみると、<80歳以上>では「該当者」が3割台となっています。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		27.4	71.1	1.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	21.1	78.0	0.8
	70～74歳 (n=469)	24.3	74.4	1.3
	75～79歳 (n=601)	26.6	71.7	1.7
	80～84歳 (n=376)	33.0	65.4	1.6
	85歳以上 (n=182)	38.5	59.3	2.2

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

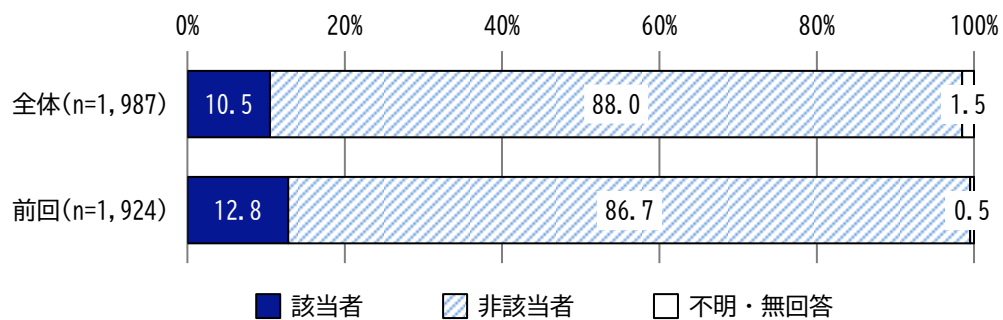
(3) 閉じこもり傾向

高齢者の閉じこもりに関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、閉じこもり傾向のリスクありと判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出しているか	「ほとんど外出しない」

閉じこもり傾向

全体では「非該当者」が88.0%と最も高く、次いで「該当者」が10.5%となっています。



閉じこもり傾向 × 年齢

年齢別にみると、<85歳以上>では「該当者」が28.6%となっています。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		10.5	88.0	1.5
年齢別	65～69歳 (n=355)	4.8	94.1	1.1
	70～74歳 (n=469)	5.3	93.4	1.3
	75～79歳 (n=601)	10.0	88.4	1.7
	80～84歳 (n=376)	14.6	84.0	1.3
	85歳以上 (n=182)	28.6	68.7	2.7

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

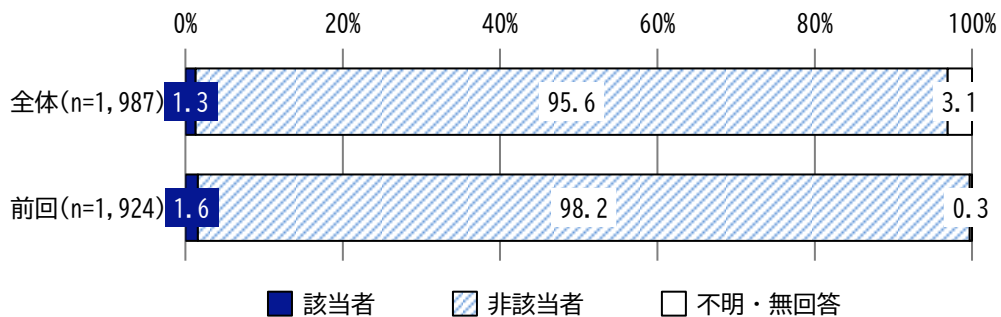
(4) 低栄養状態

高齢者の栄養状態に関するリスク判定は、以下の設問2問中2問とも該当した場合に、低栄養のリスクありと判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3 (1)	身長(cm)、体重(kg)により算出 ※計算方法：BMI値=体重(kg)÷(身長(m)) ²	BMI値<18.5 …「やせ」
問3 (6)	6か月で2～3kg以上の体重減少があるか	「はい」

低栄養状態

全体では「非該当者」が95.6%と最も高く、次いで「該当者」が1.3%となっています。



低栄養状態 × 年齢

年齢別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		1.3	95.6	3.1
年齢別	65～69歳 (n=355)	0.3	97.5	2.3
	70～74歳 (n=469)	0.4	97.0	2.6
	75～79歳 (n=601)	1.8	95.8	2.3
	80～84歳 (n=376)	1.3	93.4	5.3
	85歳以上 (n=182)	3.8	92.3	3.8

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

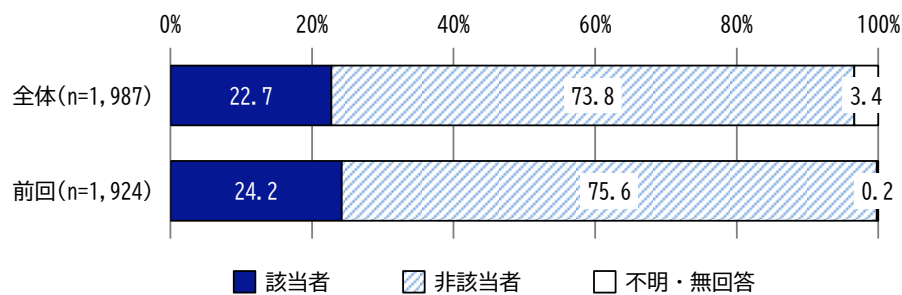
(5) 口腔機能の低下

高齢者の口腔機能に関するリスク判定は、以下の設問3問中2問以上が該当した場合に、口腔機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	「はい」
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがあるか	「はい」
問3 (4)	口の渇きが気になるか	「はい」

口腔機能の低下

全体では「非該当者」が73.8%と最も高く、次いで「該当者」が22.7%となっています。



口腔機能の低下 × 年齢

年齢別にみると、<85歳以上>で「該当者」が34.1%となっています。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		22.7	73.8	3.4
年齢別	65～69歳 (n=355)	20.3	77.5	2.3
	70～74歳 (n=469)	16.2	81.0	2.8
	75～79歳 (n=601)	23.3	74.0	2.7
	80～84歳 (n=376)	26.6	67.6	5.9
	85歳以上 (n=182)	34.1	61.0	4.9

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

(6) 認知機能の低下

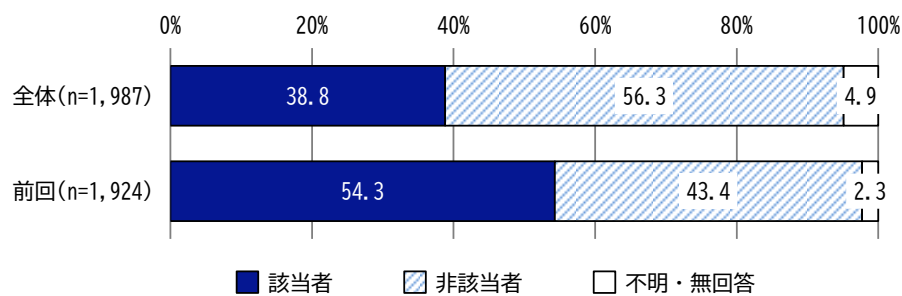
高齢者の認知機能に関するリスク判定は、以下の設問に該当した場合に、認知機能の低下と判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じるか	「はい」

認知機能の低下

全体では「非該当者」が56.3%と最も高く、次いで「該当者」が38.8%となっています。

前回調査と比較すると、「非該当者」で増加傾向がみられます。また、「該当者」で減少傾向がみられます。



認知機能の低下 × 年齢

年齢別にみると、〈85歳以上〉では「該当者」が最も高く、48.4%となっています。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		38.8	56.3	4.9
年齢別	65～69歳 (n=355)	37.5	59.7	2.8
	70～74歳 (n=469)	35.4	60.3	4.3
	75～79歳 (n=601)	36.8	58.9	4.3
	80～84歳 (n=376)	42.3	49.7	8.0
	85歳以上 (n=182)	48.4	45.1	6.6

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

(7) うつ傾向

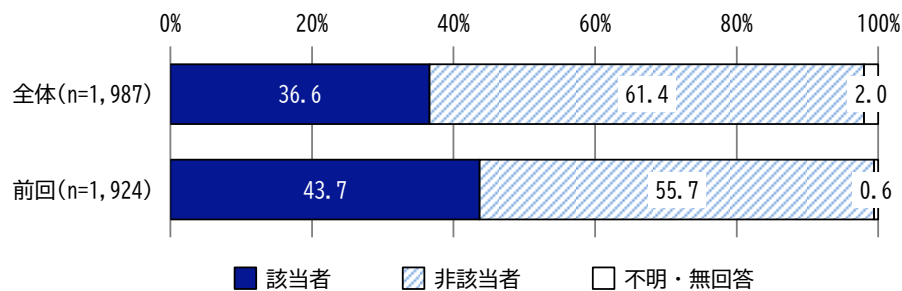
高齢者のうつに関するリスク判定は、以下の設問2問中1問以上を該当した場合に、うつ傾向のリスクありと判定されます。

問番号	設問	リスク該当となる選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたか	「はい」
問7(4)	この1か月間、物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか	「はい」

うつ傾向

全体では「非該当者」が61.4%と最も高く、次いで「該当者」が36.6%となっています。

前回調査と比較すると、「非該当者」で増加傾向がみられます。また、「該当者」で減少傾向がみられます。



うつ傾向 × 年齢

全体では「非該当者」が61.4%と最も高く、次いで「該当者」が36.6%となっています。

年齢別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：%		該当者	非該当者	不明・無回答
全体 (n=1,987)		36.6	61.4	2.0
年齢別	65～69歳 (n=355)	40.6	58.0	1.4
	70～74歳 (n=469)	34.5	64.6	0.9
	75～79歳 (n=601)	34.1	62.7	3.2
	80～84歳 (n=376)	39.4	59.3	1.3
	85歳以上 (n=182)	36.8	59.9	3.3

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

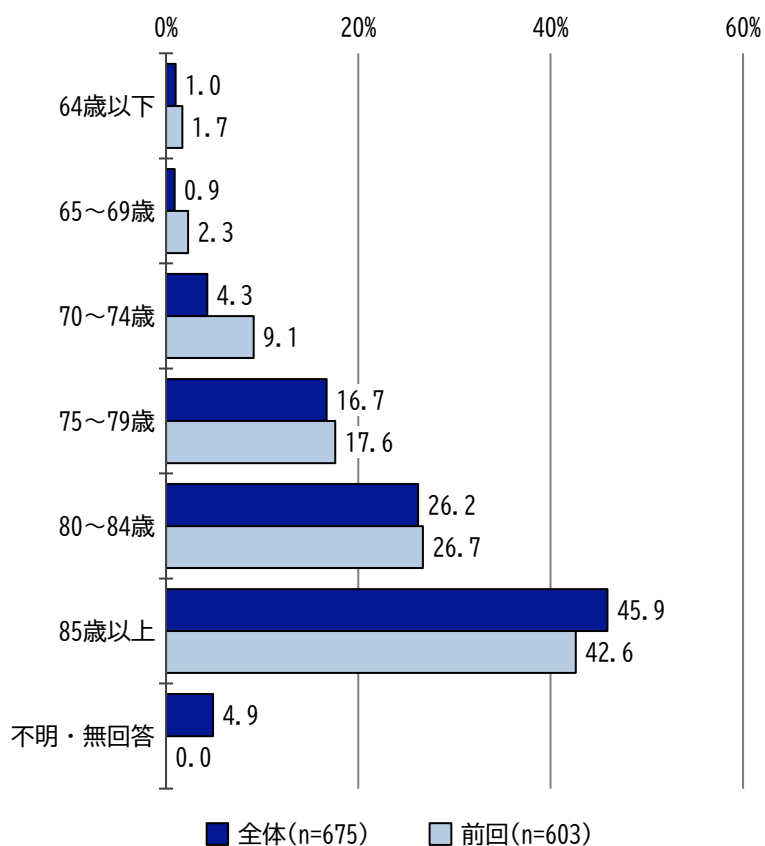
Ⅲ 在宅介護実態調査

調査対象者の基本情報

○ 年齢

(回答者ID突合)

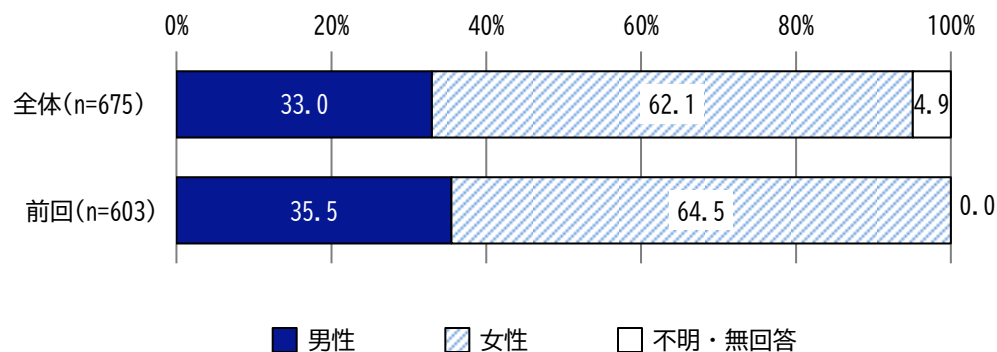
全体では「85歳以上」が45.9%と最も高く、次いで「80～84歳」が26.2%、「75～79歳」が16.7%となっています。



○ 性別

(回答者ID突合)

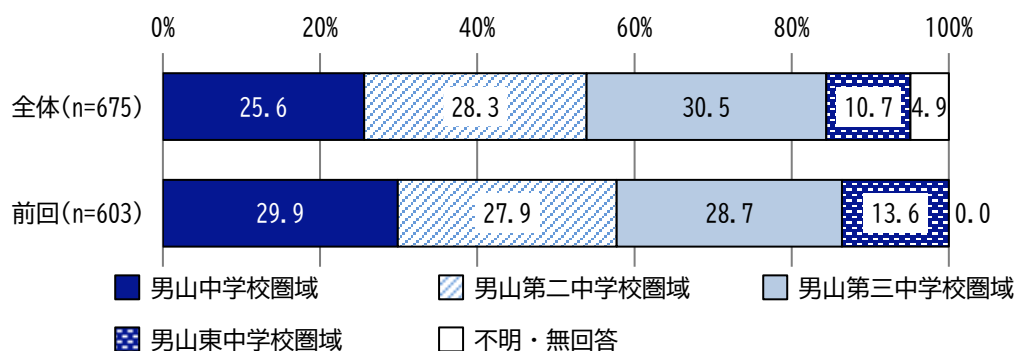
全体では「女性」が62.1%、「男性」が33.0%となっています。



○ 日常生活圏域

(回答者ID突合)

全体では「男山第三中学校圏域」が 30.5%と最も高く、次いで「男山第二中学校圏域」が 28.3%、「男山中学校圏域」が 25.6%となっています。

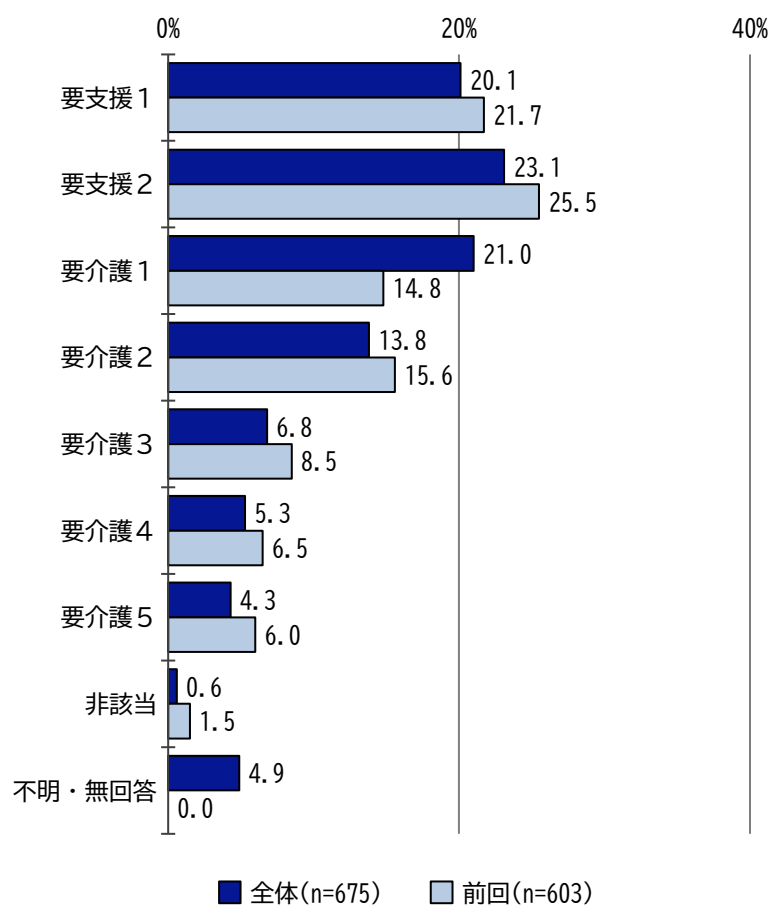


○ 認定状況

(回答者ID突合)

全体では「要支援2」が 23.1%と最も高く、次いで「要介護1」が 21.0%、「要支援1」が 20.1%となっています。

前回調査と比較すると、「要介護1」で増加傾向がみられます。



○ 圏域 × 認定

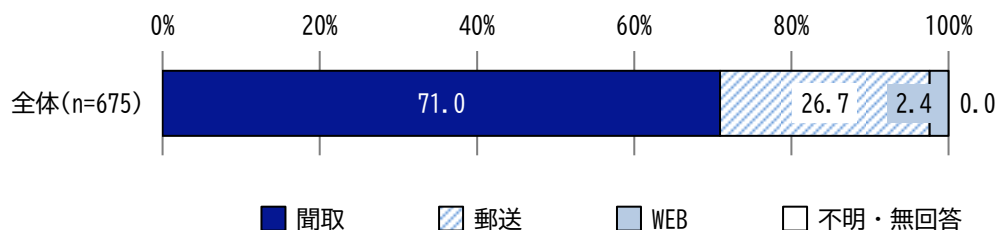
単位：%		男山中学校圏域	男山第二中学校圏域	男山第三中学校圏域	男山東中学校圏域	不明・無回答
全体 (n=675)		25.6	28.3	30.5	10.7	4.9
認定状況別	要支援1 (n=136)	27.9	33.1	32.4	6.6	0.0
	要支援2 (n=156)	28.2	30.8	29.5	11.5	0.0
	要介護1 (n=142)	26.8	30.3	33.8	9.2	0.0
	要介護2 (n=93)	24.7	21.5	36.6	17.2	0.0
	要介護3 (n=46)	23.9	30.4	28.3	17.4	0.0
	要介護4 (n=36)	27.8	30.6	30.6	11.1	0.0
	要介護5 (n=29)	31.0	31.0	27.6	10.3	0.0
	非該当 (n=4)	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

○ 回答方法

(単数回答)

全体では「聞取」が71.0%と最も高く、次いで「郵送」が26.7%、「WEB」が2.4%となっています。



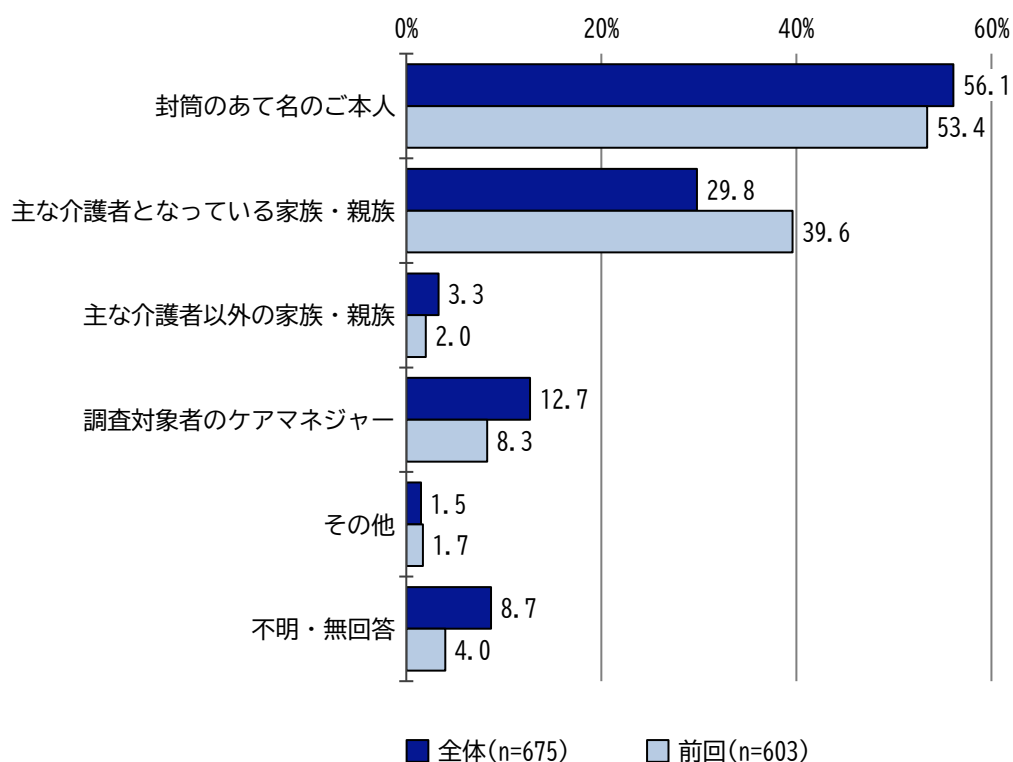
A票 調査対象者本人による回答

(1) 調査対象者の生活状態について

A票 問1 この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。 (複数回答)

全体では「封筒のあて名のご本人」が56.1%と最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が29.8%、「調査対象者のケアマネジャー」が12.7%となっています。

前回調査と比較すると、「主な介護者となっている家族・親族」で減少傾向がみられます。



A票 問1 この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。× 認定状況

〈要介護4・5〉では、「主な介護者となっている家族・親族」が最も高くなっています。

単位：%		封筒のあて名のご本人	主な介護者となっている家族・親族	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	不明・無回答
全体 (n=675)		56.1	29.8	3.3	12.7	1.5	8.7
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	77.4	16.1	2.1	3.4	1.0	7.9
	要介護1 (n=142)	44.4	31.7	3.5	20.4	1.4	12.0
	要介護2・3 (n=139)	42.4	41.7	2.9	20.1	1.4	8.6
	要介護4・5 (n=65)	23.1	55.4	3.1	16.9	3.1	7.7
	非該当 (n=4)	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0

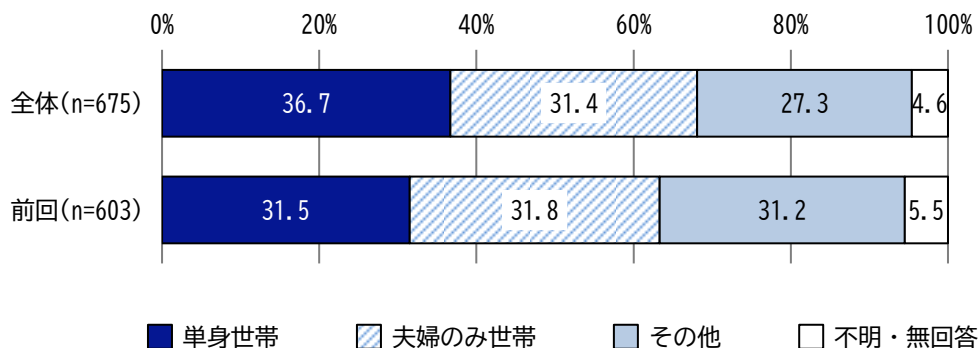
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問2 世帯類型について、ご回答ください。

(単数回答)

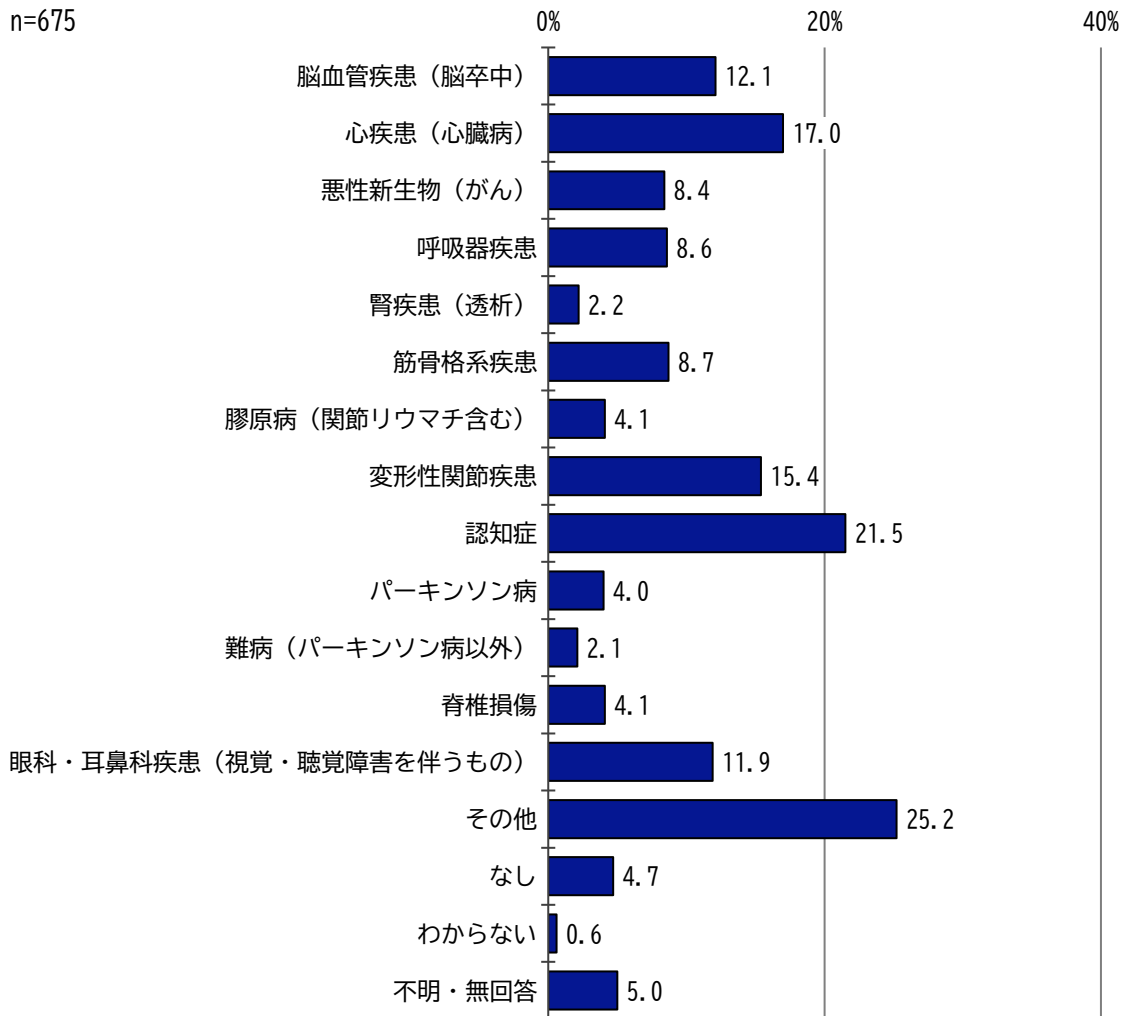
全体では「単身世帯」が36.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が31.4%、「その他」が27.3%となっています。

前回調査と比較すると、「単身世帯」で増加傾向がみられます。



A票 問3 ご本人が、現在抱えている傷病があればお教えてください。 (複数回答)

全体では「認知症」が21.5%と最も高く、次いで「心疾患（心臓病）」が17.0%、「変形性関節疾患」が15.4%となっています。



A票 問3 ご本人が、現在抱えている傷病があればお教えてください。 × 認定状況

<要支援1・2>では、「変形性関節疾患」、<要介護1～5>では、「認知症」が最も高くなっています。

単位：%		脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
全体（n=675）		12.1	17.0	8.4	8.6	2.2	8.7	4.1	15.4	21.5
認定状況別	要支援1・2（n=292）	9.2	13.7	9.2	6.8	3.1	9.2	4.1	23.3	3.8
	要介護1（n=142）	14.1	21.1	9.2	7.7	0.0	5.6	4.2	7.7	35.2
	要介護2・3（n=139）	12.2	25.9	7.9	11.5	1.4	9.4	5.0	12.9	34.5
	要介護4・5（n=65）	21.5	9.2	4.6	9.2	3.1	7.7	3.1	7.7	40.0
	非該当（n=4）	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0

単位：%		パーキンソン病	難病（パーキンソン病以外）	脊椎損傷	（眼科・耳鼻科疾患を伴うもの）	その他	なし	わからない	不明・無回答
全体（n=675）		4.0	2.1	4.1	11.9	25.2	4.7	0.6	5.0
認定状況別	要支援1・2（n=292）	2.4	2.1	6.5	15.1	23.3	6.5	1.0	6.2
	要介護1（n=142）	2.1	2.1	0.7	8.5	24.6	3.5	0.0	6.3
	要介護2・3（n=139）	6.5	0.0	4.3	10.8	25.2	3.6	0.0	2.9
	要介護4・5（n=65）	12.3	6.2	1.5	7.7	30.8	4.6	0.0	1.5
	非該当（n=4）	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

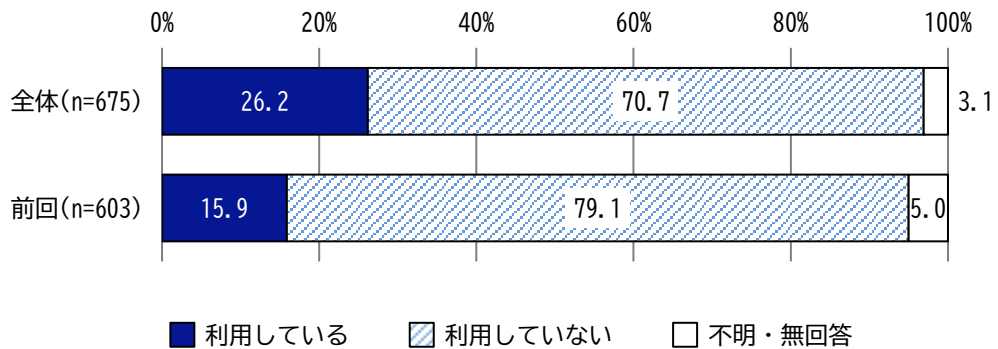
(2) 必要な介護やサービスについて

A票 問4 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。

(単数回答)

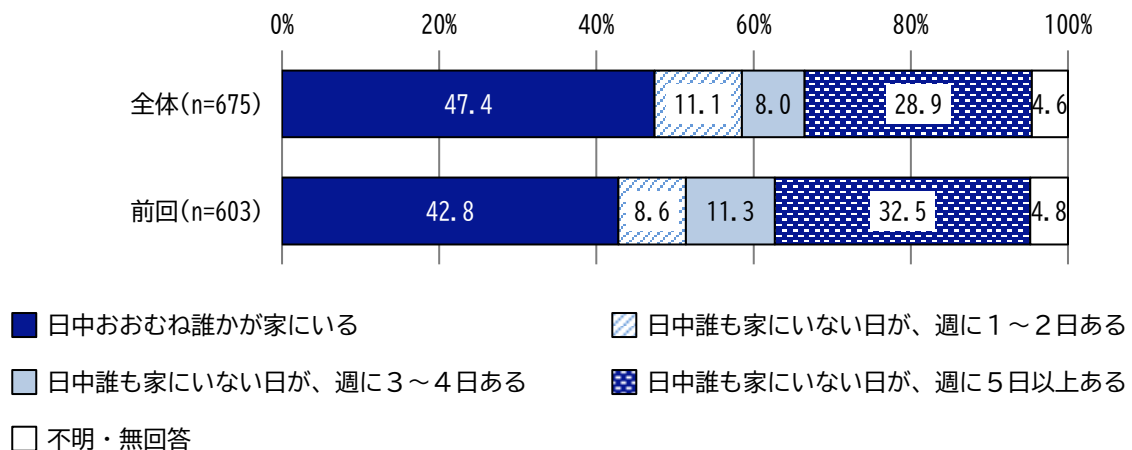
全体では「利用していない」が70.7%と最も高く、次いで「利用している」が26.2%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」で増加傾向がみられます。また、「利用していない」で減少傾向がみられます。



A票 問5 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいありますか。(単数回答)

全体では「日中おおむね誰かが家にいる」が47.4%と最も高く、次いで「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が28.9%、「日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある」が11.1%、「日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある」が8.0%、「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が4.6%となっています。



A票 問5 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいありますか。 × 認定状況、日常生活圏域

認定状況別にみると、＜要支援1・2＞では「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が最も高くなっています。

日常生活圏域別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

単位：％		日中おおむね誰かが家にいる	週日に中誰くも2日にある日があるが、	週日に中誰くも4日にある日があるが、	週日に中誰くも5日以上ある日があるが、	不明・無回答
全体 (n=675)		47.4	11.1	8.0	28.9	4.6
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	37.0	11.3	7.2	41.1	3.4
	要介護1 (n=142)	53.5	9.2	10.6	22.5	4.2
	要介護2・3 (n=139)	52.5	13.7	10.8	18.0	5.0
	要介護4・5 (n=65)	72.3	6.2	1.5	10.8	9.2
	非該当 (n=4)	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
圏域別	男山中学校圏域 (n=173)	46.2	8.7	12.1	28.3	4.6
	男山第二中学校圏域 (n=191)	45.5	9.4	6.3	36.1	2.6
	男山第三中学校圏域 (n=206)	48.5	13.6	6.8	26.2	4.9
	男山東中学校圏域 (n=72)	52.8	11.1	6.9	20.8	8.3

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問5 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいありますか。 × 同居・近居

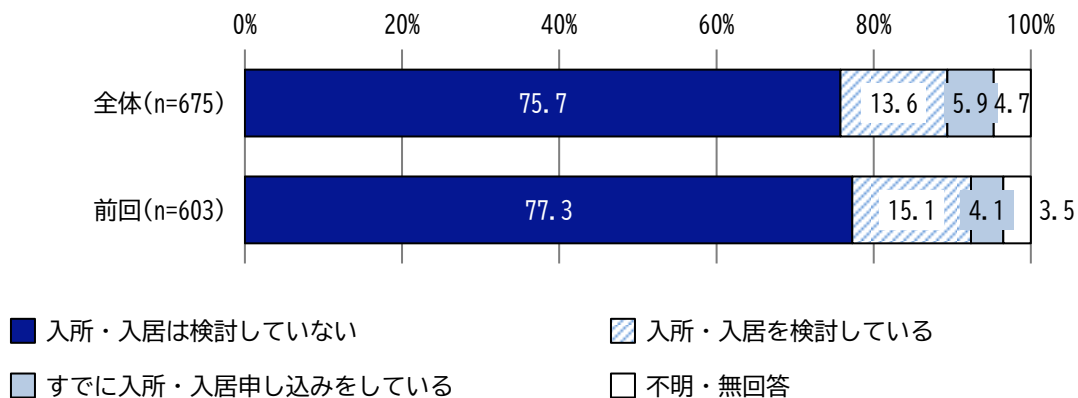
同居・近居別にみると、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞＜八幡市外に住んでいる＞では、「日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある」が最も高くなっています。

単位：%		日中おおむね誰かが家にいる	週日に中誰も家にいない日が、1〜2日ある	週日に中誰も家にいない日が、3〜4日ある	週日に中誰も以上にいない日が、5日以上ある	不明・無回答
「家族・親族介護あり」全体 (n=451)		54.5	11.5	9.1	23.5	1.3
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	74.2	10.2	6.3	7.4	2.0
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	31.2	16.9	15.6	36.4	0.0
	八幡市外に住んでいる (n=75)	21.3	13.3	16.0	48.0	1.3
	その他 (n=9)	66.7	11.1	0.0	22.2	0.0

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（単数回答）

全体では「入所・入居は検討していない」が75.7%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が13.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.9%となっています。



A票 問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 × 認定状況、日常生活圏域、家族構成

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞では、「すでに入所・入居申し込みをしている」、＜要支援1・2、要介護1・2・3＞では「入所・入居を検討している」が2番目に高くなっています。

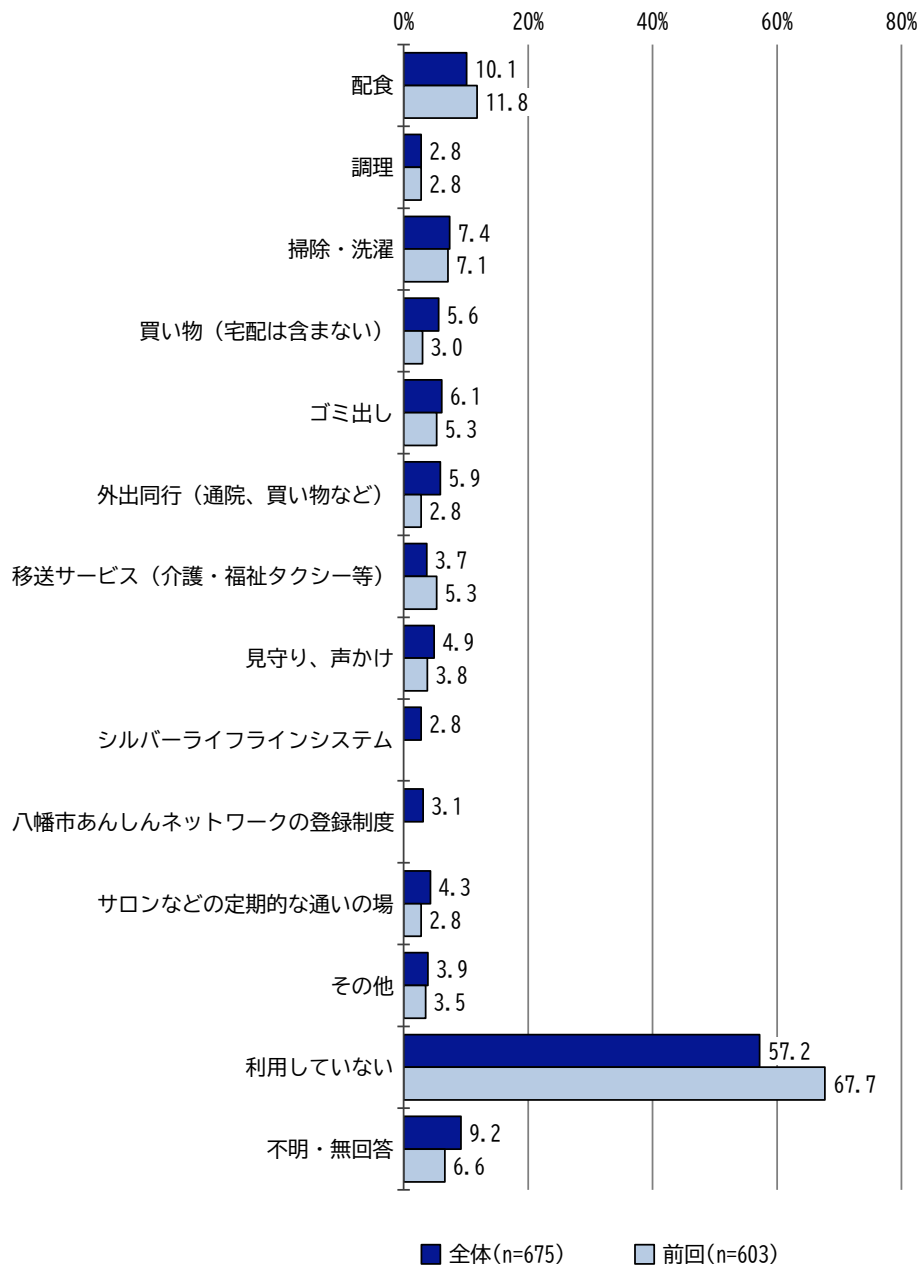
単位：%		し入 て所 い・ 入 居 は 検 討	し入 て所 い る ・ 入 居 を 検 討	い申 るす しで 込に み入 をし して 入 居	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=675)		75.7	13.6	5.9	4.7
認定 状況 別	要支援1・2 (n=292)	82.9	12.3	1.0	3.8
	要介護1 (n=142)	75.4	14.1	7.0	3.5
	要介護2・3 (n=139)	74.1	11.5	9.4	5.0
	要介護4・5 (n=65)	53.8	18.5	20.0	7.7
	非該当 (n=4)	75.0	25.0	0.0	0.0
圏 域 別	男山中学校圏域 (n=173)	83.2	10.4	2.9	3.5
	男山第二中学校圏域 (n=191)	72.8	16.2	8.4	2.6
	男山第三中学校圏域 (n=206)	74.3	14.1	6.8	4.9
	男山東中学校圏域 (n=72)	75.0	9.7	5.6	9.7
家 族 構 成 別	単身世帯 (n=248)	70.2	17.3	8.5	4.0
	夫婦のみ世帯 (n=212)	81.1	14.6	2.4	1.9
	その他 (n=184)	82.1	8.7	6.0	3.3

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

**A票 問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、
ご回答ください。 (複数回答)**

全体では「利用していない」が57.2%と最も高く、次いで「配食」が10.1%、「掃除・洗濯」が7.4%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」で減少傾向がみられます。



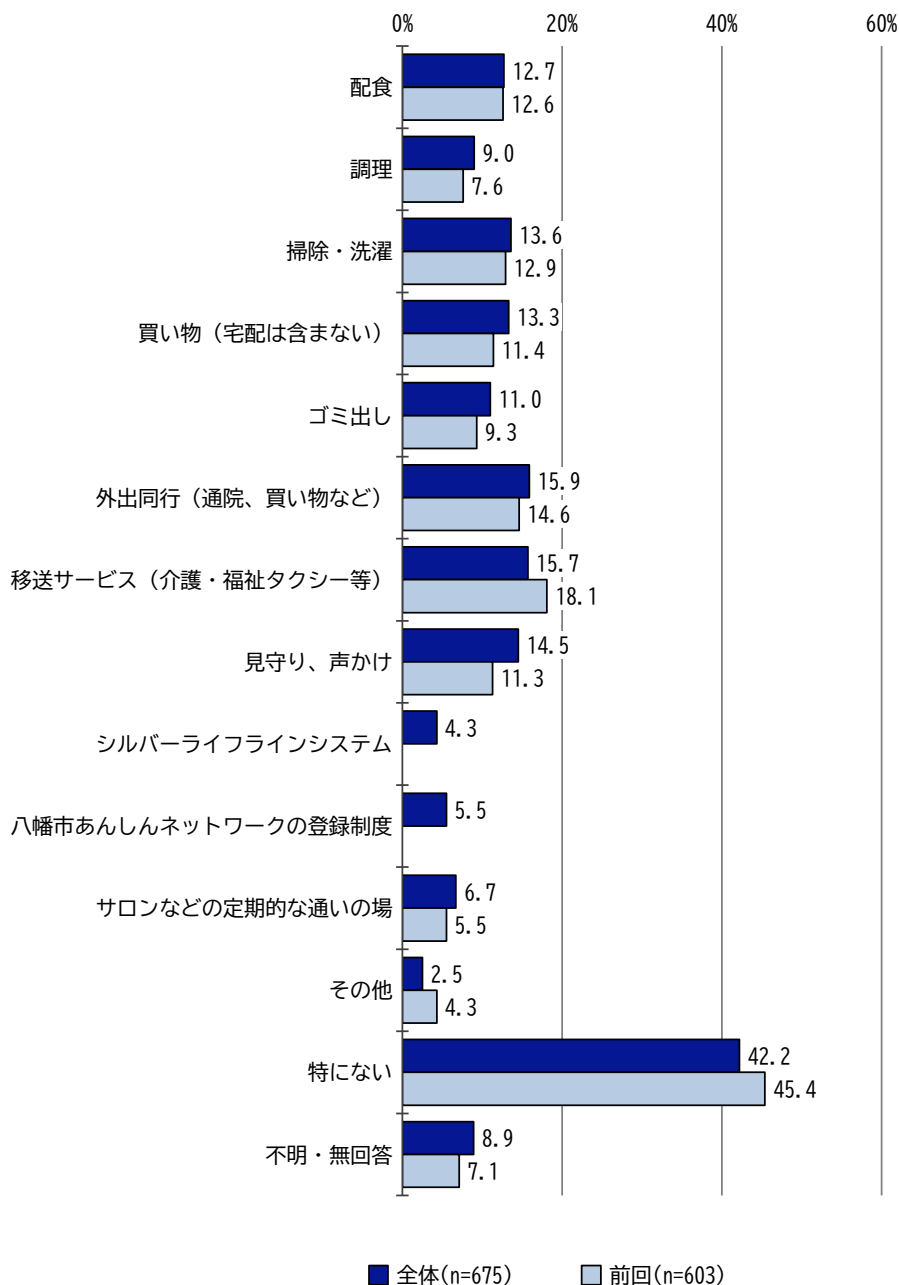
※シルバーライフラインシステム…ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与し、相談・緊急ボタンによる通報をオペレーションセンターが24時間・365日受け付け、対応するシステム。

※八幡市あんしんネットワーク…認知症の方などが行方不明になられた際に、協力機関へ依頼し、早期発見に役立てるための制度。登録者には、GPSの初期導入費と12カ月分の月額費用の補助等を実施している。

※「シルバーライフラインシステム」「八幡市あんしんネットワークの登録制度」は今回のみの選択肢。

A票 問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数回答）

全体では「特にない」が42.2%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が15.9%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.7%となっています。



※「シルバーライフラインシステム」「八幡市あんしんネットワークの登録制度」は今回のみの選択肢。

A票 問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

× 認定状況、日常生活圏域

認定状況別にみると、＜要支援1・2＞では「掃除・洗濯」、＜要介護1・2・3＞では「見守り、声かけ」、＜要介護4・5＞では、「外出同行（通院、買い物など）」が2番目に高くなっています。

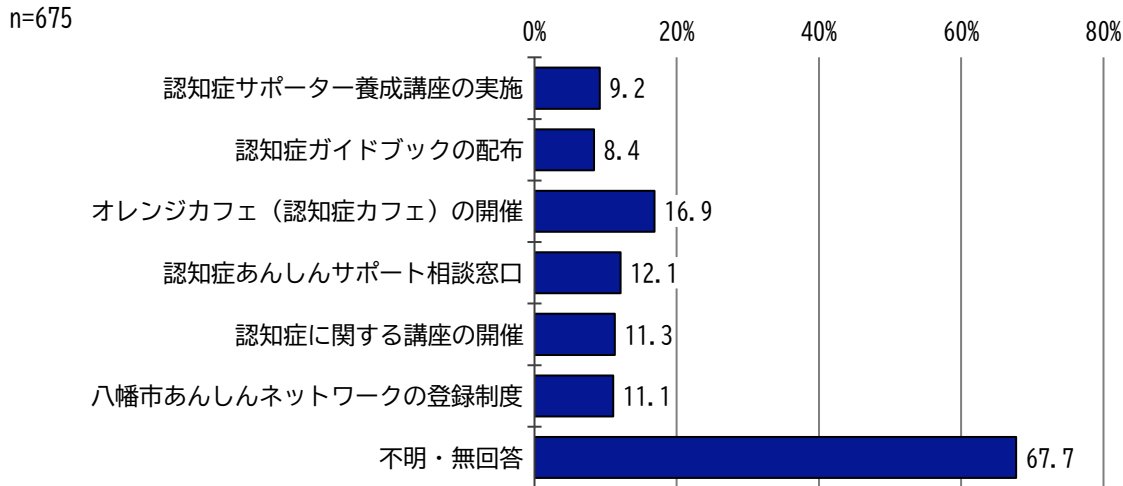
日常生活圏域別にみると、＜男山中学校圏域＞＜男山第三中学校圏域＞では「外出同行（通院、買い物など）」、＜男山第二中学校圏域＞では「見守り、声かけ」、＜男山東中学校圏域＞では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が2番目に高くなっています。

単位：%		配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	シルバーライフラインシステム	登録制度 八幡市あんしんネットワークの	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=675)		12.7	9.0	13.6	13.3	11.0	15.9	15.7	14.5	4.3	5.5	6.7	2.5	42.2	8.9
認定 状 況 別	要支援1・2 (n=292)	14.0	10.6	18.2	17.5	12.7	15.8	14.7	12.3	5.8	5.5	7.2	1.7	43.2	8.9
	要介護1 (n=142)	10.6	11.3	7.7	10.6	9.2	14.8	15.5	16.2	4.2	7.0	9.9	2.1	41.5	7.7
	要介護2・3 (n=139)	10.8	5.8	13.7	10.8	12.2	14.4	13.7	15.8	0.7	4.3	4.3	3.6	42.4	8.6
	要介護4・5 (n=65)	13.8	6.2	7.7	4.6	6.2	18.5	16.9	9.2	3.1	3.1	3.1	3.1	46.2	13.8
	非該当 (n=4)	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
圏 域 別	男山中学校圏域 (n=173)	13.9	8.1	16.2	13.9	13.9	17.9	17.3	12.1	2.9	3.5	5.2	1.2	41.6	9.8
	男山第二中学校圏域 (n=191)	12.6	7.9	14.1	13.6	13.1	15.2	12.6	17.3	5.8	8.4	6.3	2.1	43.5	7.3
	男山第三中学校圏域 (n=206)	14.1	13.1	14.6	14.6	10.7	16.5	15.5	14.1	4.9	4.9	8.3	2.9	38.8	9.2
	男山東中学校圏域 (n=72)	4.2	4.2	5.6	6.9	1.4	9.7	13.9	6.9	1.4	2.8	6.9	4.2	55.6	11.1

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

**A票 問9 市が行う認知症への取組みのうち、あなたが知っているものはどれですか。
(複数回答)**

全体では「オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催」が16.9%と最も高く、次いで「認知症あんしんサポート相談窓口」が12.1%、「認知症に関する講座の開催」が11.3%となっています。



ことばの説明

●認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、応援する人を養成する講座。

●オレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症の方やそのご家族、地域住民が気軽に集える場所。市内4カ所で月1回開催。

●認知症あんしんサポート相談窓口

地域事情を踏まえた相談ができる身近な相談窓口。市内1カ所で実施。

●八幡市あんしんネットワーク

認知症の方などが行方不明になられた際に、協力機関へ依頼し、早期発見に役立てるための制度。登録者には、GPSの初期導入費と12カ月分の月額費用の補助等を実施している。

A票 問9 市が行う認知症への取組みのうち、あなたが知っているものはどれですか。
×認定状況

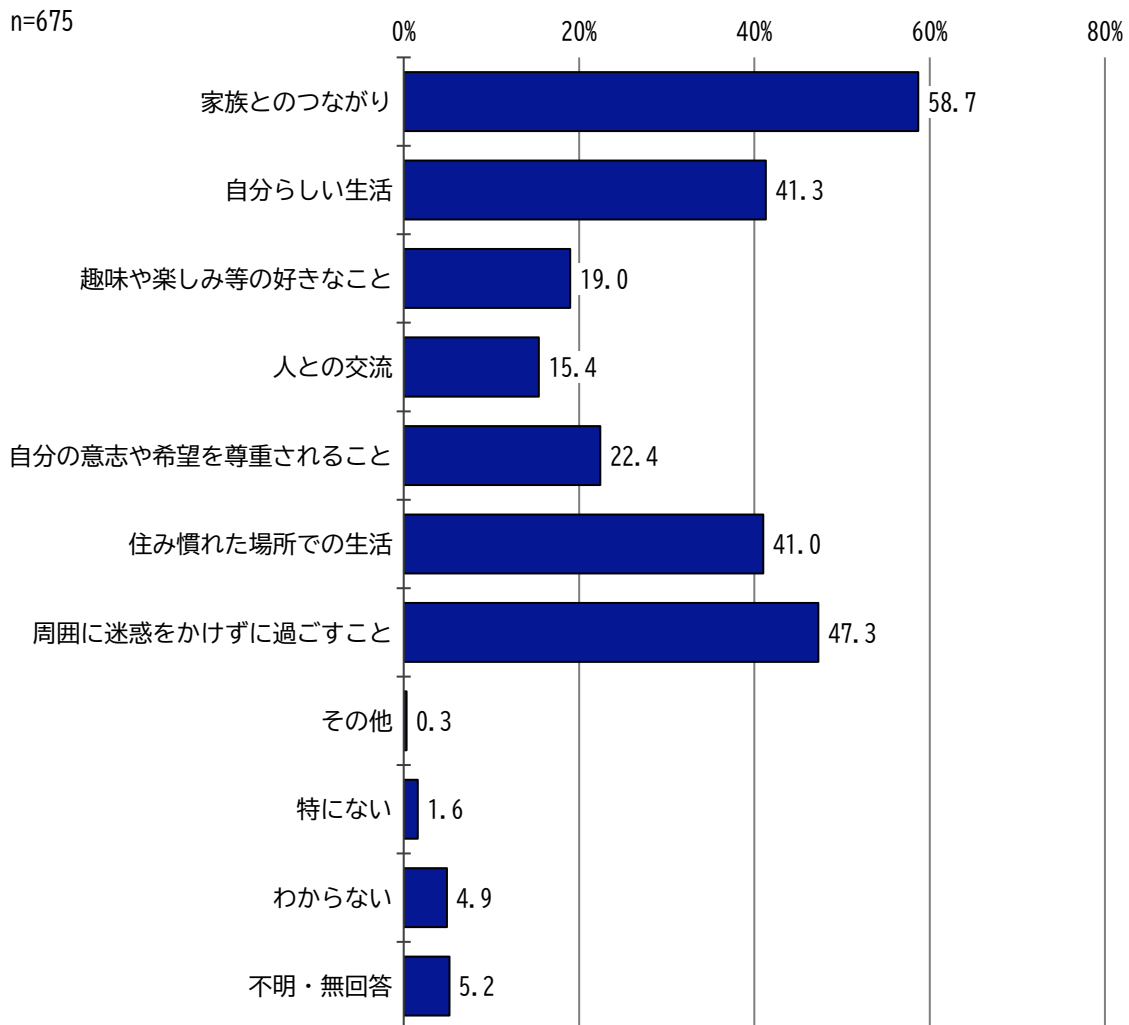
「オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催」はいずれの区分でも最も認知度が高くなっています。介護度があがるにつれて、認知度が1割を超える項目が増えています。

単位：%		講座の実施	配布	オレンジカフェ（認知症）の開催	相談窓口	開催	フックの登録制度	八幡市あんしんネット	不明・無回答
全体 (n=675)		9.2	8.4	16.9	12.1	11.3	11.1	67.7	
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	6.2	6.5	13.4	9.9	8.2	7.9	69.9	
	要介護1 (n=142)	11.3	12.0	19.7	14.1	11.3	12.7	66.9	
	要介護2・3 (n=139)	15.1	7.9	22.3	15.1	17.3	14.4	64.7	
	要介護4・5 (n=65)	10.8	10.8	16.9	13.8	9.2	16.9	66.2	
	非該当 (n=4)	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	50.0	

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

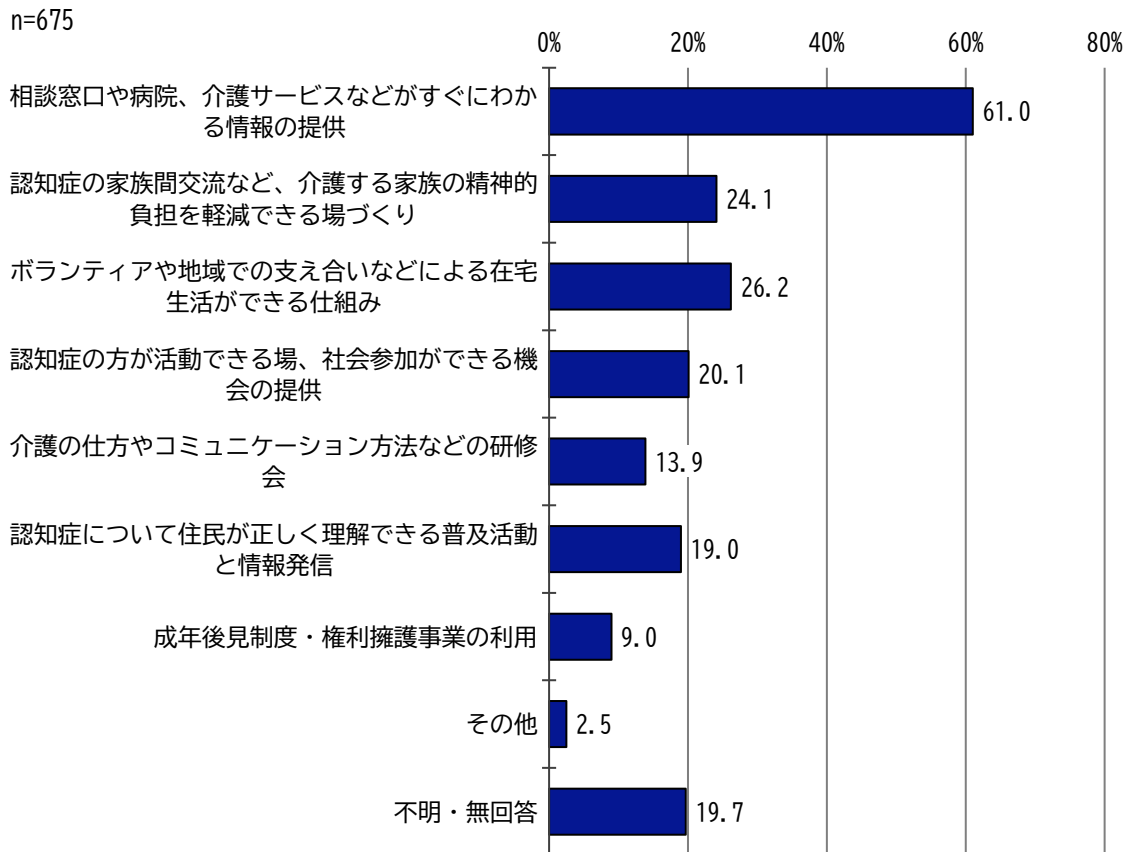
**A票 問10 もし、あなたが認知症になったとしても大切にしたいと思うことは何ですか。
(複数回答)**

全体では「家族とのつながり」が 58.7%と最も高く、次いで「周囲に迷惑をかけずに過ごすこと」が 47.3%、「自分らしい生活」が 41.3%となっています。



A票 問 11 自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。（複数回答）

全体では「相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐにわかる情報の提供」が61.0%と最も高く、次いで「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」が26.2%、「認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり」が24.1%となっています。



※成年後見制度…判断能力が不十分な方々の権利や財産を守り、意思決定を支援する仕組みであり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

※権利擁護事業…安心して福祉サービスを利用し、地域で生活できるよう福祉サービスの利用手続きの代行、日常的な金銭管理などを行う事業です。

A票 問 11 自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。 × 認定状況、同居・近居

認定状況別にみると、＜要支援1・2、要介護4・5＞では「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」、＜要介護1＞では「認知症の方が活動できる場、社会参加ができる機会の提供」、＜要介護2・3＞では「認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり」が2番目に高くなっています。

同居・近居別にみると、＜八幡市外に住んでいる＞では「相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐにわかる情報の提供」が70.7%と最も高く、次いで「ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み」が高くなっています。

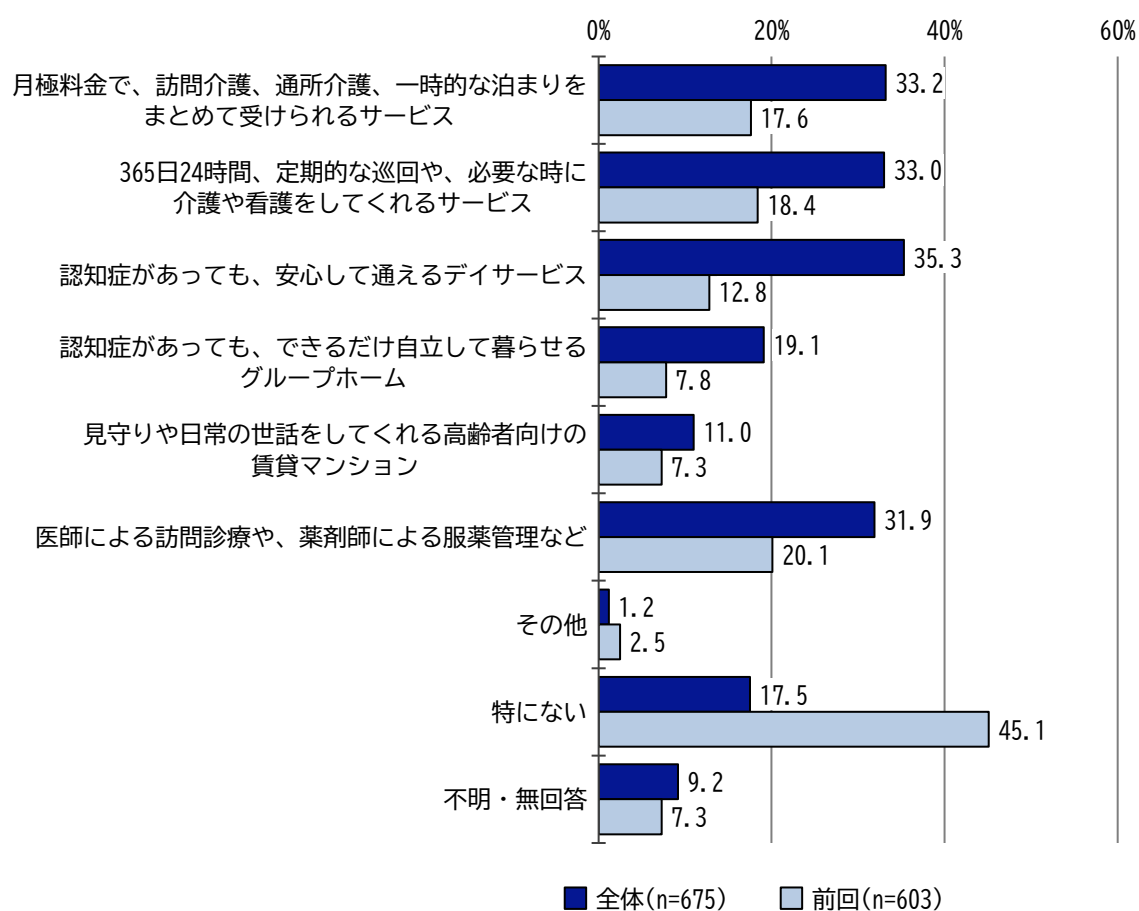
単位：%		提供ス相 供談窓 などが すく や病 院に わ か る 情 報 の サ ー ビ ス	を介認 軽護知 減す症 でるの 家家族 族間 の交 流な ど、 精 神 的 負 担	生支ボ 活えラ が合ン でいテ るイ 仕な 組ア みよ るに 地 域 で の 在 宅	社認 会知 参症 加の 方 が 活 動 で き る 機 会 の 提 供	シ介 ョ護 ン の 方 法 な ど の 研 修 会	理認 解知 発症 信につ いて 普 及 住 民 が 正 し く	の成 利年 用後 見 制 度 ・ 権 利 擁 護 事 業	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=675)		61.0	24.1	26.2	20.1	13.9	19.0	9.0	2.5	19.7
認定 状 況 別	要支援1・2 (n=292)	64.7	24.3	30.8	21.2	15.1	20.5	8.6	1.7	20.9
	要介護1 (n=142)	55.6	19.7	20.4	22.5	12.7	17.6	6.3	4.2	17.6
	要介護2・3 (n=139)	57.6	28.1	20.1	18.0	10.1	13.7	7.9	3.6	17.3
	要介護4・5 (n=65)	64.6	23.1	30.8	21.5	23.1	26.2	15.4	1.5	20.0
	非該当 (n=4)	100.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
同居 ・ 近 居 別	あて名の本人と同居している (n=256)	63.7	23.8	23.4	19.9	15.6	22.3	10.9	3.1	18.0
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	58.4	28.6	26.0	18.2	13.0	19.5	6.5	5.2	19.5
	八幡市外に住んでいる (n=75)	70.7	21.3	26.7	17.3	16.0	20.0	12.0	1.3	12.0
	その他 (n=9)	44.4	55.6	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問 12 今後、自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために、利用したいサービスはありますか。(複数回答)

全体では「認知症があっても、安心して通えるデイサービス」が 35.3%と最も高く、次いで「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」が 33.2%、「365日 24 時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」が 33.0%となっています。

前回調査と比較すると、「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」「365日 24 時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」「認知症があっても、安心して通えるデイサービス」「認知症があっても、できるだけ自立して暮らせるグループホーム」「医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など」で増加傾向がみられます。また、「特にない」で減少傾向がみられます。



A票 問 12 今後、自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために、利用したいサービスはありますか。 × 認定状況、家族構成、同居・近居

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞では「365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」が50.8%と最も高く、次いで「医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など」が高くなっています。

家族構成別にみると、＜単身世帯＞では「365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」、＜夫婦のみ世帯＞では「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」、＜その他（2世代以上の世帯）＞では「認知症があっても、安心して通えるデイサービス」が最も高くなっています。

同居・近居別にみると、＜あて名の本人と同居している＞では「月極料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス」、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞では「認知症があっても、安心して通えるデイサービス」、＜八幡市外に住んでいる＞では「365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス」が最も高くなっています。

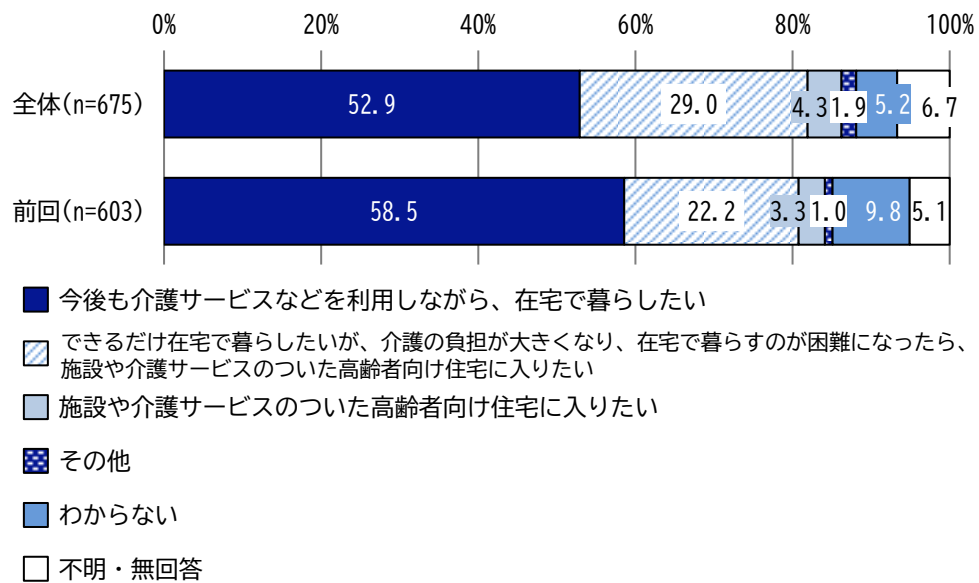
単位：%		月極料金で、訪問介護、通所介護を受けられるサービス	3、6、5日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス	認知症があっても、安心して通えるデイサービス	認知症があっても、できるだけ自立して暮らせるグループホーム	高齢者向けの日常の世話をしてくれる見守りや貸マシンの貸出など	医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=675)		33.2	33.0	35.3	19.1	11.0	31.9	1.2	17.5	9.2
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	35.6	32.5	38.4	19.9	12.7	33.9	0.7	17.1	10.3
	要介護1 (n=142)	31.7	26.8	35.2	19.7	9.9	23.9	2.8	16.2	7.7
	要介護2・3 (n=139)	28.1	30.9	33.1	17.3	4.3	30.2	0.7	20.9	7.2
	要介護4・5 (n=65)	30.8	50.8	26.2	18.5	16.9	40.0	0.0	15.4	10.8
	非該当 (n=4)	75.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0
家族構成別	単身世帯 (n=248)	27.8	32.7	29.4	20.2	14.9	31.0	1.2	16.5	12.5
	夫婦のみ世帯 (n=212)	41.5	39.2	38.7	20.3	12.7	34.4	0.9	15.1	3.8
	その他 (n=184)	33.2	27.2	37.5	14.1	4.3	29.3	0.5	23.9	7.6
「家族・親族介護あり」全体 (n=451)		6.0	0.4	2.4	0.2	61.6	6.2	23.7	20.3	5.9
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	40.2	31.3	38.7	18.0	8.6	30.5	0.4	20.3	5.9
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	33.8	27.3	46.8	26.0	9.1	33.8	1.3	14.3	2.6
	八幡市外に住んでいる (n=75)	30.7	41.3	29.3	16.0	20.0	40.0	1.3	14.7	9.3
	その他 (n=9)	33.3	33.3	44.4	33.3	22.2	22.2	0.0	11.1	22.2

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問13 あなたは、今後の住まいについて、どのようにお考えですか。（単数回答）

全体では「今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい」が52.9%と最も高く、次いで「できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい」が29.0%、「わからない」が5.2%となっています。

前回調査と比較すると、「できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい」で増加傾向がみられます。また、「今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい」で減少傾向がみられます。



A票 問13 あなたは、今後の住まいについて、どのようにお考えですか。 × 認定状況、家族構成、同居・近居

いずれの区分も、上位2項目は全体と同様の傾向にあります。

また、認定状況別にみると、〈要介護4・5〉、家族構成別にみると、〈夫婦のみ世帯〉では「できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい」が3割半ばとなっています。

同居・近居別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

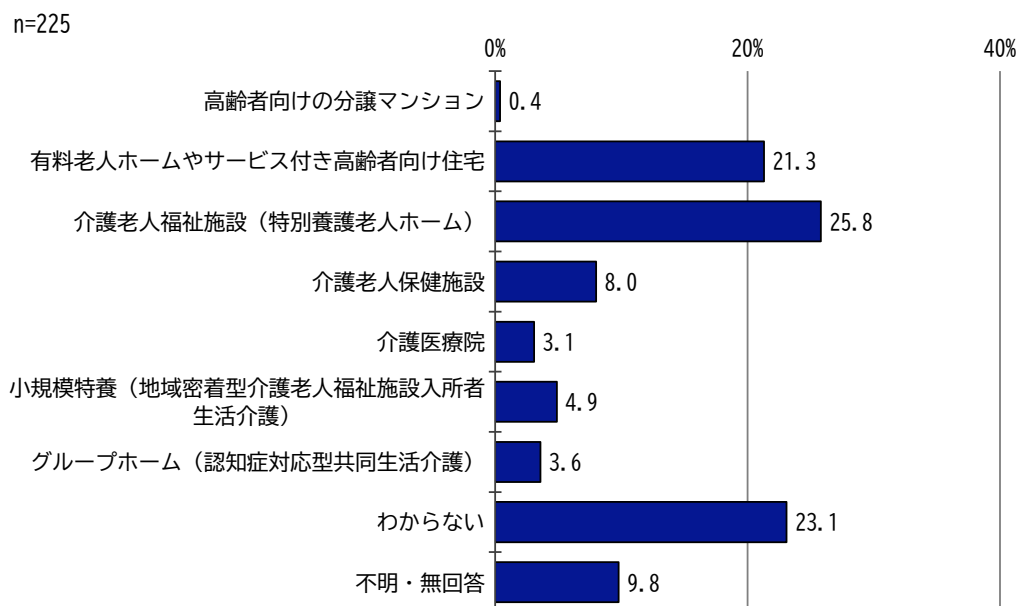
単位：%		ら今後在宅で暮らしたい	い難た高年齢者向け住宅に入りたい	で負担が大きくなり在宅で暮らしたいが、介護の	住施設に介護サービスをついた高齢者向け	その他	わからない	不明・無回答
全体 (n=675)		52.9	29.0	4.3	1.9	5.2	6.7	
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	53.8	29.8	4.5	1.0	4.1	6.8	
	要介護1 (n=142)	54.9	23.9	4.9	1.4	9.9	4.9	
	要介護2・3 (n=139)	56.1	29.5	2.9	2.2	3.6	5.8	
	要介護4・5 (n=65)	40.0	35.4	7.7	4.6	3.1	9.2	
	非該当 (n=4)	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
家族構成別	単身世帯 (n=248)	54.8	27.0	4.0	2.4	5.6	6.0	
	夫婦のみ世帯 (n=212)	49.1	35.4	4.7	0.9	3.8	6.1	
	その他 (n=184)	58.2	24.5	3.8	2.7	7.1	3.8	
「家族・親族介護あり」全体 (n=451)		58.5	29.0	3.3	1.1	4.4	3.5	
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	58.6	30.5	2.7	0.4	5.5	2.3	
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	62.3	27.3	5.2	1.3	2.6	1.3	
	八幡市外に住んでいる (n=75)	57.3	30.7	2.7	1.3	2.7	5.3	
	その他 (n=9)	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	33.3	

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

【問13で「2」または「3」（住み替えの意向あり）を選んだ方】

A票 問14 住み替えを検討する場合、どのような施設や住宅を希望しますか。(単数回答)

全体では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が25.8%と最も高く、次いで「わからない」が23.1%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が21.3%となっています。



【問13で「2」または「3」（住み替えの意向あり）を選んだ方】

A票 問14 住み替えを検討する場合、どのような施設や住宅を希望しますか。× 認定状況、日常生活圏域

認定状況別にみると、＜要支援1・2、要介護1＞では「わからない」が最も高く、次いで「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」、＜要介護2・3、要介護4・5＞では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も高くなっています。

日常生活圏別にみると、＜男山中学校圏域＞では「わからない」、＜男山第二中学校圏域＞では「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、＜男山第三中学校圏域＞では「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」、＜男山東中学校圏域＞では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も高くなっています。

単位：%		高齢者向けの分譲マンション	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	（介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム））	介護老人保健施設	介護医療院	小規模特養（地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護）	（グループホーム（認知症対応型共同生活介護））	わからない	不明・無回答
全体 (n=225)		0.4	21.3	25.8	8.0	3.1	4.9	3.6	23.1	9.8
認定状況別	要支援1・2 (n=100)	1.0	26.0	16.0	9.0	4.0	6.0	1.0	27.0	10.0
	要介護1 (n=41)	0.0	22.0	22.0	7.3	2.4	2.4	2.4	34.1	7.3
	要介護2・3 (n=45)	0.0	8.9	35.6	6.7	2.2	6.7	8.9	20.0	11.1
	要介護4・5 (n=28)	0.0	21.4	39.3	10.7	3.6	3.6	3.6	7.1	10.7
	非該当 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
圏域別	男山中学校圏域 (n=47)	0.0	10.6	21.3	14.9	2.1	8.5	2.1	31.9	8.5
	男山第二中学校圏域 (n=65)	1.5	26.2	26.2	4.6	1.5	4.6	3.1	24.6	7.7
	男山第三中学校圏域 (n=77)	0.0	23.4	20.8	7.8	6.5	5.2	3.9	20.8	11.7
	男山東中学校圏域 (n=26)	0.0	23.1	34.6	7.7	0.0	0.0	3.8	19.2	11.5

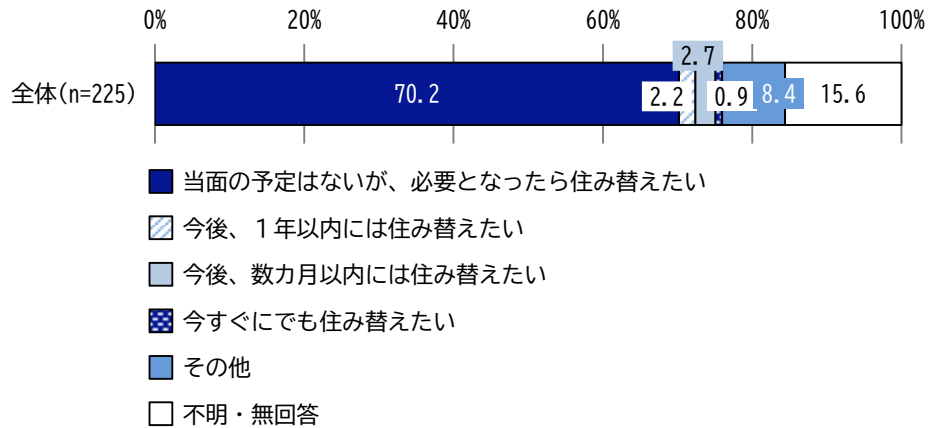
◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

【問13で「2」または「3」（住み替えの意向あり）を選んだ方】

A票 問15 住み替えを希望する時期はいつごろですか。

(単数回答)

全体では「当面の予定はないが、必要となったら住み替えたい」が70.2%と最も高く、次いで「その他」が8.4%、「今後、数カ月以内には住み替えたい」が2.7%となっています。



【問13で「2」または「3」（住み替えの意向あり）を選んだ方】

A票 問15 住み替えを希望する時期はいつごろですか。× 認定状況、日常生活圏域

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞、日常生活圏域別にみると、＜男山第三中学校圏域＞では「今後、1年以内には住み替えたい」が2番目に高くなっています。

単位：%		当面の予定はないが、必要となったら住み替えたい	今後、1年以内には住み替えたい	今後、数カ月以内には住み替えたい	今すぐにも住み替えたい	その他	不明・無回答
全体 (n=225)		70.2	2.2	2.7	0.9	8.4	15.6
認定状況別	要支援1・2 (n=100)	79.0	0.0	1.0	0.0	5.0	15.0
	要介護1 (n=41)	63.4	2.4	4.9	0.0	9.8	19.5
	要介護2・3 (n=45)	57.8	0.0	4.4	4.4	11.1	22.2
	要介護4・5 (n=28)	67.9	7.1	3.6	0.0	14.3	7.1
	非該当 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
圏域別	男山中学校圏域 (n=47)	78.7	0.0	2.1	2.1	2.1	14.9
	男山第二中学校圏域 (n=65)	69.2	1.5	6.2	0.0	6.2	16.9
	男山第三中学校圏域 (n=77)	64.9	2.6	1.3	1.3	10.4	19.5
	男山東中学校圏域 (n=26)	73.1	0.0	0.0	0.0	19.2	7.7

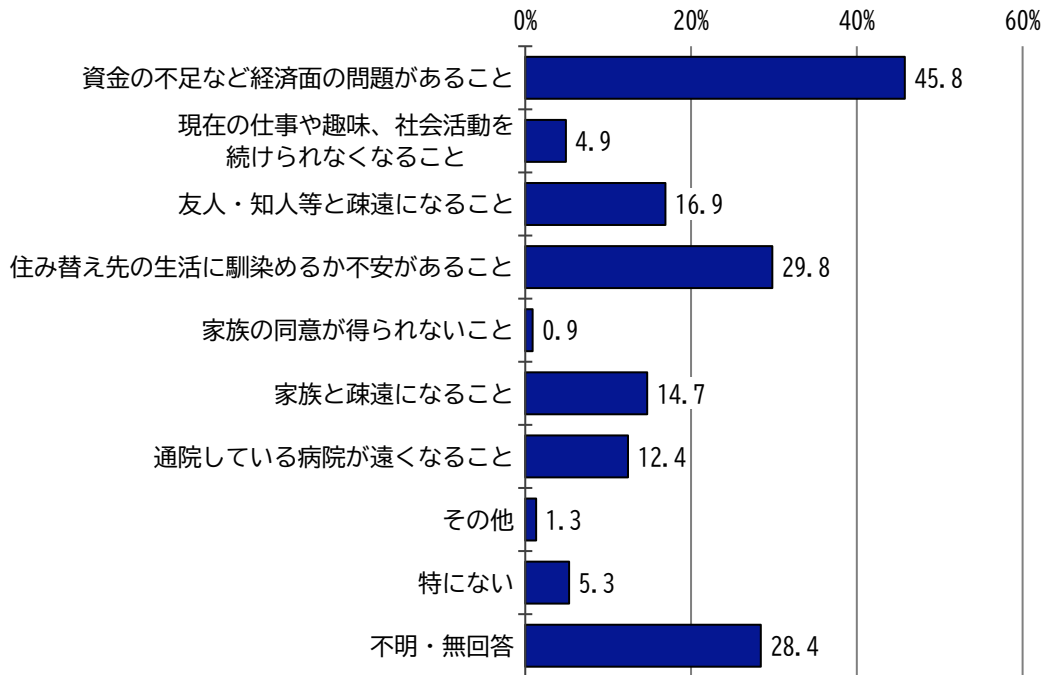
◇回答の高いものを第1位、第2位、第3位に網掛け

【問13で「2」または「3」（住み替えの意向あり）を選んだ方】

A票 問16 住み替えを実現するにあたって、不安に感じることはありますか。 (複数回答)

全体では「資金の不足など経済面の問題があること」が45.8%と最も高く、次いで「住み替え先の生活に馴染めるか不安があること」が29.8%、「友人・知人等と疎遠になること」が16.9%となっています。

n=225

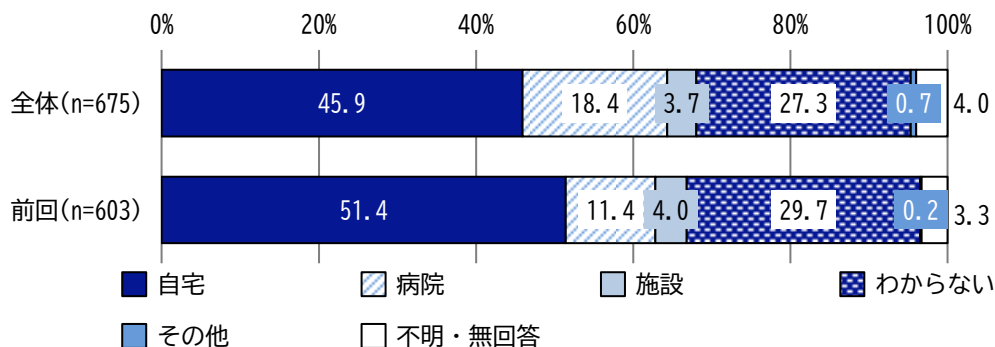


A票 問17 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。 (単数回答)

(単数回答)

全体では「自宅」が45.9%と最も高く、次いで「わからない」が27.3%、「病院」が18.4%となっています。

前回調査と比較すると、「病院」で増加傾向がみられます。また、「自宅」で減少傾向がみられます。



A票 問17 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。 × 認定状況、日常生活圏域

認定状況別にみると、大きな傾向の変化はみられません。

日常生活圏域別にみると、＜男山中学校圏域＞＜男山東中学校圏域＞では、「自宅」が5割台となっています。

単位：%		自宅	病院	施設	わからない	その他	不明・無回答
全体 (n=675)		45.9	18.4	3.7	27.3	0.7	4.0
認定状況別	要支援1・2 (n=292)	43.8	24.0	3.8	24.7	0.3	3.4
	要介護1 (n=142)	48.6	16.9	4.2	28.2	0.0	2.1
	要介護2・3 (n=139)	45.3	13.7	2.9	31.7	1.4	5.0
	要介護4・5 (n=65)	49.2	12.3	4.6	27.7	1.5	4.6
	非該当 (n=4)	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
圏域別	男山中学校圏域 (n=173)	53.8	17.3	2.3	24.3	0.0	2.3
	男山第二中学校圏域 (n=191)	37.7	22.0	3.1	31.9	1.6	3.7
	男山第三中学校圏域 (n=206)	42.7	19.9	3.9	29.1	0.5	3.9
	男山東中学校圏域 (n=72)	58.3	11.1	8.3	16.7	0.0	5.6

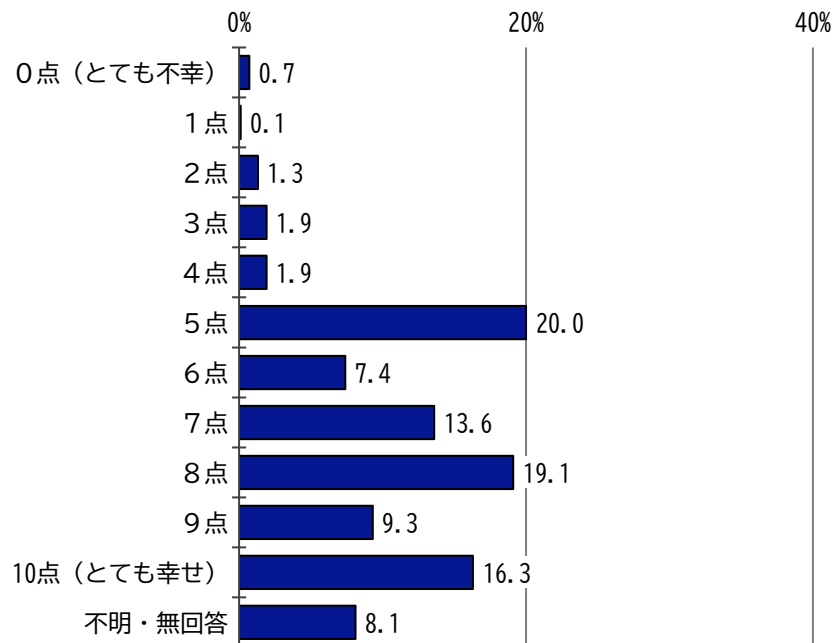
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

A票 問18 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(単数回答)

全体では「5点」が20.0%と最も高く、次いで「8点」が19.1%、「10点(とても幸せ)」が16.3%となっています。幸福度平均は7.1点となっており、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査での同設問(p.49)と同様です。

n=675



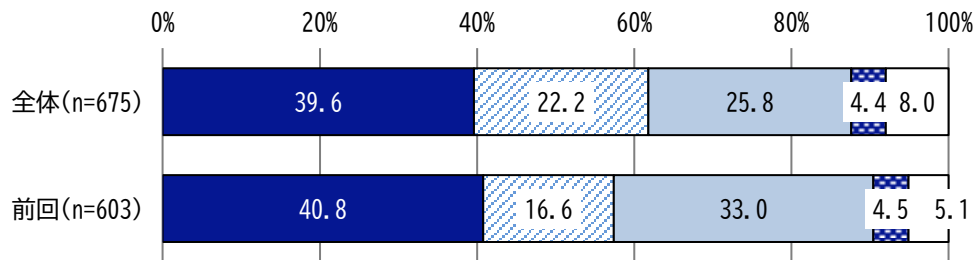
■幸福度平均点 (不明・無回答を除いて算出)

	全体 (n=620)	平均点
認定状況別	全体 (n=620)	7.1
	要支援1・2 (n=268)	7.2
	要介護1 (n=137)	7.2
	要介護2・3 (n=125)	7.2
	要介護4・5 (n=58)	6.4

A票 問 19 今後、高齢化が進んでいく中でサービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、介護保険料の見直しが必要です。介護サービスとサービスを支える保険料負担について、どう思われますか。（単数回答）

全体では「介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない」が39.6%と最も高く、次いで「わからない」が25.8%、「介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい」が22.2%となっています。

前回調査と比較すると、「介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい」で増加傾向がみられます。また、「わからない」で減少傾向がみられます。

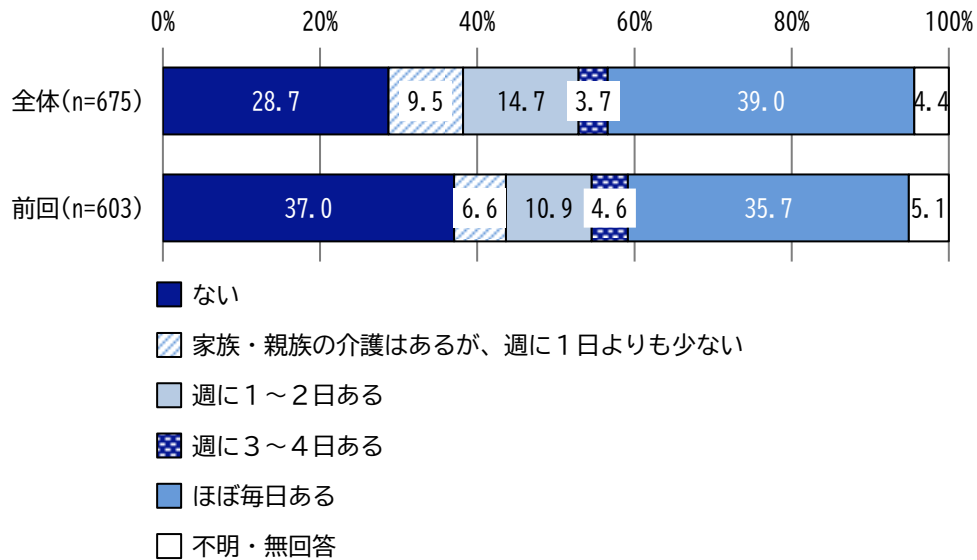


- 介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない
- ▨ 介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい
- わからない
- ▣ その他
- 不明・無回答

A票 問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（単数回答）

全体では「ほぼ毎日ある」が39.0%と最も高く、次いで「ない」が28.7%、「週に1～2日ある」が14.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ない」で減少傾向がみられます。



A票 問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。 × 認定状況

認定状況別にみると、＜要支援1・2＞では「ない」が最も高くなっています。

単位：%		ない	週に1日 家族・親族の介護は あるが、 1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	不明・無回答
全体 (n=675)		28.7	9.5	14.7	3.7	39.0	4.4
認定 状況 別	要支援1・2 (n=292)	40.1	9.2	16.8	2.7	27.1	4.1
	要介護1 (n=142)	21.1	12.0	10.6	4.9	47.2	4.2
	要介護2・3 (n=139)	20.9	6.5	16.5	5.0	46.8	4.3
	要介護4・5 (n=65)	18.5	6.2	7.7	3.1	60.0	4.6
	非該当 (n=4)	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0

◇回答の高いもの第1位、第2位、第3位に網掛け

B票 介護者による回答

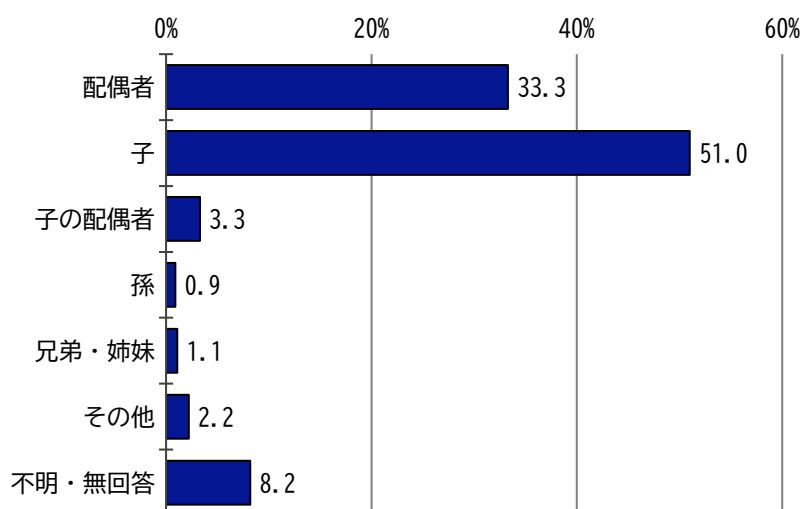
※B票は、A票 問20で「ない」以外（家族からの介護がある）を選んだ方が対象

(1) 介護者の生活状態について

B票 問1 介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。（単数回答）

全体では「子」が51.0%と最も高く、次いで「配偶者」が33.3%、「子の配偶者」が3.3%となっています。

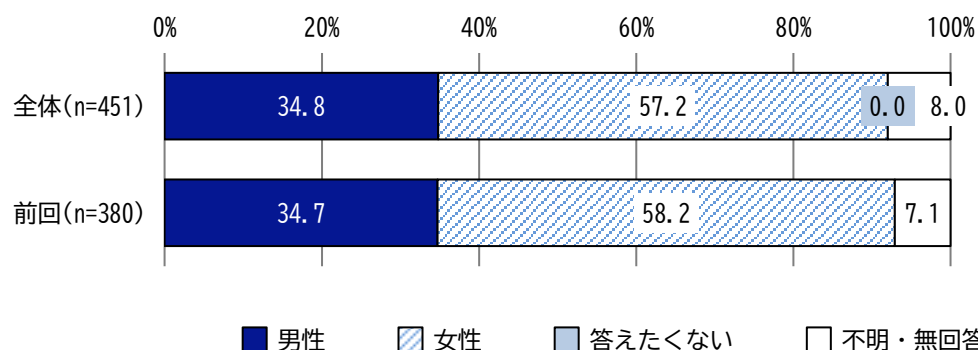
n=451



B票 問2 介護者の方の性別について、ご回答ください。

（単数回答）

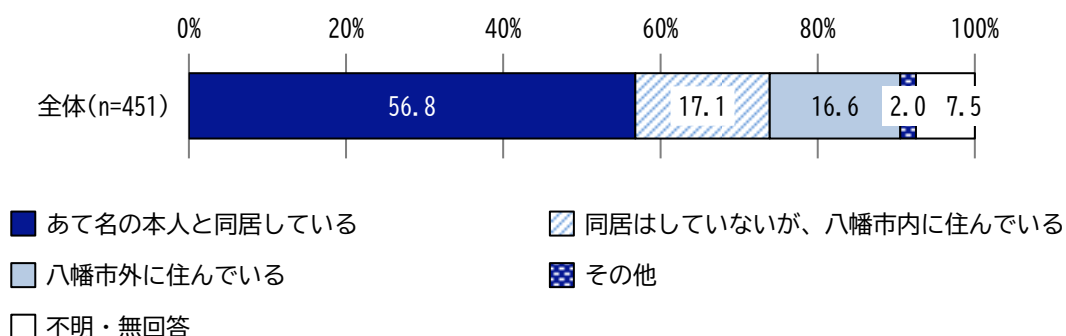
全体では「女性」が57.2%と最も高く、次いで「男性」が34.8%となっています。



B票 問3 介護者の方のお住まいについて、ご回答ください。

(単数回答)

全体では「あて名の本人と同居している」が56.8%と最も高く、次いで「同居はしていないが、八幡市内に住んでいる」が17.1%、「八幡市外に住んでいる」が16.6%となっています。



B票 問3 介護者の方のお住まいについて、ご回答ください。 × 認定状況

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞では「あて名の本人と同居している」が72.0%となっています。＜要支援1・2、要介護1＞では、「八幡市外に住んでいる」が約2割みられます。

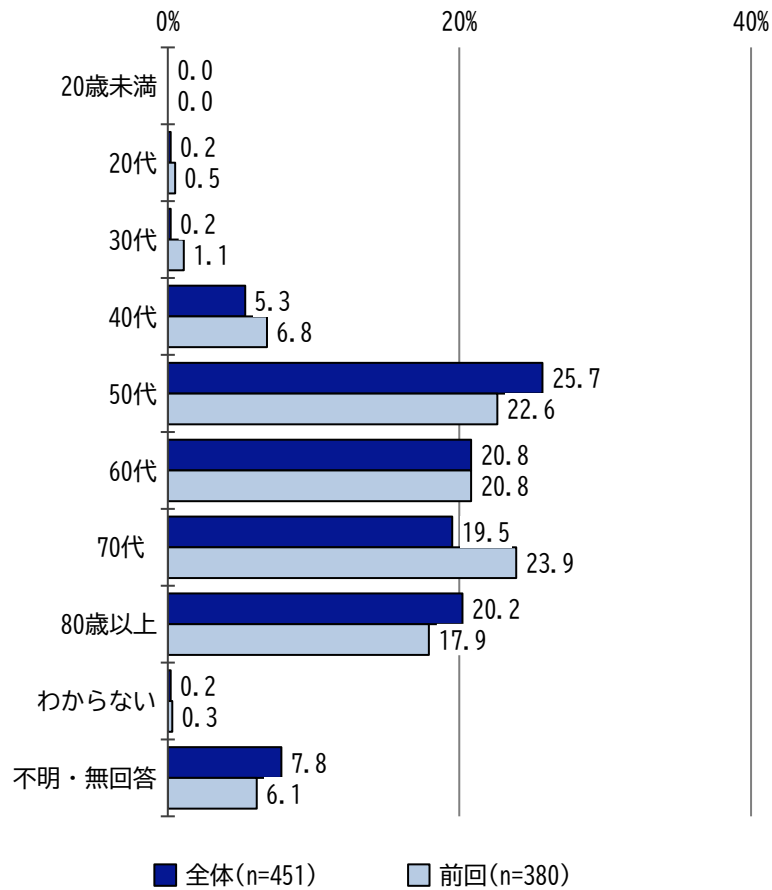
単位：%		あて名の本人と同居	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる	八幡市外に住んでいる	その他	不明・無回答
全体 (n=451)		56.8	17.1	16.6	2.0	7.5
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	48.5	20.2	19.0	1.8	10.4
	要介護1 (n=106)	58.5	15.1	20.8	1.9	3.8
	要介護2・3 (n=104)	59.6	16.3	13.5	2.9	7.7
	要介護4・5 (n=50)	72.0	12.0	12.0	0.0	4.0
	非該当 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

B票 問4 介護者の方の年齢について、ご回答ください。

(単数回答)

全体では「50代」が25.7%と最も高く、次いで「60代」が20.8%、「80歳以上」が20.2%となっています。



B票 問4 介護者の方の年齢について、ご回答ください。 × 本人の年齢

認定を受けている本人の年齢別にみると、本人が<65～79歳>では介護者「70代」以上が最も高くなっています。本人が<80歳以上>では、介護者は「50代」または「60代」が最も高くなっています。

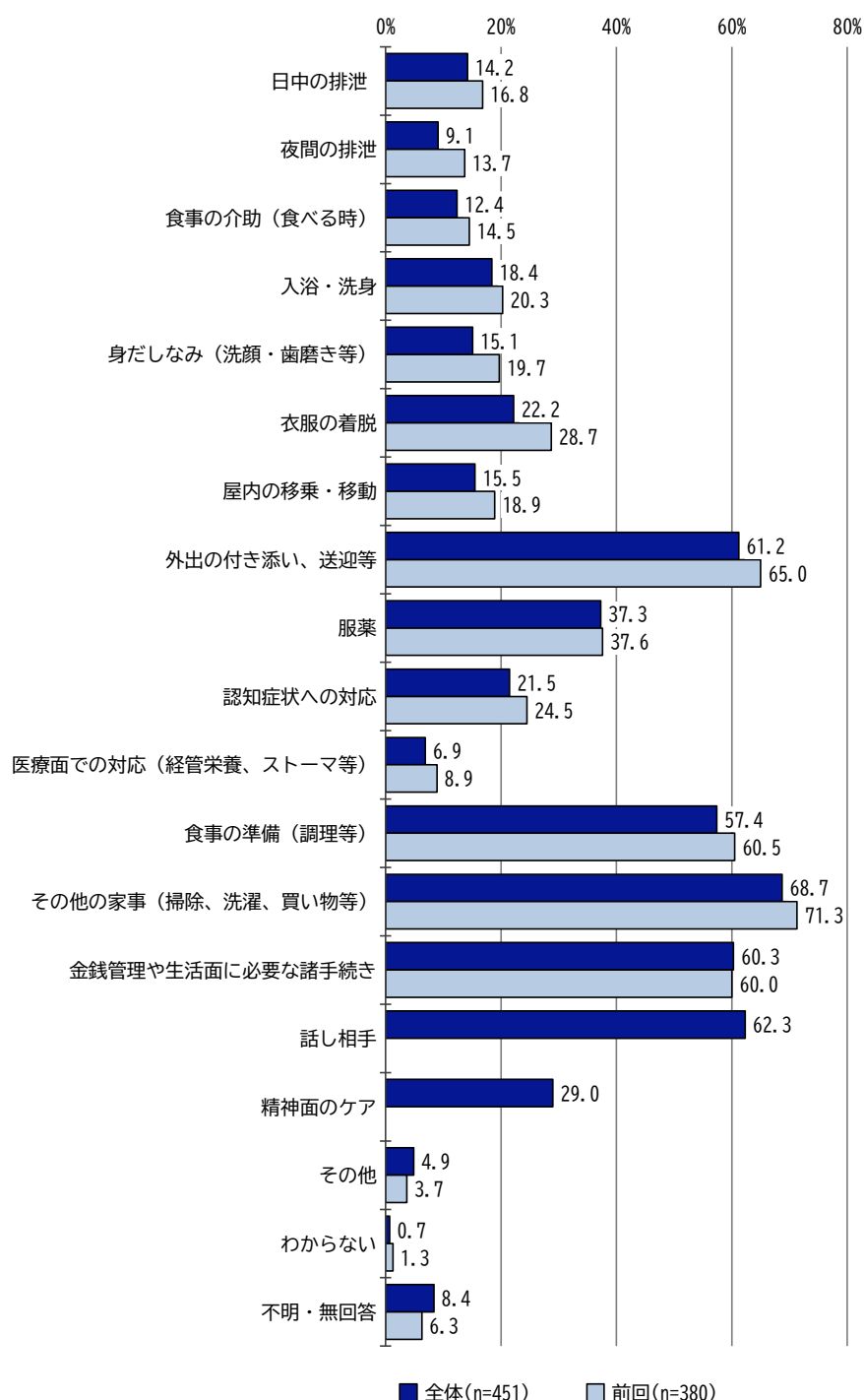
単位：%		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
全体 (n=451)		0.0	0.2	0.2	5.3	25.7	20.8	19.5	20.2	0.2	7.8
本人の年齢別	64歳以下 (n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0	0.0
	65～69歳 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	70～74歳 (n=18)	0.0	0.0	0.0	22.2	5.6	11.1	38.9	5.6	0.0	16.7
	75～79歳 (n=67)	0.0	0.0	1.5	14.9	16.4	0.0	46.3	16.4	0.0	4.5
	80～84歳 (n=108)	0.0	0.0	0.0	2.8	45.4	2.8	15.7	25.0	0.9	7.4
	85歳以上 (n=223)	0.0	0.4	0.0	2.7	21.5	36.8	11.7	19.3	0.0	7.6

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

B票 問5 現在、介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数回答)

全体では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が68.7%と最も高く、次いで「話し相手」が62.3%、「外出の付き添い、送迎等」が61.2%となっています。

前回調査と比較すると、「衣服の着脱」で減少傾向がみられます。



※「話し相手」「精神面のケア」は今回のみの選択肢。

B票 問5 現在、介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

× 認定状況、同居・近居

認定状況別にみると、＜要介護2・3＞では「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が同率で最も高くなっています。また＜要介護4・5＞では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が84.0%と最も高くなっています。また＜要介護1＞以上の区分では、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が7～8割台となっています。

同居・近居別にみると、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞＜八幡市外に住んでいる＞では「話し相手」が最も高くなっています。

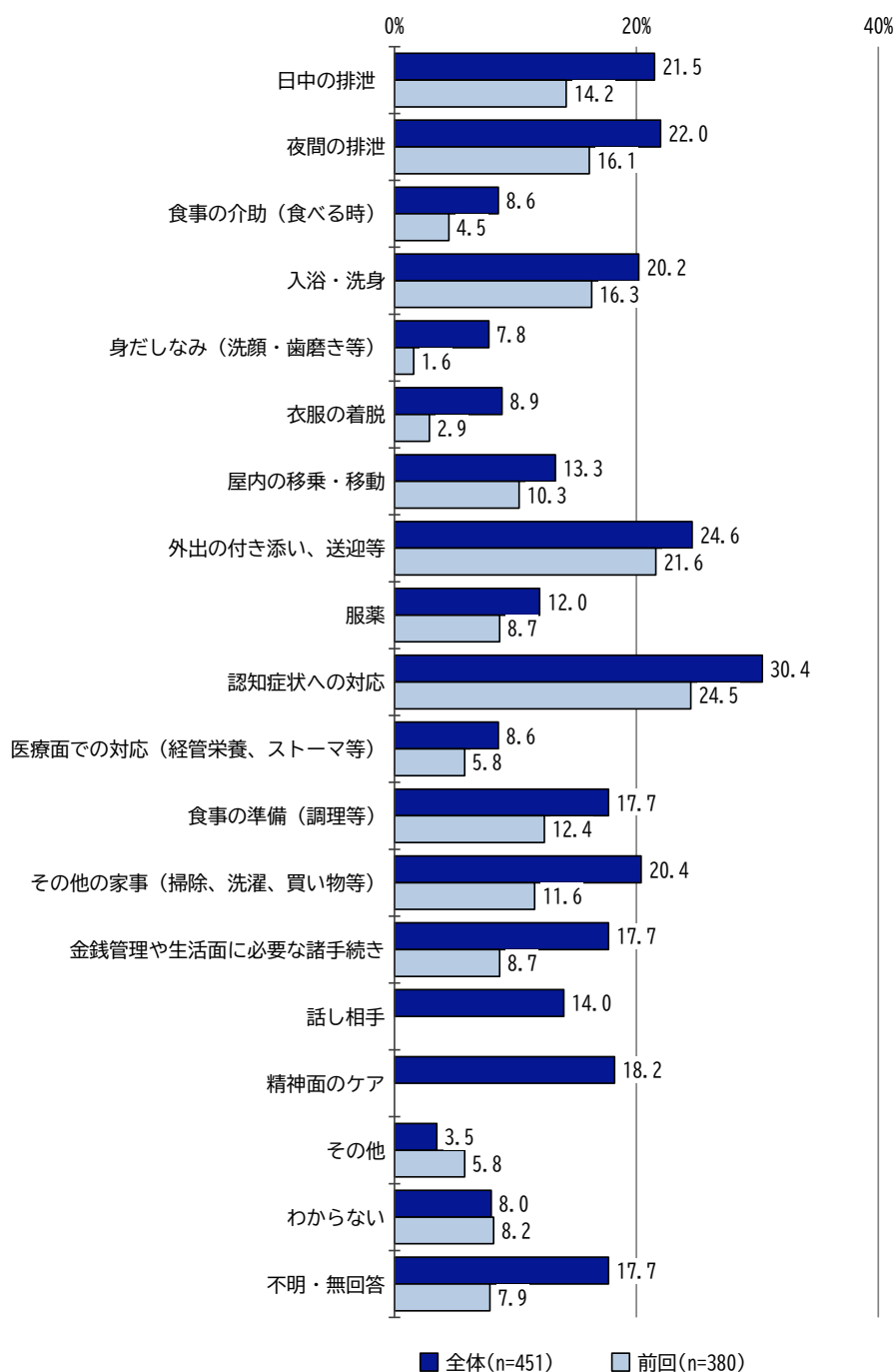
単位：%	身体介護											生活援助			その他			わからない	不明・無回答	
	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状態への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	（掃除、洗濯、買い物等） その他の家事	諸手続き 金銭管理や生活面に必要な	話し相手	精神面のケア	その他			
全体 (n=451)	14.2	9.1	12.4	18.4	15.1	22.2	15.5	61.2	37.3	21.5	6.9	57.4	68.7	60.3	62.3	29.0	4.9	0.7	8.4	
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	1.8	0.6	3.1	9.2	4.9	10.4	6.7	53.4	16.0	7.4	1.2	42.3	58.9	36.2	52.1	22.1	4.9	1.2	12.9
	要介護1 (n=106)	11.3	4.7	8.5	17.9	11.3	21.7	14.2	66.0	47.2	31.1	5.7	64.2	76.4	73.6	66.0	30.2	3.8	0.0	2.8
	要介護2・3 (n=104)	19.2	14.4	13.5	27.9	20.2	29.8	18.3	73.1	50.0	26.9	10.6	67.3	73.1	72.1	68.3	26.9	3.8	0.0	7.7
	要介護4・5 (n=50)	50.0	34.0	46.0	24.0	44.0	48.0	42.0	56.0	58.0	36.0	18.0	74.0	76.0	84.0	76.0	52.0	8.0	2.0	6.0
	非該当 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	21.5	15.6	19.5	25.8	24.2	33.2	21.5	66.8	50.8	28.1	9.0	80.5	82.8	70.7	69.5	35.5	3.1	0.4	2.0
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	6.5	0.0	5.2	9.1	3.9	10.4	11.7	64.9	22.1	14.3	5.2	35.1	59.7	59.7	67.5	26.0	2.6	0.0	1.3
	八幡市外に住んでいる (n=75)	4.0	0.0	1.3	9.3	2.7	8.0	8.0	62.7	24.0	16.0	4.0	26.7	61.3	54.7	64.0	24.0	16.0	1.3	0.0
	その他 (n=9)	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	77.8	33.3	22.2	0.0	55.6	55.6	33.3	33.3	22.2	0.0	0.0	11.1

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

B票 問6 現在の生活を継続していくにあたって、介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（複数回答）

全体では「認知症状への対応」が30.4%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が24.6%、「夜間の排泄」が22.0%となっています。

前回調査と比較すると、すべての介護の内容で増加傾向がみられます。



※「話し相手」「精神面のケア」は今回のみの選択肢。

B票 問6 現在の生活を継続していくにあたって、介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。

× 認定状況、同居・近居

認定状況別にみると、＜要支援1・2＞では「外出の付き添い、送迎等」が最も高くなっています。

同居・近居別にみると、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が2番目に高くなっています。

単位：%	身体介護											生活援助				その他			わからない	不明・無回答
	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	（掃除、洗濯、買い物等）	諸手続	金銭管理や生活面に必要な	話し相手	精神面のケア	その他		
全体 (n=451)	21.5	22.0	8.6	20.2	7.8	8.9	13.3	24.6	12.0	30.4	8.6	17.7	20.4	17.7	14.0	18.2	3.5	8.0	17.7	
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	12.3	17.2	4.9	20.2	8.0	8.6	11.7	26.4	13.5	20.9	6.1	19.0	24.5	18.4	17.8	17.8	1.8	9.8	26.4
	要介護1 (n=106)	24.5	17.9	5.7	16.0	4.7	7.5	9.4	22.6	9.4	34.9	7.5	12.3	15.1	18.9	11.3	18.9	4.7	10.4	12.3
	要介護2・3 (n=104)	28.8	30.8	10.6	22.1	9.6	9.6	19.2	25.0	14.4	31.7	7.7	17.3	15.4	17.3	9.6	15.4	1.0	4.8	17.3
	要介護4・5 (n=50)	24.0	26.0	20.0	14.0	12.0	12.0	18.0	24.0	8.0	40.0	14.0	28.0	24.0	14.0	16.0	22.0	10.0	6.0	6.0
	非該当 (n=2)	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	26.2	24.6	10.2	22.7	9.8	11.3	13.3	28.5	13.7	32.8	11.3	22.3	21.5	19.1	15.2	18.0	3.9	6.3	12.1
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	22.1	20.8	11.7	15.6	5.2	5.2	14.3	19.5	7.8	35.1	3.9	14.3	23.4	22.1	15.6	22.1	3.9	6.5	13.0
	八幡市外に住んでいる (n=75)	16.0	24.0	4.0	25.3	6.7	8.0	17.3	26.7	12.0	28.0	8.0	12.0	22.7	17.3	13.3	24.0	4.0	17.3	8.0
	その他 (n=9)	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	22.2	55.6	11.1	33.3	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2

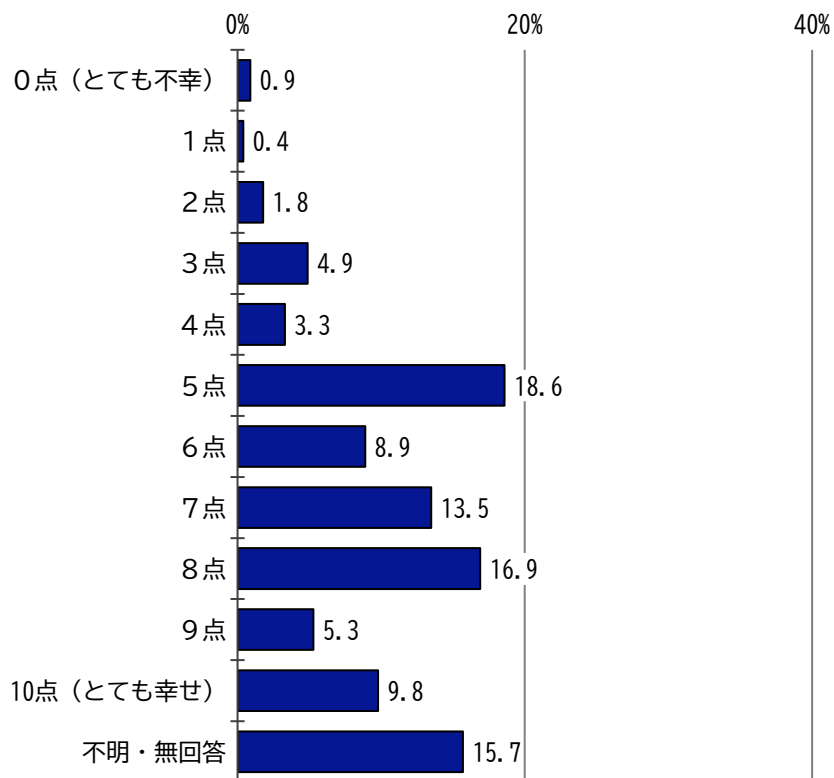
◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

B票 問7 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(単数回答)

全体では「5点」が18.6%と最も高く、次いで「8点」が16.9%、「7点」が13.5%となっています。幸福度平均は6.6点となっており、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査での同設問（p.49）より低くなっています。

n=451



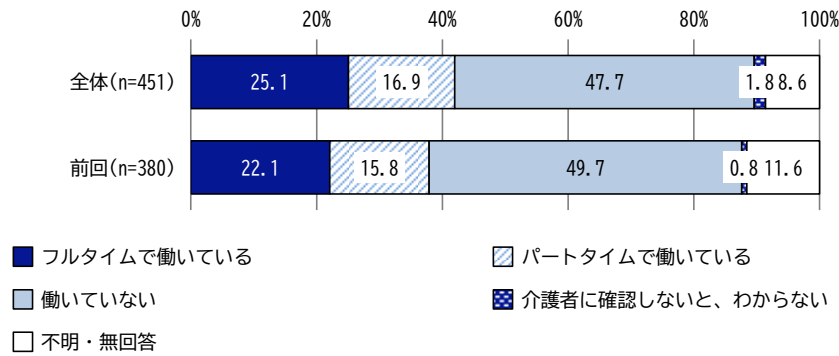
■幸福度平均点（不明・無回答を除いて算出）

認定状況別	人数 (n)	平均点
全体	380	6.6
要支援1・2	128	7.1
要介護1	96	6.5
要介護2・3	90	6.2
要介護4・5	43	5.9

(2) 介護者の就労について

B票 問8 介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。 (単数回答)

全体では「働いていない」が47.7%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が25.1%、「パートタイムで働いている」が16.9%となっています。

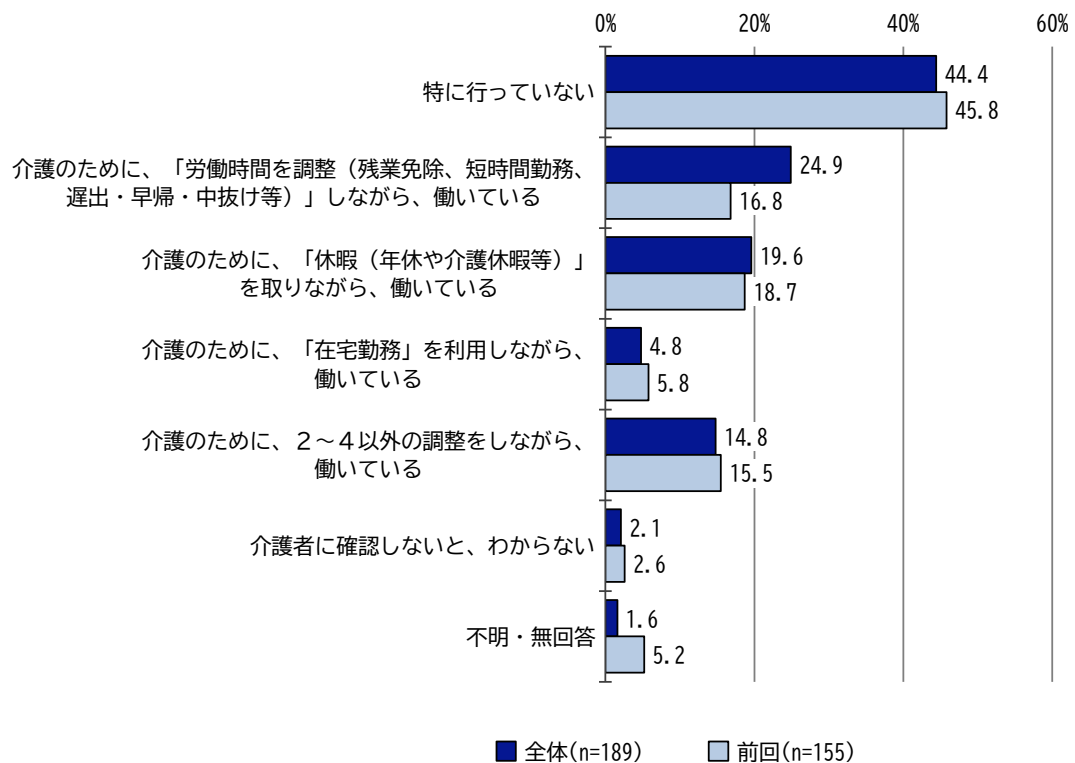


【問8で「1」または「2」(就労している)を選んだ方】

B票 問9 介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。 (複数回答)

全体では「特に行っていない」が44.4%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が24.9%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が19.6%となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」で増加傾向がみられます。

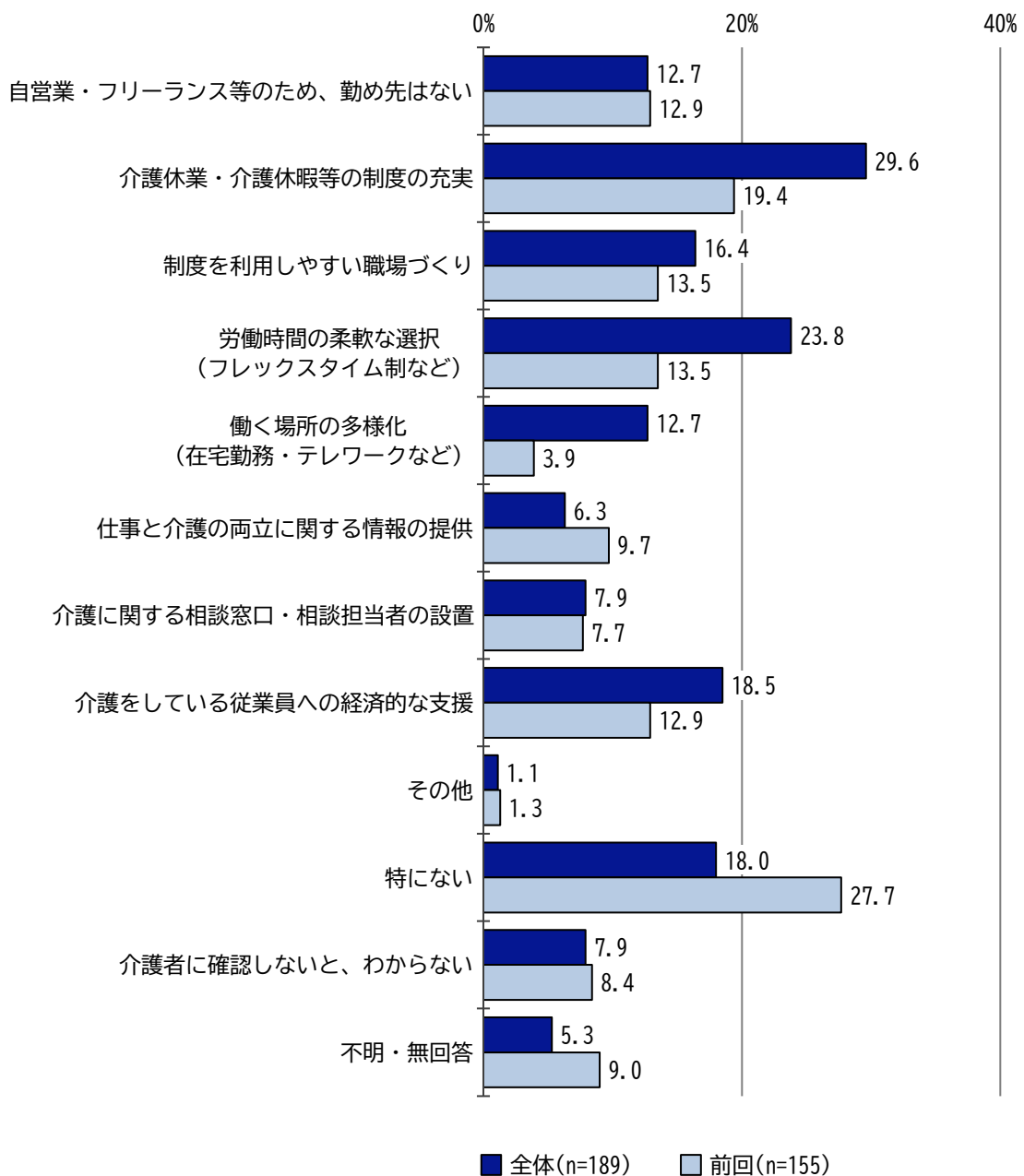


【問8で「1」または「2」（就労している）を選んだ方】

B票 問 10 介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。 (複数回答)

全体では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.6%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が23.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が18.5%となっています。

前回調査と比較すると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」「介護をしている従業員への経済的な支援」で増加傾向がみられます。また、「特にない」で減少傾向がみられます。

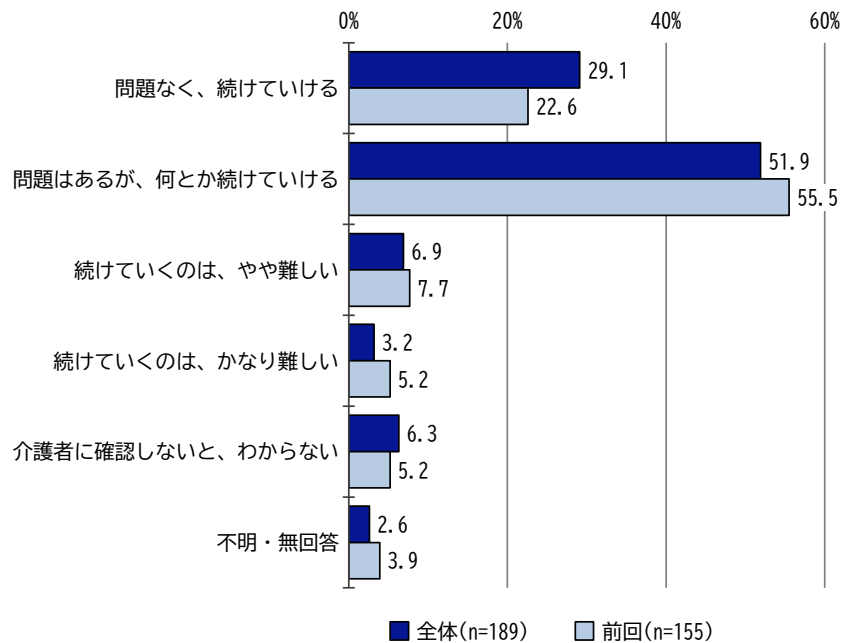


【問8で「1」または「2」（就労している）を選んだ方】

B票 問11 介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（単数回答）

全体では「問題はあるが、何とか続けていける」が51.9%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が29.1%、「続けていくのは、やや難しい」が6.9%となっています。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」で増加傾向がみられます。



【問8で「1」または「2」（就労している）を選んだ方】

B票 問11 介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。× 認定状況

<要介護2・3、要介護4・5>では、「問題はあるが、何とか続けていける」が6割台となっています。

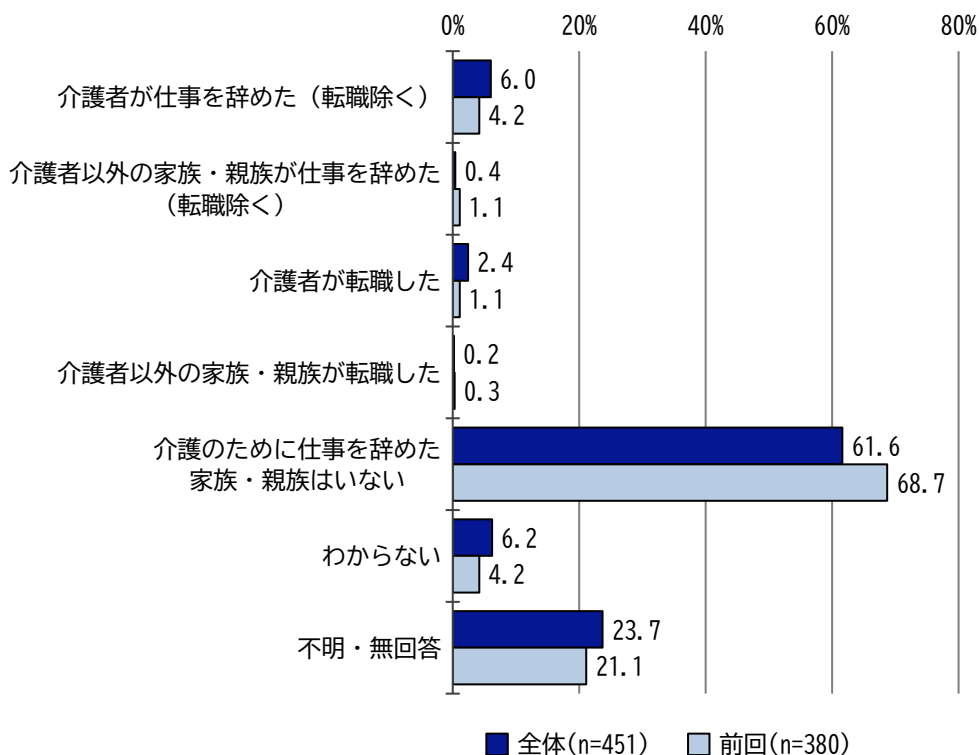
単位：%		問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	やや続けていくのは、難しい	かなり続けていくのは、難しい	介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
全体 (n=189)		29.1	51.9	6.9	3.2	6.3	2.6
認定状況別	要支援1・2 (n=68)	36.8	42.6	4.4	1.5	11.8	2.9
	要介護1 (n=42)	31.0	52.4	4.8	7.1	2.4	2.4
	要介護2・3 (n=46)	17.4	63.0	8.7	2.2	4.3	4.3
	要介護4・5 (n=21)	28.6	61.9	4.8	4.8	0.0	0.0
	非該当 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

◇回答の高いものを第1位、第2位、第3位に網掛け

B票 問 12 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
（複数回答）

全体では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.6%と最も高く、次いで「わからない」が6.2%、「介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.0%となっています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」で減少傾向がみられます。

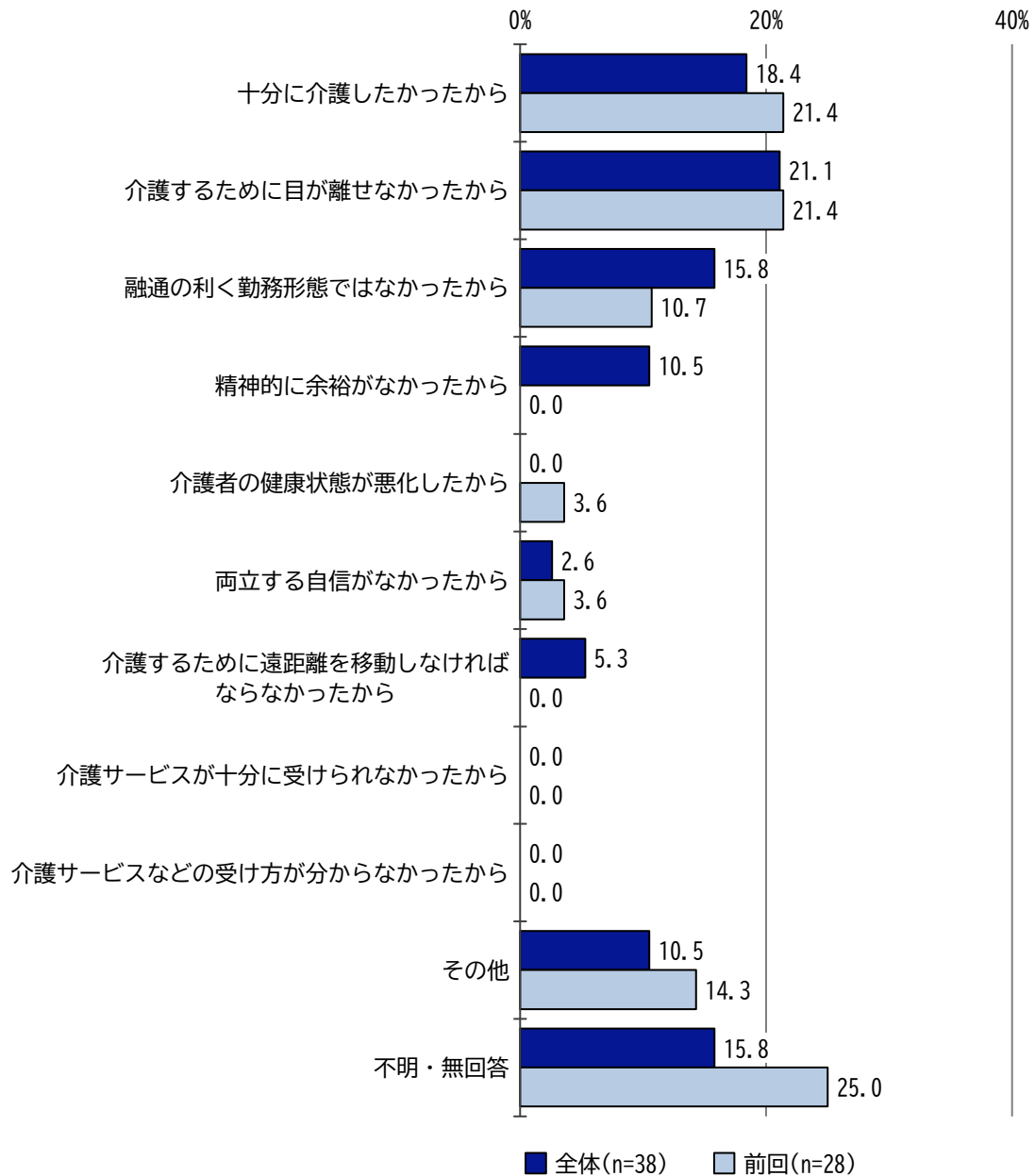


【問12で「1」から「4」（介護を理由に離職・転職した）を選んだ方】

B票 問13 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何ですか。（単数回答）

全体では「介護するために目が離せなかったから」が21.1%と最も高く、次いで「十分に介護しなかったから」が18.4%、「融通の利く勤務形態ではなかったから」が15.8%となっています。

前回調査と比較すると、「融通の利く勤務形態ではなかったから」「精神的に余裕がなかったから」「介護するために遠距離を移動しなければならなかったから」で増加傾向がみられます。

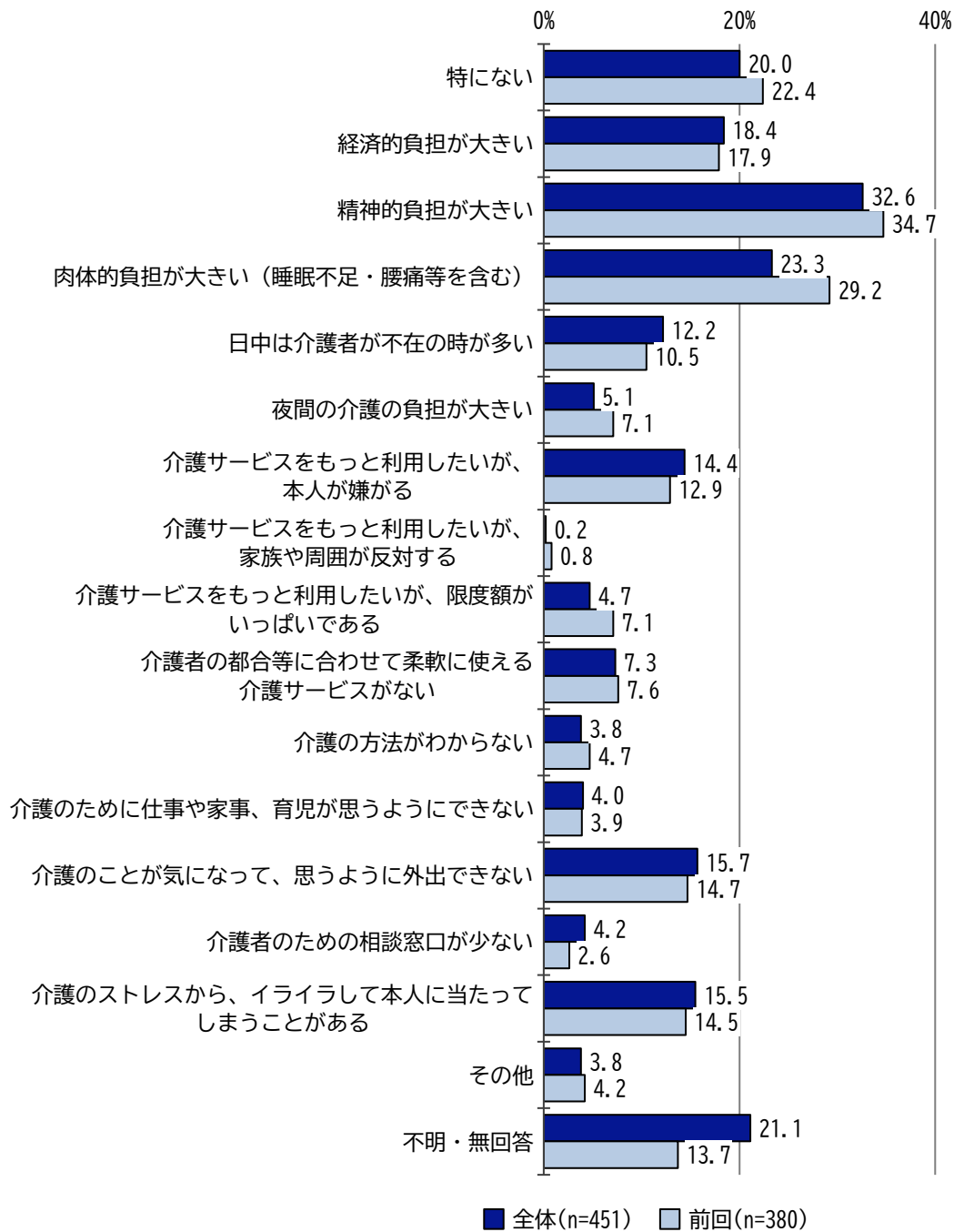


(3) 介護者への支援について

B票 問14 介護をする上で困っていることはありますか。 (複数回答)

全体では「精神的負担が大きい」が32.6%と最も高く、次いで「肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)」が23.3%、「特にない」が20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「肉体的負担が大きい(睡眠不足・腰痛等を含む)」で減少傾向がみられます。



B票 問14 介護をする上で困っていることはありますか。 × 認定状況、同居・近居

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞では「経済的負担が大きい」が最も高く、次いで「精神的負担が大きい」が高くなっています。

同居・近居別にみると、＜あて名の本人と同居している＞では「肉体的負担が大きい（睡眠不足・腰痛等を含む）」、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞＜八幡市外に住んでいる＞では「特にない」が2番目に高くなっています。

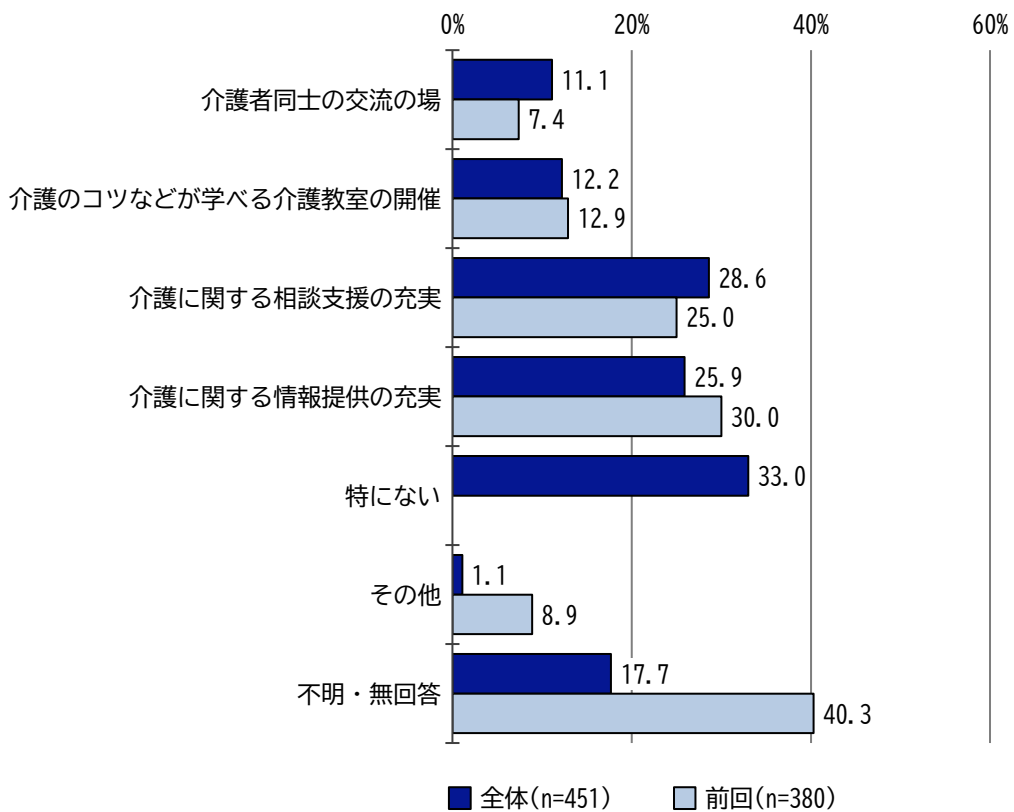
単位：％		特にない	経済的負担が大きい	精神的負担が大きい	肉体的負担が大きい (睡眠不足・腰痛等を含む)	日中は介護者が不在の時が多い	夜間の介護の負担が大きい	介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる	介護サービスをもっと利用したいが、家族や周囲が反対する	介護サービスをもっと利用したいが、限度額がある	介護者の都合等に合わせて柔軟に介護サービスがない
全体 (n=451)		20.0	18.4	32.6	23.3	12.2	5.1	14.4	0.2	4.7	7.3
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	26.4	9.2	22.1	14.7	9.8	2.5	11.7	0.0	3.1	8.0
	要介護1 (n=106)	24.5	15.1	39.6	22.6	9.4	2.8	20.8	0.0	4.7	6.6
	要介護2・3 (n=104)	13.5	22.1	29.8	26.0	17.3	4.8	12.5	0.0	6.7	4.8
	要介護4・5 (n=50)	6.0	50.0	48.0	42.0	10.0	12.0	10.0	2.0	6.0	12.0
	非該当 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	20.3	21.9	37.9	30.9	9.8	7.0	14.1	0.4	3.5	7.4
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	22.1	16.9	31.2	15.6	20.8	5.2	13.0	0.0	5.2	13.0
	八幡市外に住んでいる (n=75)	25.3	17.3	30.7	16.0	17.3	1.3	24.0	0.0	9.3	5.3
	その他 (n=9)	0.0	11.1	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0

単位：％		介護の方法がわからない	育児介護のため仕事や家事、子供が思うようにできない	介護のことが外に出できない、思うように外に出できない	介護者のための相談窓口が少ない	介護のストレスから、イライラすることがある	その他	不明・無回答
全体 (n=451)		3.8	4.0	15.7	4.2	15.5	3.8	21.1
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	4.3	3.7	15.3	4.9	8.6	3.1	30.1
	要介護1 (n=106)	3.8	4.7	14.2	5.7	18.9	0.9	15.1
	要介護2・3 (n=104)	2.9	1.9	15.4	1.0	22.1	4.8	20.2
	要介護4・5 (n=50)	4.0	10.0	16.0	6.0	16.0	6.0	12.0
	非該当 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	4.3	3.9	21.1	5.5	21.1	3.5	13.3
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	3.9	5.2	7.8	3.9	13.0	2.6	15.6
	八幡市外に住んでいる (n=75)	2.7	5.3	12.0	2.7	6.7	6.7	20.0
	その他 (n=9)	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

**B票 問 15 家族等の介護者に対する支援で、あるとよいと思うものはありますか。
(複数回答)**

全体では「特にない」が 33.0%と最も高く、次いで「介護に関する相談支援の充実」が 28.6%、「介護に関する情報提供の充実」が 25.9%となっています。



※「特にない」は今回のみの選択肢。

B票 問15 家族等の介護者に対する支援で、あるとよいと思うものはありますか。 ×
認定状況、同居・近居

認定状況別にみると、＜要介護4・5＞では、「介護に関する相談支援の充実」「介護に関する情報提供の充実」が同率で最も高くなっています。

同居・近居別にみると、＜同居はしていないが、八幡市内に住んでいる＞では「介護に関する相談支援の充実」が最も高くなっています。

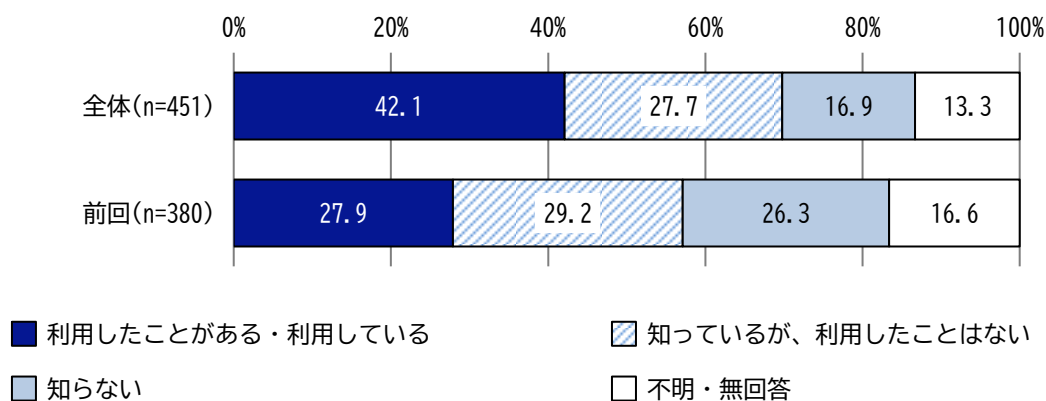
単位：％		介護者同士の交流の場	介護の教室の開催	介護に関する相談支援の充実	介護に関する情報提供の充実	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=451)		11.1	12.2	28.6	25.9	33.0	1.1	17.7
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	12.3	16.0	27.6	28.8	28.8	0.0	19.6
	要介護1 (n=106)	12.3	15.1	29.2	24.5	34.0	0.9	15.1
	要介護2・3 (n=104)	8.7	7.7	26.0	15.4	40.4	1.9	21.2
	要介護4・5 (n=50)	8.0	6.0	38.0	38.0	32.0	0.0	10.0
	非該当 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
同居・近居別	あて名の本人と同居している (n=256)	14.8	14.8	28.9	29.3	34.8	1.6	13.3
	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる (n=77)	9.1	10.4	37.7	24.7	32.5	0.0	10.4
	八幡市外に住んでいる (n=75)	5.3	10.7	29.3	26.7	40.0	0.0	8.0
	その他 (n=9)	11.1	11.1	22.2	33.3	33.3	11.1	22.2

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

B票 問16 高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。 (単数回答)

全体では「利用したことがある・利用している」が42.1%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が27.7%、「知らない」が16.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したことがある・利用している」で増加傾向がみられます。



B票 問16 高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。 × 認定状況

認定状況別にみると、<要介護4・5>では、「知っているが、利用したことはない」が最も高く、次いで「知らない」が高くなっています。

単位：%		利用したことがある	知っているが、利用していない	知らない	不明・無回答
全体 (n=451)		42.1	27.7	16.9	13.3
認定状況別	要支援1・2 (n=163)	49.1	19.0	16.6	15.3
	要介護1 (n=106)	41.5	33.0	13.2	12.3
	要介護2・3 (n=104)	36.5	31.7	17.3	14.4
	要介護4・5 (n=50)	28.0	36.0	32.0	4.0
	非該当 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0

◇回答の高いもの**第1位**、**第2位**、**第3位**に網掛け

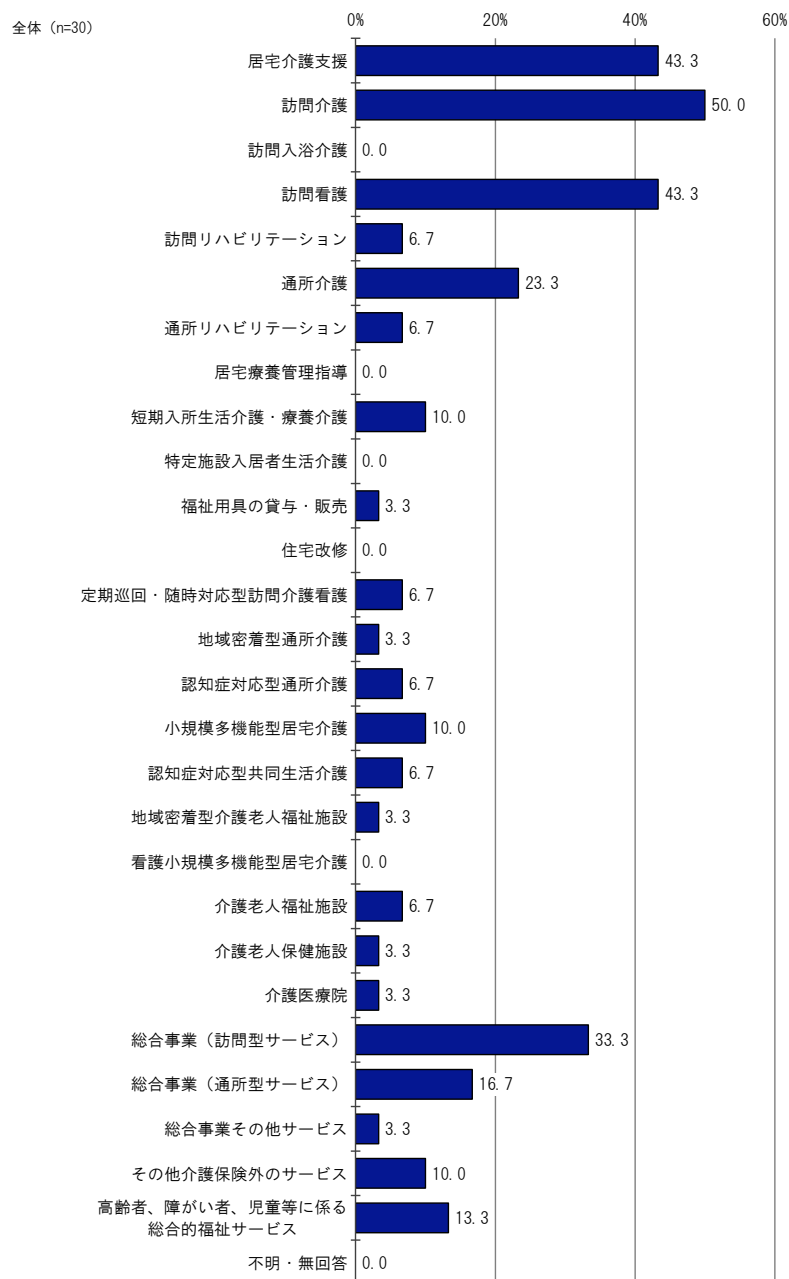
IV 介護サービス事業所調査

1 サービス事業者の運営形態や状況について

※問1は個別の法人名等の回答結果のため、掲載省略

問2. 令和7年12月1日現在、貴法人として、八幡市内で提供している介護保険サービス等は何ですか。(介護予防事業を含みます)。(複数回答)

市内で提供している介護保険サービスについてみると、全体では「訪問介護」が50.0%と最も高く、次いで「居宅介護支援」「訪問看護」がそれぞれ43.3%となっています。



■参考資料：介護保険サービス等一覧

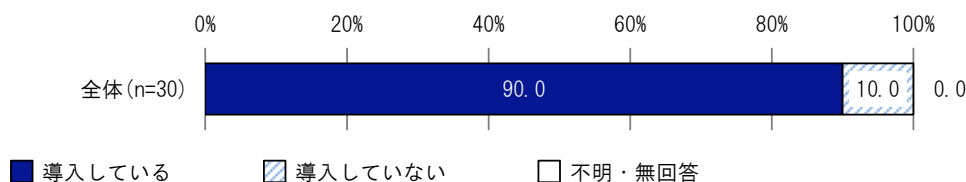
介護保険 サービス名称	内容
居宅介護支援	ケアマネジャーが、利用者の心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行う。
訪問介護	訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行う。
訪問入浴介護	看護職員と介護職員が利用者の自宅を訪問し、持参した浴槽によって入浴の介護を行う。
訪問看護	看護師などが疾患のある利用者の自宅を訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行う。
訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが利用者の自宅を訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションを行う。
通所介護	通所介護の施設（利用定員 19 人以上）に通い、利用者が有する能力に応じ生活機能の維持又は向上を目指し、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練等の利用者に応じた必要なサービスを通所介護施設の利用時間内において提供する。
通所リハビリテーション	通所リハビリテーションの施設（介護老人保健施設、病院、診療所など）に通い、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションを行う。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士又は歯科衛生士等が、通院が困難な利用者の居宅を訪問して、心身の状況、置かれている環境等を把握し、それらを踏まえて療養上の管理及び指導を行う。
短期入所生活介護・療養介護	常に介護が必要な方の短期間の入所を受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供する。 受け入れ施設が介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の場合は短期入所生活介護、医療機関や介護老人保健施設、介護医療院の場合は短期入所療養介護という。
特定施設入居者生活介護	指定を受けた有料老人ホームや軽費老人ホームなどが、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供する。
福祉用具の貸与・販売	福祉用具の貸与は、指定を受けた事業者が、利用者の心身の状況、希望及びその生活環境等を心まえ、適切な福祉用具を選ぶための援助・取り付け・調整などを行い、福祉用具を貸与する。 福祉用具の販売は、指定を受けた事業者が、入浴や排泄に用いる、貸与になじまない福祉用具を販売する。
住宅改修	事前の申請に応じて、生活環境を整えるための住宅改修に対し、費用の一部を住宅改修費として支給する。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供する。サービスの提供にあたっては、訪問介護員だけでなく看護師なども連携しているため、介護と看護の一体的なサービス提供を受けることができる。
地域密着型通所介護	地域密着型通所介護の施設（利用定員 19 人未満）に通い、利用者が有する能力に応じ生活機能の維持又は向上を目指し、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練等の利用者に応じた必要なサービスを地域密着型通所介護の利用時間内において提供する。
認知症対応型通所介護	通所介護の施設（デイサービスセンターやグループホームなど）において、認知症の利用者に対し、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供することで、家族の介護の負担軽減を図る。

介護保険 サービス名称	内容
小規模多機能型 居宅介護	利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う。
認知症対応型共 同生活介護	認知症の利用者が、グループホームに入所し、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、食事や入浴などの日常生活上の支援や、機能訓練などのサービスを受ける。グループホームでは、1つの共同生活住居に5～9人の少人数の利用者が、介護スタッフとともに共同生活を送る。
地域密着型介護 老人福祉施設	入所定員30人未満の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が、常に介護が必要な方の入所を受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の世話などを提供する。
看護小規模多機 能型居宅介護	利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせ、介護と看護の一体的なサービスを提供する。
介護老人福祉施設	入所者が可能な限り在宅復帰できることを念頭に、常に介護が必要な方の入所を受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練、療養上の世話などを提供する。
介護老人保健施設	在宅復帰を目指している方の入所を受け入れ、入所者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、リハビリテーションや必要な医療、介護などを提供する。
介護医療院	長期にわたって療養が必要である方の入所を受け入れ、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、療養上の管理、看護、介護、機能訓練、その他必要な医療と日常生活に必要なサービスなどを提供する。
総合事業（訪問 型サービス）	要支援1・2または総合事業対象者に対して、訪問介護員による身体介護、生活援助を行うサービスや住民主体による支援、保健・医療の専門職が短期集中で行うサービス、移動支援等。
総合事業（通所 型サービス）	要支援1・2または総合事業対象者に対して、デイサービスセンター等の施設で、入浴、排泄、食事等の介護、日常生活上の支援や機能訓練、レクリエーション等を日帰りで利用できるサービス。民間事業者や住民主体による支援、保健・医療の専門職が短期集中で行うサービスなどがある。
総合事業その他 サービス	栄養改善を目的とした配食や、住民ボランティア等が行う見守り、訪問型サービス、通所型サービスに準じる自立支援に資する生活支援。

資料：厚生労働省介護サービス情報公表システム等をもとに作成

問3. 貴法人では、現在 I C T 機器等について導入していますか。 (単数回答)

I C T 機器等の導入状況についてみると、全体では「導入している」が 90.0%、「導入していない」が 10.0%となっています。

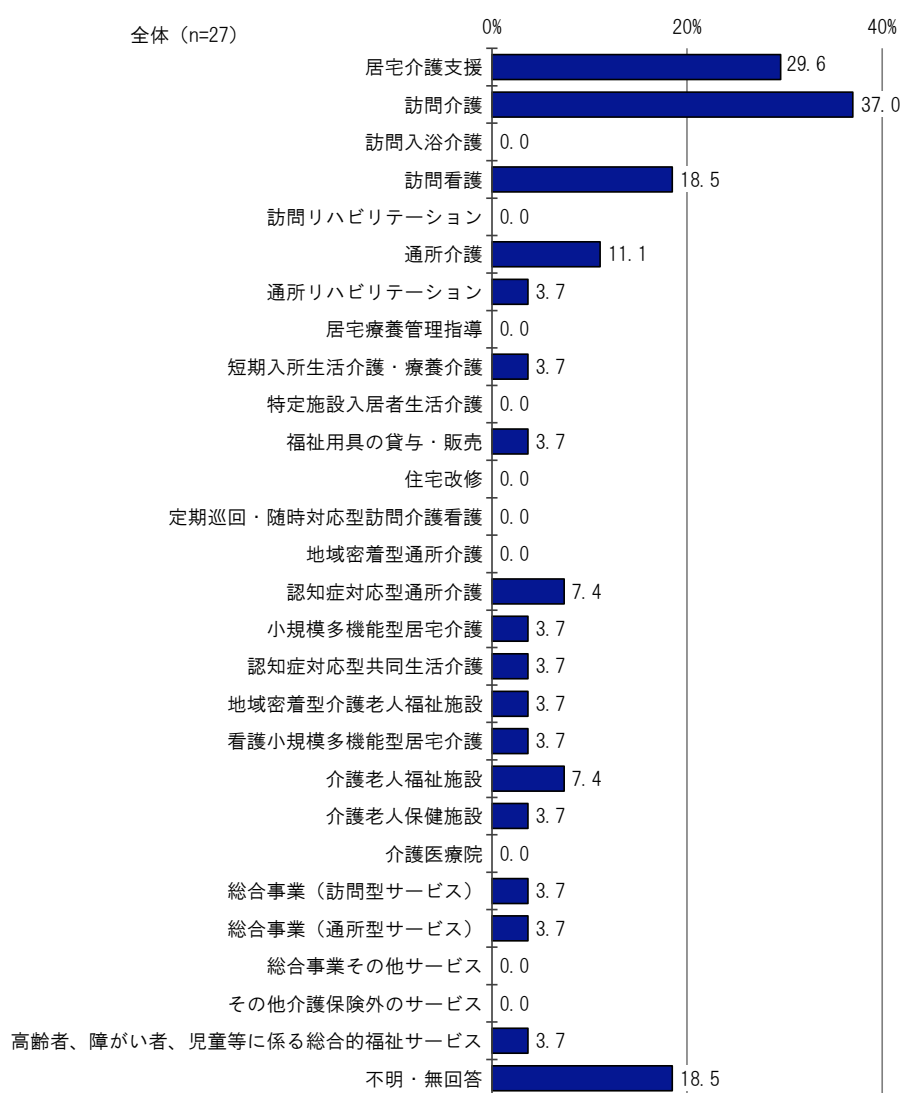


【問3において「導入している」を選んだ方】

問4. 貴法人の主なサービスごとに、現在導入している I C T 機器をお答えください。(複数回答)

①サービスの種類

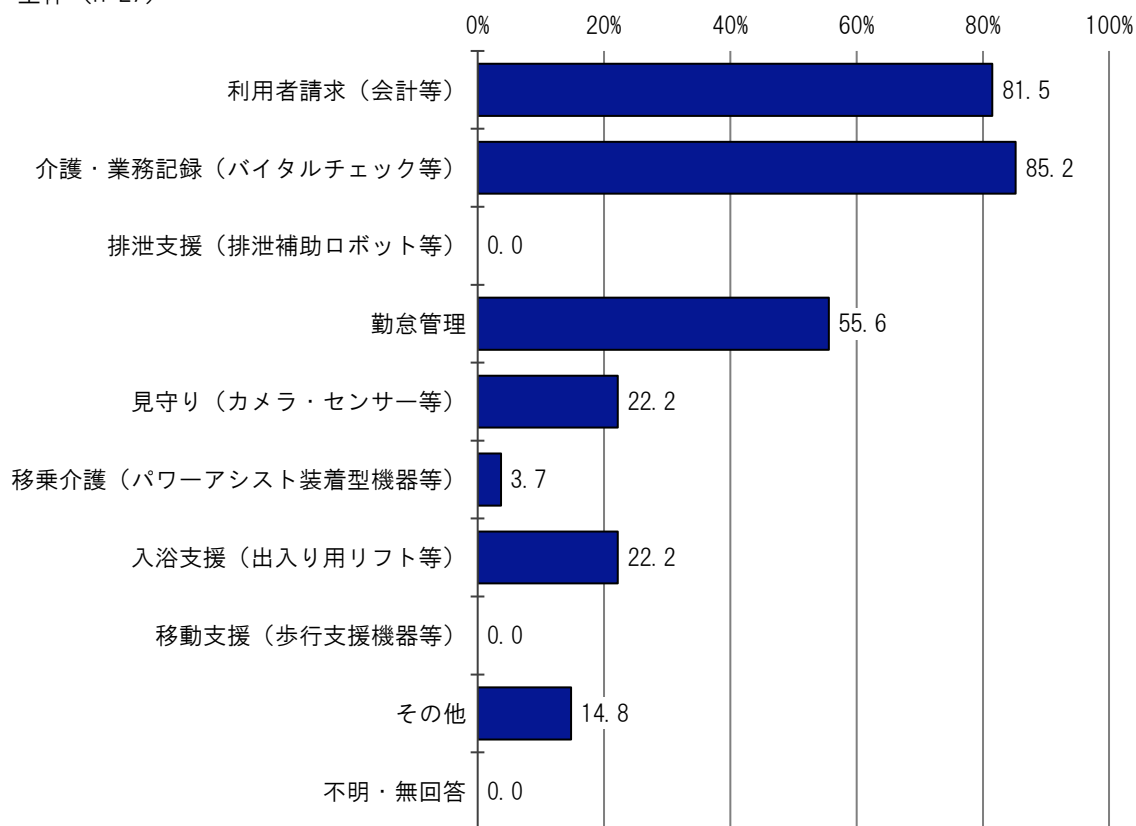
I C T 機器を導入しているサービスの種類についてみると、全体では「訪問介護」が 37.0%と最も高く、次いで「居宅介護支援」が 29.6%、「訪問看護」が 18.5%となっています。



②現在導入しているICT機器

現在導入しているICT機器についてみると、全体では「介護・業務記録（バイタルチェック等）」が85.2%と最も高く、次いで「利用者請求（会計等）」が81.5%となっています。

全体（n=27）

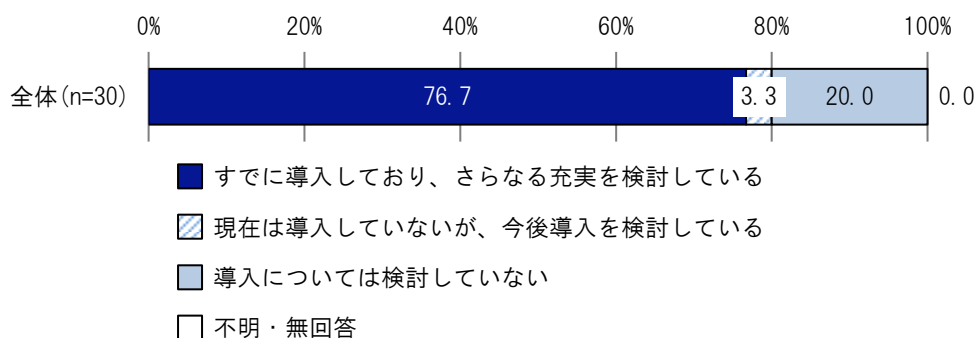


カテゴリ	全体 (n=27)
利用者請求(会計等)	22
介護・業務記録(バイタルチェック等)	23
排泄支援(排泄補助ロボット等)	0
勤怠管理	15
見守り(カメラ・センサー等)	6
移乗介護(パワーアシスト装着型機器等)	1
入浴支援(出入り用リフト等)	6
移動支援(歩行支援機器等)	0
その他	4
不明・無回答	0

◇件数の多い項目**第1位**に網掛け

問5. 貴法人では、今後、ICT機器等の導入について検討していますか。（単数回答）

ICT機器等の導入検討状況についてみると、全体では「すでに導入しており、さらなる充実を検討している」が76.7%と最も高く、次いで「導入については検討していない」が20.0%、「現在は導入していないが、今後導入を検討している」が3.3%となっています。

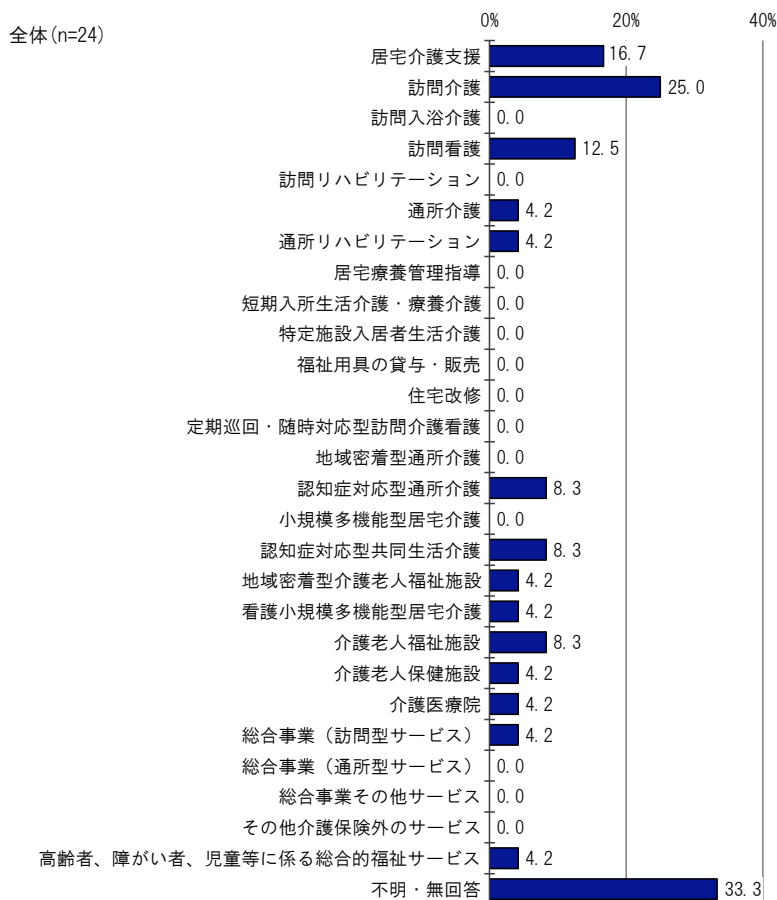


【問5において「1」または「2」（充実・導入を検討している）を選んだ方】

問6. 貴法人の主なサービスごとに、現在導入を検討しているICT機器をお答えください。（複数回答）

①導入を検討しているサービス

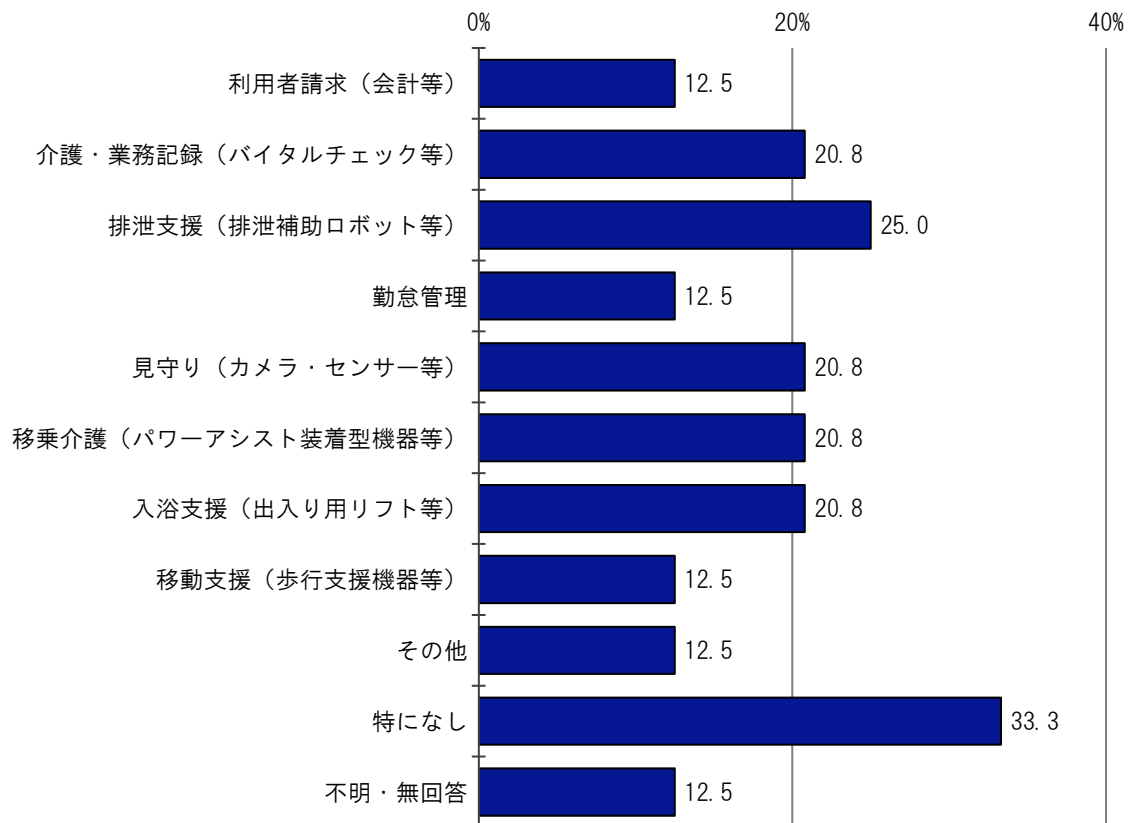
導入を検討しているサービスについてみると、全体では「訪問介護」が25.0%と最も高く、次いで「居宅介護支援」が16.7%、「訪問看護」が12.5%となっています。



②導入してみたいICT機器

導入してみたいICT機器についてみると、全体では「特になし」が33.3%と最も高く、次いで「排泄支援（排泄補助ロボット等）」が25.0%、「介護・業務記録（バイタルチェック等）」「見守り（カメラ・センサー等）」「移乗介護（パワーアシスト装着型機器等）」「入浴支援（出入り用リフト等）」がそれぞれ20.8%となっています。

全体（n=24）



2 介護人材の雇用状況について

問7. 令和7年12月1日現在、貴法人の八幡市内の事業所に勤務する職員の方について、
①～④の内訳について、ご回答ください。(数量回答)

①年代別介護職員数

年代別介護職員数についてみると、正規・非正規計、正規職員、非正規職員いずれも「50代」が3割前後と最も高くなっています。正規職員・非正規職員いずれも40代・50代の計で5割～6割台を占めています。また、非正規職員では、60代が21.2%と正規職員と比較して高くなっています。

	人数(人)			割合(%)		
	正規・非正規計	正規職員	非正規職員	正規・非正規計	正規職員	非正規職員
10代	6	2	4	0.9	0.6	1.2
20代	50	38	12	7.4	10.7	3.7
30代	84	60	24	12.4	16.9	7.4
40代	173	106	67	25.5	29.9	20.6
50代	223	126	97	32.8	35.6	29.8
60代	87	18	69	12.8	5.1	21.2
70代以上	56	4	52	8.2	1.1	16.0
年代計	679	354	325	100.0	100.0	100.0

◇人数の多い年代**第1位**に網掛け

②経験年数別介護職員数

経験年数別介護職員数についてみると、全体では「5年以上」が61.0%と最も高くなっています。

	人数	割合(%)
1年未満	86	13.4
1年以上3年未満	91	14.1
3年以上5年未満	74	11.5
5年以上	393	61.0
計	644	100.0

◇人数の多い項目**第1位**に網掛け

③過去1年間の介護職員の採用者数

過去1年間の介護職員の採用者数についてみると、正規・非正規計、正規職員、非正規職員いずれも「50代」が2割後半～約3割と最も高く、次いで「40代」が2割台となっています。

	採用者数(人)			割合(%)		
	正規・非正規計	正規職員	非正規職員	正規・非正規計	正規職員	非正規職員
10代	7	1	6	6.4	1.6	12.5
20代	18	12	6	16.5	19.7	12.5
30代	17	11	6	15.6	18.0	12.5
40代	28	17	11	25.7	27.9	22.9
50代	31	19	12	28.4	31.1	25.0
60代	7	1	6	6.4	1.6	12.5
70代以上	1	0	1	0.9	0.0	2.1
年代計	109	61	48	100.0	100.0	100.0

◇人数の多い年代**第1位**に網掛け

④過去1年間の介護職員の離職者数

過去1年間の介護職員の離職者数についてみると、正規・非正規計では「50代」が29.9%、正規職員では「30代」が33.3%、非正規職員では「50代」が29.5%とそれぞれ最も高くなっています。

	離職者数(人)			割合(%)		
	正規・非正規計	正規職員	非正規職員	正規・非正規計	正規職員	非正規職員
10代	1	0	1	1.3	0.0	2.3
20代	5	1	4	6.5	3.0	9.1
30代	15	11	4	19.5	33.3	9.1
40代	16	9	7	20.8	27.3	15.9
50代	23	10	13	29.9	30.3	29.5
60代	14	2	12	18.2	6.1	27.3
70代以上	3	0	3	3.9	0.0	6.8
年代計	77	33	44	100.0	100.0	100.0

◇人数の多い年代**第1位**に網掛け

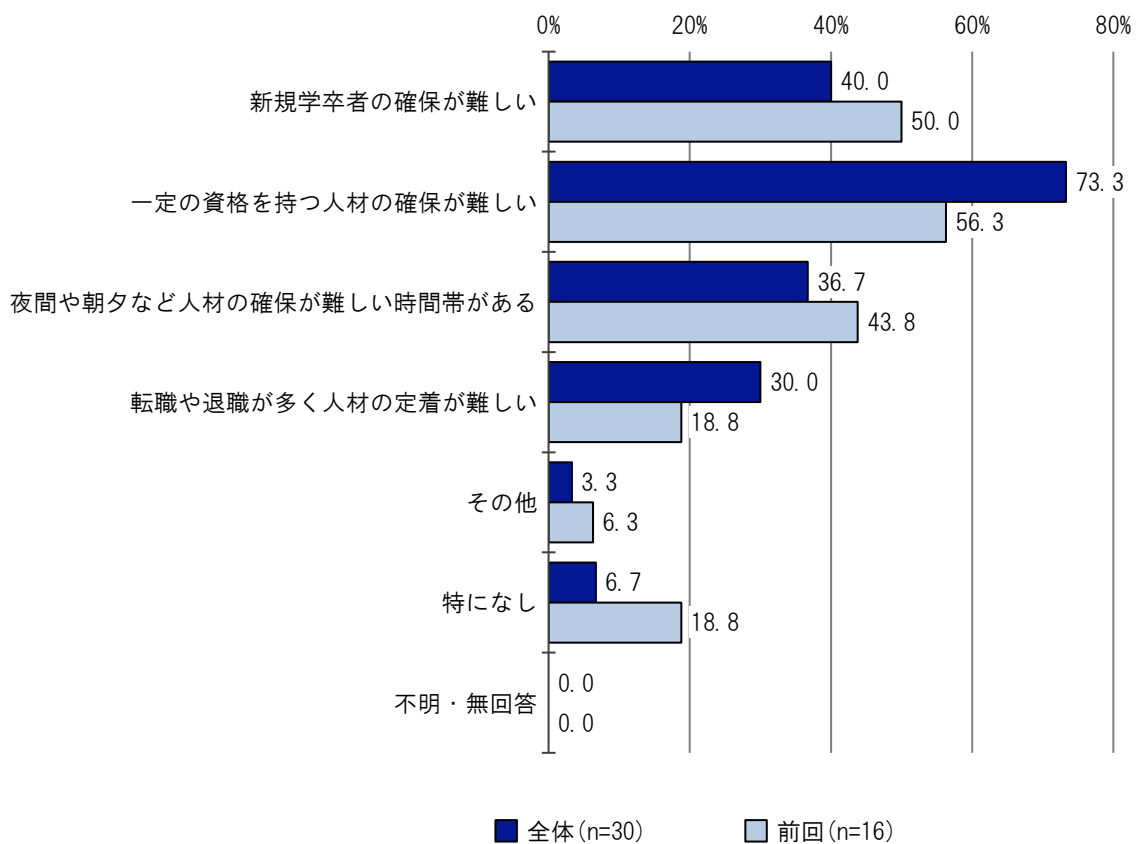
3 人材の確保・育成について

問8. 貴法人では、人材確保にどのような課題がありますか。

(複数回答)

人材確保の課題についてみると、全体では「一定の資格を持つ人材の確保が難しい」が73.3%と最も高く、次いで「新規学卒者の確保が難しい」が40.0%、「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」が36.7%となっています。

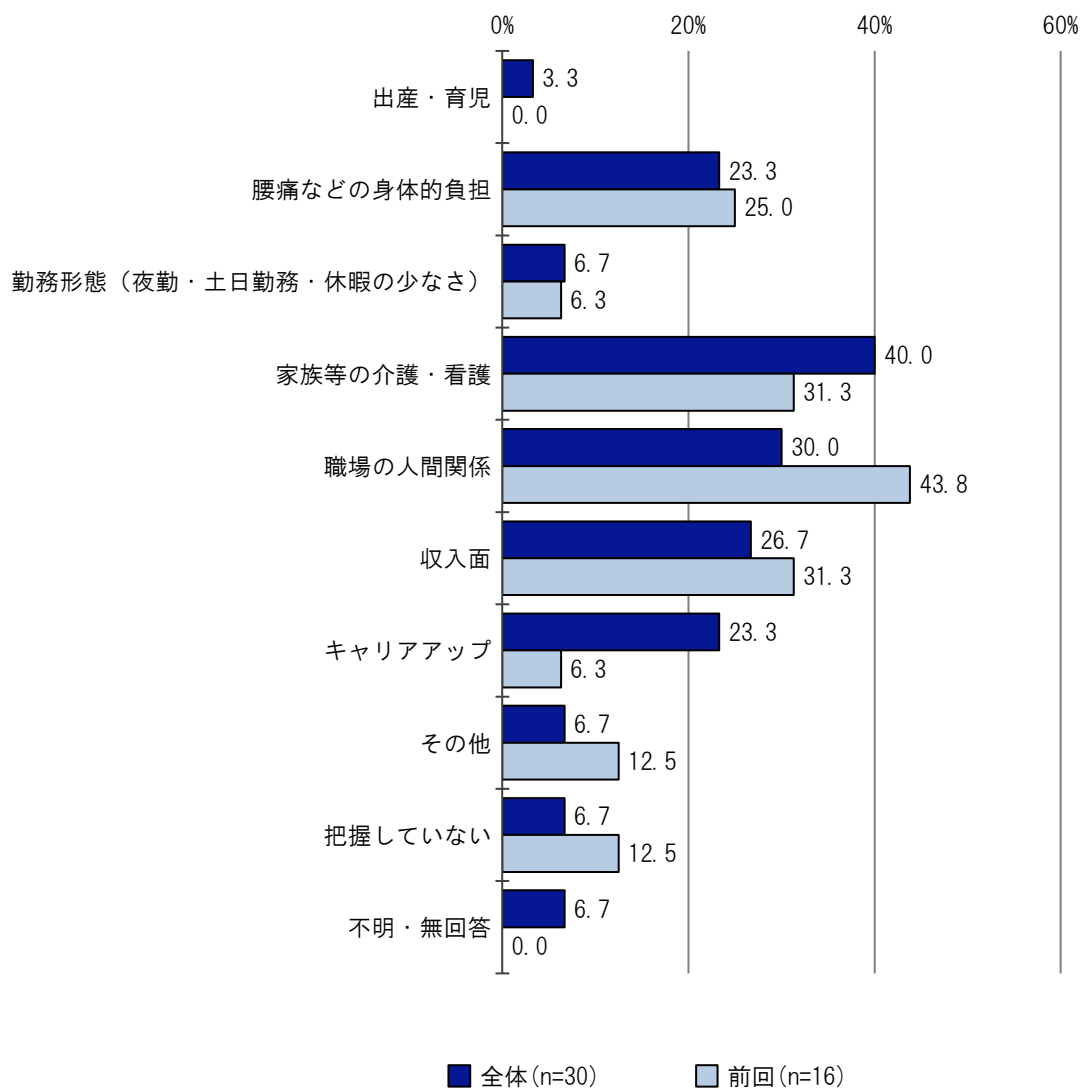
前回調査と比較すると、「一定の資格を持つ人材の確保が難しい」「転職や退職が多く人材の定着が難しい」で増加傾向がみられます。また、「新規学卒者の確保が難しい」「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」「特になし」で減少傾向がみられます。



問9. 貴法人では、離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。 (3つまで回答)

離職事由のうち、特に多い要因についてみると、全体では「家族等の介護・看護」が40.0%と最も高く、次いで「職場の人間関係」が30.0%、「収入面」が26.7%となっています。

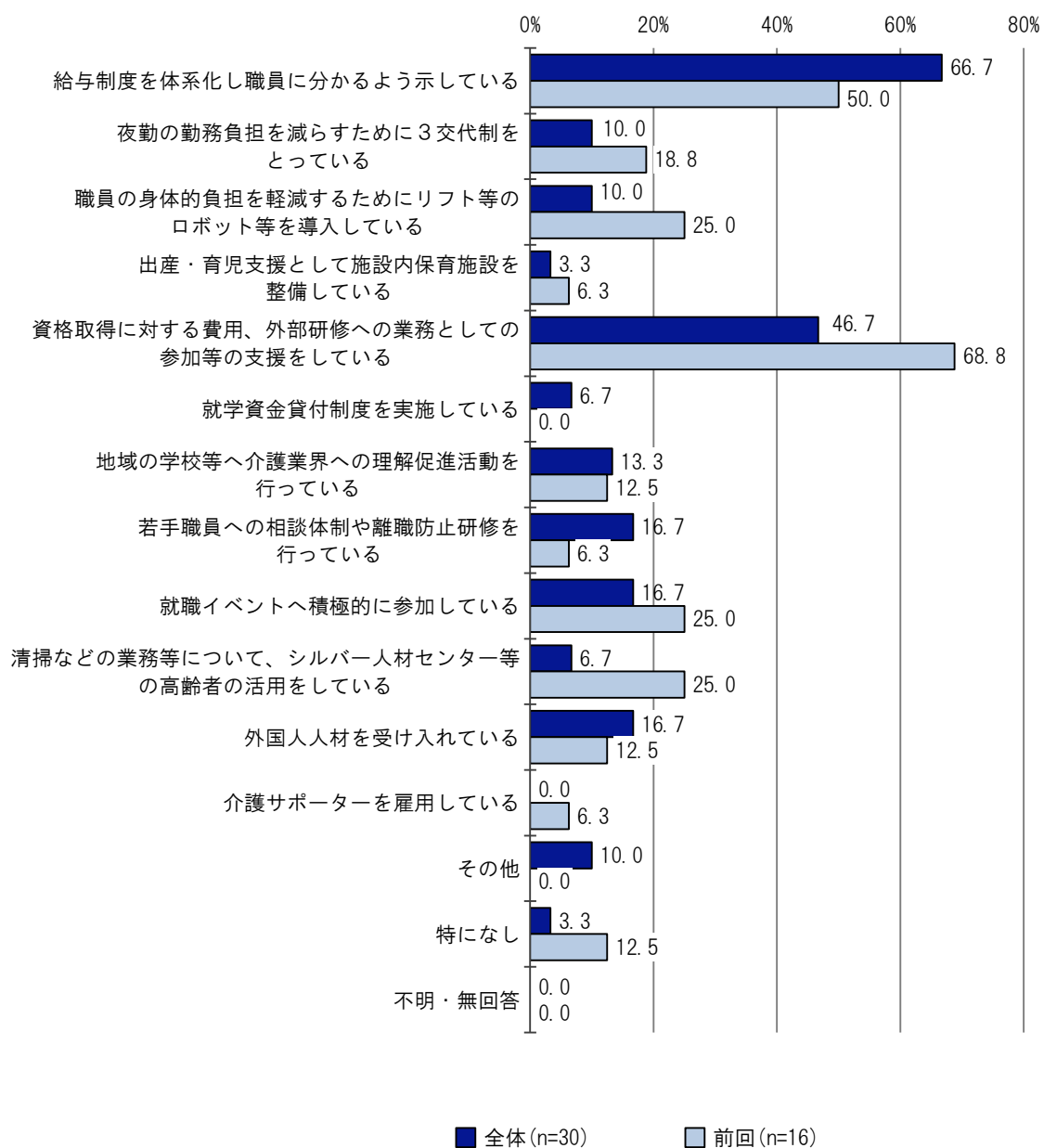
前回調査と比較すると、「キャリアアップ」で増加傾向がみられます。また、「職場の人間関係」で減少傾向がみられます。



問 10. 貴法人では、人材確保にあたりどのような取組を実施していますか。(3つまで回答)

人材確保のための取組についてみると、全体では「給与制度を体系化し職員に分かるよう示している」が66.7%と最も高く、次いで「資格取得に対する費用、外部研修への業務としての参加等の支援をしている」が46.7%、「若手職員への相談体制や離職防止研修を行っている」「就職イベントへ積極的に参加している」「外国人人材を受け入れている」が16.7%となっています。

前回調査と比較すると、「給与制度を体系化し職員に分かるよう示している」「若手職員への相談体制や離職防止研修を行っている」で増加傾向がみられます。また、「夜勤の勤務負担を減らすために3交代制をとっている」「職員の身体的負担を軽減するためにリフト等のロボット等を導入している」「資格取得に対する費用、外部研修への業務としての参加等の支援をしている」「清掃などの業務等について、シルバー人材センター等の高齢者の活用をしている」「特になし」で減少傾向がみられます。

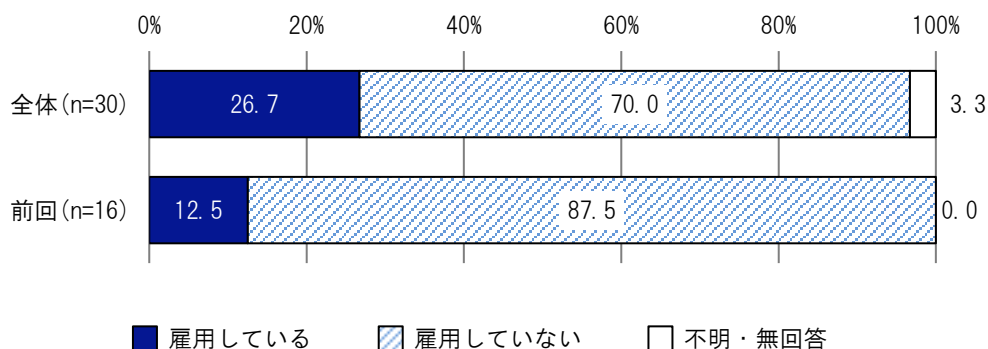


問 11. 現在、貴法人では外国人職員を雇用していますか。

(単数回答)

外国人職員の雇用についてみると、全体では「雇用していない」が 70.0%、「雇用している」が 26.7%となっています。

前回調査と比較すると、「雇用している」で増加傾向がみられます。



【問 11 において「雇用している」を選んだ方】

問 11. ① 令和 7 年 12 月 1 日現在、八幡市内の事業所で雇用している外国人職員数を在留資格ごとにご記入ください。(数量回答)

在留資格別外国人職員数をみると、全体では「技能実習生」が 75.0%となっています。

	人数	割合(%)
在留資格「介護」	2	8.3
EPA介護職員(※1)	0	0.0
技能実習生	18	75.0
特定技能1号	4	16.7
養成校の留学生(※2)	0	0.0
計	24	100.0

◇人数の多い項目第1位に網掛け

※1 EPA (経済連携協定) 基づく外国人介護福祉士候補者及び外国人介護福祉士

※2 在留資格「留学」により日本に在留し、介護福祉士養成校 おいて教育を受ける外国の国籍を有する学生

【問11において「雇用している」を選んだ方】

問 11. ② 外国人介護職員の雇用に関して、市に希望するものはありますか。(3つまで回答)

外国人職員の雇用について市への希望をみると、全体では「外国人介護職員に対する住居支援」「雇用に係る必要経費の支援」がそれぞれ5件で最も多く、次いで「外国人介護職員の日本語能力向上のための支援」「特になし」が2件となっています。

カテゴリ	全体 (n=8)
外国人介護職員の日本語能力向上のための支援	2
外国人雇用に関する各種制度についてのセミナー	0
外国人介護職員の介護技術向上のための支援	0
外国人介護職員を指導するための方法に関する支援	1
外国人介護職員に対する住居支援	5
外国人介護職員の生活支援のための情報提供や相談窓口	0
外国人介護職員を有する施設・事業所同士のネットワーク	0
外国人介護職員同士の交流会	1
雇用に係る必要経費の支援	5
その他	0
特になし	2
不明・無回答	0

◇件数の多い項目**第1位**に網掛け

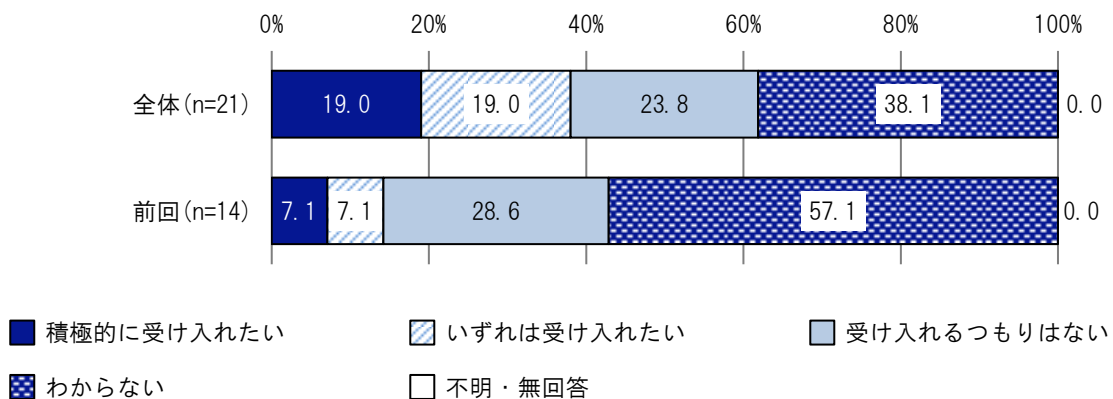
※全体10件未満の回答のため、件数のみ表記。

【問11において「雇用していない」を選んだ方】

問 11 ③今後、介護人材として外国人を受け入れる予定がありますか。(単数回答)

外国人を受け入れる予定についてみると、全体では「わからない」が38.1%と最も高く、次いで「受け入れるつもりはない」が23.8%、「積極的に受け入れたい」「いずれは受け入れたい」が19.0%となっています。受け入れを視野に入れている事業所は38.0%となっています。

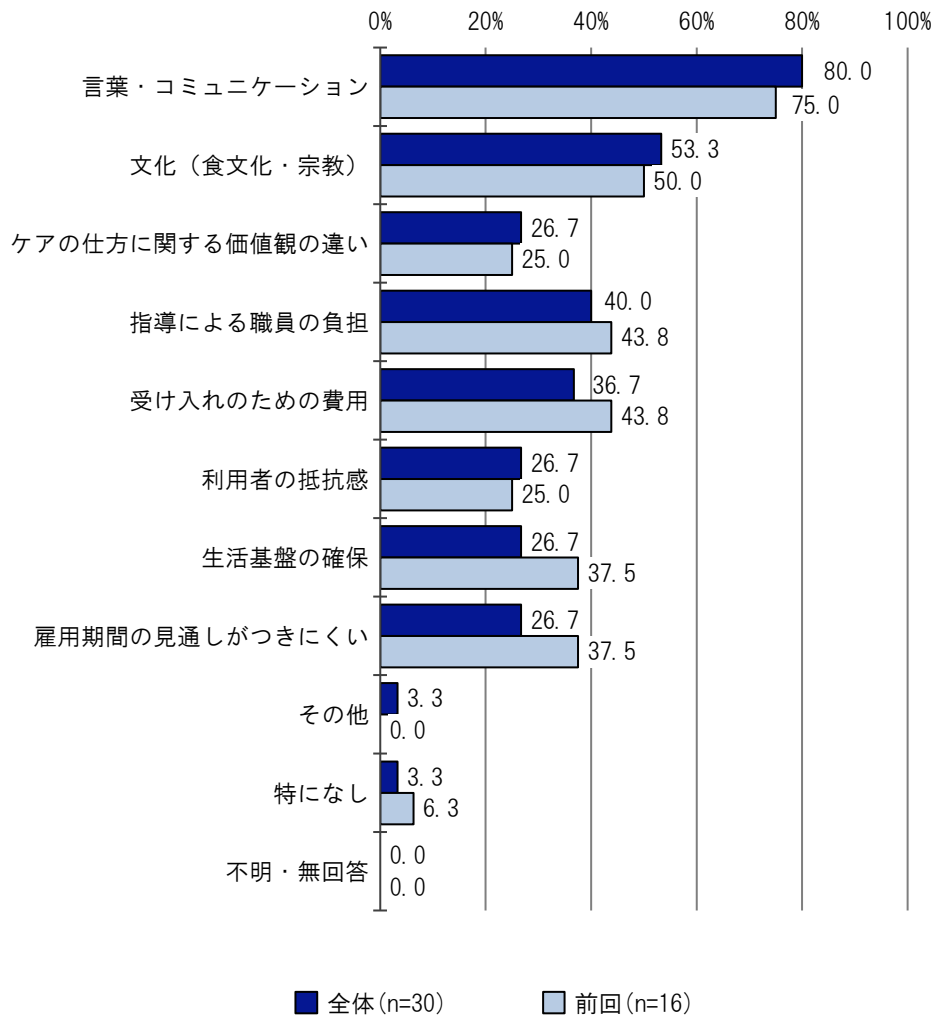
前回調査と比較すると、「積極的に受け入れたい」「いずれは受け入れたい」で増加傾向がみられます。



問 12. 外国人を雇用する場合、何が課題となる（課題となっている）と思いますか。（複数回答）

外国人雇用の課題についてみると、全体では「言葉・コミュニケーション」が 80.0%と最も高く、次いで「文化（食文化・宗教）」が 53.3%、「指導による職員の負担」が 40.0%となっています。

前回調査と比較すると、「生活基盤の確保」「雇用期間の見通しがつきにくい」で減少傾向がみられます。

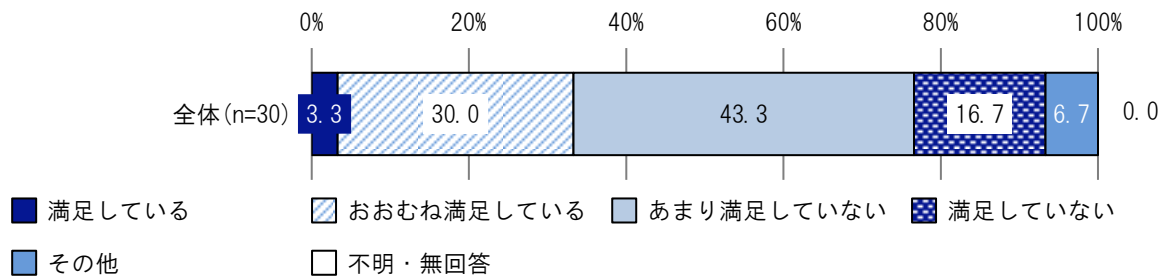


問 13. 事業所の人材確保に向けた市の取組に満足していますか。 (単数回答)

人材確保に向けた市の取組の満足度についてみると、全体では「あまり満足していない」が43.3%と最も高く、次いで「おおむね満足している」が30.0%となっています。

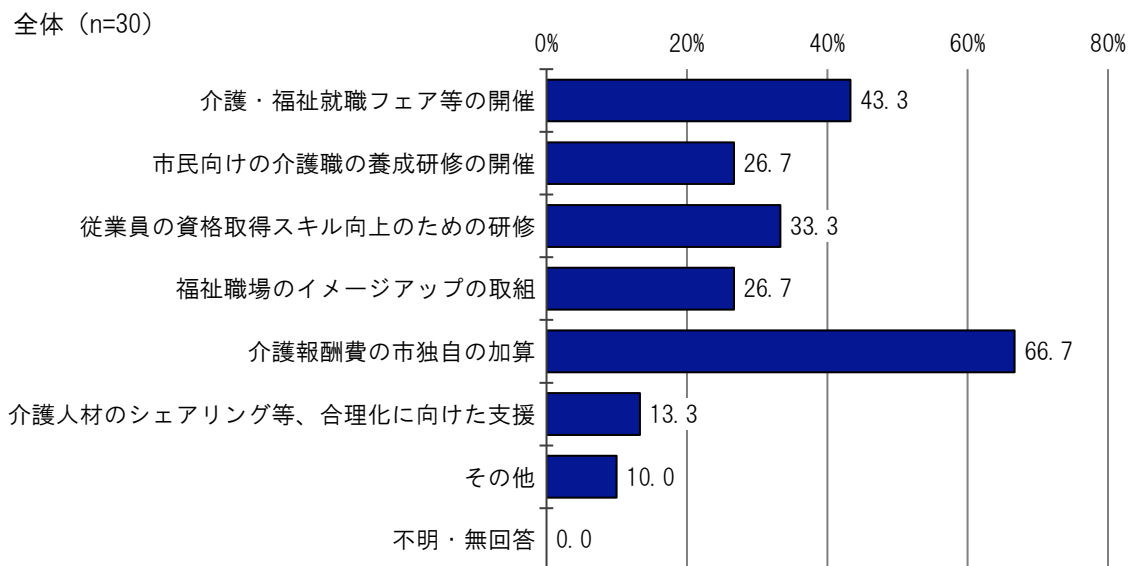
《満足傾向》は33.3%、《不満傾向》60.0%と、《不満傾向》が上回っています。

※《満足傾向》は「満足している」「おおむね満足している」の計。《不満傾向》は「あまり満足していない」「満足していない」の計。



問 14. 介護人材の確保に向けて、市にどのような取組を望みますか。 (複数回答)

介護人材の確保のために市に望む支援についてみると、全体では「介護報酬費の市独自の加算」が66.7%と最も高く、次いで「介護・福祉就職フェア等の開催」が43.3%、「従業員の資格取得スキル向上のための研修」が33.3%となっています。

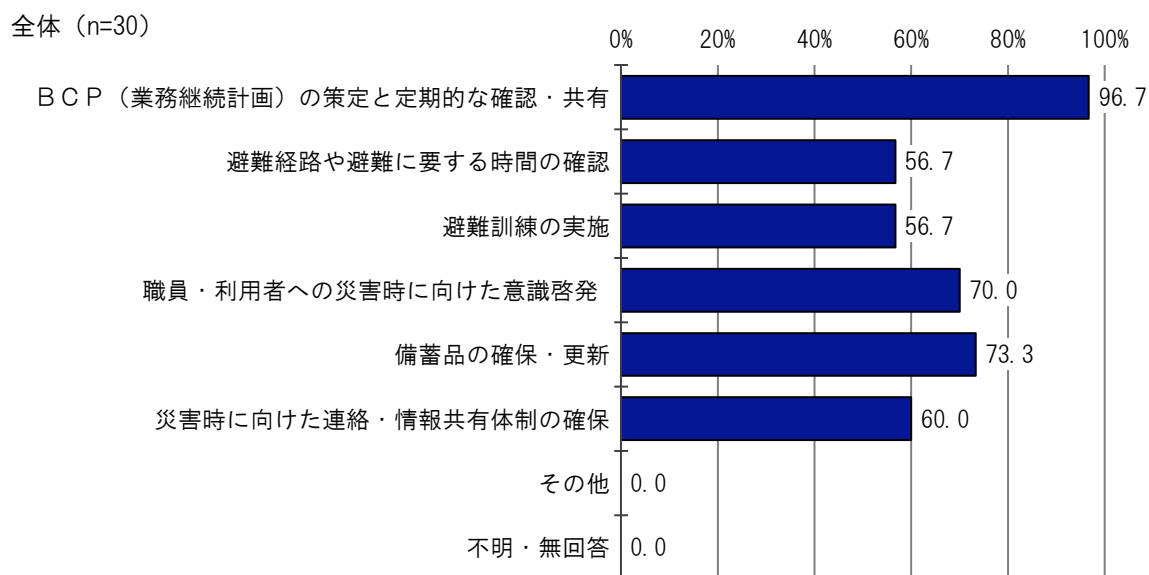


4 その他

問 15. 災害対策として貴法人が行っていることはありますか。

(複数回答)

実施している災害対策についてみると、全体では「BCP（業務継続計画）の策定と定期的な確認・共有」が96.7%と最も高く、次いで「備蓄品の確保・更新」が73.3%、「職員・利用者への災害時に向けた意識啓発」が70.0%となっています。

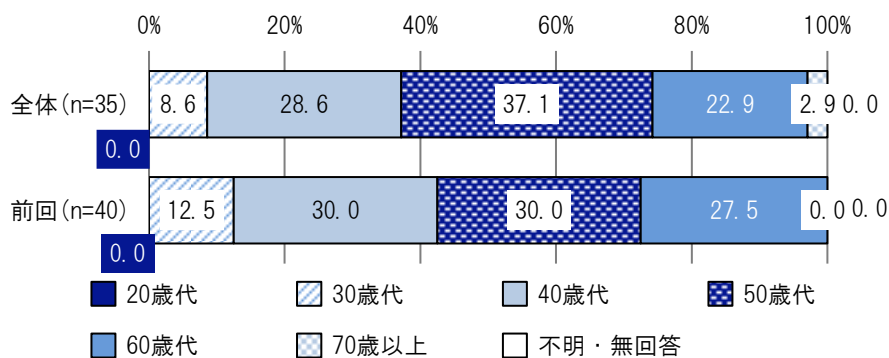


V 介護支援専門員調査

1 ケアプラン業務の状況について

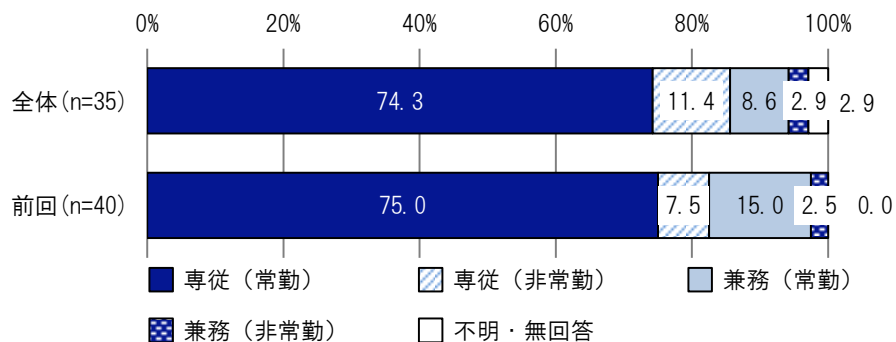
問1 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。令和7年12月1日現在でお答えください。(単数回答)

年齢についてみると、全体では「50歳代」が37.1%と最も高く、次いで「40歳代」が28.6%、「60歳代」が22.9%となっています。



問2 勤務形態はどれにあてはまりますか。(単数回答)

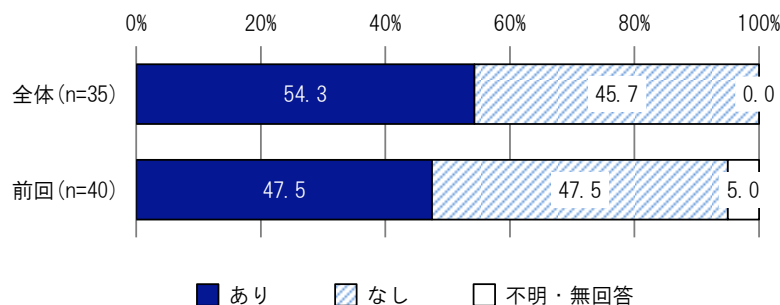
勤務形態についてみると、全体では「専従(常勤)」が74.3%と最も高く、次いで「専従(非常勤)」が11.4%、「兼務(常勤)」が8.6%となっています。



問3 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。

(単数回答)

主任介護支援専門員の資格の有無についてみると、全体では「あり」が54.3%と最も高く、次いで「なし」が45.7%となっています。

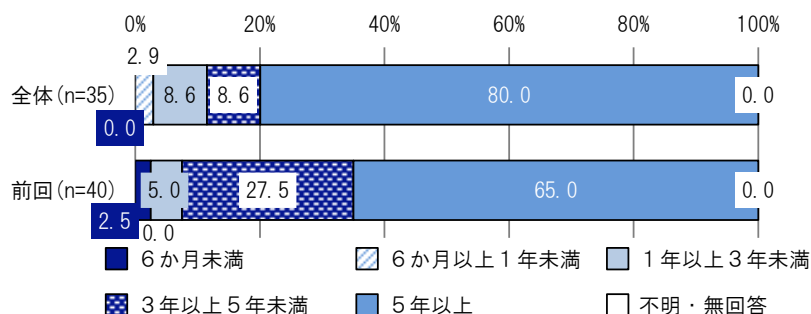


問4 ①介護支援専門員としての通算経験

(単数回答)

介護支援専門員としての通算経験についてみると、全体では「5年以上」が80.0%と最も高く、次いで「1年以上3年未満」「3年以上5年未満」がそれぞれ8.6%となっています。

前回調査と比較すると、「5年以上」で増加傾向がみられます。また、「3年以上5年未満」で減少傾向がみられます。

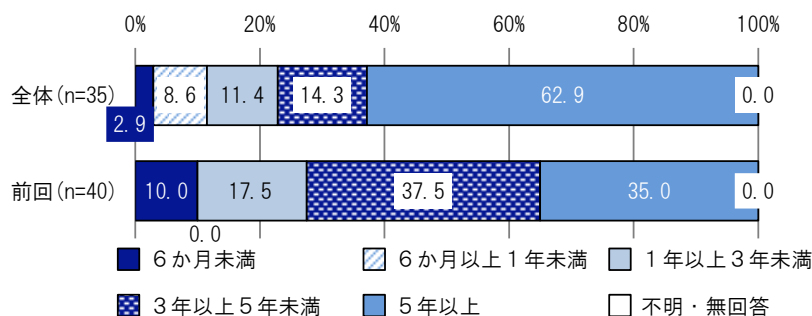


問4 ②現在の事業所における介護支援専門員としての経験

(単数回答)

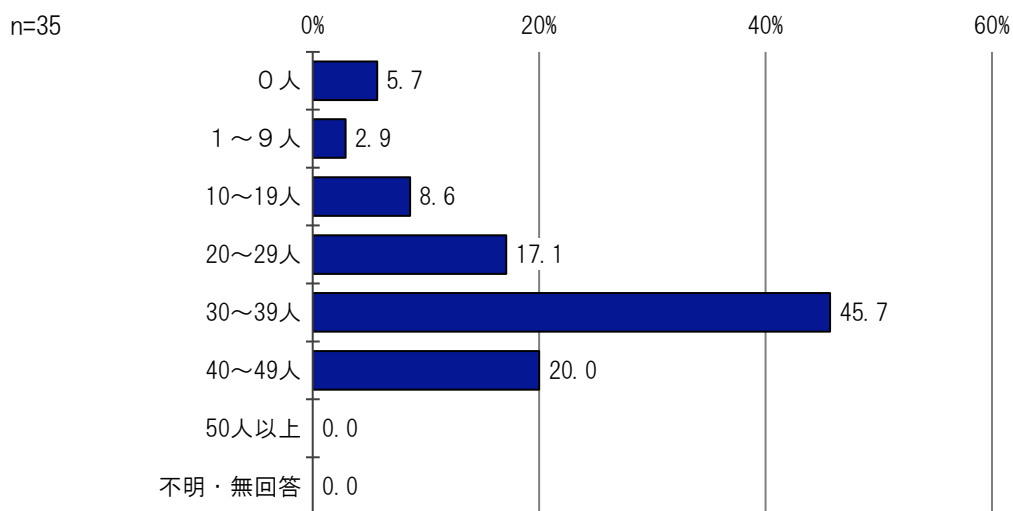
現在の事業所における介護支援専門員としての経験年数についてみると、全体では「5年以上」が62.9%と最も高く、次いで「3年以上5年未満」が14.3%、「1年以上3年未満」が11.4%となっています。

前回調査と比較すると、「5年以上」で増加傾向がみられます。また、「3年以上5年未満」で減少傾向がみられます。



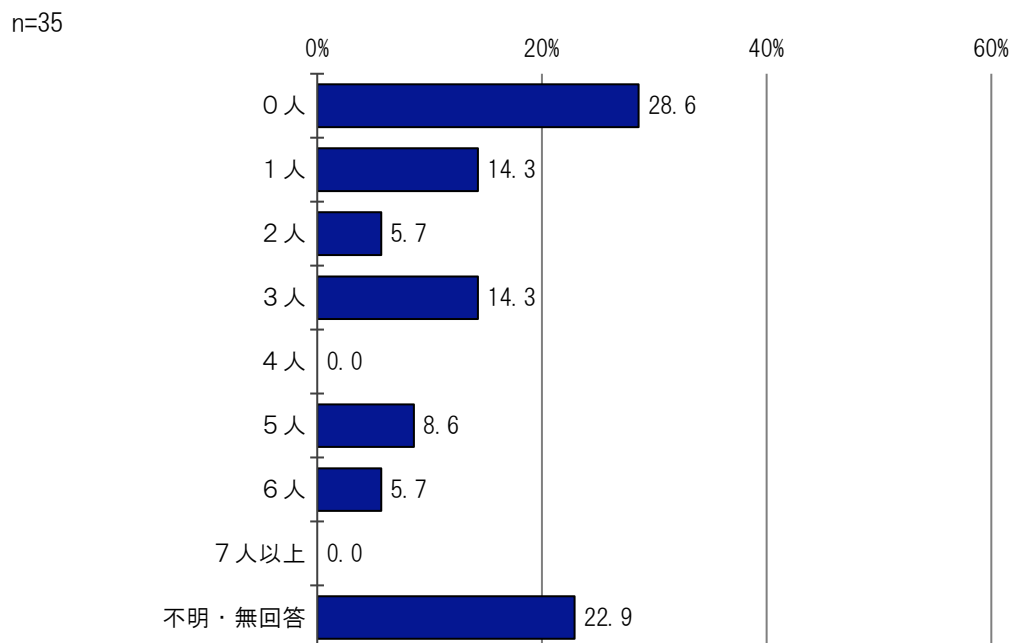
問5 ①介護給付 令和7年12月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。※一時的入院中なども含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください。(数量回答)

給付管理件数（介護給付）についてみると、全体では「30～39人」が45.7%と最も高く、次いで「40～49人」が20.0%、「20～29人」が17.1%となっています。



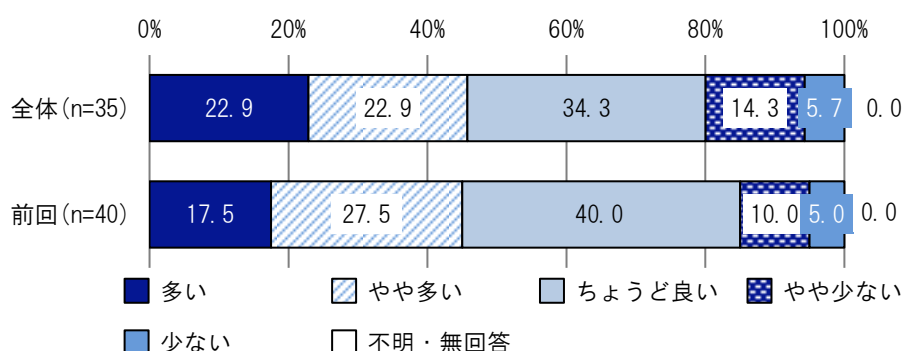
問5 ②予防給付 令和7年12月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。※一時的入院中なども含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください。(数量回答)

給付管理件数(予防給付)についてみると、全体では「0人」が28.6%と最も高く、次いで「1人」「3人」がそれぞれ14.3%となっています。



問6 担当しているケアプラン件数は、適当ですか。(単数回答)

担当ケアプラン件数についてみると、全体では「ちょうど良い」が34.3%と最も高く、次いで「多い」「やや多い」がそれぞれ22.9%となっています。



問6 担当しているケアプラン件数 × 問18 自身の仕事への満足感

担当ケアプラン件数について仕事の満足感別にみると、「満足傾向」では、「ちょうど良い」が37.0%と最も高くなっています。「不満傾向」では、「多い」が37.5%（3件）と最も高くなっています。

※「満足傾向」は「満足している」「やや満足している」の計。「不満傾向」は「あまり満足していない」「満足していない」の計。「不満傾向」は10件未満のため、件数を併記。

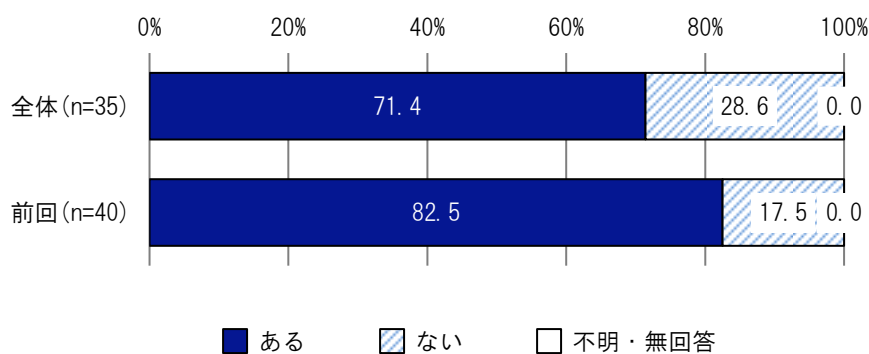
上段：件数 下段：%	合計	多い	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少ない	不明・無回答
全体	35 100.0	8 22.9	8 22.9	12 34.3	5 14.3	2 5.7	0 0.0
満足傾向	27 100.0	5 18.5	7 25.9	10 37.0	4 14.8	1 3.7	0 0.0
不満傾向	8 100.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0

◇件数の多い項目**第1位**に網掛け

問7 令和7年12月1日現在であなたが担当している利用者のケアプランで、八幡市の介護保険外サービス、ボランティアなどのインフォーマルサービスを組み合わせて作成したものはありますか。(単数回答)

インフォーマルサービスを組み合わせてケアプランを作成した経験についてみると、全体では「ある」が71.4%と最も高く、次いで「ない」が28.6%となっています。

前回調査と比較すると、「ない」で増加傾向がみられます。



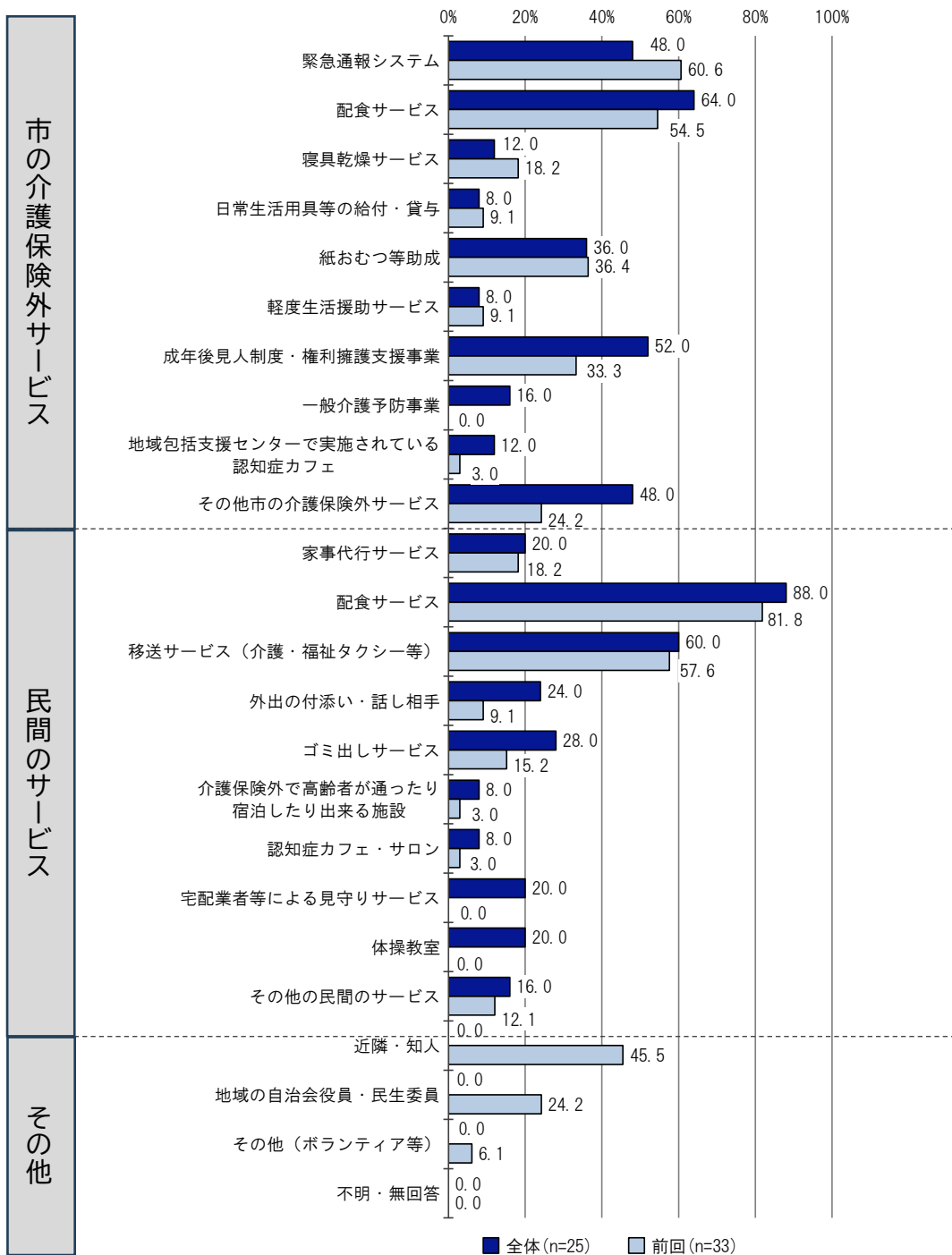
※インフォーマルサービス…公的な制度や専門職による「フォーマルサービス」以外の支援。

【問7で「ある」を選んだ方】

① 該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスをお答えください。(複数回答)

該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスについてみると、全体では「(民間の) 配食サービス」が88.0%と最も高く、次いで「(市の) 配食サービス」が64.0%、「(民間の) 移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が60.0%となっています。

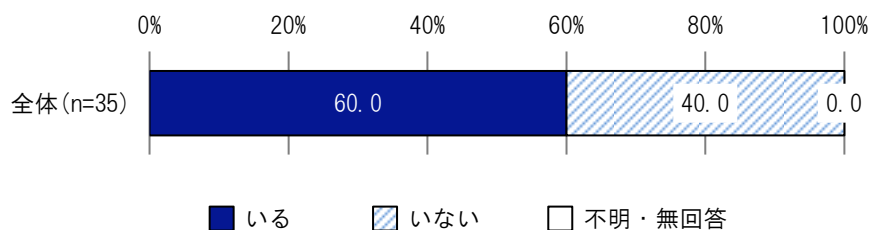
前回調査と比較すると特に「その他市の介護保険外サービス」「宅配業者等による見守りサービス」「体操教室」で増加傾向となっています。また、今回の調査では、「近隣・知人」「地域の役員・民生委員」「その他(ボランティア等)」は回答がありません。



問8 あなたが令和7年12月1日現在、担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方がいますか。

※支援困難とは、「p.158の選択肢にあるような方」を想定してください（単数回答）

支援困難な利用者についてみると、全体では「いる」が60.0%と最も高く、次いで「いない」が40.0%となっています。



【問8において「いる」を選んだ方】

①現在支援困難となっている利用者の人数をお答えください。（数量回答）

支援困難な利用者の人数についてみると、全体では「2人」が5件と最も多く、次いで「1人」「3人」がそれぞれ3件となっています。

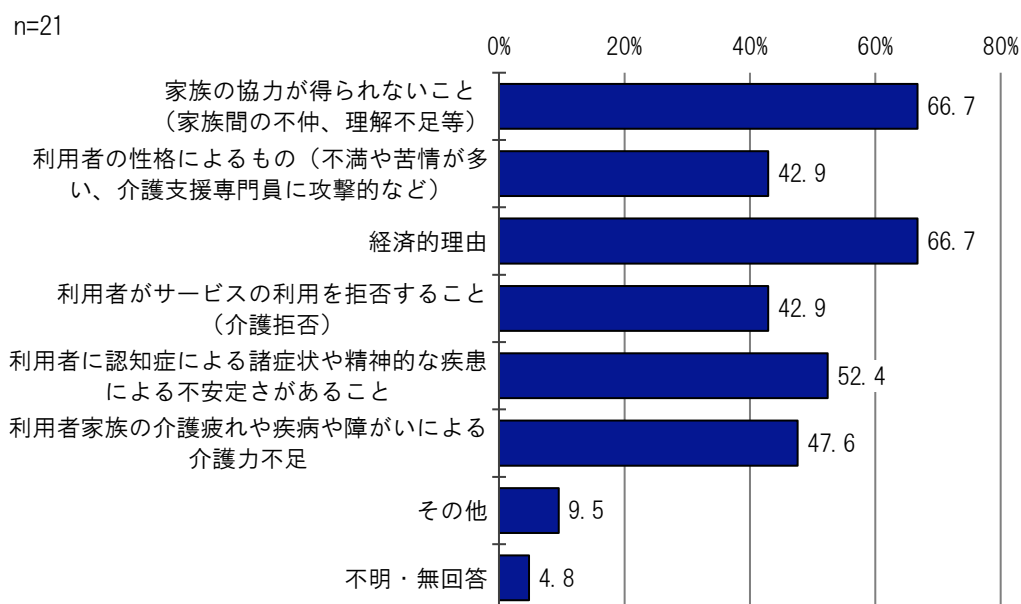
カテゴリ	全体 (n=21)
1人	3
2人	5
3人	3
4人	2
5人	1
6人	2
7人	1
8人	0
9人	0
10人以上	1
不明・無回答	3

◇人数の多い項目**第1位**に網掛け

【問8において「いる」を選んだ方】

②主に、どのようなことで支援が困難となっておりますか。 (複数回答)

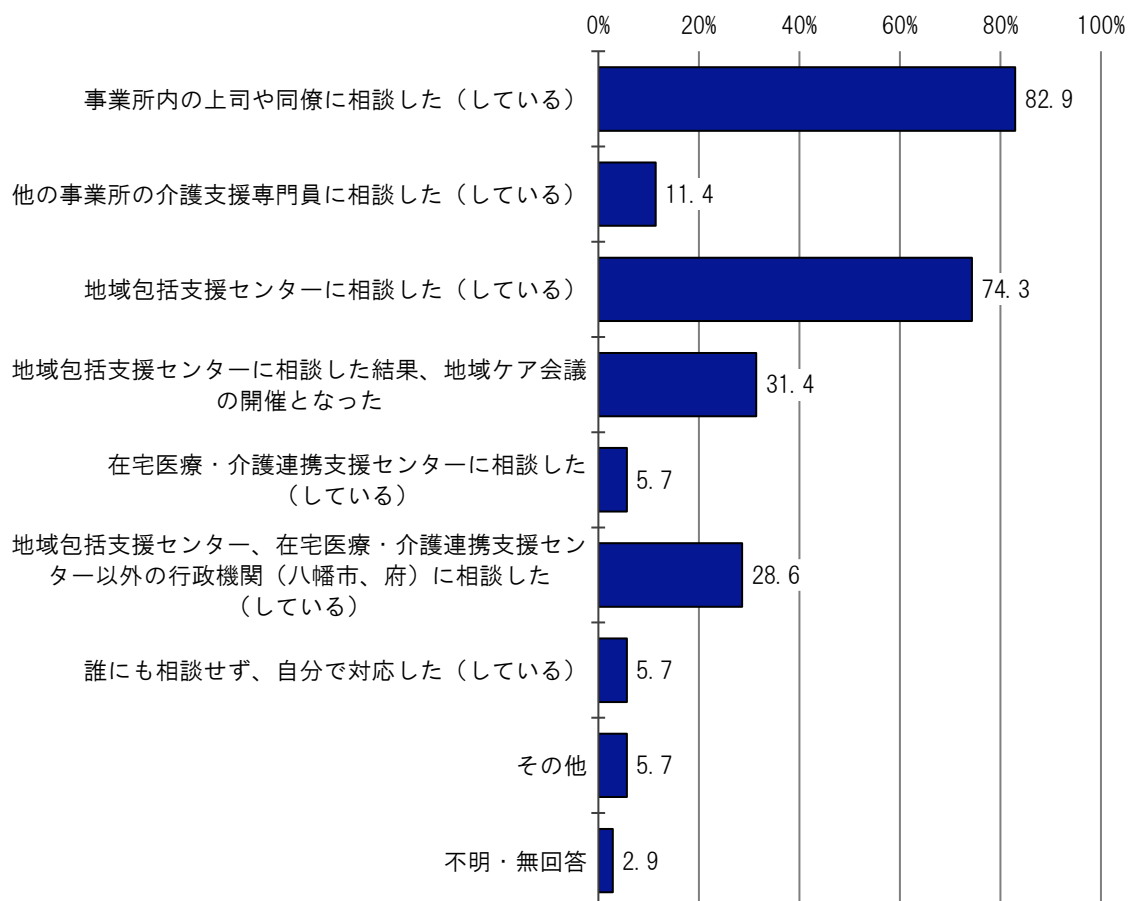
支援が困難な理由についてみると、全体では「家族の協力が得られないこと（家族間の不仲、理解不足等）」「経済的理由」がそれぞれ 66.7%と最も高く、次いで「利用者に認知症による諸症状や精神的な疾患による不安定さがあること」が 52.4%となっています。



問9 あなたは支援が困難な方についてどのように対応してきましたか。 (複数回答)

支援が困難な利用者への対応についてみると、全体では「事業所内の上司や同僚に相談した(している)」が 82.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センターに相談した(している)」が 74.3%、「地域包括支援センターに相談した結果、地域ケア会議の開催となった」が 31.4%となっています。

n=35

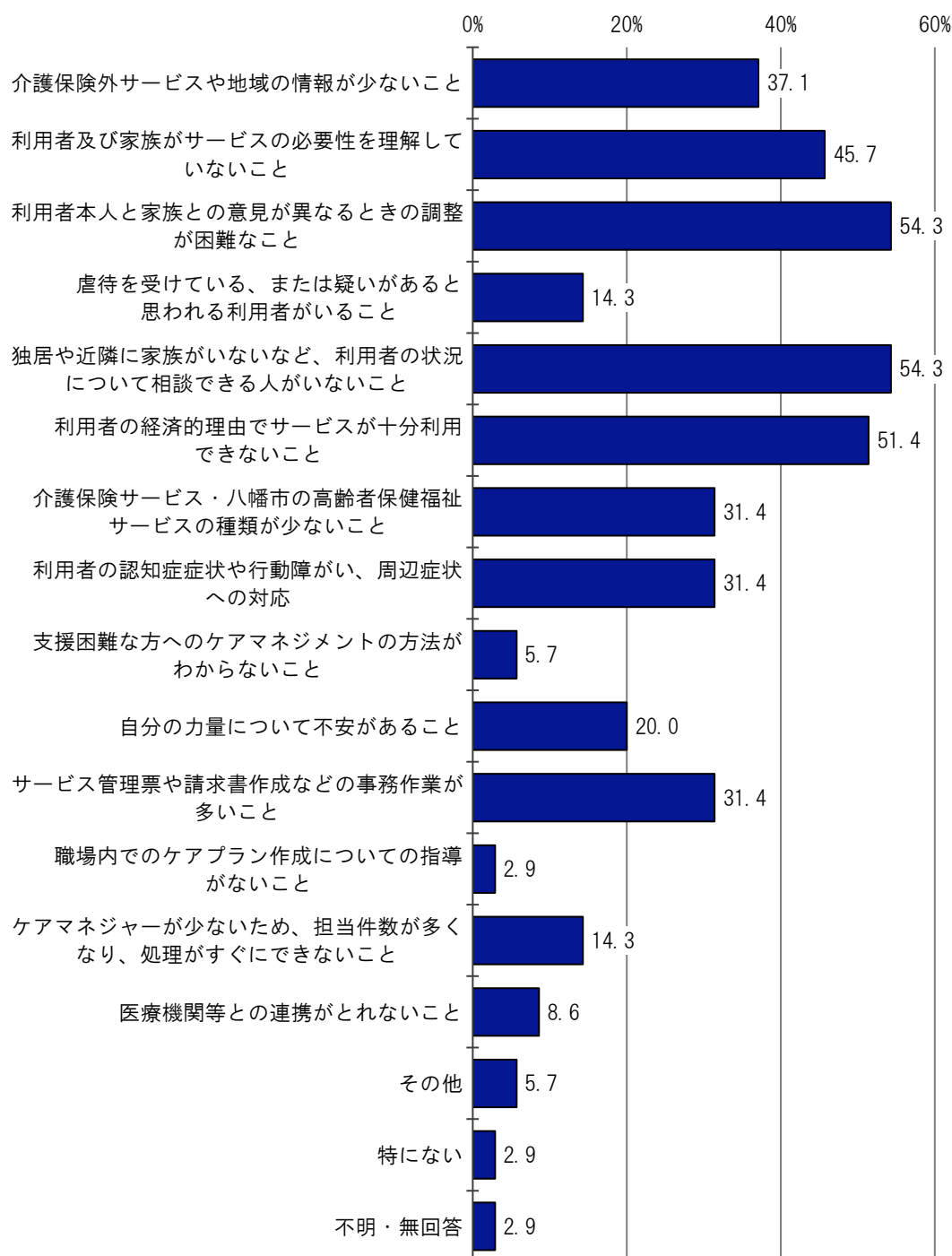


問10 ケアプランの作成にあたって困っていることは何ですか。

(複数回答)

ケアプランの作成にあたって困っていることについてみると、全体では「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整が困難なこと」「独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいないこと」がそれぞれ54.3%と最も高く、次いで「利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと」が51.4%となっています。

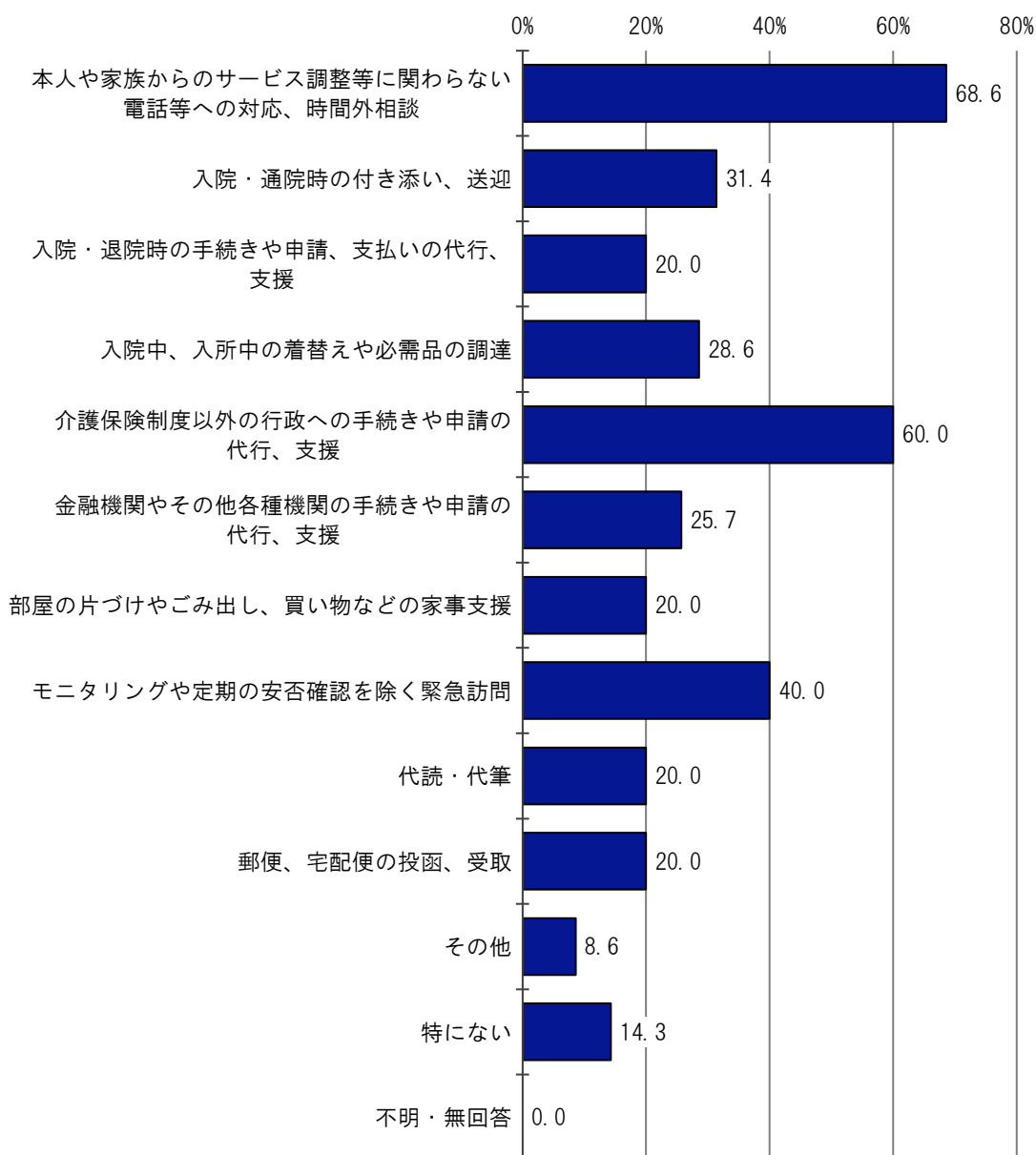
n=35



問 11 あなたが、介護支援専門員としての職務範囲外と考えるが、実態として対応し、負担に感じている業務について、どのようなものがありますか。 (複数回答)

負担に感じている職務範囲外の業務についてみると、全体では「本人や家族からのサービス調整等に関わらない電話等への対応、時間外相談」が 68.6%と最も高く、次いで「介護保険制度以外の行政への手続きや申請の代行、支援」が 60.0%、「モニタリングや定期的安否確認を除く緊急訪問」が 40.0%となっています。

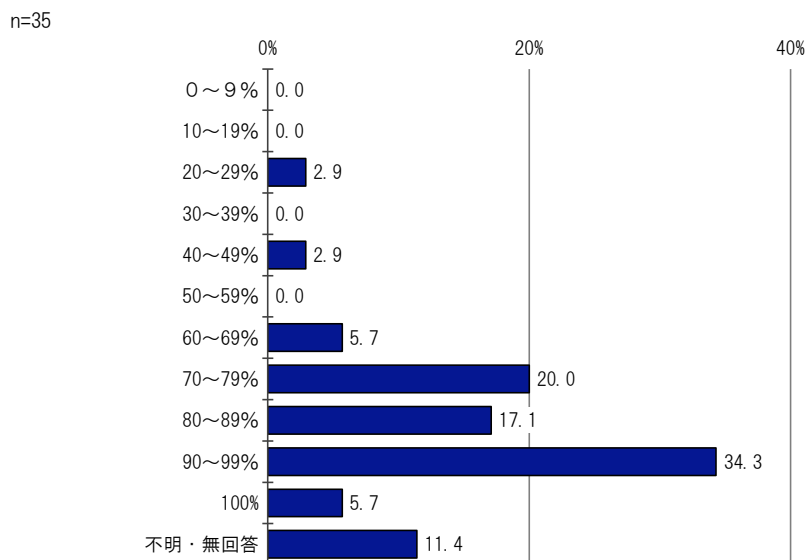
n=35



問 12 普段の業務全体を 100%としたとき、通常の業務の占める割合はどの程度ですか。

①通常の業務 (数量回答)

職務における通常の業務の占める割合についてみると、全体では「90～99%」が 34.3%と最も高く、次いで「70～79%」が 20.0%、「80～89%」が 17.1%となっています。

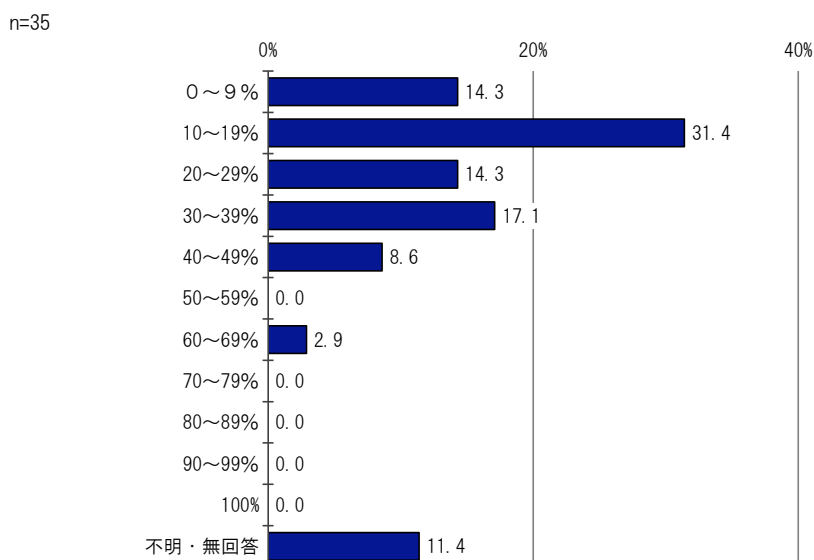


問 12 普段の業務全体を 100%としたとき、職務範囲外の業務が占める割合はどの程度ですか。

②職務範囲外の業務

(数量回答)

職務範囲外の業務が占める割合についてみると、全体では「10～19%」が 31.4%と最も高く、次いで「30～39%」が 17.1%、「0～9%」「20～29%」がそれぞれ 14.3%となっています。



問 13 あなたが今後も介護支援専門員として業務を継続していくために、どのような支援があればよいと思いますか。
(自由記述回答を要約)

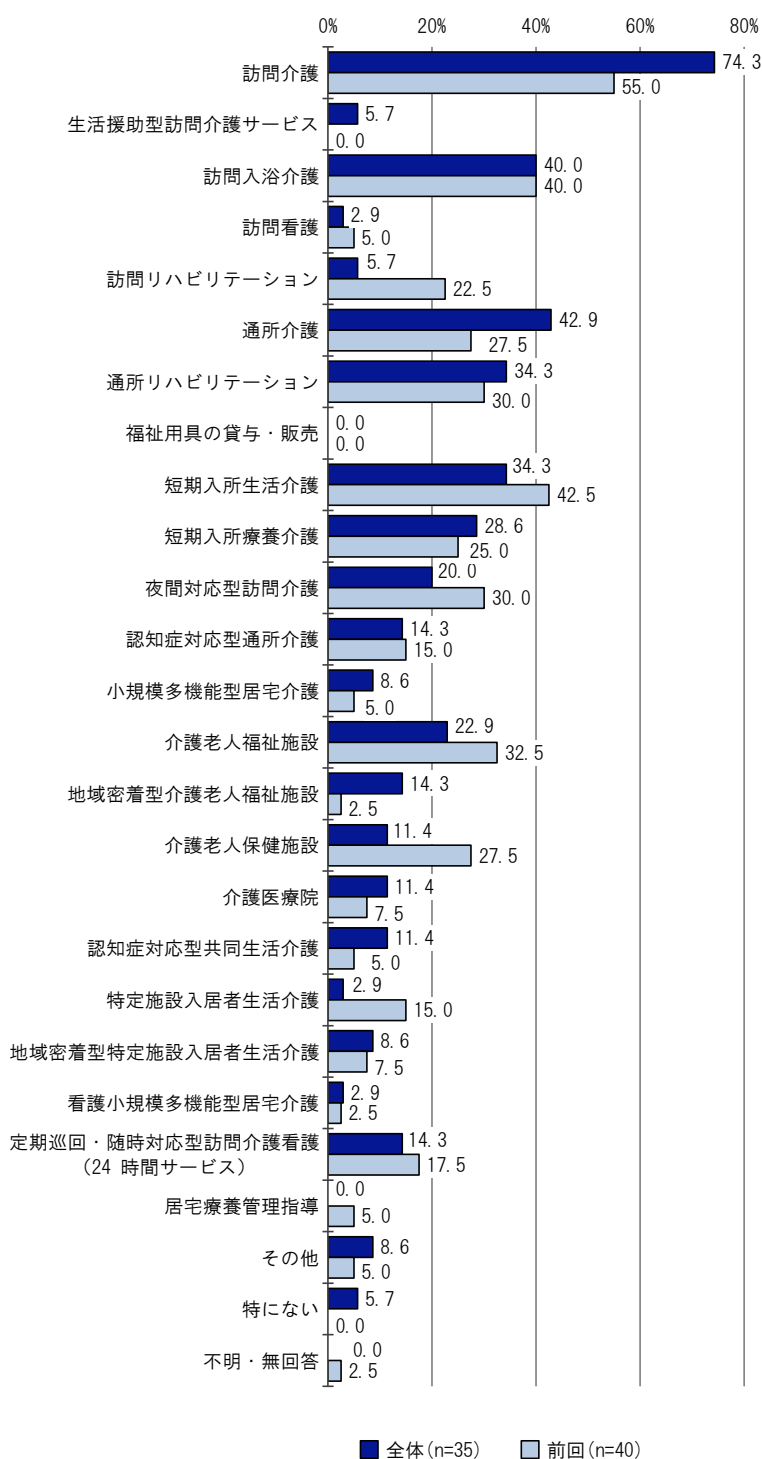
カテゴリ	件数
行政等との連携・情報共有に関すること	6
事務負担の軽減	4
就労環境等に関すること	4
給与、経費に関すること	3
身寄りのない方への支援、権利擁護に関すること	3
事業所間連携に関すること	2
サービスに関すること	1

◇件数の多い項目**第1位**に網掛け

問14 事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。
 ※事業所種別には介護予防サービス事業所を含みます。 (複数回答)

量的に不足していると思われるサービスについてみると、全体では「訪問介護」が74.3%と最も高く、次いで「通所介護」が42.9%、「訪問入浴介護」が40.0%となっています。

前回調査と比較すると、「訪問介護」「通所介護」「地域密着型介護老人福祉施設」で増加傾向がみられます。また、「訪問リハビリテーション」のほか、「介護老人保健施設」等の施設系サービスは減少している項目が多くなっています。

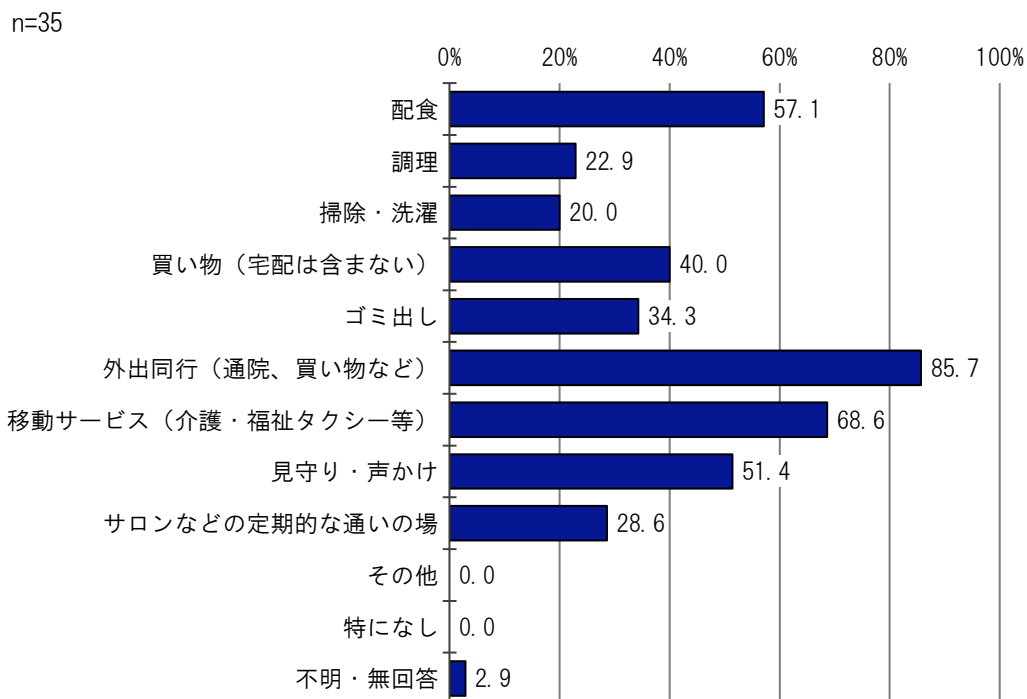


問 15 在宅生活を支えるために、充実が必要と感じる生活支援は何ですか。

※事業所種別には介護予防サービス事業所を含みます。

(複数回答)

充実が必要と感じる生活支援についてみると、全体では「外出同行（通院、買い物など）」が 85.7%と最も高く、次いで「移動サービス（介護・福祉タクシー等）」が 68.6%、「配食」が 57.1%となっています。

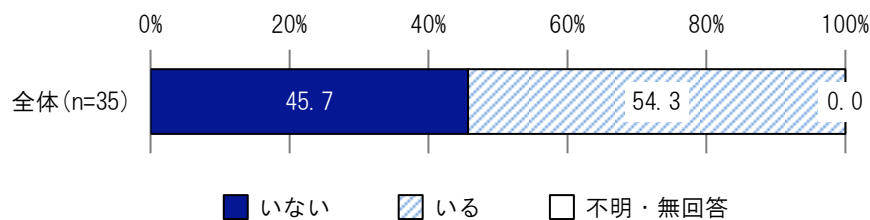


2 在宅介護の継続について

問 16 令和7年12月1日現在、担当している利用者のうち、「自宅」、「サービス付き高齢者向け住宅」、「住宅型有料老人ホーム」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいますか。 (単数回答)

自宅等での生活の維持が難しくなっている利用者についてみると、全体では「いる」が54.3%、「いない」が45.7%となっています。

また、担当利用者の該当人数についてみると、「1人」～「4人」でそれぞれ4～5件となっています。



〈担当している人数〉

カテゴリ	全体 (n=19)
1人	5
2人	5
3人	5
4人	4
5人以上	0
不明・無回答	0

◇人数の多い項目**第1位**に網掛け

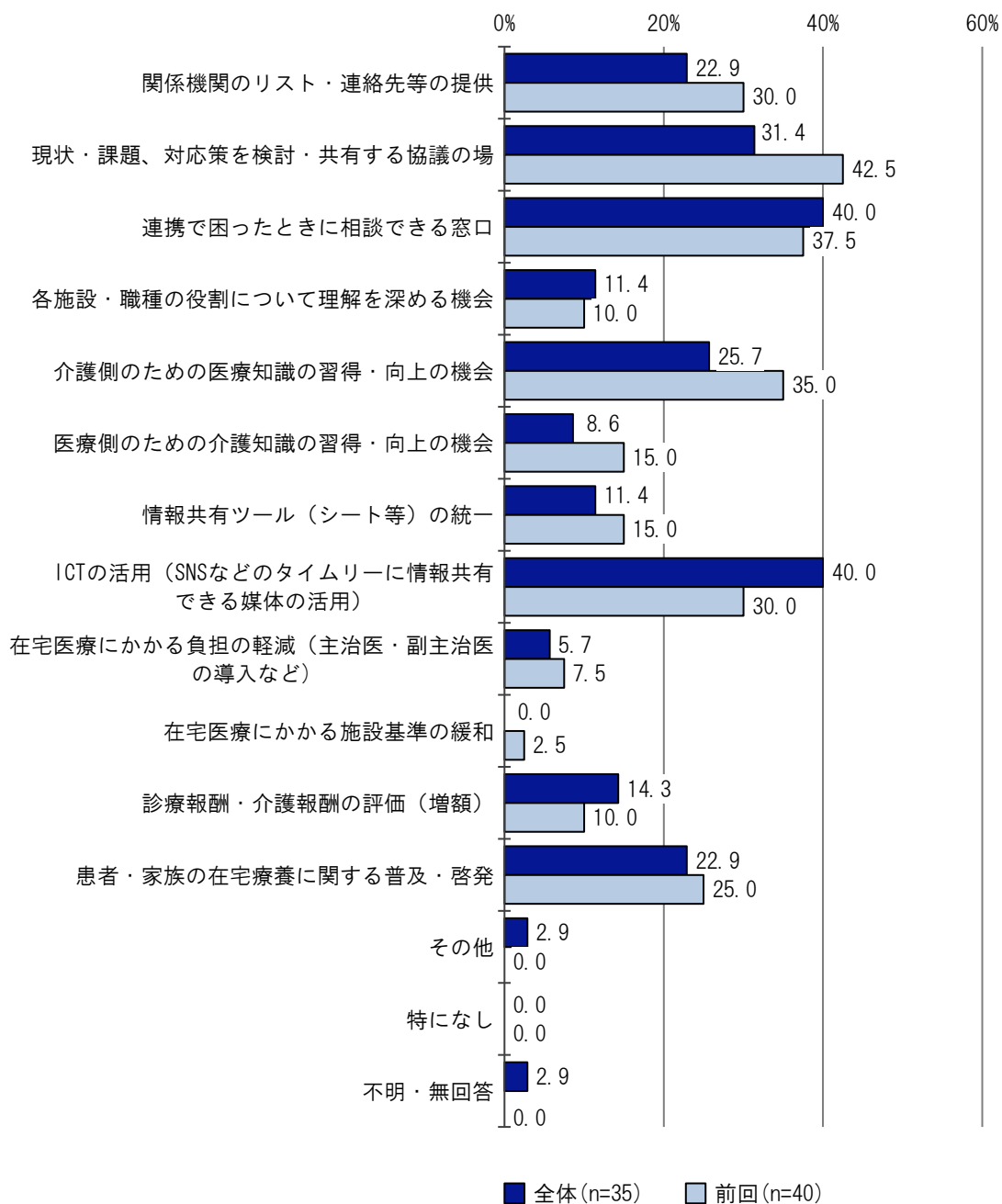
問 16 ② 生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。(自由記述回答を要約)

- ・ (急な) 認知機能の低下。
- ・ 認知症の進行に伴い単身生活が限界。
- ・ 癌末期等の医療面でのフォローが難しい。
- ・ 家族が病気等を抱えており、介護が難しい。
- ・ 金銭管理が出来ない。
- ・ 徘徊や火の不始末。
- ・ 老老介護となっている。
- ・ 衛生管理の保持が困難。
- ・ 経済的な問題。
- ・ 適正な介護サービスの調整が難しい。

問 17 在宅医療・介護連携の推進のために、何が重要だと思いますか。（3つまで回答）

在宅医療・介護連携の推進に必要なことについてみると、全体では「連携で困ったときに相談できる窓口」「ICTの活用（SNSなどのタイムリーに情報共有できる媒体の活用）」がそれぞれ40.0%と最も高く、次いで「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」が31.4%となっています。

前回調査と比較すると、「ICTの活用（SNSなどのタイムリーに情報共有できる媒体の活用）」で増加傾向がみられます。また、「現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場」「介護側のための医療知識の習得・向上の機会」が前回より減少しています。

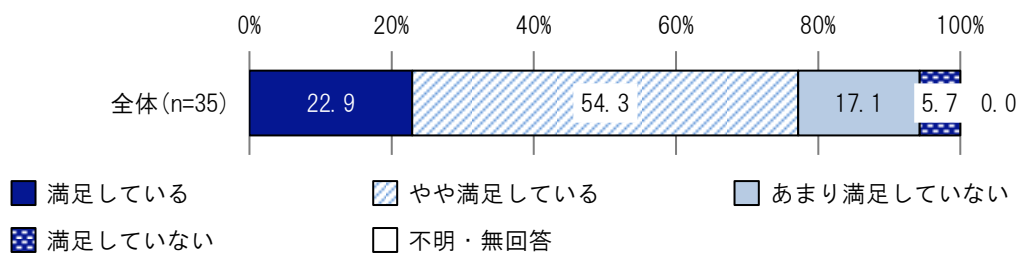


3 専門性向上のための対策について

問 18 あなたは、ご自身の仕事に満足感を得ていますか。

(単数回答)

自身の仕事の満足感についてみると、全体では「やや満足している」が 54.3%と最も高くなっています。《満足傾向》の回答は 77.2%《不満傾向》の回答は 22.8%となっています。
 ※《満足傾向》は「満足している」「やや満足している」の計。《不満傾向》は「あまり満足していない」「満足していない」の計。



【問 18 において「あまり満足していない」「満足していない」を選んだ方】

問 18① その理由は何ですか。

(複数回答)

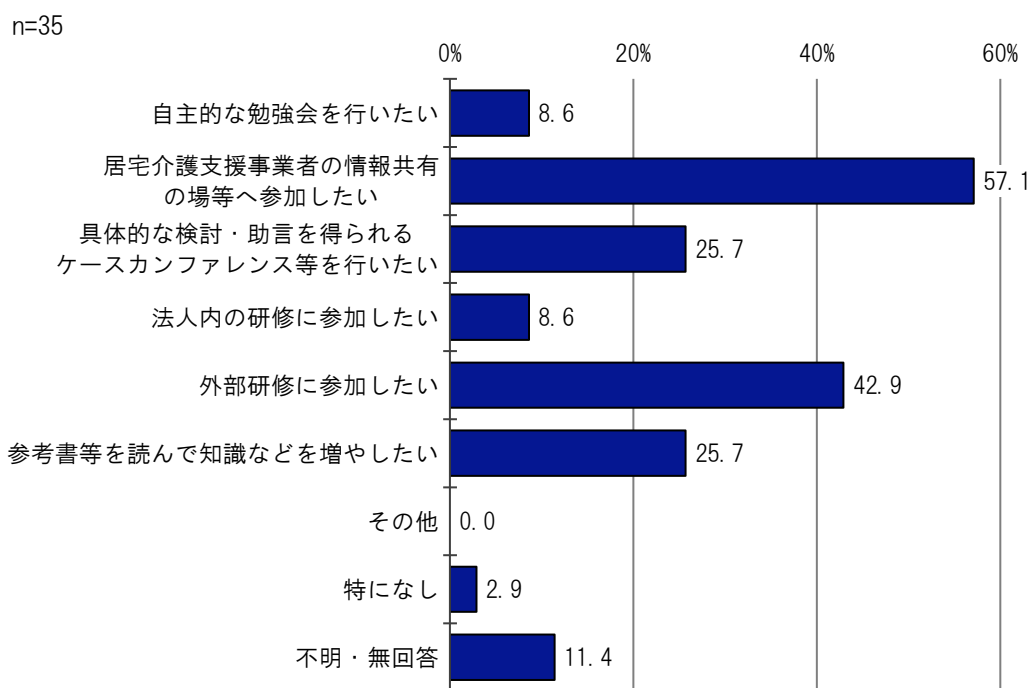
不満の理由についてみると、全体では「業務の多様化、事務の増加による負担増」が 7件、次いで「利用者やその家族からの要望が多く、疲弊してしまう」「精神的な負担が大きい」「報酬が低い」がそれぞれ 6件となっています。

カテゴリ	全体 (n=8)
利用者やその家族からの要望が多く、疲弊してしまう	6
精神的な負担が大きい	6
報酬が低い	6
責任が重い	4
業務の多様化、事務の増加による負担増	7
職場での立場が低いこと	2
将来への不安が大きい	3
その他	1
不明・無回答	0

◇件数の多い項目第 1 位に網掛け

問 19 ケアマネジャーとしての専門性向上のため、今後始めたいと思っている取り組みはありますか。
(複数回答)

今後始めたいと思っている取り組みについてみると、全体では「居宅介護支援事業者の情報共有の場等へ参加したい」が57.1%と最も高く、次いで「外部研修に参加したい」が42.9%、「具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい」「参考書等を読んで知識などを増やしたい」がそれぞれ25.7%となっています。

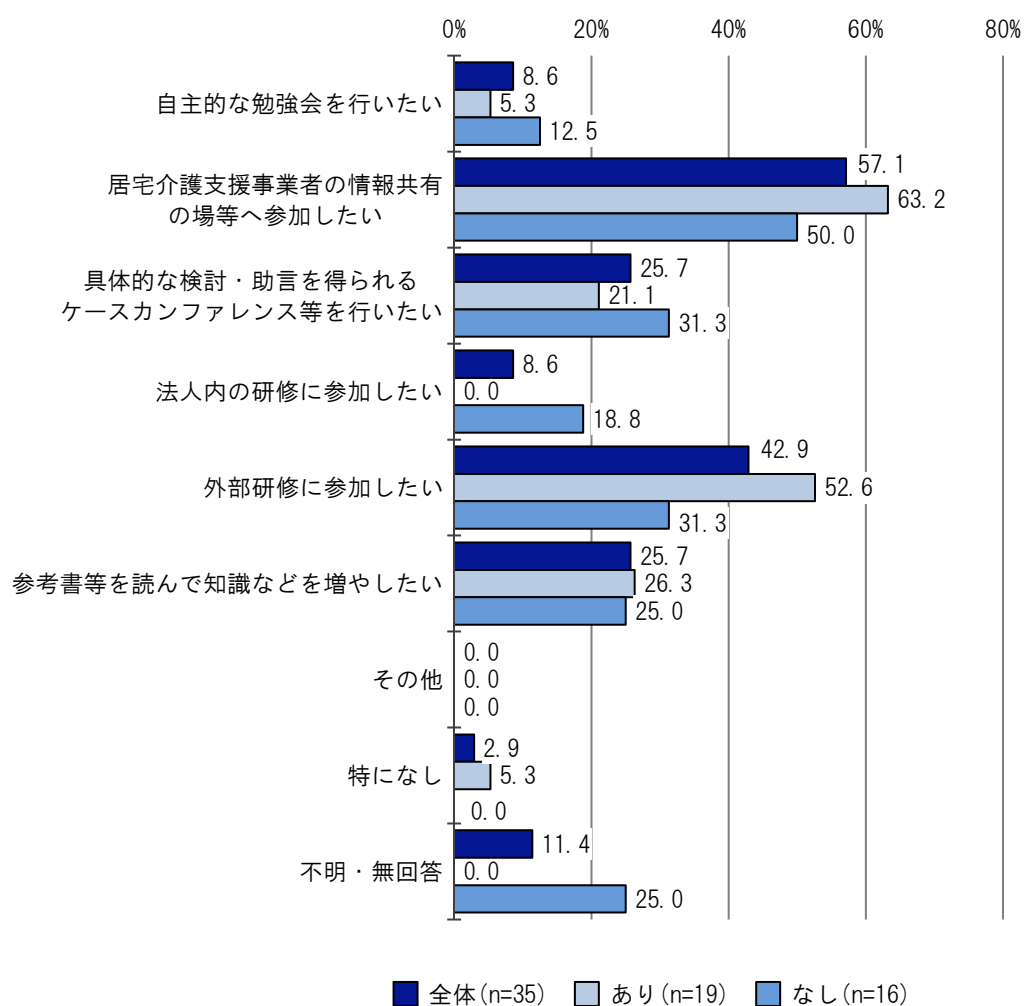


問19 ケアマネジャーとしての専門性向上のため、今後始めたいと思っている取り組み
 × 問3 主任介護支援専門員の資格の有無

主任介護支援専門員の資格の有無別にみると、<あり>では、「居宅介護支援事業者の情報共有の場等へ参加したい」「外部研修に参加したい」が<なし>と比較して10ポイント以上高くなっています。

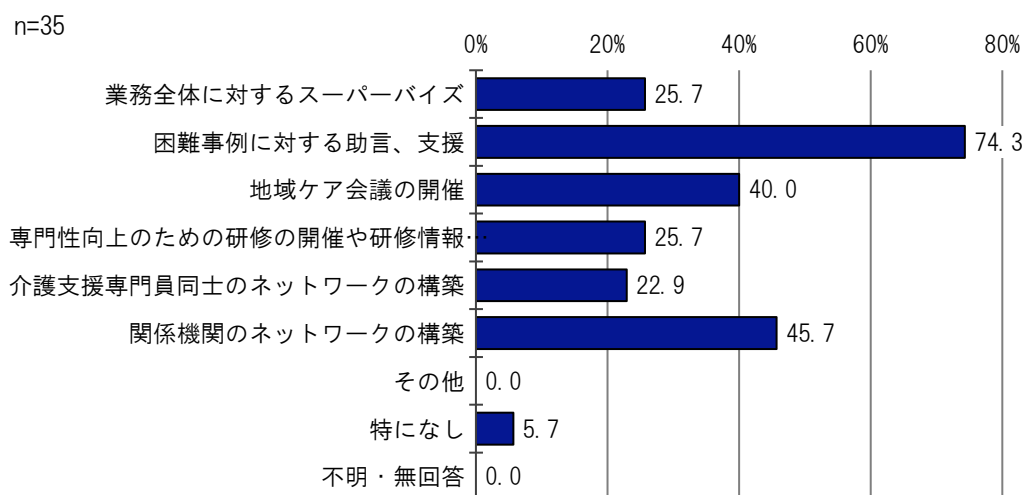
<なし>では、「具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい」「法人内の研修に参加したい」が<あり>と比較して10ポイント以上高くなっています。

また、資格の有無にかかわらず、「居宅介護支援事業者の情報共有の場等へ参加したい」「外部研修に参加したい」は上位となっています。



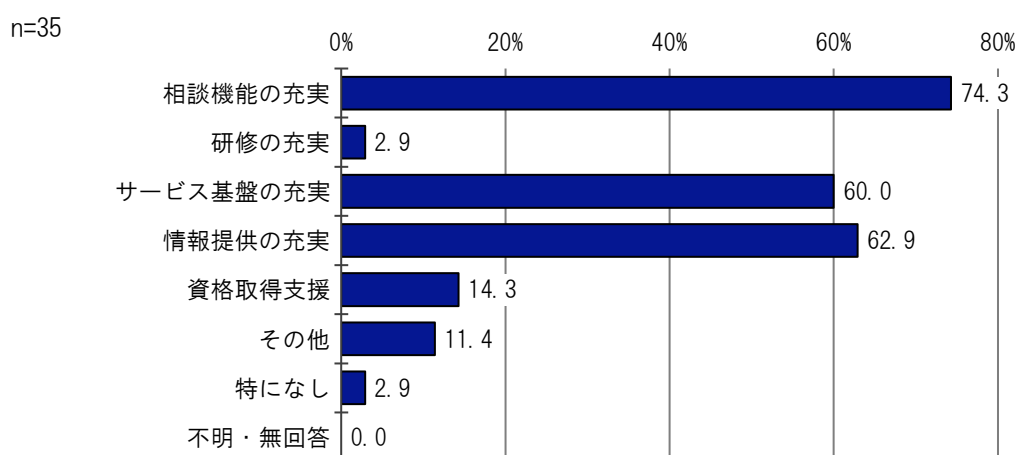
問 20 あなたは地域包括支援センターにどのような役割を主に期待していますか。
(3つまで回答)

地域包括支援センターに期待する役割についてみると、全体では「困難事例に対する助言、支援」が74.3%と最も高く、次いで「関係機関のネットワークの構築」が45.7%、「地域ケア会議の開催」が40.0%となっています。



問 21 今後、あなたが行政に最も期待する役割は何ですか。
(3つまで回答)

行政に最も期待する役割についてみると、全体では「相談機能の充実」が74.3%と最も高く、次いで「情報提供の充実」が62.9%、「サービス基盤の充実」が60.0%となっています。



資料編【各調査票】

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

回答者 ID []

八幡市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

日頃より、八幡市の高齢者健康福祉および介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市におきましては、市民の岩盤が性み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。このアンケート調査は、令和9年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画および介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、八幡市内にお住まいの65歳以上の方のうち、令和7年11月1日現在で要介護1～5の認定を受けていない方の中から無作為に選ばさせていただきます。

お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年12月 八幡市

記入にあたってのお願い

- この調査は、できる限りご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。ご家族の方がご本人の立場にたって代わりにお返されたり、一緒に回答していただいても構いません。（回答目安時間：20分程度）
- 回答は、質問に当たってはまる番号に○をつけたり、数値や文章をご記入ください。
- ご記入は黒のボールペンや鉛筆などで、はっきりとお書きください。

回答方法	
①郵送回答 1月6日(火) までに、記入済の調査票を、 同封の返信用封筒にてご提出 ください。（切手は不要です）	②インターネット回答 1月6日(火) までに、下記の二次元コードまたはURLよりアクセスしてご回答ください。 ※ご本人確認のために、初めにこの調査票右上の回答者IDを入力する必要があります。
URL <input type="text"/>	

（インターネット回答の場合、この調査票の郵送は不要です）

【お問い合わせ先】
八幡市 健康福祉部 高齢介護課 電話（直通）075-983-5471

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】
この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報は、八幡市による高齢者健康福祉計画および介護保険事業計画の策定とその他の目的以外には利用いたしません。また、この調査の分析にあたっては、八幡市が管理する介護保険の要保者情報（性別、年齢、要介護状態区分、介護保険料区分、居住地区）を使用いたします。ただし、高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に個人を特定しない形で情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

ご回答される方について

○この調査票を記入された方は、どなたですか。（1つに○）

- 1 封筒のあて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入（封筒のあて名のご本人からみられた郵筒）
- 3 その他の人（ ）

○ あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 答えたくない

○ あなたの年齢をお答えください。

令和7年11月1日現在（ ）歳

○ あなたの現在の認定状況をお答えください。（1つに○）

- 1 認定を受けていない
- 2 要支援1
- 3 要支援2
- 4 わからない

問1 あなたの家族や生活状況について

(1) 家族構成をお答えください。（1つに○）

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 3 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 4 子との2世帯
- 5 その他（ ）

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- | | | |
|---|------------|------------|
| 1 介護・介助は必要ない | 2 やや喜しい | 3 喜ぶ |
| 2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない | 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある |
| 3 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) | | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------|
| 1 大変喜しい | 2 やや喜しい | 3 喜ぶ |
| 4 ややゆとりがある | 5 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段をすすりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1 できるし、している | 2 できるけどしていない | 3 できない |
|-------------|--------------|--------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 何度もある | 2 1度のみ | 3 ない |
|---------|--------|------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 とても不安である | 2 やや不安である |
| 3 あまり不安でない | 4 不安でない |

(6) 週に何回、外出していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 ほとんど外出しない | 2 週1回 |
| 3 週2~4回 | 4 週5回以上 |

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 とても減っている | 2 減っている |
| 3 あまり減っていない | 4 減っていない |

(7) で「1」「2」(外出が減っている)と回答した方にお伺いします。

(7) -1 外出が減っている理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 病気 | 2 障がい (脳卒中の後遺症等) |
| 3 足腰などの痛み | 4 トイレの心配 (失禁等) |
| 5 耳の障がい (聞こえの悪化等) | 6 目の障がい |
| 7 外での楽しみがない | 8 経済的に出られない |
| 9 交通手段がない | |
| 10 その他 () | |

すべての方にお伺いします。

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|------------------|-------|
| 1 徒歩 | 2 自転車 | 3 バイク |
| 4 自動車 (自分で運転) | 5 自動車 (人に乗せてもらう) | 6 電車 |
| 7 路線バス・コミュニティバス | 8 病院や施設のバス | 9 車いす |
| 10 電動車いす (シニアカー) | 11 歩行器・手押し車 | |
| 12 タクシー | 13 その他 () | |

問3 食べることについて

(1) 身長・体重をそれぞれご記入ください。(数字を右詰めで記入)

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(3) お茶や汁物等でもせることがありますか。(1つに○)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

- 1 はい 2 いいえ

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(1つに○)
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

- 1 はい 2 いいえ

(7) どなたかと食事をもつ機会がありますか。(1つに○)

- 1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある
4 年に何度かある 5 ほとんどない

問4 毎日の生活について

次の(1)～(7)について、あてはまるものを選んでください。

(1) 物忘れが多いと感じますか (1つに○)

- 1 はい 2 いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つに○)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていません 3 できない

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (1つに○)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていません 3 できない

(4) 自分で食事の用意をしていますか (1つに○)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていません 3 できない

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか (1つに○)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていません 3 できない

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つに○)

- 1 できるし、している 2 できるけどしていません 3 できない

(7) 生きがいがありますか (1つに○)

- 1 はい (具体的に:)
2 思いつかない

(8) あなたが、日常的に利用している電子端末について教えて下さい。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 スマートフォン (通話のみ利用) 2 スマートフォン (通話やその他の機能も含む)
3 タブレット 4 パソコン
5 この中に特に利用しているものはない

(8) で「2」～「4」のいずれかを回答した方にお伺いします。

(8) -1 どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 無料通話アプリ (LINE 等) やメールなどのメッセージのやりとり
2 交通機関、コンサートなどのチケットの予約やインターネットショッピング
3 他口座への振込などが可能なインターネットバンキング
4 水道光熱費、電話料金、クレジットカードの利用金額などの各種料金の増減
5 X (旧 Twitter)、Facebook、Instagram などの SNS
6 オンラインによる診療や健康相談
7 各種申請等の行政手続き
8 その他 ()
9 この中に利用しているサービスはない

問5 地域での活動や就労について

(1) 以下のようなサークル・グループ活動等への所属の有無や頻度について、お答えください。(①～⑧それぞれ1つに○)

	活動に所属している方				活動に所属しない		
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回			
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	7
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	7
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	7
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	7
⑤老人クラブ	1	2	3	4	5	6	7
⑥町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	7
⑦収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	7
⑧脳にいいし、今からはじめられる脳トレ講座など	1	2	3	4	5	6	7

①～⑧ですべて「参加していない」「活動に所属なし」の方は、(2)にご回答ください。

(1) で①～⑥すべてに「6」「7」(参加・所属していない)と回答した方にお伺いします。

(2) サークル・グループに1つも参加していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1	他の教室に通っている	2	体調が悪く、行けない
3	興味がない	4	人間関係の問題
5	存在を知らなかった	6	きっかけがない
7	移動手段の確保が難しい	8	開催日時など都合が合わない
9	活動内容が難しい	10	活動内容が簡単すぎる
11	家の近くに無い	12	知っている人がいない
13	その他 ()		

すべての方にお伺いします。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、参加してみたいと思いますか。

(①②それぞれ1つに○)

	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している
①企画・運営(お世話役)として	1	2	3	4
②参加者として	1	2	3	4

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	体操、ストレッチ、ヨガなど
2	ウォーキング、ハイキング
3	1・2以外のスポーツ
4	料理
5	手芸や編み物、作品づくりなど
6	カラオケ
7	囲碁・将棋
8	麻雀
9	パソコンやスマートフォン、ゲーム機を使用した、複数人で行うゲーム
10	園芸、家庭菜園
11	地域での社会貢献活動・ボランティア活動
12	その他 ()

(5) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	無職	2	常勤(フルタイム)
3	非常勤(パート・アルバイト等)	4	自営業
5	求職中	6	その他 ()

問6 たすけあいについて

次の(1)～(6)について、あてはまるものすべてを選んでください。

(1) あなたの心配事や懸念(ぐち)を聞いてくれる人			
1	配偶者	2	同居の子ども
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	5	近隣住民
7	その他 ()	8	そのような人はいない
(2) 反対に、あなたが心配事や懸念(ぐち)を聞いてあげる人			
1	配偶者	2	同居の子ども
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	5	近隣住民
7	その他 ()	8	そのような人はいない
(3) あなたが病気で数日間意識込んだときに、看病や世話をしてくれる人			
1	配偶者	2	同居の子ども
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	5	近隣住民
7	その他 ()	8	そのような人はいない
(4) 反対に、看病や世話をしあげる人			
1	配偶者	2	同居の子ども
4	兄弟姉妹・親戚・親・孫	5	近隣住民
7	その他 ()	8	そのような人はいない
(5) 家族や友人・知人以外で生活や介護に関して相談する相手			
1	自治会・町内会・老人クラブ	2	社会福祉協議会
3	民生委員	4	ケアマネジャー・介護サービス事業所等
5	医師・歯科医師・看護師・薬剤師	6	地域包括支援センター・市役所
7	その他 ()	8	そのような人はいない
(6) 友人・知人と会う頻度(1つに○)			
1	毎日ある	2	週に何度かある
4	年に何度かある	5	ほとんどない
		6	月に何度かある

(3) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つに○)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 自分自身に症状がある | 2 同居家族に症状がある |
| 3 親戚や近所の人で症状のある人を知っている | 4 身近に症状のある人はいない |

現在、国では、「新しい認知症観」の普及を進めています。

【新しい認知症観とは…】

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

「新しい認知症観」を踏まえ、(4)(5)についてお答えください。

(4) もし、あなたが認知症になったとしても大切にしたいと思うことは何ですか。
(特にあなたの考えに近いもの3つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 家族とのつながり | 2 自分らしい生活 |
| 3 趣味や楽しみ等の好きなこと | 4 人との交流 |
| 5 自分の意志や希望を尊重されること | 6 住み慣れた場所での生活 |
| 7 周囲に迷惑をかけずに過ごすこと | 8 その他 () |
| 9 特にない | 10 わからない |

(5) 自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※ご自身や家族が認知症の方については、求める支援について、お答えください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐわかる情報の提供 |
| 2 認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり |
| 3 ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み |
| 4 認知症の方が活動できる場、社会参加ができる機会の提供 |
| 5 介護の仕方やコミュニケーション方法などの研修会 |
| 6 認知症について住民が正しく理解できる普及活動と情報発信 |
| 7 成年後見制度 [※] ・権利擁護事業の利用 |
| 8 その他 () |

※成年後見制度…判断能力が不十分な方々の権利や財産を守り、意思決定を支援する仕組みであり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

問9 今後の介護・高齢者施策について

(1) 在宅生活を続けるうえで、どのような生活支援があれば利用したい、または今後利用したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 配食 | 2 調理 |
| 3 掃除・洗濯 | 4 買い物 (宅配は含まない) |
| 5 ゴミ出し | 6 外出同行 (通院、買い物など) |
| 7 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8 見守り、声かけ |
| 9 サロンなどの定期的な集いの場 | |
| 10 その他 () | |
| 11 特にない | |

(2) 将来、介護が必要な状態になったとき、介護を受けて暮らすとしたら、どこで暮らしたいですか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1 在宅 (自宅や家族との同居) で暮らしたい |
| 2 できる限り在宅で暮らしたいが、家族や周囲に負担をかけるようなら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい |
| 3 施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅で暮らしたい |
| 4 その他 () |
| 5 わからない |

(3) あなたはどこで最期を迎えたいと思えますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|------|
| 1 自宅 | 2 病院 | 3 施設 |
| 4 わからない | 5 その他 () | |

(4) ACP (アドバンス・ケア・プランニング)[※]、または人生会議について知っていますか。(1つに○)

- | |
|--------------------|
| 1 よく知っている |
| 2 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3 知らない |

※ACP (アドバンス・ケア・プランニング) …万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、繰り返し話し合うことです。

(5) 「終活」に関して、取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 「もしも」の時に望む治療やケアについて家族と繰り返し話し合っている
- 2 エンディングノート作成など、情報をまとめている
- 3 財産や資産整理をしている
- 4 遺言書の作成
- 5 墓や供養、葬儀の手配
- 6 特に取り組んでいることはない
- 7 その他 ()

(6) 高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。(1つに○)

- 1 利用したことがある・利用している
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

(7) 将来的に運転免許証を自主返納したいと思いませんか。(1つに○)

- ※「1 はい」と回答した方は()内に数字を記入。
- 1 はい ⇒ ()歳になったら返納しようと思う
 - 2 既に返納している、または元々運転免許証を所持していない
 - 3 いいえ
 - 4 わからない

(7)で「1 はい」と回答した方にお伺いします。

(7)-1 運転免許証を返納した場合の主な交通手段について教えてください。(3つまで○)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 電車・路線バス | 2 コミュニティバス |
| 3 家族の送迎 | 4 友人の送迎 |
| 5 タクシー(民間運営) | 6 その他 () |

すべての方にお伺いします。

(8) 高齢になっても、不要なく交通機関などを利用して移動するために、特にとのよう な取り組みが必要だと思いませんか。(3つまで○)

- 1 路線バスに加え、主に市内で利用できるコミュニティバスの運行本数を増やす
- 2 予約制乗合タクシーなど、地域特性に対応できる交通機関を配置する
- 3 バリアフリー化等、高齢者に優しい交通環境を整える
- 4 移動に付き添いサポートする人の養成など、移動支援サービスを利用しやすくする
- 5 地域のボランティア等による、利用しやすい輸送支援の仕組みをつくる
- 6 その他 ()

(9) 介護保険・高齢者健康福祉施策について、今後特に充実が必要と考える取り組みは何ですか。(3つまで○)

- 1 自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実
- 2 介護が必要にならないような予防施策の充実
- 3 家族で介護ができるような在宅支援策の充実
- 4 市民どうしのできあいができるような支援策の充実
- 5 身近な地域でのイベント・レクリエーションの充実
- 6 地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実
- 7 在宅介護サービスの充実
- 8 施設介護サービスの充実
- 9 介護サービス以外の日常生活への支援の充実
- 10 高齢者の住まいの確保
- 11 現状に満足している
- 12 その他 ()
- 13 わからない

(10) 今後、高齢化が進んでいく中でサービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、介護保険料の見直しが必要です。介護サービスとサービスを支える保険料負担について、どう思われますか。(1つに○)

- 1 介護サービスの質や利用量が維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない
- 2 介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい
- 3 わからない
- 4 その他 ()

(11) 今、生活するうえで困っていることや、介護および高齢者福祉全般についての意見やご要望がございましたらご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入済みのアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、

1月6日(火)までに ポストにご投函ください。

(切手は不要です)

2 在宅介護実態調査票

回答者 ID 【

八幡市在宅介護実態調査

日頃より、八幡市の高齢者健康福祉および介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市におきましては、市民の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けられることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。このアンケート調査は、令和9年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画および介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。調査にあたり、八幡市内にお住まいの令和7年11月1日現在で要介護認定を受けておられる方の中から無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣意をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年12月 八幡市

記入にあたってのお願い

- この調査は、できる限りご本人（封筒のあて名の方）がお答えください。ご家族の方がご本人の立場にたつて代わりにお答えされたり、一緒に回答していただいても構いません。（回答目安時間：20分程度）
- 回答は、質問に当たってはまる番号に○をつけたり、数値や文章をご記入ください。
- ご記入は黒のボールペンや鉛筆などで、はっきりとお書きください。

回答方法	
①郵送回答	②インターネット回答
1月6日(火) までに、記入済の調査票を、 同封の返信用封筒にご封出 ください。(切手は不要です)	1月6日(火) までに、下記の二次元コードまたはURLよりアクセスしてご回答ください。 ※ご本人確認のために、初めにこの調査票右上の回答者IDを入力する必要があります。 URL: <input type="text"/>

(インターネット回答の場合、この調査票の郵送は不要です)

【お問い合わせ先】
八幡市 健康福祉部 高齢介護課 電話(直通) 075-983-5471

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、八幡市による高齢者健康福祉計画および介護保険事業計画の策定とその推進目的以外には利用いたしません。また、この調査の分析にあたっては、八幡市が管理する認定調査にかかる要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）および給付データを併用いたします。高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に個人を特定しない形で情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

A 票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

1 あなた（封筒のあて名の方）のことについて

問1 この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 封筒のあて名のご本人 | () |
| 2 主な介護者となっている家族・親族（あて名のご本人からみられた総称） | () |
| 3 主な介護者以外の家族・親族（あて名のご本人からみられた総称） | () |
| 4 調査対象者のケアマネジャー | () |
| 5 その他（ ） | () |

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つに○)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 単身世帯 | 2 夫婦のみ世帯 | 3 その他（ ） |
|--------|----------|----------|

問3 ご本人が、現在抱えている病状があればお教えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1 脳血管疾患（脳卒中） | 2 心疾患（心臓病） |
| 3 悪性新生物（がん） | 4 呼吸器疾患 |
| 5 腎疾患（透析） | 6 筋骨格系疾患 |
| 7 膠原病（関節リウマチ含む） | 8 変形性関節疾患 |
| 9 認知症 | 10 パーキンソン病 |
| 11 糖尿病（パーキンソン病以外） | 12 脊髄損傷 |
| 13 眼科・耳鼻科疾患
(視覚・聴覚障害を併うもの) | 14 その他（ ） |
| 15 なし | 16 わからない |

2 介護保険サービスや支援について

問4 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

※ 医師等が在宅生活へのアドバース・指導を行うサービス（居宅療養管理指導）や訪問歯科診療等は、「訪問診療」に含みません。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

問5 日中の時間帯において、介護を頼める人（家族、ヘルパーなど）がそばにいないことがどのくらいありますか。(1つに○)

- 1 日中おむね誰かが家にいる
- 2 日中誰も家にいない日が、週に1～2日ある
- 3 日中誰も家にいない日が、週に3～4日ある
- 4 日中誰も家にいない日が、週に5日以上ある

問6 現時点で、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つに○)

- 1 入所・入居は検討していない
- 2 入所・入居を検討している
- 3 すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養老ホーム、老人保健施設、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物 (宅配は含まない)
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行 (通院、買い物など)
- 7 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
- 8 見守り、声かけ
- 9 シルバーライフラインシステム[※]
- 10 八幡市あんしんネットワーク[※]の登録制度
- 11 サロンなどの定期的な通いの場
- 12 その他 ()
- 13 利用していない

※シルバーライフラインシステム[※]は、ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与し、相談・緊急ボタンによる通報をオペレーションセンターが24時間・365日受け付け、対応するシステム。

※八幡市あんしんネットワーク[※]は、認知症の方などが行方不明になられた際に、協力機関へ依頼し、早期発見に役立てるための制度。登録者には、GPSの初期導入費と12カ月分の月額費用の補助等を実施している。

問8 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配食
- 2 調理
- 3 掃除・洗濯
- 4 買い物 (宅配は含まない)
- 5 ゴミ出し
- 6 外出同行 (通院、買い物など)
- 7 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
- 8 見守り、声かけ
- 9 シルバーライフラインシステム
- 10 八幡市あんしんネットワークの登録制度
- 11 サロンなどの定期的な通いの場
- 12 その他 ()
- 13 特にない

3 認知症について

問9 市が行う認知症への取組みのうち、あなたが知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症サポーター養成講座の実施
- 2 認知症ガイドブックの配布
- 3 オレンジカフェ (認知症カフェ) の開催
- 4 認知症あんしんサポート相談窓口
- 5 認知症に関する講座の開催
- 6 八幡市あんしんネットワークの登録制度

ことばの説明

●認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、応援する人を養成する講座。

●オレンジカフェ(認知症カフェ)

認知症の方やそのご家族、地域住民が気軽に集える場所。市内4カ所で月1回開催。

●認知症あんしんサポート相談窓口

地域事情を踏まえた相談ができる身近な相談窓口。市内1カ所で実施。

●八幡市あんしんネットワーク

認知症の方などが行方不明になられた際に、協力機関へ依頼し、早期発見に役立てるための制度。登録者には、GPSの初期導入費と12カ月分の月額費用の補助等を実施している。



現在、国では、「新しい認知症観」の普及を進めています。

〔新しい認知症観とは…〕

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になっても、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方

「新しい認知症観」を踏まえ、問 10、11 についてお答えください。

問10 もし、あなたが認知症になつたとしても大切にしたいと思うことは何ですか。(特にあなたの考えに近いもの3つに○)

- 1 家族とのつながり
- 2 自分らしい生活
- 3 趣味や楽しみ等の好きなこと
- 4 人との交流
- 5 自分の意志や希望を尊重されること
- 6 住み慣れた場所での生活
- 7 周囲に迷惑をかけずに過ごすこと
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

問11 自分自身や家族が認知症になったとき、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

※ご自身や家族が認知症の方については、求める支援について、お答えください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 相談窓口や病院、介護サービスなどがすぐわかる情報の提供 |
| 2 | 認知症の家族間交流など、介護する家族の精神的負担を軽減できる場づくり |
| 3 | ボランティアや地域での支え合いなどによる在宅生活ができる仕組み |
| 4 | 認知症の方が活動できる場、社会参加ができる機会の提供 |
| 5 | 介護の仕方やコミュニケーション方法などの研修会 |
| 6 | 認知症について住民が正しく理解できる普及活動と情報発信 |
| 7 | 成年後見制度 [※] 、権利擁護事業の利用 |
| 8 | その他 () |

※成年後見制度…判断能力が不十分な方々の権利や財産を守り、意思決定を支援する仕組みであり、法律面や生活面で保護したり支援したりする制度です。

4 今後のサービス利用や生活の希望について

問12 今後、自宅や自宅に近い環境で介護を受けて暮らしていくために、利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 月額料金で、訪問介護、通所介護、一時的な泊まりをまとめて受けられるサービス |
| 2 | 365日24時間、定期的な巡回や、必要な時に介護や看護をしてくれるサービス |
| 3 | 認知症があっても、安心して通えるデイサービス |
| 4 | 認知症があっても、できるだけ自立して暮らせるグループホーム |
| 5 | 見守りや日常の世話をしてくれる高齢者向けの賃貸マンション |
| 6 | 医師による訪問診療や、薬剤師による服薬管理など |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特にない |

問13 あなたは、今後の住まいについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | 今後も介護サービスなどを利用しながら、在宅で暮らしたい |
| 2 | できるだけ在宅で暮らしたいが、介護の負担が大きくなり、在宅で暮らすのが困難になったら、施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい |
| 3 | 施設や介護サービスのついた高齢者向け住宅に入りたい |
| 4 | その他 () |
| 5 | わからない |

問13で「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。

問14 住み替えを検討する場合、どのような施設や住宅を希望しますか。(1つに○)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 高齢者向けの分譲マンション |
| 2 | 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅 |
| 3 | 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) |
| 4 | 介護老人保健施設 |
| 5 | 介護医療院 |
| 6 | 小規模特養(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護) |
| 7 | グループホーム(認知症対応型共同生活介護) |
| 8 | わからない |

問13で「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。

問15 住み替えを希望する時期はいつごろですか。(1つに○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 当面の予定はないが、必要となったら住み替えたい |
| 2 | 今後、1年以内には住み替えたい |
| 3 | 今後、数か月以内には住み替えたい |
| 4 | 今すぐにも住み替えたい |
| 5 | その他 () |

問13で「2」または「3」を選んだ方にお伺いします。

問16 住み替えを実現するにあたって、不安に感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 資金の不足など経済面的問題があること |
| 2 | 現在の仕事や趣味、社会活動を続けられなくなること |
| 3 | 友人・知人等と疎通になること |
| 4 | 住み替え先の生活に馴染めるか不安があること |
| 5 | 家族の同意が得られないこと |
| 6 | 家族と疎遠になること |
| 7 | 通院している病院が遠くなること |
| 8 | その他 () |
| 9 | 特にない |

すべての方にお伺いします。

問17 あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(1つに○)

1	自宅	2	病院	3	施設
4	わからない	5	その他 ()		

問18 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○で囲んでください)

とても不幸 ←	→ とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問19 今後、高齢化が進んでいく中でサービス利用者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、介護保険料の見直しが必要です。

介護サービスとサービスを支える保険料負担について、どう思われますか。(1つに○)

1	介護サービスの質や利用量を維持または充実させるためには、介護保険料が上がることもやむを得ない
2	介護サービスの質や利用量を減らしても、介護保険料を維持してほしい
3	わからない
4	その他 ()

問20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(1つに○)

1	ない
2	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3	週に1～2日ある
4	週に3～4日ある
5	ほぼ毎日ある

問20で「1 ない」(ご家族やご親族の方からの介護を受けていない)と回答した方は、ここで調査終了です。
ご家族やご親族の介護がある方は、次のページに進んでください。

B票については、ご家族等の介護者の方がお答えください。

介護者の方のご回答が難しい場合は、あて名のご本人が分かる劇中でご回答ください。
あて名のご本人も回答が難しい場合は、回答不要です。

B票 介護者の方について、お伺いします

※介護者が複数いる場合は、主に日常的に介護を担う方1名について記入してください。

問1 介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(1つに○)

1	配偶者	2	子	3	子の配偶者
4	孫	5	兄弟・姉妹	6	その他 ()

問2 介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つに○)

1	男性	2	女性	3	答えたくない
---	----	---	----	---	--------

問3 介護者の方のお住まいについて、ご回答ください。(1つに○)

1	あて名のご本人と同居している	2	同居はしていないが、八幡市内に住んでいる
3	八幡市外に住んでいる	4	その他 ()

問4 介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つに○)

1	20歳未満	2	20代	3	30代
4	40代	5	50代	6	60代
7	70代	8	80歳以上	9	わからない

問5 現在、介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

〔身体介護〕			
1	日中の排泄	2	夜間の排泄
3	食事の介助(食べる時)	4	入浴・洗身
5	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6	衣服の着脱
7	屋内の移乗・移動	8	外出の付き添い、送迎等
9	服薬	10	認知症への対応
11	医療面での対応(経営支援、ストーマ等)		
〔生活援助〕			
12	食事の準備(調理等)	13	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14	金銭管理や生活面に必要な手続き		
〔その他〕			
15	話し相手	16	精神面のケア
17	その他 ()		
18	わからない		

問6 現在の生活を継続していくにあたって、介護の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

〔身体介護〕	
1 日中の排泄	2 夜間の排泄
3 食事の介助（食べる時）	4 入浴・洗身
5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6 衣服の着脱
7 屋内の移乗・移動	8 外出の付き添い、送迎等
9 服薬	10 認知症状への対応
11 医療面での対応（経営栄養、ストーマ等）	
〔生活援助〕	
12 食事の準備（調理等）	13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
14 金銭管理や生活面に必要な手続き	
〔その他〕	
15 話し相手	16 精神面のケア
17 その他（	）
18 わからない	

問7 あなたは、現在のどの程度幸せですか。

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○で囲んでください）

とても不幸 ←	→ とても幸せ									
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

問8 介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つに○）

1 フルタイムで働いている	2 パートタイムで働いている
3 働いていない	4 介護者に確認しないと、わからない

問8で「1」または「2」を選んだ方にお伺いします。問9～11をすべてお答えください。

問9 介護者の方は、介護をするにあたって、何が働き方についての調整等をしていきますか。（あてはまるものすべてに○）

1 特に行っていない
2 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中掛け等）」しながら、働いている
3 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6 介護者に確認しないと、わからない

問10 介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3 制度を利用しやすい職場づくり
4 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8 介護をしている従業員への経済的な支援
9 その他（
10 特になし
11 介護者に確認しないと、わからない

問11 介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに○）

1 問題なく、続けていける
2 問題はあるが、何とか続けていける
3 続けていくのは、やや難しい
4 続けていくのは、かなり難しい
5 介護者に確認しないと、わからない

すべての方にお伺いします。

問12 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。

（あてはまるものすべてに○）

※自営業や農林水産のお仕事を辞めた方を含みます。

1 介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2 介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3 介護者が転職した
4 介護者以外の家族・親族が転職した
5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6 わからない

問12で「1」から「4」を選んだ方にお伺いします。

問13 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何ですか。
(1つに○)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 十分に介護したかったから |
| 2 | 介護するために目が離せなかったから |
| 3 | 融通の利く勤務形態ではなかったから |
| 4 | 精神的に余裕がなかったから |
| 5 | 介護者の健康状態が悪化したから |
| 6 | 自立する自信がなかったから |
| 7 | 介護するために通勤距離を移動しなければならなかったから |
| 8 | 介護サービスが十分に受けられなかったから |
| 9 | 介護サービスなどの受け方が分からなかったから |
| 10 | その他 () |

すべての方にお伺いします。

問14 介護をする上で困っていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 特にない |
| 2 | 経済的負担が大きい |
| 3 | 精神的負担が大きい |
| 4 | 肉体的負担が大きい (睡眠不足・腰痛等を含む) |
| 5 | 日中は介護者が不在の時の多い |
| 6 | 夜間の介護の負担が大きい |
| 7 | 介護サービスをもっと利用したいが、本人が嫌がる |
| 8 | 介護サービスをもっと利用したいが、家族や問題が反対する |
| 9 | 介護サービスをもっと利用したいが、限度額がいっぱいである |
| 10 | 介護者の都合等に合わせて柔軟に使える介護サービスがない |
| 11 | 介護の方法がわからない |
| 12 | 介護のために仕事や家事、育児が思うようにできない |
| 13 | 介護のことが気になって、思うように外出できない |
| 14 | 介護者のための相談窓口が少ない |
| 15 | 介護のストレスから、イライラして本人に当たってしまうことがある |
| 16 | その他 () |

問15 家族等の介護者に対する支援で、あるとよいと思うものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------|---|--------------------|
| 1 | 介護者同士の交流の場 | 2 | 介護のコツなどが学べる介護教室の開催 |
| 3 | 介護に関する相談支援の充実 | 4 | 介護に関する情報提供の充実 |
| 5 | 特にない | | |
| 6 | その他 () | | |

問16 高齢者の介護や健康などの不安や悩みを相談できる「地域包括支援センター」を利用したことはありますか。(1つに○)

- | | |
|---|------------------|
| 1 | 利用したことがある・利用している |
| 2 | 知っているが、利用したことはない |
| 3 | 知らない |

問17 その他、高齢者福祉に対するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

郵送回答の方はご記入済みのアンケートを、同封の返信用封筒に入れて、
1月6日(火)までに ポストにご投函ください。
(切手は不要です)

3 介護サービス事業所調査票

インターネット回答のみで実施。回答フォーム原稿

八幡市介護サービス事業所調査

日頃より、八幡市の高齢者健康福祉及び介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市におきましては、市庁の皆様が住み慣れた地域で、心ゆたかに、充実した生活を続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努めているところでございます。このアンケート調査は、令和9年度からの八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。

調査の実施にあたり、調査対象として介護サービス事業者の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の手厚なご意見やご要望をお聞かせください。

お答えいただいた内容は、この事業の統計としてのみ利用させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年12月 八幡市

ご回答にあたってのお願い

- この調査は令和7年12月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号を選択いただくものと、数値などをご入力いただくものがあります。指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、記入欄に具体的に回答ください。
- 令和7年12月26日（金）までにご回答をお願いいたします。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

<この調査に関するお問合せ先>

八幡市 健康福祉部 高齢介護課 電話（直通）075-983-5471

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

問1. ご回答いただいている法人、回答者氏名をお答えください。(回答欄に記入)

法人名
回答者役職・氏名

問2. 令和7年12月1日現在、貴法人として、八幡市内で提供している介護保険サービス等は何ですか。(介護予防事業を含みます)。(あてはまるものを全て選択)

- 居宅介護サービス
 - 1. 居宅介護支援
 - 2. 訪問介護
 - 3. 訪問入浴介護
 - 4. 訪問看護
 - 5. 訪問リハビリテーション
 - 6. 通所介護
 - 7. 通所リハビリテーション
 - 8. 居宅療養管理指導
 - 9. 短期入所生活介護・療養介護
 - 10. 特定施設入居者生活介護
 - 11. 福祉用具の貸与・販売
 - 12. 住宅改修
- 地域密着型サービス
 - 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 - 14. 地域密着型通所介護
 - 15. 認知症対応型通所介護
 - 16. 小規模多機能型居宅介護
 - 17. 認知症対応型共同生活介護
 - 18. 地域密着型介護老人福祉施設
 - 19. 看護小規模多機能型居宅介護
- 施設介護サービス
 - 20. 介護老人福祉施設
 - 21. 介護老人保健施設
 - 22. 介護医療院
 - その他
 - 23. 総合事業(訪問型サービス)
 - 24. 総合事業(通所型サービス)
 - 25. 総合事業(その他サービス)
 - 26. その他介護保険外のサービス()
 - 27. 高齢者、障がい者、児童等に係る総合的福祉サービス

問3. 貴法人では、現在ICT機器等について導入していますか。(1つ選択)

- 1. 導入している
- 2. 導入していない (→問5)

【同3において「1. 導入している」と回答された方にお聞きします。】

同4. 貴法人の主なサービスごとに、現在導入している ICT 機器をお答えください。
※「サービスの番号」は同2を参照してください。

サービスの番号	現在導入している ICT 機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他()
サービスの番号	現在導入している ICT 機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他()
サービスの番号	現在導入している ICT 機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他()

【すべての事業所にお聞きします。】

同5. 貴法人では、今後、ICT機器等の導入について検討していますか。(1つ選択)

1. すでに導入しており、さらなる充実を検討している
2. 現在は導入していないが、今後導入を検討している
3. 導入については検討していない →同7A

【同5において「1.」または「2.」(導入を検討)と回答された方にお聞きします。】

同6. 貴法人の主なサービスごとに、支援(補助)や使い方の講習など)があれば今後導入してみたいICT機器をお答えください。
※「サービスの番号」は同2を参照してください。

サービスの番号	導入してみたいICT機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他() 10. 特になし
サービスの番号	導入してみたいICT機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他() 10. 特になし
サービスの番号	導入してみたいICT機器(あてはまるもの全て選択)
	1. 利用者請求(会計等) 2. 介護・業務記録(バイタルチェック等) 3. 排泄支援(排泄補助ロボット等) 4. 勤怠管理 5. 見守り(カメラ・センサー等) 6. 移乗介護(パワーアシスト装着型機器等) 7. 入浴支援(出入り用リフト等) 8. 移動支援(歩行支援機器等) 9. その他() 10. 特になし

2 介護人材の雇用状況についてお聞きします。

同7. 令和7年12月1日現在、貴法人の八幡市内の事業所に勤務する職員の方について、①～④の内訳について、ご回答ください。(数字で記入)

①介護職員の総数をお答えください。

正役職員	10代	人	10代	人
	20代	人	20代	人
	30代	人	30代	人
	40代	人	40代	人
	50代	人	50代	人
	60代	人	60代	人
	70代以上	人	70代以上	人
非正役職員	10代	人	10代	人
	20代	人	20代	人
	30代	人	30代	人
	40代	人	40代	人
	50代	人	50代	人
	60代	人	60代	人
	70代以上	人	70代以上	人

②貴法人での経験年数別に、介護職員の人数をご記入ください。

1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
人	人	人	人

③過去1年間の介護職員の採用者数をご記入ください。

正規職員	10代	人	10代	人	
	20代	人	20代	人	
	30代	人	非正規職員	30代	人
	40代	人		40代	人
	50代	人		50代	人
60代	人	60代	人		
70代以上	人	70代以上	人		

④過去1年間の介護職員の離職者数をご記入ください。

正規職員	10代	人	10代	人	
	20代	人	20代	人	
	30代	人	非正規職員	30代	人
	40代	人		40代	人
	50代	人		50代	人
60代	人	60代	人		
70代以上	人	70代以上	人		

3 人材の確保・育成についてお聞きします。

問8. 貴法人では、人材確保にどのような課題がありますか。(あてはまるもの全て選択)

1. 新規卒業者の確保が難しい
2. 一定の資格を持つ人材の確保が難しい
3. 夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある
4. 転職や退職が多く人材の定着が難しい
5. その他()
6. 特になし

問9. 貴法人では、離職事由のうち、特に多い要因は何ですか。(3つまで選択)

1. 出産・育児
2. 腰痛など身体的負担
3. 勤務形態(夜勤・土日勤務・休暇の少なさ)
4. 家族等の介護・看護
5. 職場の人間関係
6. 収入面
7. キャリアアップ
8. その他()
9. 把握していない

問10. 貴法人では、人材確保にあたりどのような取組を実施していますか。(3つまで選択)

1. 給与制度を体系化し職員に分かるよう示している
2. 夜勤の勤務負担を減らすために3交代制をとっている
3. 職員の身体的負担を軽減するためにリフト等のロボット等を導入している
4. 出産・育児支援として施設内保育施設を整備している
5. 資格取得に対する費用、外部研修への業務としての参加等の支援をしている
6. 就学資金貸付制度を実施している
7. 地域の学校等へ介護業界への理解促進活動を行っている
8. 若手職員への相談体制や離職防止研修を行っている
9. 就職イベントへ積極的に参加している
10. 清掃などの業務等について、シルバー人材センター等の高齢者の活用をしている
11. 外国人人材を受け入れている
12. 介護サポーターを雇用している
13. その他()
14. 特になし

問11. 現在、貴法人では外国人職員を雇用していますか。(1つ選択)

1. 雇用している
2. 雇用していない →問11③へ

【問 11 において「1. 雇用している」と回答された方にお聞きします。】
 ① 令和 7 年 12 月 1 日現在、八幡市内の事業所で雇用している外国人職員数を在留資格ごとにご記入ください。

在留資格	雇用人数	在留資格	雇用人数
在留資格「介護」	人	特定技能 1 号	人
EPA 介護職員(※1)	人	養成校の留学生(※2)	人
技能実習生	人		

(※1) EPA (経済連携協定) に基づく外国人介護福祉士候補者及び外国人介護福祉士
 (※2) 在留資格「留学」により日本に在留し、介護福祉士養成校において教育を受ける外国の国籍を有する学生

② 外国人介護職員の雇用に関して、市に希望するものはありますか。(3 つまで選択)

1. 外国人介護職員の日本語能力向上のための支援
2. 外国人雇用に関する各種制度についてのセミナー
3. 外国人介護職員の介護技術向上のための支援
4. 外国人介護職員を指導するための方法に関する支援
5. 外国人介護職員に対する住居支援
6. 外国人介護職員の生活支援のための情報提供や相談窓口
7. 外国人介護職員を有する施設・事業所向士のネットワーク
8. 外国人介護職員同士の交流会
9. 雇用に係る必要経費の支援
10. その他()
11. 特になし

【問 11 において「2. 雇用していない」と回答された方にお聞きします。】

③ 今後、介護人材として外国人を受け入れる予定がありますか。(1 つ選択)

1. 積極的に受け入れたい
2. いずれは受け入れたい
3. 受け入れるつもりはない
4. わからない

【すべての法人にお聞きします。】

問 12. 外国人を雇用する場合、何が課題となる(課題となっていない)と認めますか。(おてはまるもの全て選択)

1. 言葉・コミュニケーション
2. 文化(食文化・宗教)
3. ケアの仕方に関する価値観の違い
4. 指導による職員の負担
5. 受け入れのための費用
6. 利用者の抵抗感
7. 生活基盤の確保
8. 雇用期間の見通しがつきにくい
9. その他()
10. 特になし

7

問 13. 事業所の人材確保に向けた市の取組に満足していますか。(1 つ選択)

1. 満足している
2. おおむね満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない
5. その他()

問 14. 介護人材の確保に向けて、市にどのような取組を望みますか。

(おてはまるもの全て選択)

1. 介護・福祉就職フェア等の開催
2. 市民向けの介護職の養成研修の開催
3. 従業員の資格取得スキル向上のための研修
4. 福祉職場のイメージアップの取組
5. 介護報酬費の市独自の加算
6. 介護人材のシニアリング等、合理化に向けた支援
7. その他()

4 その他

問 15. 災害対策として貴法人が行っていることはありますか。

(おてはまるもの全て選択)

1. BCP (業務継続計画) の策定と定期的な確認・共有
2. 避難経路や避難に要する時間の確認
3. 避難訓練の実施
4. 職員・利用者への災害時に向けた意識啓発
5. 備蓄品の確保・更新
6. 災害時に向けた連絡・情報共有体制の確保
7. その他()

問 16. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご回答ありがとうございました。送信ボタンを押し、この画面を閉じて終了してください。

8

4 介護支援専門員調査票

八幡市介護支援専門員調査

調査協力のお願い

日頃より、八幡市の高齢者福祉施設及び介護保険行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この調査は、令和9年度を初年度とする八幡市における高齢者健康福祉計画及び介護保険事業計画の策定のための基礎資料とさせていただきます。

調査の実施にあたり、調査対象として介護支援専門員の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年12月

八幡市

ご回答にあたってのお願い

- この調査は令和7年12月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号を選択いただくものと、数値などをご入力いただくものがあります。指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、記入欄に具体的にご回答ください。
- この調査は、事業所等で介護支援専門員業務に従事されているすべての方がお答えください。
- 令和7年12月26日(金)までにご回答をお願いいたします。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

<この調査に関するお問合せ先>

八幡市 健康福祉部 高齢介護課 電話(直通) 075-983-5471

1 ケアプラン業務の状況についてお聞きします。

問1 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。令和7年12月1日現在でお答えください。(1つだけ選択)

- 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
- 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問2 勤務形態はどれにあてはまりますか。(1つだけ選択)

- 1. 専従(常勤)
- 2. 専従(非常勤)
- 3. 兼務(常勤)
- 4. 兼務(非常勤)

問3 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(1つだけ選択)

- 1. あり
- 2. なし

問4 令和7年12月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいになりますか。

- ① 介護支援専門員としての通算経験(1つだけ選択)
 - 1. 6か月未満
 - 2. 6か月以上1年未満
 - 3. 1年以上3年未満
 - 4. 3年以上5年未満
 - 5. 5年以上
- ② 現在の事業所における介護支援専門員としての経験 (1つだけ選択)
 - 1. 6か月未満
 - 2. 6か月以上1年未満
 - 3. 1年以上3年未満
 - 4. 3年以上5年未満
 - 5. 5年以上

問5 令和7年12月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。

それぞれ数字でご記入ください。
※一般的入居中なども含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください。

- ① 介護給付()人
- ② 予防給付()人

問6 担当しているケアプラン件数は、適当ですか。(1つだけ選択)

- 1. 多い
- 2. やや多い
- 3. ちょうど良い
- 4. やや少ない
- 5. 少ない

問7 令和7年12月1日現在であなたが担当している利用者のケアプランで、八幡市の介護保険外サービス、ボランティアなどのインフォーマルサービスを組み合わせて作成したものはありますか。(1つだけ選択)

1. ある
2. ない

[問7で「1. ある」と回答された方におうかがいします。]

① 該当する介護保険外サービス・インフォーマルサービスを教えてください。

(あてはまるもの全て選択)

- 市の介護保険外サービス
- 1. 緊急通報システム
- 2. 配食サービス
- 3. 寝具乾燥サービス
- 4. 日常生活用具等の給付・貸与
- 5. 紙おむつ等助成
- 6. 軽度生活援助サービス
- 7. 成年後見制度・権利擁護支援事業
- 8. 一般介護予防事業
- 9. 地域包括支援センターで実施されている認知症カフェ
- 10. その他の市の介護保険外サービス(具体名称:)
- 民間のサービス
- 11. 家事代行サービス
- 12. 配食サービス
- 13. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
- 14. 外出の付添い・話し相手
- 15. ゴミ出しサービス
- 16. 介護保険外で高齢者が通ったり宿泊したり出来る施設
- 17. 認知症カフェ・サロン
- 18. 宅配業者等による見守りサービス
- 19. 体操教室
- 20. その他の民間のサービス
(具体的名称:)
- その他
- 21. 近隣・知人
- 22. 地域の自治会役員・民生委員
- 23. その他(ボランティア等)

問8 あなたが令和7年12月1日現在、担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方がいますか。(1つだけ選択) ※支援困難とは、「②の選択肢にあるような方」を想定してください

1. いる
2. いない

[問8において「1. いる」と回答された方におうかがいします。]

① 現在支援困難となっている利用者の人数をお答えください。

() 人

② 主に、どのようなことで支援が困難となっておりますか。(あてはまるもの全て選択)

1. 家族の協力が得られないこと(家族間の不仲、理解不足等)
2. 利用者の性格によるもの(不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的など)
3. 経済的理由
4. 利用者がサービスの利用を拒否すること(介護拒否)
5. 利用者による認知症による諸症状や精神的な状態による不安定さがあること
6. 利用者家族の介護疲れや療養や障がいによる介護力不足
7. その他()

問9 あなたは支援が困難な方についてどのように対応してきましたか。(あてはまるもの全て選択)

1. 事業所内の上司や同僚に相談した(している)
2. 他の事業所の介護支援専門員に相談した(している)
3. 地域包括支援センターに相談した(している)
4. 地域包括支援センターに相談した結果、地域ケア会議の開催となった
5. 在宅医療・介護連携支援センターに相談した(している)
6. 地域包括支援センター、在宅医療・介護連携支援センター以外の行政機関(八幡市、府)に相談した(している)
7. 誰にも相談せず、自分で対応した(している)
8. その他()

問10 ケアプランの作成にあたって困っていることは何ですか。(あてはまるもの全て選択)

1. 介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと
2. 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと
3. 利用者本人と家族との意見が異なるときの調整が困難なこと
4. 虐待を受けている、または疑いがあると思われる利用者がいること
5. 独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状態について相談できる人がいないこと
6. 利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと
7. 介護保険サービス・八幡市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと
8. 利用者の認知症症状や行動障がい、周辺症状への対応
9. 支援困難な方へのケアマネジメントの方法がわからないこと
10. 自分の力量について不安があること
11. サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと
12. 職場内でのケアプラン作成についての指導がないこと
13. ケアマネジャーが少ないため、担当件数が多くなり、処理がすぐできないこと
14. 医療機関等との連携がとれないこと
15. その他()
16. 特にない

問 11 あなたが、介護支援専門員としての職務範囲外と考えるが、実態として対応し、負担に感じている業務について、どのようなものがありますか。
(あてはまるもの全て選択)

1. 本人や家族からのサービス調整等に関わらない電話等への対応、時間外相談
2. 入院・通院時の付き添い、送迎
3. 入院・退院時の手続きや申請、支払いの代行、支援
4. 入院中、入所中の着替えや必需品の調達
5. 介護保険制度以外の行政への手続きや申請の代行、支援
6. 金融機関やその他の各機関の手続きや申請の代行、支援
7. 部屋の片づけやごみ出し、買い物などの家事支援
8. モニタリングや定期の安否確認を除く緊急訪問
9. 代読・代筆
10. 郵便、宅配便の投函、受取
11. その他()
12. 特になし

問 12 普段の業務全体を 100%としたとき、通常の業務と、問 11 にあげた業務の占める割合はどの程度ですか。(数字で記入)

普段の業務全体(合計 100%)	
①通常の業務	%
②職務範囲外の業務	%

問 13 あなたが今後も介護支援専門員として業務を継続していくために、どのような支援があればよいと思いますか。(自由記述)

問 14 事業所数もしくは定員など、量的に不足していると思われるサービスはありますか。(あてはまるもの全て選択)

※事業所種別には介護予防サービス事業所を含みます。

1. 訪問介護
2. 生活援助型訪問介護サービス
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション
8. 福祉用具の貸与・販売
9. 短期入所療養介護
10. 短期入所療養介護
11. 夜間対応型訪問介護
12. 認知症対応型通所介護
13. 小規模多機能型居宅介護
14. 介護老人福祉施設
15. 地域密着型介護老人福祉施設
16. 介護老人保健施設
17. 介護医療院
18. 認知症対応型共同生活介護
19. 特定施設入居者生活介護
20. 地域密着型特定施設入居者生活介護
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24 時間サービス)
23. 居宅療養管理指導
24. その他()
25. 特になし

問 15 在宅生活を支えるために、充実が必要と認める生活支援は何ですか。(あてはまるもの全て選択) ※事業所種別には介護予防サービス事業所を含みます。

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物(宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行(通院、買い物など)
7. 移動サービス(介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他()
11. 特になし

2 在宅介護の継続についてお聞きします。

問 16 令和7年12月1日現在、担当している利用者のうち、「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいいますか。

いる場合は人数もお答えください。(1つだけ選択)

1. いない ③ 間 17 △ 2. [] 人いる

【問 16 において「2. いる」と回答された方にお聞きします。】

- ① 生活の維持が難しくなっている理由について、お答えください。
(自由記述)

問 17 在宅医療・介護連携の推進のために、何が必要だと思いますか。(必要度の高いものを3つまで選択)

1. 関係機関のリスト・連絡先等の提供
2. 現状・課題、対応策を検討・共有する協議の場
3. 連携で困ったときに相談できる窓口
4. 各施設・職種の役割について理解を深める機会
5. 介護側のための医療知識の習得・向上の機会
6. 医療側のための介護知識の習得・向上の機会
7. 情報共有ツール(シート等)の統一
8. ICTの活用(SNSなどのタイムリーに情報共有できる媒体の活用)
9. 在宅医療にかかる負担の軽減(主治医・副主治医の導入など)
10. 在宅医療にかかる施設基準の緩和
11. 診療報酬・介護報酬の評価(増額)
12. 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発
13. その他()
14. 特になし

3 専門性向上のための対策についてお聞きします。

問 18 あなたは、ご自身の仕事に満足感を得ていますか。(1つだけ選択)

1. 満足している ③ 間 19 △ 2. やや満足している ③ 間 19 △
3. あまり満足していない 4. 満足していない

【問 18 において「3. あまり満足していない」「4. 満足していない」と回答された方にお聞きします。】

- ① その理由は何ですか。(あてはまるものを全て選択)

1. 利用者やその家族からの要望などが多く、疲弊してしまう
2. 精神的な負担が大きい
3. 報酬が低い
4. 責任が重い
5. 業務の多様化、事務の増加による負担増
6. 職場での立場が低いこと
7. 将来への不安が大きい
8. その他()

問 19 ケアマネジャーとしての専門性向上のため、今後始めたいと思っている取り組みはありますか。(あてはまるものを全て選択)

1. 自主的な勉強会を行いたい
2. 在宅介護支援事業者の情報共有の場等へ参加したい
3. 具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい
4. 法人内の研修に参加したい
5. 外部研修に参加したい
6. 参考書等を読んで知識などを増やしたい
7. その他()
8. 特になし

問 20 あなたは地域包括支援センターにどのような役割を主に期待していますか。
(必要度の高いものから3つまで選択)

1. 業務全体に対するスーパーバイズ
2. 困難事例に対する助言、支援
3. 地域ケア会議の開催
4. 専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供
5. 介護支援専門員同士のネットワークの構築
6. 関係機関のネットワークの構築
7. その他 ()
8. 特になし

問 21 今後、あなたが行政に最も期待する役割は何ですか。(必要度の高いものから3つまで選択)

1. 相談機能の充実
2. 研修の充実
3. サービス基盤の充実
4. 情報提供の充実
5. 資格取得支援
6. その他 ()
7. 特になし

4 その他

問 22 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

[]

八幡市第10期介護保険事業計画等策定に係るアンケート調査結果報告書
令和8年3月

発行：八幡市 編集：健康福祉部高齢介護課
住所：〒614-8501 京都府八幡市八幡園内 75
電話：075-983-1328、075-983-3594（介護係）
 075-983-5471（地域支援係）
FAX：075-972-2520
